

2014(平成26)年度
事業報告書



学校法人 日本大学

目 次

あいさつ	1
I 法人の概要	
1 日本大学沿革	3
2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)	4
3 設置する学校	5-7
4 学生・生徒数(入学定員・収容定員・現員)	8-10
5 事務組織	11-12
6 研究所組織	13
7 役員・教職員の概要	14-18
II 事業の概要	
1 主な事業の概要	19-21
2 部科校別の事業の概要	22-69
III 事業の概要(データ編)	
1 一般入学試験志願者数	71
2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数	72-73
3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数	74-78
4 学内奨学金制度	79-82
5 就職状況	83
6 保健体育審議会所属競技部の主な成績	84-85
7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業	86-88
8 公開講座	89-91
9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産	92-94
10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数	95-96
IV 財務の概要	
1 平成 26 年度資金収支計算書	97
2 資金収支計算書の概要	98-99
3 平成 26 年度消費収支計算書	100
4 消費収支計算書の概要	101
5 貸借対照表(平成 27 年 3 月 31 日現在)	102-103
6 貸借対照表の概要	104
7 財産目録(平成 27 年 3 月 31 日現在)	105
8 参考資料	
①平成 22 年度～平成 26 年度 財務比率の推移	106
②平成 22 年度～平成 26 年度 資金収支決算の推移	107
③平成 22 年度～平成 26 年度 消費収支決算の推移	108
④平成 22 年度～平成 26 年度 貸借対照表の推移	109
大学施設等所在地一覧	110-111

あ い さ つ

学校法人日本大学理事長 田中英壽

日本経済が長期停滞からなかなか脱することができない中で、大学経営を取り巻く環境も年々厳しさを増しております。18歳人口の減少で、平成26年度の入試では、現在603校ある私立大学の実に45.8パーセントが定員割れとなりました。さらに文部科学省は私立大学の定員超過を抑制するため、私学助成金の交付要件の厳格化を検討しています。大学が本格的に淘汰される時代が近々やってくるといっても過言ではありません。

こうした厳しい環境下では、改革の手を緩めるわけにはいきません。日本大学の目標である「日本一教育力のある大学」の実現のため、平成31年に迎える創立130周年に向け、経営基盤を盤石なものとする必要があります。そのために平成26年度は「教学施策と連携した積極的な環境整備」をテーマに、教育の質向上や研究推進支援基盤の充実等につながる事業に着手してまいりました。

具体的には、「首都圏大学」から「日本の大学」への回帰を実現するため、学生寮の建設を推進しています。平成26年度からは町田市、松戸市、世田谷区赤堤及び宮坂に建設した学生寮で学生が新たに生活を始めており、さらに目黒区東が丘、福島県郡山市にも建設計画を進めているところです。こうした学生寮の建設は、全国から広く学生を集めることを目的とするだけでなく、学生に対する経済的支援を拡充するという観点からも、大きな意味のある重要な施策であると考えております。

さらに平成26年10月には、医療系の教育を実践するとともに、都心の中核病院として大きな役割を担う日本大学病院を開院したほか、この春からは初等教育からの一貫教育を実現するため、本学の念願だった小学校を藤沢市に開校いたしました。緑に囲まれた大学の敷地内という環境は願ってもないもので、必ずや本学の名声を高めてくれるものと信じております。新学部についても、平成28年度の開設に向け、準備を進めております。

また、学長が中心となって進めている本学の教育理念に基づく、自主創造型パーソンつまり日大人を育成するために、全学共通教育科目の「自主創造の基礎」の拡充や、より多くの優秀な学生を確保できるよう、N方式入試の更なる拡充などを行う入試制度改革の推進等を学長とともに進めてきております。

本報告書は、部科校別で策定された事業がどのように推進されてきたか、その進捗状況をまとめるとともに、事業の達成度をA「おおむね達成」、B「具体的検討」、C「検討中」、D「未実施」として、わかりやすく表示しております。「日本一教育力のある大学」を目指し、本学の現況を十分に把握するとともに、計画、実行、点検評価、改善というPDCAサイクルの観点からも、有効にご活用されることを願っております。

以 上

I 法人の概要

1 日本大学沿革

明治 22 年(1889)	10 月	日本法律学校(現・法学部)創立 学祖は山田顕義(時の司法大臣) 初代校長に金子堅太郎(後の司法大臣)就任	3 月	業経営学科(後の第一工学部, 現・生産工学部)設置	
明治 23 年(1890)	9 月	皇典講究所で開校式挙行	昭和 29 年(1954)	4 月	農学部に獣医学科を増設し, 農獣 医学部と改称
明治 26 年(1893)	12 月	第 2 代校長(後に学長, 総長)に松 岡康毅(後の農商務大臣)就任 校友会を結成			歯学部附属歯科技工士養成所を 設置(現・歯学部付属歯科技工専 門学校)
明治 29 年(1896)	5 月	神田三崎町に初の校舎落成	昭和 32 年(1957)	8 月	豊山高校・中学校を合併
明治 31 年(1898)	3 月	高等専攻科を設置	昭和 33 年(1958)	12 月	三島高校を設置
明治 34 年(1901)	10 月	高等師範科(現・文理学部)設置		1 月	文学部に中国文学科, 地理学科, 数学科, 物理学科を増設し文理学 部と改称
明治 36 年(1903)	8 月	日本大学と改称			工学部を物理学科を増設し理工 学部と改称
明治 37 年(1904)	3 月	商科(現・経済学部ならびに商学 部)設置		4 月	歯科衛生士養成所を設置(現・歯 学部附属歯科衛生専門学校)
	4 月	専門学校令による大学となる		6 月	会頭に古田重二良就任
大正 2 年(1913)	2 月	中学校を設置(現・一高, 一中)		9 月	第 5 代総長に永田菊四郎就任
大正 3 年(1914)	4 月	「建学の主旨及綱領」を制定	昭和 34 年(1959)		「日本大学の目的および使命」を 改定
大正 9 年(1920)	4 月	大学令による大学となる		4 月	明誠高校を設置
	6 月	高等工学校を設置(現・理工学部)	昭和 35 年(1960)	4 月	山形第一高校を合併(現・山形高)
大正 10 年(1921)	3 月	美学科(現・芸術学部)設置	昭和 37 年(1962)	11 月	第一工学部を生産工学部と改称
	4 月	東洋歯科医学専門学校を合併(創 立は大正 5 年, 現・歯学部)	昭和 41 年(1966)	1 月	第二工学部を工学部と改称
大正 11 年(1922)	3 月	初代総長に松岡康毅就任		3 月	豊山女子高校を設置
大正 12 年(1923)	11 月	第 2 代総長に平沼騏一郎(後の総 理大臣)就任	昭和 44 年(1969)	9 月	第 6 代総長に鈴木勝就任 会長に古田重二良就任 理事長に高梨公之就任
大正 14 年(1925)	3 月	専門部医学科(現・医学部)設置		2 月	日本大学松戸歯科大学を設置 (現・松戸歯学部)
昭和 2 年(1927)	3 月	第二中学校を設置(現・二高, 二 中)	昭和 47 年(1972)	9 月	理事長に永澤滋就任
	12 月	幼稚園を設置	昭和 49 年(1974)	3 月	松戸歯科大学付属歯科衛生専門 学校を設置(現・松戸歯学部附属 歯科衛生専門学校)
昭和 4 年(1929)	3 月	工業学校を設置(現・習志野高)		10 月	総長鈴木勝理事長を兼任
	10 月	赤坂中学校を合併(現・三高, 三 中)	昭和 50 年(1975)	10 月	日本大学松戸歯科大学を廃止し, 松戸歯学部を設置
昭和 5 年(1930)	3 月	第四中学校を設置(現・日大高, 中)	昭和 53 年(1978)	12 月	国際関係学部を設置
昭和 7 年(1932)	1 月	医学科附属看護婦養成所設置 (現・医学部付属看護専門学校)	昭和 56 年(1981)	9 月	理事長に柴田勝治就任
昭和 8 年(1933)	8 月	第 3 代総長に山岡萬之助就任	昭和 57 年(1982)	6 月	市ヶ谷に日本大学会館が落成
昭和 18 年(1943)	5 月	農学部を神奈川県藤沢市に設置 (現・生物資源科学部)	昭和 59 年(1984)	9 月	第 7 代総長に高梨公之就任
昭和 21 年(1946)	1 月	第 4 代総長に呉文炳就任	昭和 62 年(1987)	12 月	薬学部を設置
	6 月	三島予科を静岡県三島市に開設	平成 2 年(1990)	9 月	第 8 代総長に木下茂徳就任
	7 月	理事長に圓谷弘就任	平成 5 年(1993)	9 月	第 9 代総長に瀬在良男就任, 理事 長を兼任
	9 月	理事長に佐藤運雄就任	平成 7 年(1995)	12 月	農獣医学部を生物資源科学部に 改組
昭和 22 年(1947)	3 月	専門部工科(現・工学部)を福島県 郡山市に移転	平成 8 年(1996)	9 月	第 10 代総長に瀬在幸安就任 理事長に森田賢治就任
昭和 23 年(1948)	11 月	通信教育部を設置	平成 11 年(1999)	4 月	大学院総合社会情報研究科(通信 制大学院), 大学院グローバル・ビ ジネス研究科を設置
昭和 24 年(1949)	2 月	新学制に移行(第一部の 7 学部 34 学科)	平成 16 年(2004)	4 月	大学院法務研究科設置
	3 月	同 (第二部の 4 学部 15 学科)	平成 17 年(2005)	4 月	大学院総合科学研究科(総合研究 大学院)設置
	4 月	農林高校を設置(現・藤沢高)		9 月	第 11 代総長に小嶋勝衛就任, 理 事長を兼任
	4 月	「日本大学の目的および使命」を 制定	平成 19 年(2007)	6 月	教育理念を「自主創造」とし, 新ロ ゴ及びキャッチフレーズを決定
昭和 25 年(1950)	12 月	理事長に古田重二良就任	平成 20 年(2008)	9 月	第 12 代総長に酒井健夫就任 理事長に田中英壽就任
	2 月	世田谷高校を設置(現・櫻丘高)	平成 23 年(2011)	9 月	第 13 代総長に大塚吉兵衛就任
	3 月	短期大学を設置(現・短期大学部)	平成 25 年(2013)	4 月	総長制から学長制に移行し, 学長 に大塚吉兵衛就任。
昭和 26 年(1951)	2 月	東北工業高校を設置(現・東北高)			
	4 月	大学院を設置			
	10 月	東京獣医畜産大学付属高等学校 を合併, 鶴ヶ丘高校と名称変更			
	11 月	農学部を東京獣医畜産大学を合 併			
昭和 27 年(1952)	2 月	医学部医学科, 歯学部歯学科が 新学制に移行 工学部を薬学科(現・薬学部), 工			

2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)



学祖 山田顕義

日本大学の前身である日本法律学校は、明治22年(1889)に創立された。同年は大日本帝国憲法が公布され、また欧米の近代法を取り入れた刑法・民法・商法などの諸法典も整備されつつある時期であった。

この頃、司法大臣で本学学祖となる山田顕義は、欧米諸国の法律を学ぶことが主流の法学教育に疑問を持ち、日本の伝統・慣習・文化を踏まえた日本法律を教育する学校構想を抱いていた。同時期、帝国大学教授宮崎道三郎や憲法起草にあたった金子堅太郎などの若き法律学者たちも、日本法学教育の必要性を認識し、日本法律学校設立構想を進めていた。それを知った山田顕義は、彼らを全面的に支援し、明治22年10月4日、日本法律学校は創立されるに至ったのである。

日本法律学校の創立目的は「日本法律学校設立主意書」に記されている。要約すると、日本の法律は新旧を問わず学ぶ、海外の法律を参考として長所を取り入れる、日本法学という学問を提唱するという3点であり、欧米法教育が主流な時代にあって、大いに独自性を発揮することとなった。

明治36年(1903)には、校名を日本大学として改組し、翌37年、専門学校令による認可を受けた。大正3年(1914)、「建学の主旨及び綱領」が制定され、本学の建学の理想と教学方針が示された。大正9年(1920)、大学令による大学となり、総合大学への道を歩むこととなる。

昭和24年(1949)、新制大学として再スタートした本学は、「建学の主旨及び綱領」をあらためて「日本大学の目的および使命」を制定した。しかし、この「目的および使命」は、教育基本法に準じたものではあるが本学の伝統から離れており、私学の独自性が発揮されないという意見が出された。そのため改訂の検討がなされ、数年間の審議を経て、昭和34年(1959)、本学70周年を迎える際に、現在の表現に改訂した。

〔目的および使命〕

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしない
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする



日本大学会館2階の学祖立像と歴代総長・理事長胸像

平成18年(2006)、企画検討委員会において、現在の社会状況に即応し、かつ本学の総合性を発揮することを目的として、新しい理念が検討された。その結果、平成19年、本学の教育理念は「自主創造」と定められた。

3 設置する学校

※平成26年4月1日現在





※1：下記以外は博士前期及び後期課程を設置。

*1：文学研究科史学専攻は博士前期課程。日本史専攻及び外国史専攻は博士後期課程。人文地理学専攻(学生募集停止中)は修士課程。

*2：芸術学研究科文芸学専攻, 映像芸術専攻, 造形芸術専攻, 音楽芸術専攻及び舞台芸術専攻は博士前期課程。芸術専攻は博士後期課程。

*3, *4, *5, *6, *7：医学研究科, 歯学研究科, 松戸歯学研究科, 獣医学研究科及び薬学研究科は博士課程。

*8：グローバル・ビジネス研究科は修士課程。

*9：総合社会情報研究科国際情報専攻, 文化情報専攻及び人間科学専攻は博士前期課程。総合社会情報専攻は博士後期課程。

*10, *11：法務研究科及び知的財産研究科は専門職学位課程。

*11：総合科学研究科は5年一貫制博士課程。

※2：総合科学研究科人間開発科学専攻, 環境科学専攻及び生命科学専攻は平成23年4月から学生募集停止。

※3：薬学研究科薬学専攻博士後期課程は平成24年4月から学生募集停止。

※4：法学部第二部政治経済学科は平成19年4月から学生募集停止。

※5：経済学部第二部経済学科は平成22年4月から学生募集停止。

※6：国際関係学部国際関係学科, 国際文化学科, 国際交流学科及び国際ビジネス情報学科は平成23年4月から学生募集停止。

○準付属校の取扱いに関する契約を締結した学校法人の設置する高等学校・中学校等

法人名	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
学校法人日本大学第一学園	日本大学第一高等学校, 千葉日本大学第一高等学校	日本大学第一中学校, 千葉日本大学第一中学校	千葉日本大学第一小学校	
学校法人日本大学第二学園	日本大学第二高等学校	日本大学第二中学校		
学校法人日本大学第三学園	日本大学第三高等学校	日本大学第三中学校		
学校法人大垣日本大学学園	大垣日本大学高等学校			
学校法人土浦日本大学学園	土浦日本大学高等学校, 岩瀬日本大学高等学校	土浦日本大学中等教育学校		土浦日本大学附属幼稚園
学校法人宮崎日本大学学園	宮崎日本大学高等学校	宮崎日本大学中学校		
学校法人佐野日本大学学園	佐野日本大学高等学校	佐野日本大学中等教育学校		
学校法人長崎日本大学学園	長崎日本大学高等学校	長崎日本大学中学校		
学校法人長野日本大学学園	長野日本大学高等学校	長野日本大学中学校		
学校法人札幌日本大学学園	札幌日本大学高等学校	札幌日本大学中学校		

4 学生・生徒数（入学定員・収容定員・現員）

※平成26年5月1日現在

※（ ）内は女子内数

大学院研究科(博士前期・修士課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
法学	75	150	29	30	59 (18)
新聞学	10	20	8	9	17 (15)
文学	140	280	54	86	140 (51)
総合基礎科学	20	40	44	45	89 (18)
経済学	30	60	31	32	63 (22)
商学	90	180	32	33	65 (35)
芸術学	75	150	55	44	99 (61)
国際関係	10	20	10	11	21 (8)
理工学	420	840	439	477	916 (87)
生産工学	140	280	158	163	321 (42)
工学	140	280	81	86	167 (6)
生物資源科学	115	230	94	72	166 (54)
グローバル・ビジネス	0	0	0	2	2 (1)
総合社会情報	90	180	62	79	141 (68)
計	1,355	2,710	1,097	1,169	2,266 (486)

大学院研究科(博士課程(5年一貫制))

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
総合科学	0	40	0	0	0	0	0	0 (0)

大学院研究科(博士後期・博士課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法学	12	39	5	5	16		26 (5)
新聞学	3	6	2	1	0		3 (2)
文学	30	90	10	12	21		43 (17)
総合基礎科学	4	12	2	1	2		5 (2)
経済学	6	18	1	0	5		6 (2)
商学	13	39	1	3	1		5 (2)
芸術学	8	24	8	5	5		18 (6)
国際関係	3	9	0	0	5		5 (3)
理工学	79	237	22	14	42		78 (12)
生産工学	21	63	6	5	8		19 (3)
工学	12	36	1	2	8		11 (2)
医学	64	256	42	41	36	34	153 (35)
歯学	30	132	36	34	37	37	144 (47)
松戸歯学	30	130	27	21	25	16	89 (40)
生物資源科学	26	78	10	9	13		32 (7)
獣医学	6	24	2	4	6	6	18 (4)
薬学	5	15	4	2	8	0	14 (2)
総合社会情報	9	27	12	10	7		29 (9)
計	361	1,235	191	169	245	93	698 (200)

大学院研究科(専門職学位課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
法務	60	220	29	28	20	77 (15)
知的財産	30	60	16	14		30 (8)

学部(第一部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	1,400	5,600	1,557	1,697	1,575	1,900			6,729 (2,193)
文 理	1,810	7,120	2,114	2,042	2,135	2,382			8,673 (3,305)
経 済	1,400	5,600	1,576	1,607	1,611	1,771			6,565 (1,783)
商	1,200	4,800	1,372	1,406	1,469	1,671			5,918 (2,001)
芸 術	840	3,360	994	998	992	1,099			4,083 (2,635)
国 際 関 係	650	2,600	742	725	737	868			3,072 (1,244)
理 工	2,020	8,080	2,113	2,272	2,148	2,679			9,212 (1,121)
生 産 工	1,400	5,600	1,631	1,597	1,515	1,739			6,482 (917)
工	1,030	4,120	1,160	1,171	874	1,263			4,468 (349)
医	120	720	135	140	116	117	118	120	746 (220)
歯	130	870	141	145	139	114	128	110	777 (325)
松 戸 歯	130	870	135	154	96	102	119	118	724 (250)
生 物 資 源 科	1,410	5,880	1,623	1,603	1,725	1,693	136	132	6,912 (3,108)
薬	240	1,440	280	267	251	253	221	282	1,554 (847)
計	13,780	56,660	15,573	15,824	15,383	17,651	722	762	65,915 (20,298)

学部(第二部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	300	1,200	193	174	145	315			827 (137)
経 済	0	0	0	0	0	15			15 (0)
計	300	1,200	193	174	145	330			842 (137)

通信教育部

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法	3,000	12,000	85	134	210	671	1,100 (340)
文 理	3,000	12,000	250	247	719	2,389	3,605 (1,997)
経 済	1,500	6,000	33	73	123	394	623 (105)
商	1,500	6,000	106	112	179	622	1,019 (406)
計	9,000	36,000	474	566	1,231	4,076	6,347 (2,848)

短期大学部

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
ビジネス教養	80	160	63	76	139 (76)
食物栄養	120	240	122	101	223 (200)
建築・生活デザイン	80	160	97	92	189 (65)
ものづくり・サイエンス総合	60	120	66	70	136 (25)
生命・物質化	40	80	36	43	79 (46)
生 物 資 源	150	300	155	149	304 (166)
計	530	1,060	539	531	1,070 (578)

短期大学部専攻科

専 攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
食物栄養	20	40	21	23	44 (33)

高等学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	600	1,800	491	452	464	1,407 (567)
櫻 丘	602	1,806	457	472	446	1,375 (659)
鶴ヶ丘	450	1,350	414	475	463	1,352 (778)
藤 沢	520	1,560	385	542	489	1,416 (738)
豊 山	585	1,755	475	477	485	1,437
豊山女子	240	720	296	244	264	804 (804)
三 島	760	2,280	660	670	630	1,960 (950)
明 誠	440	1,320	373	289	267	929 (248)
山 形	450	1,450	431	378	445	1,254 (427)
習 志 野	400	1,200	404	446	502	1,352 (572)
東 北	480	1,440	536	443	431	1,410 (579)
計	5,527	16,681	4,922	4,888	4,886	14,696 (6,322)

中学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	400	1,200	275	250	266	791 (349)
藤 沢	120	320	123	121	94	338 (170)
豊 山	200	600	231	185	207	623
豊山女子	160	480	136	127	135	398 (398)
三 島	70	210	43	53	57	153 (70)
計	950	2,810	808	736	759	2,303 (987)

幼稚園

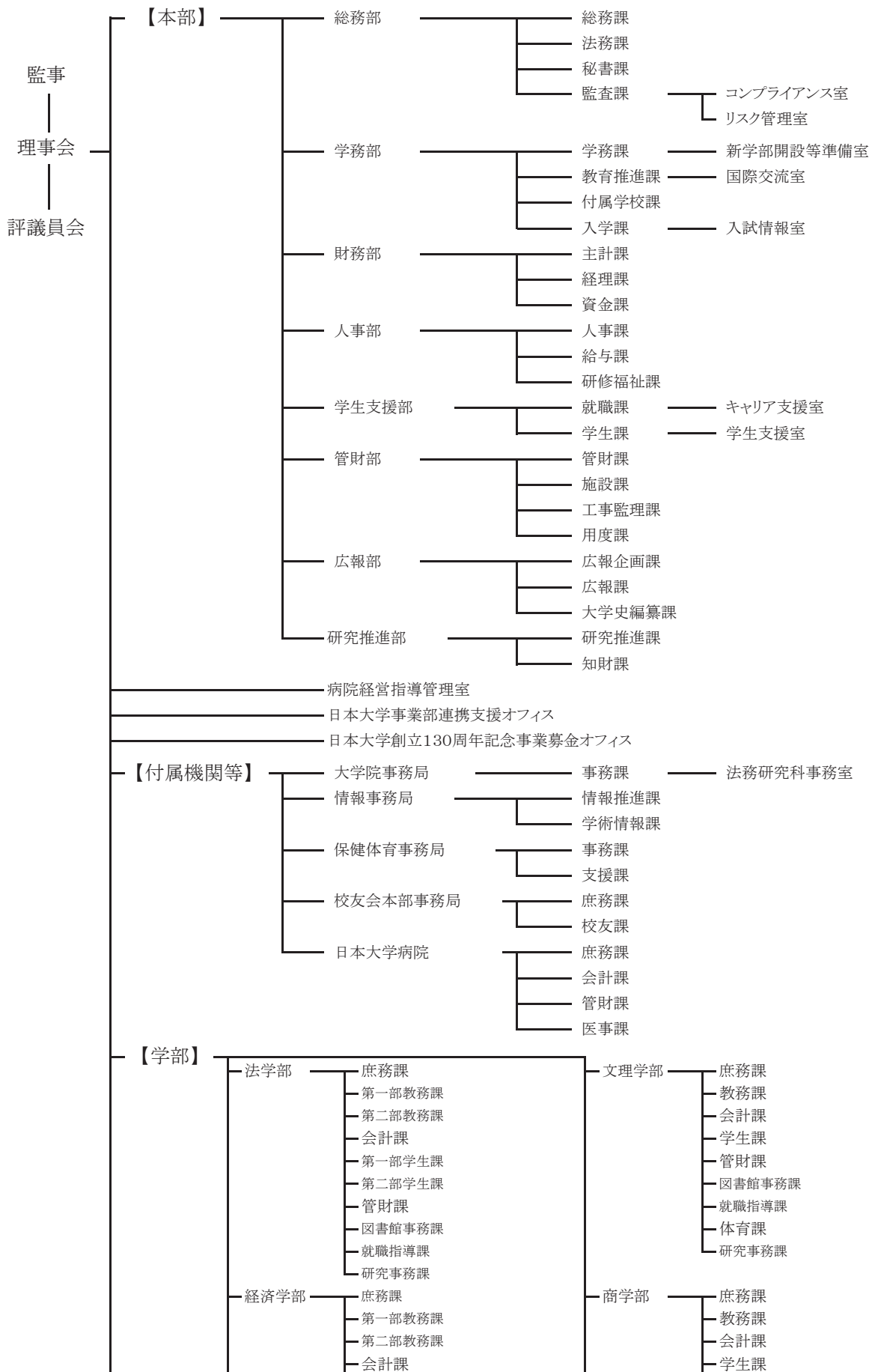
学 校	入園定員	収容定員	3歳児	4歳児	5歳児	計
日 本 大 学	3歳児70, 4・5歳児105	280	36	72	48	156 (71)

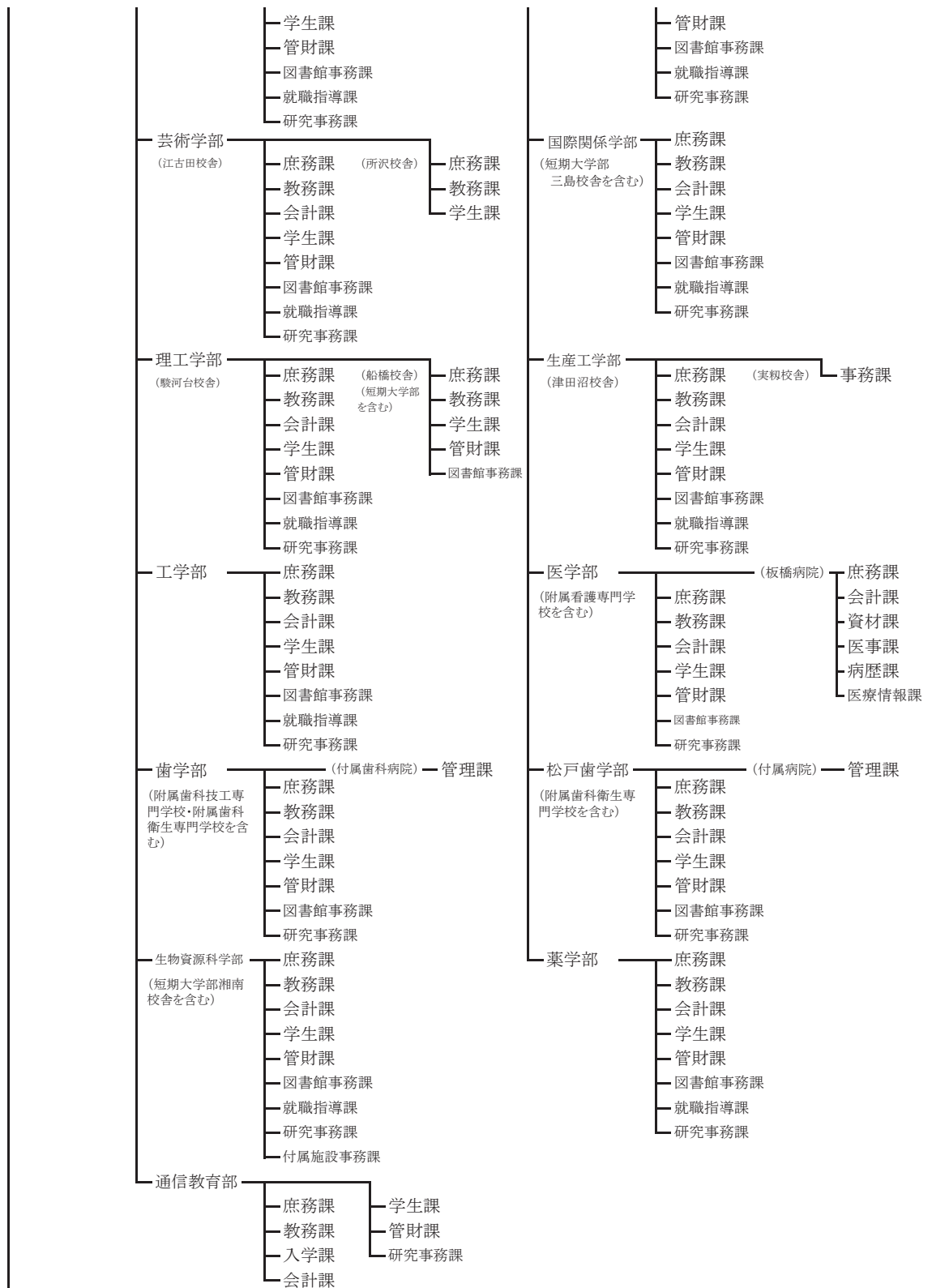
専修学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
医学部附属看護専門学校	80	240	100	92	91	283 (267)
歯学部附属歯科技工専門学校	35	105	28	20	16	64 (20)
歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	45	40	31	116 (116)
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	44	54	42	140 (140)
計	195	585	217	206	180	603 (543)

5 事務組織

※平成27年3月31日現在





【高等学校・中学校・幼稚園】

- ※ 櫻丘高校は文理学部併設
- ※ 鶴ヶ丘高校、藤沢高校・中学校は生物資源科学部併設
- ※ 三島高校・中学校は国際関係学部併設
- ※ 習志野高校は理工学部併設
- ※ 東北高校は工学部併設

- 日本大学高等学校・中学校
- 日本大学櫻丘高等学校
- 日本大学鶴ヶ丘高等学校
- 日本大学藤沢高等学校・中学校
- 日本大学豊山高等学校・中学校
- 日本大学豊山女子高等学校・中学校
- 日本大学三島高等学校・中学校
- 日本大学明誠高等学校
- 日本大学山形高等学校
- 日本大学習志野高等学校
- 日本大学東北高等学校
- 日本大学幼稚園

- 事務室
- 事務課
- 事務課
- 事務課
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務課
- 事務課

6 研究所組織

大学付置研究所

総合科学研究所	(昭和25年7月7日設置)
量子科学研究所	(昭和38年12月3日設置)
教育制度研究所	(昭和31年10月1日設置)
精神文化研究所	(昭和33年4月1日設置)
人口研究所	(昭和55年5月23日設置)

学部付置研究所

法学部法学研究所	(昭和31年10月1日設置)
法学部政経研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部比較法研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部新聞学研究所	(平成19年3月9日設置)
法学部国際知的財産研究所	(平成19年3月9日設置)
文理学部人文科学研究研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部自然科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部情報科学研究研究所	(昭和58年3月11日設置)
経済学部経済科学研究研究所	(昭和52年4月1日設置)
経済学部産業経営研究所	(昭和52年4月1日設置)
商学部商学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部会計学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部情報科学研究研究所	(昭和57年6月4日設置)
芸術学部芸術研究所	(昭和44年4月1日設置)
国際関係学部生活科学研究研究所	(昭和38年4月1日設置)
国際関係学部国際関係研究所	(昭和55年7月4日設置)
理工学部理工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
生産工学部生産工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
工学部工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
医学部総合医学研究所	(昭和52年5月13日設置)
歯学部総合歯学研究所	(昭和51年5月14日設置)
松戸歯学部口腔科学研究研究所	(昭和49年10月18日設置)
生物資源科学部総合研究所	(昭和42年4月1日設置)
生物資源科学部国際地域研究所	(昭和51年5月14日設置)
生物資源科学部生命科学研究所	(平成11年4月2日設置)
薬学部薬学研究所	(平成元年4月7日設置)
通信教育部通信教育研究所	(昭和59年2月3日設置)

7 役員・教職員の概要

① 役員等

※平成27年3月31日現在

	定数	実数	氏名
理事長	1人	1人	田中 英壽
学長	1人	1人	大塚 吉兵衛
副学長	3人以内	3人	加藤 直人 河野 英一 出村 克宣
常務理事	(若干名)	5人	石井 進 加藤 了 成澤 文明 古屋 尚 中村 克夫

理事 (定数:25人以上32人以内 実数30人(常勤26人,非常勤6人))

選任区分(寄附行為第8条)	定数	実数	氏名
学長	1人	1人	大塚 吉兵衛
理事長の推薦した者	1人以上2人以内	1人	佐々木 修一
日本大学本部及び日本大学各学部の教職員評議員のうちから選出された者	13人以上15人以内	15人	内田 正人 杉本 稔 加藤 直人 小 椰 治 宣 小関 勇 野田 慶 人 渡邊 武一郎 加藤 和 英 落合 実 出村 克 宣 高山 忠 利 前野 正 夫 渋谷 鑛 河野 英 一 草間 貞
この法人の設置する学校の校友評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	7人	石井 進 内田 俊太郎 齋藤 貢 鈴木 俊雄 高野 和雄 田中 英壽 中村 克夫
この法人の学識経験評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	6人	小澤 一郎 小野沢 元久 加藤 了 鴨 下 一郎 成澤 文明 古屋 尚

監事 (定数:3人以上5人以内 実数:4人(うち2人は常任監事))

選任区分(寄附行為第18条)	定数	実数	氏名
監事	3人以上5人以内	4人	越智光昭(常任) 森 晃道(常任) 小 磯 一 男 鈴木 三 郎

② 教員数

※平成26年5月1日現在

大学院研究科

研究科	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
総合科学	11	1	0	0	0	12	0	0
法学						0	3	30
新聞学						0	0	9
文学						0	8	63
総合基礎科学						0	1	20
経済学						0	55	27
商学						0	33	12
芸術学						0	0	33
国際関係学						0	0	6
理工学						0	214	152
生産工学						0	103	20
工学						0	5	41
医学						0	364	0
歯学						0	131	0
松戸歯学						0	58	0
生物資源科学						0	145	20
獣医学						0	31	0
薬学						0	44	0
グローバル・ビジネス	7	2	0	0	0	9	1	5
法務	20	1	0	4	0	25	3	42
総合社会情報	8	1	0	0	0	9	37	44
知的財産	10	2	0	0	0	12	2	14
計	56	7	0	4	0	67	1,238	538

学部等

学部	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
法(一部)	90	20	3	9	4	126	16	317
法(二部)	7	4	0	0	0	11	6	107
文理学	169	46	2	20	71	308	27	686
経済(一部)	73	28	4	8	3	116	14	315
経済(二部)	1	0	0	0	0	1	0	0
商	49	35	7	4	0	95	9	219
芸術	74	21	6	6	41	148	8	520
国際関係	43	14	0	11	6	74	2	120
理工	149	83	28	62	41	363	8	453
生産工	101	68	5	35	11	220	3	232
工	70	52	10	16	0	148	4	149
医	54	74	48	190	105	471	17	70
歯	29	37	31	72	3	172	57	42
松戸歯	32	29	50	35	13	159	19	41
生物資源科	112	68	21	40	49	290	3	228
薬	29	19	5	16	2	71	0	23
小計	1,082	598	220	524	349	2,773	193	3,522
通信教育部	8	3	1	0	0	12	89	168
計	1,090	601	221	524	349	2,785	282	3,690

研究所

研究所	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助手	助教	計		
総合科学研究所	5	2	0	0	0	7	1	0
量子科学研究所	1	1	0	0	0	2	7	0
教育制度研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
精神文化研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
人口研究所	0	0	0	0	0	0	6	0
計	6	3	0	0	0	9	14	0

短期大学部

学 科	専 任 教 員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
ビジネス教養	6	2	0	1	0	9	0	} 27
食物栄養	7	3	0	0	3	13	0	
建築・生活デザイン	3	4	0	3	1	11	0	} 138
ものづくり・サイエンス総合	4	2	5	1	2	14	0	
生命・物質化学	2	1	2	1	2	8	0	
生物資源	6	2	3	1	2	14	0	16
計	28	14	10	7	10	69	0	181

高等学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	50	0	50
櫻 丘	53	0	53
鶴 ヶ 丘	57	0	57
藤 沢	62	0	62
豊 山	52	0	52
豊 山 女 子	34	0	34
三 島	71	0	71
明 誠	39	0	39
山 形	49	0	49
習 志 野	56	0	56
東 北	51	0	51
計	574	0	574

中学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	26	0	26
藤 沢	13	0	13
豊 山	24	0	24
豊 山 女 子	17	0	17
三 島	7	0	7
山 形	0	0	0
計	87	0	87

幼稚園

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	6	0	6

専修学校

学 校	専任教員	兼務(学内)	兼務(学外)	計
医学部附属看護専門学校	17	90	25	132
歯学部附属歯科技工専門学校	5	31	6	42
歯学部附属歯科衛生専門学校	5	71	12	88
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	6	80	13	99
計	33	272	56	361

③ 職員数

※平成26年5月1日現在

学部等

学部等	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
本部	215	66	3	0	0	2	7	0	6	2	231	70	301
法	51	27	1	0	0	2	0	0	2	0	54	29	83
文理	51	27	1	0	0	2	2	2	1	0	55	31	86
経済	43	31	0	0	0	2	0	0	0	0	43	33	76
商	36	22	0	0	0	1	0	0	0	0	36	23	59
芸術	37	21	2	0	0	2	15	1	1	0	55	24	79
国際関係	37	17	1	1	0	1	2	0	0	0	40	19	59
理工	67	41	0	0	0	4	14	7	2	0	83	52	135
生産工	40	28	3	0	0	2	18	0	0	0	61	30	91
工	41	8	1	0	0	2	0	0	3	0	45	10	55
医	85	150	1	10	296	1,515	13	20	16	55	411	1,750	2,161
歯	35	31	0	0	9	49	3	2	1	1	48	83	131
松戸歯	37	28	2	0	13	53	4	2	1	1	57	84	141
生物資源科	47	21	4	0	0	2	22	1	6	0	79	24	103
薬	29	13	0	0	0	1	5	0	0	0	34	14	48
通信教育部	33	12	0	0	0	0	0	0	0	0	33	12	45
計	884	543	19	11	318	1,640	105	35	39	59	1,365	2,288	3,653

短期大学部

校舎	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
三島	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3
船橋	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	4
湘南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	2	0	0	0	0	1	0	1	0	5	2	7

高等学校

学 校	専任職員数
日本大学	11
櫻丘	8
鶴ヶ丘	8
藤沢	6
豊山山	10
豊山女子	8
三島	5
明誠	11
山形	13
習志野	6
東北	7
計	93

中学校

学 校	専任職員数
日本大学	3
藤沢	0
豊山山	2
豊山女子	3
三島	1
山形	0
計	9

幼稚園

学 校	専任職員数
日本大学	5

専修学校

学 校	専任職員数
医学部附属看護専門学校	0
歯学部附属歯科技工専門学校	1
歯学部附属歯科衛生専門学校	1
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	1
計	3

Ⅱ 事業の概要

1 主な事業の概要

平成26年度 予算編成基本方針(抜粋)

「教学施策と連携した積極的な環境整備」に関する事項

① 自主創造型パーソン（日大人）の育成・輩出

- (1) 全学共通教育を核とする「日本大学版教育スタンダード」の段階的实施
- (2) 卒業前教育及び入学前教育などによる高大連携の充実
- (3) 本学に入学した学生・生徒等の夢の実現に資する教育支援体制の充実及び退学防止への取組
- (4) F D活動の全学的・組織的推進
- (5) N方式入試の更なる拡充などによる入試制度改革の推進
- (6) 基礎学力到達度テストを用いた付属推薦入試改革の推進
- (7) 大学院制度改革による体系的な大学院教育の充実
- (8) グローバル化社会に対応する人材の育成に向けた検討

② ビジョンに基づく施策の実施と継続的推進

- (1) 生活習慣病の診療に重点を置いた日本大学病院の開院と安定的運営の推進
- (2) 地方出身者を支援する学生寮の開設と受入学生数の更なる拡充
- (3) 「社会の安全」と「ひとの健康」をデザインし「安心社会」の形成に寄与する新学部開設の推進
- (4) 初等教育からの一貫教育を実現する小学校開校の推進
- (5) 「司法の日大」の復活に向けた教育の改善・充実及び法学部との連携強化を目指す大学院法務研究科校舎移転とキャンパス整備
- (6) 「スポーツの日大」の飛躍に向けた保健体育審議会の活動環境の充実

③ 「就職に強い日大」の推進・強化

- (1) 全学共通の情報提供推進などによる就職支援・指導体制の整備並びに強化
- (2) 公務員試験支援センター強化等による各種国家試験対策充実への戦略的取組

④ 研究推進支援基盤の充実

- (1) 総合科学研究所を改組しての研究推進機構（産官学連携知財センターを含む）の設置による総合力を結集した全学横断的学術研究の推進
- (2) 研究体制の戦略的強化（間接経費の全学的な有効活用を含む）による競争的資金獲得施策の推進
- (3) 大学の質的評価の向上に貢献する経常費補助金・科学研究費助成事業、企業との共同研究、受託研究など学外研究資金の積極的獲得
- (4) 研究成果向上に寄与する効果的な資金配分への取組
- (5) 研究倫理の遵守及び研究費の適正使用の徹底

⑤ 安心・安全なキャンパス実現

- (1) 大学の公共性を考慮した省エネルギー及び地球温暖化対策への積極的取組
- (2) 情報管理、著作権保護、個人情報保護などに留意したコンプライアンス（社会規範、社会的要請との調和）の徹底
- (3) リスク発生の予防、緊急事態発生時の迅速対応などを目途とする危機管理及びリスク管理体制の構築
- (4) 学生・生徒等の就学環境及び教職員の就業環境維持向上への取組

主な事業の進捗状況

○リスク発生の予防、緊急事態発生時の迅速対応などを目的とする危機管理及びリスク管理体制の構築

リスク発生の予防を目的とした情報収集体制を整備するとともに、「日本大学危機管理規程」に基づいたガイドライン、マニュアル等の整備に向けた危機事象の抽出・具体化を図った。

○「社会の安全」と「ひとの健康」をデザインし「安心社会」の形成に寄与する新学部開設の推進

新学部の教育内容や文部科学省からの意見等を勘案して学部名称及び学科構成を検討した結果、「危機管理学部危機管理学科」「スポーツ科学部競技スポーツ学科」という2学部2学科を1キャンパスに設置することとし、教育課程や専任教員及び非常勤教員の採用候補者を決定した。今後は文部科学省への設置申請を行うとともに、学部運営についての具体的な検討や準備を行う。

○大学ガバナンス改革への対応準備

学校教育法等が平成27年4月に改正されるに伴い、学長を中心とした大学ガバナンス改革を行うことが必要となった。そこで、本改正に対応するための本学の基本的な考え方(基本ルール)の策定を行い、あわせて関連する諸規程について、新ルールに対応すべく平成27年度の改正に向け、準備を進めた。

○全学共通教育を核とする「日本大学版教育スタンダード」の段階的实施

平成25年度に制定した「日本大学全学共通初年次教育科目設置要項」に基づき、学務委員会内に設置している全学共通初年次教育検討ワーキンググループにおいて、平成27年4月からの「自主創造の基礎1」開講に向けて具体的な検討・準備を行った。全学共通性を担保すべく検討を重ね、ガイドラインや反転授業用予習動画を作成した。

また、「全学共通教育プログラム(仮称)」の構築に向けては、教学戦略委員会教育支援プログラム検討ワーキンググループにおいて検討を進め、平成26年5月に教学戦略委員会第3次中間答申として、さらに平成26年12月に教学戦略委員会第5次中間答申として提言し、承認されたことから、今後一層の具体的な展開に向けた礎ができた。

○FD活動の全学的・組織的推進

3か年にわたるFD推進センター基本計画(中期計画：①日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー(FDer)の在り方の検討、②学生参画型FD活動の整備・強化)の2年目として、3つのWG(調査・分析、プログラム、教育情報マネジメント)が機能分化しながらも有機的に連携し、具体的な諸事業を進めている。中でも、FDerとなり得る人材養成のための「全学FDワークショップ」

や学生が主体となり企画・運営し教員・職員・学生が三位一体で臨む全学的な学生FDイベント「日本大学 学生FD CHAmiT」を内容を深めつつ開催し、本学におけるFD活動の全学的かつ組織的な一層の推進に向けて、様々な工夫を凝らしながら展開した。また、平成27年度の「日本大学 学生FD CHAmiT 2015」の開催に合わせ、全国規模の学生FDイベントである「学生FDサミット2016春」を本学主催で開催することを決定した。

○N方式入試の更なる拡充などによる入試制度改革の推進

N方式は、入試の簡素化と受験生の利便性向上を目的に平成23年度入試よりスタートした。平成27年度入試では、第1期(試験日2/1、9学部及び短期大学部5学科の参加)が2回目、第2期(試験日3/4、3学部の参加)が5回目の実施を迎え、その結果、第1期が昨年度より1,126名(17.9%)増の7,415名、第2期が同233名(11.0%)増の2,345名の志願者を集め、N方式が徐々に本学におけるシンボリックな入試に定着しつつある。

○全学共通の情報提供推進などによる就職支援・指導体制の整備並びに強化

現在、運用中のNU就職ナビは、システムの稼働から10年近くが経過し、今後の同システムの発展を考えて全体的に再構築した方が望ましいとの結論に至り、新システムの構築に向けて協議・進行する予定である。

○公務員試験支援センター強化等による各種国家試験対策充実への戦略的取組

国家公務員総合職合格支援コースを平成26年度より新たに開設した。本コースは模擬試験の成績上位者及び各学部推薦者により選出した12名が受講を開始し、このうち、平成27年度に新4年生となる受講生が公務員採用試験を受験する予定である。また、平成27年度に新規に対象となる受講者14名が新たに本コースの受講を開始した。

○バンデリアン松戸学生寮

千葉県松戸市に70名を収容できる男子学生寮が完成し、「創立130周年記念事業」の一環として、平成26年4月から運用が開始された経済支援寮である。優秀な地方出身の新入生の獲得及びその学生を対象に整った生活環境を提供することを最大の目的とする。入寮希望者も多く、学生への経済支援という目的を十分果たしている。

○レジャーメリアン赤堤学生寮

東京都世田谷区に48名を収容できる女子学生寮が完成し、「創立130周年記念事業」の一環として、平成26年4月から運用が開始された経済

支援寮である。優秀な地方出身の新入生の獲得及びその学生を対象に整った生活環境を提供することを最大の目的とする。入寮希望者も多く、学生への経済支援という目的を十分果たしている。

○レガメリアン宮坂学生寮

東京都世田谷区に31名を収容できる女子学生寮が完成し、「創立130周年記念事業」の一環として、平成26年4月から運用が開始された経済支援寮である。優秀な地方出身の新入生の獲得及びその学生を対象に整った生活環境を提供することを最大の目的とする。入寮希望者も多く、学生への経済支援という目的を十分果たしている。

○バンデリアン町田学生寮

東京都町田市に100名を収容できる男子学生寮が完成し、「創立130周年記念事業」の一環として、平成26年4月から運用が開始された経済支援寮である。優秀な地方出身の新入生の獲得及びその学生を対象に整った生活環境を提供することを最大の目的とする。入寮希望者も多く、学生への経済支援という目的を十分果たしている。

○目黒（東が丘）学生寮（仮称）の建設

「創立130周年記念事業」の一環として、平成28年4月からの運用開始を目指す。実施設計が完了し、平成27年2月から施工に着手した。

○郡山学生寮（仮称）の建設

「創立130周年記念事業」の一環として、平成28年4月からの運用開始を目指す。実施設計が完了し、平成27年3月から施工に着手した。

○学外研究費の獲得支援、共同研究組織構築の推進

本学の総合性を活かした共同研究組織構築の萌芽的支持として、共同研究を探している研究者に対しポスターセッションを開催し、自らの研究内容を紹介することによって、マッチングの機会を提供し、学外研究費の獲得に向けて共同研究組織構築につながった。

○学部が所在する地域における産官学連携の促進による地域社会への貢献

各学部が所在する地域で行う地域連携活動と技術移転・事業化計画を組み合わせることによる、本学の総合力を生かした地域連携による社会貢献について、「NUB I C相談窓口」を、工学部・郡

山地域及び生物資源科学部・藤沢地域で継続実施し、当該地域も含めた産学官連携を促進した。また、本学4学部が所在する千葉地域で産学官連携フォーラムを他機関と共催し、千葉地域における産学連携活動の推進を図った。

○研究推進や技術移転への活用可能性を重視した研究成果の権利化及び権利の維持管理による効率的・効果的な知的財産活動の推進

研究推進や技術移転可能性を重視した厳格な審査による産業財産権の管理を行い、維持経費を適正なものとし、効率的・効果的な知的財産活動の推進について、知的財産の活用可能性をより重視した案件評価等の基準で産業財産権の管理を行い、特許性、活用可能性等のほか、技術移転状況等を加味した審議を行った。また、効率的な委員会運営により、技術移転に関する審議を効果的に行った。

○情報管理、著作権保護、個人情報保護などに留意したコンプライアンス（社会規範、社会的要請との調和）の徹底

ソフトウェアの不正使用・不正コピーを防止し、適正な管理を効率的に実施するため、管理ツール等を利用してソフトウェアの棚卸しを実施し、不正がないことを確認する。マイクロソフトについて、全部科校統一の包括契約を締結し、大幅な経費削減をする。また資産管理ソフトとウイルス対策ソフトの使用可能のため、全部科校のソフトウェア及びパソコン等の一元管理をする。

○情報管理、著作権保護、個人情報保護などに留意したコンプライアンス（社会規範、社会的要請との調和）の徹底

情報資産の適正な管理・運用を図るために、国際規格である情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証ISMS（ISO27001）の第3者機関による監査・評価プログラムを実施する。26年度は11月にISMS認証の継続審査を受け認証が継続された。

○リスク発生の予防、緊急事態発生時の迅速対応などを目的とする危機管理及びリスク管理体制の構築

重要な情報システムを外部データセンターやクラウドを利用することにより、想定されるリスクからの保護やセキュリティ対策を講じる。

2 部科校別の事業の概要

達成度については、A:「おおむね達成」、B:「具体的実施中」、C:「検討中」、D:「未実施」として表示

総合社会情報研究科

【教育研究】

○事業計画:新カリキュラムの実施

事業概要:大学院教育カリキュラム全般を見直し、その整備・充実を図るため、大学院教育プログラム全般を見直し、「グローバルな課題に立ち向かう専門研究者を育成し、また、政治、経済、経営、文化、教育、安全、医療などの多様な領域で指導力を発揮し、活躍できるグローバル人材の育成」に資するよう教育課程を変更した。

進捗状況:新カリキュラム導入年度入学生となる平成 27 年度入学試験(平成 26 年度実施)において博士前期課程で 75 名(前年度比 12 名増)の合格者を得ることができた。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:文化情報専攻の教員採用(専任)

事業概要:教育内容の充実を目的とする。

進捗状況:文化情報専攻の専任教員 1 名を採用し、教育内容の充実を図った。(達成度:A)

○事業計画:国際情報専攻の教員採用(院専任)の検討

事業概要:教育内容の充実を図る。

進捗状況:平成 27 年度より、国際情報専攻の院専任教員を 3 名採用する。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:入学者へのパソコン貸与の取りやめ

事業概要:従前、学生希望者のみに貸与していたが、個人所有のパソコンのみを使用することにより、購入台数を減らし、経費削減を図った。

進捗状況:平成 26 年度のパソコン購入台数は 20 台(教員貸与用)であり(前年度比 10 台減)、経費削減ができた。(達成度:A)

法務研究科

【教育研究】

○事業計画:奨学金制度の更なる充実

事業概要:平成 25 年度から拡充した法務研究科奨学金について、給付規程を改正し、学費(入学手続時納入金を含む)に充当できるようにした。これにより、入学試験志願者数の増加と優秀な学生の確保、司法試験合格者数の増加を図る。

進捗状況:平成 26 年度採用人数は、特別奨学金(年額 50 万円)3 名、日本大学大学院法務研究科奨学金第 1 種(年額 98 万円)14 名、第 2 種(第 3 種金額適用年額 98 万円)3 名、第 2 種(年額 50 万円)14 名、第 3 種(年額 98 万円)4 名、第 4 種(年額 50 万円)3 名とした。(達成度:A)

○事業計画:継続教育の検討

事業概要:実務に携わる法曹関係者に対して、最新の専門的知識等を提供するための研修コース等の設置又は法科大学院の開講科目の履修できる制度の構築を検討する。

進捗状況:法科大学院教育の改善・充実に向けた施策として、法曹有資格者に対する展開・先端科目群の授業への積極的受入れを主とした科目等履修生制度を平成 27 年度から実施し、本研究科の教育力を活用した継続教育の充実を図る。(達成度:A)

○事業計画:夜間課程・長期履修制度の検討

事業概要:社会人等の多様な人材の法科大学院での学修を支援するため、夜間課程や 3 年を超える教育課程を設定することができる長期履修制度の構築を検討する。進捗状況:平成 27 年度入学者から平日昼間以外に夜間・土曜日に授業を開講することとした。また、職業を有している等の事情により、学修時間の確保が困難である学生のために、標準卒業年限を超えて計画的に教育課程を修了できるよう長期履修学生制度を導入した。(達成度:A)

○事業計画:サバティカル・リブ制度の制定

事業概要:専任教員の研究活動の支援制度のさらなる充実をはかり、在職教員の研究活動の活性化をはかる。

進捗状況:サバティカル・リブ制度について、平成 26 年度から施行できるよう内規を制定した。今後は、サバティカル・リブ制度による最大 6 か月間の適用期間を利用した海外学術交流等ができるよう支援体制の強化に努める。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:授業(クリニック・ローリング)の一環として無料法律相談の実施

事業概要:学生参加型の無料法律相談を通じて地域・社会に貢献する。従来の新聞折り込みに加えて、千代田区役所及び神保町出張所を通じて相談者を募り、広く地域社会に貢献する。

進捗状況:5月27日から7月1日の毎週火曜日各1時間、授業の一環として無料法律相談を実施し、6名の相談を受けた。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:専任教員組織の充実

事業概要:中期的な人事計画を策定し、助教の昇格の検討及び若手研究者等の採用により、長期・継続的に教員組織の充実、年齢構成の適正化を図る。

進捗状況:平成 26 年 10 月 3 日付けで民事系教授を 1 名採用した。今後も、定年を迎える教員の充足を行うため、若手研究者教員を採用し、教員組織の充実、教育研究の向上を図るための採用計画を継続して実施する。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:お茶の水キャンパス総合開発検討委員会の中間答申に基づき、大学院法務研究科校舎を水道橋の通信教育部校舎へ移転する。

事業概要:「司法の日大」の復活に向けた法学部との更なる連携強化が目的で、図書館や模擬法廷、学生ホール等は法学部の施設を共用して、施設の効率的運用を図る。

進捗状況:予定どおり平成26年11月上旬に校舎移転を完了し、効率的運用を図るため、法学部との連携を図り

ながら業務遂行中である。(達成度:A)

法学部・法学研究科・新聞学研究科・知的財産研究科

○法学部

【教育研究】

- 事業計画:貴重書データの登録
事業概要:図書館システムに、貴重書の書誌・所蔵情報を登録する。
進捗状況:所蔵情報の登録は完了し、平成25年度に引き続き書誌情報を登録している。(達成度:B)
- 事業計画:貴重書の電子化
事業概要:ブックリーダーを利用し、貴重書の電子化を行う。
進捗状況:平成25年度に引き続き、専門領域の教員の協力を得て、スキャンする貴重書の優先順位を決定し、電子化作業を進めている。(達成度:B)
- 事業計画:図書館の日曜開館
事業概要:年度内30回、日曜開館を実施する。
進捗状況:当初の計画に従い、年度内に30回開館し、1日あたりの延べ入館者数は約180人~600人、年度合計では8,230人であった。学生の学術研究環境の向上や定期試験、資格試験時に学生に対して利便を図ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア教育講座の充実
事業概要:社会に出てから各方面で活躍できる基礎力、自己の進路決定に向けた意識付けの強化を図り、幅広い知識の習得を促進。
進捗状況:就職(進路)指導委員会と連携のもと、ニュース検定試験・日本語検定、日経講座「ビジネスの基本語」、キャリアコンサルタントによるキャリア教育講座の実施など、就職以外の選択肢について学生に熟考させる機会を種々提供した。(達成度:A)
- 事業計画:業界・職種研究カンパニの充実
事業概要:就職戦線の変化(説明会開始-3年次3月、選考開始-4年次8月)に伴い、種々の情報の分析・研究から諸々の技術的対策等を早期から実施し、かつさらなる内容の充実により実力向上を図る。
進捗状況:前期には就職に関する総合的なカンパニを実施して、就職に対する意識付けをし、後期には、専門カンパニ、各企業の協力のもと、業界や職種についての理解を深めるための様々なカンパニを実施した。(達成度:A)
- 事業計画:保護者への情報提供
事業概要:保護者に対して適切な情報を提供することにより大学・家庭の双方から学生をサポートすることにより学生の就職への意識を高める。
進捗状況:後援会総会において、外部招へい講師および就職指導委員長による、近年の就職戦線や採用情報等について講演を実施し、その後相談コーナーにおいて個別に就職相談に応じるとともに、「保護者のための就職活動応援ブック」を3年生の保護者に郵送した。(達成度:A)
- 事業計画:学務システムの導入
事業概要:新カリキュラムの導入に伴い、WEB履修や学生カレッジ等、現在のニーズにあったシステムを導入する。
進捗状況:新カリキュラムにも対応した学務システムが導入され、学生情報の共有化が図られた。また、WEB履修を導入したことで早期に履修が確定し、より円滑に授業を行えるようになった。(達成度:A)
- 事業計画:新カリキュラムの導入
事業概要:平成25年3月の現在のカリキュラムの完成を踏まえ、平成26年4月より semester 制度を主軸とした新たなカリキュラムを導入する。
進捗状況:平成26年4月の新入生より、semester 制度を主軸とした新カリキュラムの運用を開始した。専門科目を基幹科目、展開科目、演習関連科目と区分し、体系的な教育を学年進行のもと行って行く。(達成度:A)
- 事業計画:授業アンケート結果集計内容の変更等を含めたFD活動の充実・強化
事業概要:現在実施している授業アンケート結果の学生への情報公開及び教員アンケートの実施等、教育のより一層の向上を目指した検討を行う。
進捗状況:学生へのアンケート結果の公開に向けて、具体的な内容等を検討している。また、法学部FD委員会において、教員から、授業アンケート結果を踏まえた授業改善提出の検討を行っている。(達成度:B)
- 事業計画:学習ポートフォリオの導入
事業概要:新カリキュラムの導入に伴い、クラス担任制を設定する予定であり、このクラス担任制及び導入予定のポートフォリオを中心として、学生の学びを最大限促進させる。
進捗状況:新カリキュラムの導入により、初年次教育科目として、クラス担任制の運用が行われ、学生の学びの意識の向上はできたが、引き続き、学習ポートフォリオの導入は検討していく。(達成度:B)
- 事業計画:大学生基礎力調査(1・2年次対象)
事業概要:毎年変化する「学生の実態」や「成長度」を経年で把握することにより、入試広報・中退防止・キャリア教育・初年次導入教育等への向上が期待される。
進捗状況:調査を実施し、その結果について関係部署等にフィードバックしている。今後も引き続き調査を継続し、分析した結果をフィードバックすることにより教育の向上を図る。(達成度:A)
- 事業計画:電子資料の導入
事業概要:法学部の学生・教職員に必要な電子資料を導入し、学術情報を収集できる環境を整備する。
進捗状況:現在14種類のデータベースを保有しており、本部総合学術情報センター等が提供している電子情報とともに、本学部ホームページの図書館ページにリンクして利用できるようにしている。(達成度:B)
- 事業計画:研究所研究員の受入れ
事業概要:研究所にて研究員の受入れを行う。
進捗状況:3名の再委嘱を行い、新規1名受入れた。(達成度:A)
- 事業計画:専門職養成研究室
事業概要:司法書士・税理士を目指す学生のための研究室を開催すると同時に、事業内容の見直しを行う。

進捗状況:司法書士科・税理士科研究室生に対し、本試験科目の講座を実施し、合格者を輩出しており、更なる充実を図っている。(達成度:A)

- 事業計画:学術研究の推進
事業概要:領域研究会の実施及び研究成果の出版
進捗状況:研究会 26 回、法学紀要第 56 巻の発刊 (達成度:A)
- 事業計画:共同研究の再編
事業概要:研究所として実施してきた共同研究の成果を評価し、研究体制の改廃を行うと同時に、新たな学際的研究プロジェクトを実施する。
進捗状況:研究課題を「東アジアと日本政治」と新たに定め、その研究成果を学内紀要へ発表した。(達成度:A)
- 事業計画:研究所研究員の受入れ
事業概要:研究所にて研究員の受入れを行う。
進捗状況:1 名の再委嘱を行い、共同研究にて研究推進の役割を担った。(達成度:A)
- 事業計画:学術研究の推進
事業概要:領域研究会の実施及び研究成果の出版
進捗状況:研究会 2 回、法学紀要の発刊 (達成度:A)
- 事業計画:研究所研究員の受入れ
事業概要:研究所にて研究員の受入れを行う。
進捗状況:3 名の再委嘱を行う。(達成度:A)
- 事業計画:学術研究の推進
事業概要:領域研究会の実施及び研究成果の出版
進捗状況:研究会 2 回、紀要『Comparative Law Vol. 31』の発刊 (達成度:A)
- 事業計画:研究所研究員の受入れ
事業概要:研究所にて研究員の受入れを行う。
進捗状況:付置研究所にて、2 名の再委嘱を行い、さらに新規 1 名受入れた。(達成度:A)
- 事業計画:学術研究の推進
事業概要:領域研究会の実施及び研究成果の出版
進捗状況:研究会 1 回、紀要『ジャーナリズム&メディア Vol. 8』の発刊 (達成度:A)
- 事業計画:研究所研究員の受入れ
事業概要:研究所にて研究員の受入れを行う。
進捗状況:なし (達成度:C)
- 事業計画:専門職養成研究室
事業概要:弁理士を目指す学生のための研究室を開催すると同時に、事業内容の見直しを行う。
進捗状況:弁理士科研究室生に対し、本試験科目の講座を素養レベルに応じて実施し、継続的に合格者を輩出しており、更なる充実を図っている。(達成度:A)
- 事業計画:学術研究の推進
事業概要:領域研究会の実施及び研究成果の出版
進捗状況:研究会 10 回、紀要『日本大学知財ジャーナル Vol. 8』の発刊 (達成度:A)
- 事業計画:保健室の整備・充実
事業概要:保健室の設備用品等を更新する。
進捗状況:保健室内の内装及びレイアウトの変更、備品の更新、ベッド室の更新を行った。2 台あるベッドの仕切りを簡易カーテンからパーテーションに変更し、利用者のプライバシー保護を高めた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:千代田区立図書館との相互協力
事業概要:利用条件を満たす千代田区民に図書館利用サービスを提供する。

進捗状況:平成 26 年度の千代田区民の利用登録者は 18 人、延べ入館者数は約 550 人であり、大学図書館として地域社会に貢献している。(達成度:B)

- 事業計画:法律相談会・行政相談会の開催
事業概要:無料法律相談会(定期・巡回)、行政相談会を行うことで、本学の研究成果の社会的還元を具現化した形である。
進捗状況:法律相談会としては、平成 26 年 11 月 23 日(日)茨城県水戸市生涯学習センターにおいて、巡回無料法律相談会を開催した。併せて、定期無料法律相談会を、法学部 3 号館において年間 8 回開催した。行政相談会としては、学部祭期間中に「行政なんでも相談」として 2 日間相談窓口を開設した。いずれも、一般社会への貢献と住民との交流活動として大きな成果を挙げた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:創設 125 周年記念事業の実施
事業概要:法学部校友会と連携し、校友 OB による講演会やホームジングデー等各種イベントを行う。
進捗状況:10 月 4 日に記念式典・祝賀会を開催し、教職員と OB・OG の計 244 名が出席した。また、11 月 1 日にはホームカミングデーを開催し、107 名の OB・OG が参加して親睦を深めた。(達成度:A)
- 事業計画:受験生向け HP・モバイルサイトの充実化
事業概要:年々、HP・モバイルサイトともにアクセス数が増加していることから、引き続き受験生にとって有益な情報を提供するためにコンテンツの充実化を図り、志願者増加へつなげる。
進捗状況:コンテンツの充実を図り、受験生にとって必要と思われる情報を掲載した。しかしながら、志願者数の増加に結びつかなかったため、今後分析を進め、掲載内容の見直しを行う。(達成度:B)
- 事業計画:法曹資格取得希望学生への対応
事業概要:法曹資格取得希望学生に対し、法科大学院進学や司法試験予備試験合格及び司法試験合格を目的とし、個々の技能の向上を図る。
進捗状況:法曹資格取得希望学生に対し、法科大学院進学や司法試験予備試験合格及び司法試験合格のための各種講座を実施し、法科大学院進学者や現役の司法試験予備試験合格者を輩出しており、更なる講座の充実を図っている。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:本館 8 階～9 階研究室空調更新工事
事業概要:教員の教育・研究環境の向上
進捗状況:平成 26 年 4 月～5 月にかけて空調更新工事を実施。完了した。(達成度:A)
- 事業計画:図書館地下 1 階貴重書庫内空調機更新工事
事業概要:学術資料の保存環境の向上及び教育研究環境の向上
進捗状況:平成 27 年 1 月～3 月にかけて空調更新工事を実施。完了した。(達成度:A)
- 事業計画:本館保健室内改修工事
事業概要:学生教育環境の整備による学生への福利厚生環境の向上
進捗状況:平成 26 年 7 月～9 月にかけて改修工事を実施。完了した。(達成度:A)
- 事業計画:本館外壁及び内部(講堂・便所改修工事)
事業概要:建物の耐久性の強化による教育環境の拡充

進捗状況:平成 26 年度に東側トイレ及び教室の内装改修を行い、完了した。(達成度:A)

○事業計画:5号館新築工事

事業概要:学生の就学環境の向上

進捗状況:平成 26 年 4 月より着工し、現在計画通りに工事を進め、平成 28 年 2 月竣工予定である。(達成度:B)

○事業計画:3号館新築工事

事業概要:学生の就学環境の向上

進捗状況:平成 26 年度より、設計開始である予定が、学部資金長期計画との調整を付ける必要があり、未着手となっている。(達成度:C)

文理学部・文学研究科・総合基礎科学研究科

○文理学部

【教育研究】

○事業計画:高・大連携教育の拡充

事業概要:付属高校の教員に対して、教材となりうる基礎データをネットワーク上に提示し、高校教員の教材作成の支援を行う。

進捗状況:教材の提示は一定数の確保が終了しているが、高校教員の活用実態の検証がなされていない。今後、高校教員との連携を一層強化する方法を再検討する。(達成度:B)

○事業計画:教職志望者への支援

事業概要:平成 26 年度より、これまでの教職指導室に代わる「教職支援センター」を設置し、免許取得、ボランティア、採用試験(求人に関する情報提供、試験対策講座)、卒業生へのフォローなど教職志望学生への窓口を一元化した。

進捗状況:教職支援センターを設置したことにより、これまで教務課・就職指導課・教職指導室と分散していた教職支援窓口を教職支援センターに集約し、学生の利便性を図ることができた。また設置に伴い、3・4 年生の採用試験対策に加え、低学年から意識を高めるために 1・2 年生向けの説明会・講演会等を回数・内容共に充実させることができた。また、昨年度までは教員が自学科の学生へ個別に紹介していた教職ボランティアについても、教職支援センターに情報を集約した。全学科対象の説明会を今年度 3 回開催し、学部生・大学院生計 400 名が登録、うち 143 名が実際に教職ボランティアに参加した。(達成度:A)

○事業計画:外国語教育センターにおける外国語能力の向上

事業概要:学生の所属学科を問わず外国語運用能力を向上させるための学習支援を行う。さらに外国語教育科目のうち英語科目については同センターで統括することを検討する。

進捗状況:課外講座、各種外国語検定情報・受験機会の提供、学習や留学等の相談・指導を行った。また、英語科目については、同センターでクラス分けなどを行った。(達成度:A)

○事業計画:教育の質の向上への取り組み

事業概要:文理学部 FD 委員会に設置された専門委員会が「学生 FD ワーキンググループ」による文理学部 FD 活動の環境整備を行い、活動の支援を継続する。

進捗状況:学生 FDWG の学生を、8 月に京都産業大学にて開催された「学生 FD サミット 2014 夏」と、10 月に東洋大学にて開催された「学生 FD フォーラム」へ派遣した。本部主催の学生 CHAmmit にはコメンターとして参加し、運営の中心的役割を担った。また、学部内で行われた FD カフェ、FD 講演会にも積極的に参加、聴講し、意見交換を行ったほか、プロジェクト教育科目においては、学生提案型授業「2020 年オリンピックの姿」を企画・開講し、多くの受講生から好評を得た。FD 委員会は、学生 FDWG の活動に対し財政的支援を行ったほか、提案の実効性に資する支援を行った。(達成度:A)

○事業計画:キャリア教育に関する講座の開講

事業概要:総合教育科目内にて、キャリアデザイン科目を 6 コマ開講。社会人講師が登壇し、様々な職業や生き方を考える講義形式や、自己実現や職業選択についてのワーク形式も交えて実施する。

進捗状況:平成 26 年度は本学出身著名社長やジャーナリストなども招聘し、学生との議論も活発に行われた。また東京経営者協会とも提携し、出前授業という形で様々な分野で活躍する多様なキャリアの理解を進めることができた。平成 26 年度に登壇した社会人講師は 22 名となった。(達成度:B)

○事業計画:大学院生への研究支援

事業概要:従前の奨学金制度を見直し、特に博士後期課程の大学院生の研究活動に対する支援を充実させる。

進捗状況:博士後期課程在籍学生に対し、研究活動を直接的に支援する制度を制定し、運用を継続している。大学院生の研究活動への直接的な財政的支援体制を充実するとともに、研究奨励費の申請・報告手続きの過程を通じ、将来、学外研究費を獲得するための手続きに習熟する機会としての間接的な効果も期待できる制度で運用を継続している。(達成度:A)

○事業計画:経済的困窮者に対する奨学金制度の充実

事業概要:後援会奨学金の運用

進捗状況:後援会奨学金について、父母(父母がいない場合は、代わって家計を支えている人)の合計収入が 600 万円以下である者を対象として、経済困窮者 50 名に対し、計 12,000,000 円を給付した。(達成度:A)

○事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置

事業概要:授業料等の減免措置

進捗状況:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置に関する規程に基づき、対象者 46 名に対して授業料減免した。(達成度:A)

○事業計画:文理学部学術出版助成制度

事業概要:専任教員の研究成果を公開するため、出版が困難と認められる学術論文等の出版に対し、助成を行う。

進捗状況:平成 26 年度は申請が 3 件あった。制度は既に整備完了しており、今後も本学部の研究成果を広く社会に還元していくことを目指し、外部研究費を獲得することも目指す。(達成度:A)

○事業計画:科学技術振興・戦略的創造研究推進事業

事業概要:地圏熱環境の変化が地下物質循環や微生物生態系に及ぼす影響を考慮した地下水・地圏熱利用のための環境影響評価ツールの開発を行う。

進捗状況:平成 26 年度は、東京都及び埼玉県南部において、地下水利用に関わる有害物質汚染の可能性に関する研究を実施した。その結果、特定の地層にその可能性があること、また分布域を面的に表し、評価マップの作成を行った。(達成度:A)

- 事業計画:文理学部科学研究費再申請支援研究費(文理学部)
事業概要:科学研究費の申請で当該年度に不採択となった研究課題に対して、研究者が継続的な取組みを行うことで、研究力を強化・充実させるために必要な経費を支給する。
進捗状況:平成25年度に新設し、不採択者への研究支援を行ったが、その結果、16件中5件が採択された。平成26年度も引き続き実施しており、その検証を平成27年度に行い、見直し等の材料とする。(達成度:B)
- 事業計画:科学研究費の申請及び機関管理の拡大
事業概要:専任教員が任期満了後も継続して計画する科学研究費補助金の申請及び機関管理を行う。
進捗状況:平成24年に制度化し、平成25年度に修正を行い、実施している。この制度によって、平成25年度は6名から申請があり、翌年度の科研費に2名の教員が採択され、文理学部において研究を継続している。平成26年度には6名の教員からの申請があった。また平成26年度に制度の拡大を実施し、付置研究所研究員も平成27年度から機関管理の対象者とする姉妹制度を制定した。(達成度:A)
- 事業計画:ホームcomingデーの開催
事業概要:文理学部校友会とタイアップし、卒業生に大学を開放するとともに、校友の愛校心の増加および校友会入会者増大を期待し、ホームcomingデーを開催する。
進捗状況:学部祭開催期間中の平成26年11月1日(土)に、教職に関する交流イベントやオリンピックメダリストとの交流イベントなどを中心としたホームcomingデーを実施し、530名の参加があった。(達成度:A)
- 事業計画:選書ツアー
事業概要:学生自身に選書をさせることで、図書館への興味・関心を喚起し、図書館の利用促進や学生本来のニーズに応える。
進捗状況:平成26年度は2回の選書ツアーを実施し、参加者は合計16名で。選書基準による選定、重複調査を踏まえ、合計205冊を購入した。(達成度:A)
- 事業計画:就職意識の高い学生への選抜就職支援
事業概要:就職意識の高い3年生を選抜し「本気就職塾」を実施
進捗状況:67名の学生に早期に就職活動のノウハウを提供したことにより、学年をリトする学生を育成することが出来た。また現在、難易度の高い企業にも挑戦している。(達成度:A)
- 事業計画:OB・OG懇談会の実施
事業概要:民間企業や公務員として働くOB・OGを招聘し、仕事の内容や就職活動体験を聞く懇談会の実施
進捗状況:OB・OGの仕事や就職活動体験を聞いたことにより、職業意識及びこれから何をしなければならぬかを明確に理解させることが出来た。(達成度:A)
- 事業計画:優良企業合同セミナーの実施
事業概要:OB・OGが在籍し、業界シェアを有する優良企業に特化した合同説明会の実施
進捗状況:参加企業のほぼ全てから毎年内定者が出ており、学生にとっても優良企業の探し方が理解出来た。(達成度:A)
- 事業計画:就職が「ト」ブックの作成
事業概要:3年生に向けた就職が「ト」ブック「シ」ョブ「ガ」ト」の作成

進捗状況:4年生内定者、OB・OG、企業人事担当者など約150人を取材し作成するため、先輩たちの就職活動のノウハウを伝えることが出来た。(達成度:A)

- 事業計画:インターシップの実施
事業概要:教職及び公務員関係のインターシップの実施
進捗状況:提携を結んだ公立・私立学校及び地方自治体等でインターシップを体験させ、将来の仕事への理解と意欲を醸成させることが出来た。(達成度:A)
- 事業計画:4年生未内定者への就職支援
事業概要:求人情報配信及び面接会等の事前研修会の実施
進捗状況:企業からとどいた求人情報を約350件配信出来た。また、国、地方自治体、ワークや民間企業の事前研修会に参加した学生からも内定者を数多く出すことが出来た。(達成度:A)
- 事業計画:保護者向け就職活動説明会
事業概要:就職活動期を迎えた3年生の保護者に向け、保護者が就職活動を支援できることと、文理学部就職指導課の取り組み等を紹介する。
進捗状況:6月21日(土)に人文・社会・理系に分かれて、就職活動期を迎える3年生、大学院1年生の保護者を対象として説明会を開催し、442名が来校された。当該年度の3年生から、就職活動時期が後ろ倒しになるため、学生のこれからの就職活動の流れや概略、就職指導課の取り組みと支援事業を説明し、理解を深められた。(達成度:A)
- 事業計画:ラーニングコミュニティ
事業概要:大学図書館における学びの共有スペースの設置
進捗状況:学部全体のキャンパス構想が検討される中で、ラーニングコミュニティを図書館内ではなく、新本館(仮称)の1階部分に設置する方向で設計が進められており、運用等に関しても今後継続して検討を行う。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:公開講座の実施
事業概要:平成26年度は、世界文化遺産に登録された「富士山」を前期テーマに、また後期は、がらりとテーマを変え、混沌とした時代を生きる現代人にとって「希望」とは何かをテーマに講座を実施した。
進捗状況:平成26年度は、前・後期1名ずつ外部からの講師をお願いし、研究者とは違った視点からの講義を実施した。また前期のテーマ「富士山」は、文学、歴史、地理、地学と多方面からアプローチされた講義となった。前・後期8回ずつ開講し、受講者は167名であった。(達成度:A)
- 事業計画:地域住民等への開放
事業概要:地域住民や卒業生等に図書館を開放することにより社会貢献を図る。
進捗状況:平成21年に世田谷区教育委員会と世田谷区民の大学図書館利用に関する覚書を締結して以降、継続して地域住民への利用が行われており、卒業生の利用と共に積極的な社会貢献を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:地域貢献事業の実施
事業概要:文理学部心理臨床センターにおいて、地域貢献活動として3歳までのお子さんと保護者を対象に「桜っ子カフェ」を開催し、近隣に居住する子育て世代の支援を行った。また、同時に臨床心理学専攻の学生の貴重な勉強の機会ともなっている。

進捗状況:すでに地域に定着しつつあり、参加希望者が増え続けている。平成26年度は年間19回実施し、各回60名前後の参加者を集めている。(達成度:A)

- 事業計画:資料館企画展の実施
事業概要:人文科学・社会科学・自然科学といった文理学部の教育研究分野に関する資料の収集、保管、調査研究並びに展示を行い、教職員、学生及び一般の利用に供し、合わせて本学における教育、研究成果を社会に還元する。
進捗状況:平成26年度は3回の企画展を計125日間開催し、入場者数は、延べ6,444名であった。(達成度:A)
- 事業計画:成城警察ボランティア(SVS)の実施
事業概要:公務員を志望する学生を対象に、成城警察が主催する防犯キャンペーンなどの取り組みに参加
進捗状況:継続的に参加し、成城警察署長から感謝状を授与される学生はいるが、毎回の参加者は2~3人に留まっている。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:オープンキャンパス等の実施・拡充
事業概要:オープンキャンパスを7月及び9月に実施し、付属高等学校等生徒を対象とした体験授業を9月に実施する。企画内容については、広報委員会で協議し、受験生が求める情報を提供できるよう準備する。
進捗状況:7月20日(日)に夏季オープンキャンパス、9月21日(日)に秋季オープンキャンパスを実施した。夏季は6,799名、秋季は2,646名の来場があった。また、9月21日(日)午前中には付属高等学校生徒向けに体験授業を実施した。実施月の違いにより受験生の意識が異なるため、夏季オープンキャンパスでは、学科企画を重視し、多くの学科を見学してもらうことで、本学部への興味を喚起した。一方、推薦入学試験や志望校の絞り込みが迫った時期に実施した秋季オープンキャンパスでは、進学相談コーナー等での対応を重視することで、本学部への進学の動機付けを喚起した。(達成度:A)
- 事業計画:防災備蓄
事業概要:災害発生に備え、カンパン・飲料水7,200名分を確保する。
進捗状況:平成26年度は東京都帰宅困難者対策条例(従業員が施設内に留まれるように、3日分の水・食料・その他必要物資の備蓄が努力義務となっている)にできるだけ沿えるように、カンパン・飲料水を7,200名分確保すべく購入したのに加えて、マホール型トイレ、毛布、災害時用ウェットタオルを別途購入した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:1号館耐震補強工事
事業概要:地下1階部分の耐震補強工事及び屋上防水工事
進捗状況:平成26年8月・9月に地下1階部分の耐震補強及び屋上防水工事が完了した。(達成度:A)
- 事業計画:新5・6号館(仮称)新築工事
事業概要:老朽化の著しい5・6号館及び本館の建替工事
進捗状況:学内での検討の結果、本館も盛込む計画に変更し、基本設計説明会・実施設計説明会・現場説明会を経て、新本館(仮称)に変え、平成27年4月28日に入札を行う。(達成度:A)

- 事業計画:キャンパスマスタープランの構築
事業概要:キャンパスの有効活用を図る将来的基本構想
進捗状況:新本館(仮称)新築に伴う既存施設調査を行った情報を基にインフラの整備計画を進めている。また、老朽化が著しい2号館・総合体育館・第2体育館の建替についても検討に入っている。(達成度:B)
- 事業計画:図書館マスタープランの再構築
事業概要:書架の増設、図書の購入方法、除籍等の図書の在り方の検討を行う。
進捗状況:書架の増設については、予算逼迫のため見送られたが、今後増床の要望を強く求めていきたい。また、電子資料については、近年要望が高まっていることから電子化対応の予算へ組替えを行い、除籍に関しても積極的に行った。(達成度:B)
- 事業計画:次期全学共通図書館システムの構築
事業概要:現行の図書館システムの老朽化に伴い、総合学術情報センター主導の下、新システムの再構築を行う。
進捗状況:文理学部図書館では、平成26年9月に次期全学共通図書館システム導入を実施し、教職員・学生支援サービスの充実と質の向上を図った。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:文理学部施設設備整備資金への組入れ
事業概要:建物の建替及び内部改修のため、毎年度5億円を文理学部施設設備整備資金(第2号基本金)に組入れ、自己資本の充実を図る。
進捗状況:組入計画に基づき、5億円を引当資産に組み入れた。(達成度:A)
- 事業計画:文理学部後援会奨学基金への組入れ
事業概要:経済的理由により学費等の支弁が困難な学生へ奨学金の給付を行うため、毎年度1,000万円を文理学部後援会奨学基金(第3号基本金)に組み入れる。
進捗状況:組入計画に基づき、1,000万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○人文科学研究所,自然科学研究所,情報科学研究所共通 【教育研究】

- 事業計画:学内における競争的研究費(人文科学・自然科学・情報科学 各研究所)
事業概要:応募採択制による同一学科内の複数の専任教員による共同研究と複数学科の専任教員による総合研究を設け、研究費の効率の助成を行う。
進捗状況:平成23年度から3研究所で実施したこの助成制度は研究の活性化に貢献している。今後は学外への大型研究資金獲得へと発展できるような体制づくりを目指していく。(達成度:A)
- 事業計画:研究成果の公開(人文科学・自然科学・情報科学 各研究所)
事業概要:講演会・シンポジウムの開催及び研究紀要等の発行
進捗状況:人文科学研究所では講演会を実施し、各研究所において研究紀要等の発行を予定通りに行なったが、シンポジウムの開催には至らなかった。(達成度:B)

経済学部・経済学研究科

○経済学部

【教育研究】

- 事業計画:経済的困窮者への奨学金給付
事業概要:経済的困窮者に対して、学部又は学部後援会奨学金の給付を行う。
進捗状況:経済的困窮者に対して、学部第3種奨学金(3名採用)、学部後援会第1種奨学金(32名採用)を給付し、経済的支援を行った。(達成度:A)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)被災者への奨学金給付
事業概要:被災者に対して、学部又は学部後援会奨学金の給付を行う。
進捗状況:学部後援会第1種奨学金を給付した。1年生には申請者全員(10名)に、2年生以上は家計基準に照らして選考した者(1名)にそれぞれ給付し、経済支援を行った。(達成度:A)
- 事業計画:学業成績優秀者への奨学金給付
事業概要:学業成績優秀で人物が優れている者に対して、学部校友会奨学金の給付を行う。
進捗状況:特待生に準じた成績を修めた学部2年生以上の学生に対して、学部校友会奨学生として9名を採用し、給付を行った。(達成度:A)
- 事業計画:海外提携校の拡大
事業概要:海外提携校の拡大に向けて大学を視察し、また、すでに覚書を提携している提携校では長期プログラム実施に向けての調査を行う。
進捗状況:平成26年度事業計画のとおり、新規に3大学(米国、カナダ、アイルランド)との覚書を締結し、平成27年度「年間留学プログラム」により各大学へ合計71名が留学する。(達成度:A)
- 事業計画:入学前教育の充実
事業概要:早期入学手続者を対象に、入学までの間に社会科学系の学問概要を紹介するテキストを使った入学前教育プログラムを導入する。
進捗状況:入学前教育の充実を図るため、本年度より『経済学部で学ぶための基礎能力向上プログラム』を導入した。課題の提出率が95%を超え、学問分野の理解が図られた。(達成度:A)
- 事業計画:付属校との連携強化
事業概要:新付属推薦入試制度の導入を見据え、質の高い付属校出身学生を安定的に確保するため、付属校連携強化戦略室担当者が付属校を訪問し、模擬授業、学部説明会を行うとともに、積極的な情報収集を行う。
進捗状況:戦略室メンバーによる全付属校訪問の他、本学部での説明会を主催し情報交換を行った。生徒に対しては、学部説明会・模擬授業等に延べ34回出席し直接的な接触を図った。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:図書閲覧サービス
事業概要:千代田区民で経済・経営分野を研究テーマとする方への開架資料の図書閲覧サービスを提供する。
進捗状況:千代田区立図書館のホームページで広報したが、平成27年2月28日現在の利用者数は0名、登録者数は0名である。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:就職指導支援事業
事業概要:(1)就職支援では、学部3年生を主対象に就職支援セミナーを開講する。就職活動開始時期が変更になることを踏まえ、就職ガイダンスを1回増やすなど約30種90回開講する。(2)国家公務員・公認会計士・税理士等の受験を志す学生のために国家試験受験準備室を設け、受験勉強の支援を行う。(3)資格取得支援講座では、11講座(学内講座6種・学外講座5種)を開講する。開講講座は簿記講座をはじめ、公認会計士・税理士試験対策の講座等で、資格取得のための体制を整える。
進捗状況:(1)3年生を対象とした就職活動支援講座は、33種98回を実施し、さらに3月には2種の企業研究会を開催した。(達成度:A)(2)国家試験受験準備室利用者の中から、現役の学生1名が税理士に合格した。(達成度:A)(3)資格取得支援講座11種を開講。述べ207名が受講し、検定試験の合格者数は、日商簿記検定2級8名、証券外務員(二種)7名、販売士2級23名である。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア形成支援事業
事業概要:(1)学部2・3年生を対象にインターシップを正規授業「キャリア形成論」として実施する。(2)学部1年生全員の履修科目「基礎研究」において「キャリア教育」を2コマ実施し、さらに、学部1年生から参加できる講座を約40回開講する。
進捗状況:(1)「キャリア形成論」でのインターシップは、ビジネスコース48名、行政コース22名が実施、それを通して社会人基礎力等が養われ、大学での学修意欲の向上等が図られた。(達成度:A)(2)「基礎研究」でのキャリア教育は、2週間で合計8回実施、高評価が得られた。1年生から参加できる講座は39回開講、1・2年生対象総合ガイダンスの参加者数は大幅に増加した。(達成度:A)
- 事業計画:広報活動の強化
事業概要:JR山手線に窓上連合広告を掲出する。
進捗状況:都内近郊24大学と連合で1年間にわたり窓上広告の掲出を行った。7月～9月はオープンキャンパス、10月～11月は入試日程の告知を行った。(達成度:A)
- 事業計画:新聞広告の掲載
事業概要:読売新聞とタイアップし、新聞紙上で経済学に興味を持たせる広告記事や入試日程等の広告記事を掲載する。
進捗状況:同新聞の社会面で、『経済学への誘い』を皮切りに『生活に必要な経済学』と題した学問分野紹介広告を4回にわたり掲出。オープンキャンパス及び入試日程告知も各2回実施した。(達成度:A)
- 事業計画:ネットワーク環境の整備充実
事業概要:本館コアスイッチ及び内側DNSサーバを更新する。
進捗状況:当初の計画どおり、9月にすべての更新を完了した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:三崎町キャンパス整備事業
事業概要:経済学部校舎をシンボリックな学びの舎とし、更には三崎町地区のランドマーク的存在の確立を目指す。

進捗状況:平成 26 年度中に 3・5 号館の解体が完了し、新校舎建設に着手している。(達成度:B)

○事業計画:情報機器の更新

事業概要:読書コーナー及び大学院自習室のパソコンを更新する。

進捗状況:読書コーナーは 2 か年に分けて更新する計画であり、1 年目は計画どおりに完了した。大学院自習室のパソコン更新はすべて完了した。(達成度:A)

商学部・商学研究科

○商学部

【教育研究】

○事業計画:情報教育センターレイアウト改修工事

事業概要:1 号館 1 階情報教育センターのレイアウトを改修し、グループ学習室を増設する。

進捗状況:改修が完了し、計画どおり平成 26 年 9 月から運用されている。(達成度:A)

○事業計画:情報教育教室の増設

事業概要:PC を使用した形態の授業等の増加に対応すべく、全席に統括された PC を設置した専用の教室を 4 教室改修増設する。

進捗状況:改修が完了し、計画どおり平成 26 年 9 月から運用されている。(達成度:A)

○事業計画:学生学修支援システムの構築

事業概要:学生ポータルシステムの更新及びポートフォリオシステムを導入する。

進捗状況:平成 26 年 4 月から計画どおり運用されている。(達成度:A)

○事業計画:キャリア教育支援

事業概要:1 年次からの大学生活に対する意識付けを行い、職業選択に至るまでを段階的かつ体系的に構築し、就職意識の向上を図る。

進捗状況:初年次教育と 2 年次対象のキャリア講座の連携を図った。また、就職行事は学生の意識付けや社会との接合を考慮し、具体的な就職対策まで体系的に設置した。(達成度:A)

○事業計画:海外大学等との交流事業拡大等

事業概要:交流・研修を通じ国際社会への適応力向上を目指す。

進捗状況:フランス・オーストラリアグループとの交流に加え、新たにオーストラリア・モナッシュ大学短期語学研修を実施した。(達成度:A)

○事業計画:大学院自習室として使用するための図書館 3 階 LL 教室改修工事及び図書館 2・3 階の改修・PC 増設

事業概要:図書館 2 階には、いろいろ型思索エリア及び AV コーナーを併設する。3 階には、大学院生の専用自習スペース及びアクティブ・ラーニング・ルームを設置する。

進捗状況:大学院自習室は平成 26 年 4 月から計画どおり運用されている。アクティブ・ラーニング・ルーム等も学生の利用者数が増大し、新しい形態の学習エリアとして認識されている。(達成度:A)

○事業計画:横断的プロジェクト共同研究実施(特定プロジェクト共同研究として実施)

事業概要:既存の研究所等の枠を超えた学際的な共同研究を実施することにより、学内の研究活動を活性化させ、将来的には大型外部資金獲得が可能なプロジェクトへの発展を目指す。

進捗状況:「IEO 市場の変貌とグローバル展開」(研究代表者:相原 修 教授)を実施し、精力的に活動した。平成 27 年度も継続実施する。(達成度:A)

○事業計画:在校生を活用したイベントの実施

事業概要:在学生が新入生に接することによりリーガシップの能力を育成する。

進捗状況:平成 26 年度新入生イベントにおいて、在学生によるガイダンスを行った。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:広報活動の強化

事業概要:中期広報戦略により情報を体系的・統合的に発信し、本学部及び大学全体の社会的価値を高める。

進捗状況:受験生等に教育活動、研究活動に関する情報を積極的に発信し、本学部及び大学の社会的価値を高めることにより、就職支援、受験生の獲得に繋がった。(達成度:B)

○事業計画:オープンキャンパスの実施

事業概要:商学部を広く社会に周知し、志願者数の増大を目的とする。

進捗状況:ミニオープンキャンパス(5 回)は 1,359 名、オープンキャンパス(1 回)は 2,435 が来場した。(達成度:A)

○事業計画:電子会議システムの導入

事業概要:タブレット端末を使用した電子会議システムを導入し、業務制度向上、経費削減及び会議運営の負担軽減を図る。

進捗状況:平成 26 年 10 月から実施した。ペーパーレス化が促進されコストダウンが達成。配布及び差替え替えの手間が省け会議運営の負担が軽減され、資料管理も徹底できるようになった。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:砧キャンパス新本館(管理・研究棟)(仮称)建設工事

事業概要:既存本館及び 4 号館を解体し、新たに管理及び研究機能を有する新本館を建設する。

進捗状況:平成 26 年 7 月に新本館が竣工した。平成 27 年 4 月には外構工事が完成し、全ての工事が終了する。(達成度:A)

○事業計画:大蔵校地管理棟(仮称)及びグラウンド改修工事

事業概要:大蔵校地に管理棟を新築し、グラウンドを人工芝に改修する。

進捗状況:平成 27 年度に設計、平成 28 年度に工事施工を計画している。(達成度:C)

○事業計画:キャンパス内コンビニエンスストアの出店

事業概要:キャンパス内にコンビニエンスストアを誘致・出店する。

進捗状況:2 号館食堂の一角を改修し、平成 26 年 4 月から営業を開始した。(達成度:A)

○事業計画:カフェハウスの新築

事業概要:キャンパス内にカフェハウスを建設する。

進捗状況:平成 27 年度に設計、平成 28 年度に工事施工を計画している。(達成度:C)

- 事業計画:創設 90 周年記念館改修工事
事業概要:創設 90 周年記念館を女子学生対象の学生寮に一部変更し、改修工事を行う。

進捗状況:平成 27 年度及び 28 年度に設計、平成 29 年度に工事施工を計画している。(達成度:C)

芸術学部・芸術学研究科

○芸術学部

【教育研究】

- 事業計画:芸術教養課程を含む新カリキュラムの実施推進
事業概要:本学部の教育目標に掲げる芸術創造教育並びに芸術総合教育の成果を高める。
進捗状況:平成 24 年度より学則変更によって芸術教養課程が開始されたことで、真の芸術総合教育が促進された。(達成度:A)
- 事業計画:芸術総合講座の実施
事業概要:芸術総合学部としての特色を教育・研究両面において反映できる。
進捗状況:6 講座を実施した。いずれも学生への教育効果が高かった。(達成度:A)
- 事業計画:募集定員のバランスを考えた調整
事業概要:多様化した入試のバランスを考えて入学者の調整を行う。
進捗状況:1 学科でコース別の定員を変更した。(達成度:A)
- 事業計画:教員の教育力の向上を目指すための FD
事業概要:教育に関する教員評価の実施と活用方法を情報として公表。
進捗状況:学生からの授業評価アンケートを教育力向上に活用。(達成度:B)
- 事業計画:地震等に対する特別措置に係る授業料等免除
事業概要:東日本大震災による被災者への継続的経済支援。
進捗状況:23 名の被災学生に対し授業料免除を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:海外交流の活性化 【米国ワシントン州立大学サマースクールの実施】【中国伝媒大学・韓国龍仁大学との交流推進】【欧州の大学交流開発と実施(英国等)】
事業概要:米国ワシントン州立大学サマースクールの実施、中国伝媒大学・韓国龍仁大学との交流推進並びに欧州の大学交流開発と実施を通じたグローバル・マインドの育成。
進捗状況:【米国ワシントン州立大学サマースクールの実施】英会話への恐怖心を取り除き、コミュニケーション力を強化する目的と、心身のバランスを整えるためのフィットネスプログラムを応用した 2 週間の研修を実施(参加者 9 名)した。帰国後、参加者の撮影した写真展を 1 ヶ月半開催し、次年度への広報効果を図った。【中国伝媒大学・韓国龍仁大学との交流推進】中国伝媒大学へは、創立 60 周年記念の式典に参加。また、中国伝媒大学で行われた第一回中国大学生映画祭に参加し、二回目から主催校として参加することを検討することになった。韓国龍仁大学との交流は、日韓関係の現状から動いていないが、今後の進展に期待する。【欧州の大学交流開発と実施(英国等)】米国・カリフォルニア州立大学ノースリッジ校との覚書から、今期ハワード研修ツアーを企画し 25 名の参加希望者を集めたが、国際情勢不安定化に伴い安全性を重視し、研修ツアーを延期とした。欧州(英国)では国立ポーツマス大学と 5 年間の学部覚書を締結したことで、今後の交流が期待される。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学芸術学部奨学金第 4 種の新設

事業概要:在学生が海外留学をする際に経済的援助をし、留学を積極的に推進。

進捗状況:9 名の学生に第 4 種奨学金を給付。(達成度:A)

- 事業計画:日藝図書館情報の発信【カクゴ誌の発行】【『日藝・図書館案内』の発行】

事業概要:「顔の見える図書館」方針に基づいたカクゴ誌「日本のマンガ家」シリーズ第三弾と『日藝・図書館案内』内容を一新した機関誌を発行し、日藝図書館への理解と利用を促進する。

進捗状況:タイトルを変更し内容を充実させたカクゴ誌『〇型ポット漫画』および図書館活動誌『日藝ライブ러리』を発行したことによって、日藝図書館への理解と利用とが進んだ。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:日藝賞の授与及び記念講演会の開催
事業概要:第 8 回日藝賞受賞記念講演会【歌手の松崎しげる氏、写真家の坂田栄一郎氏】の開催並びに第 9 回日藝賞受賞者【絵本作家の荒井良二氏、脚本家の中園みづ氏】の投票選出。
進捗状況:第 8 回受賞記念講演会については、両氏合わせて 839 名の来場者を迎え大盛況となった。第 9 回受賞者選出投票では、歴代累計最多投票を獲得した荒井良二氏を選出し、日藝賞授与式への本人出席及び受賞記念講演会を実施することが内定している。(達成度:A)
- 事業計画:江古田・所沢両校舎にて公開講座を実施
事業概要:地域(練馬区・所沢市)への教育研究成果の還元と交流の促進が図れる。
進捗状況:(1)練馬区との共催で江古田校舎公開講座(前期)を実施し、225 名が受講した。(2)所沢校舎公開講座(後期)を実施し、73 名が受講した。(達成度:A)
- 事業計画:各学科の得意分野の活用による社会貢献の実施
事業概要:芸術総合学部の特徴を活かした社会貢献活動を行うことにより、教育効果を高める。
進捗状況:学長特別研究「N. 国際救助隊」や練馬区委託事業「練馬区立美術の森緑地」事業等様々な活動を通じて、芸術総合学部としての社会貢献を達成した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:江古田校舎通年化
事業概要:教育の通年化に向けた計画。一貫教育の実現及び経費削減を目指す。
進捗状況:通年化の受け皿となる江古田キャンパス整備事業(第 2 期)が重要整備計画として本部承認されたことに伴い、平成 27 年度予算に計上するとともに校舎建設の設計を内申するなど具体化した。(達成度:B)
- 事業計画:入試対策室の設置
事業概要:学部長直轄で入試・広報対策を多角的に検討。「日藝」の魅力を積極的に発信することで、志願者増を図る。
進捗状況:入試対策室でこれまで企画・立案してきた案件を学部全体でさらに充実させるため、入試対策室の機

能を企画委員会に統合した。受験生にアピールするグッズの作成や、全学科の卒業制作の展示・発表等を集約する「卒業展」を「卒博」にリニューアルし実施した。(達成度:A)

- 事業計画:学部ホームページの充実
事業概要:各界で活躍する日藝らしい卒業生のインタビュー動画を掲載することで、受験生に夢を与え、一層の志願者獲得を目指す。
進捗状況:日藝賞受賞者を中心に各界の第一線で活躍する卒業生・出身者の生の声を掲載し、「日藝の繋がり」をテーマに受験生に語りかけた。(達成度:A)
- 事業計画:危機管理体制の構築
事業概要:大規模災害に備えた防災備蓄品を調達し、災害時における学生・教職員の安全を図る。さらに東京都条例に基づき、帰宅困難者用備蓄品を整備する。
進捗状況:すでに災害時に学生及び教職員の帰宅困難者に配布する非常用防災袋の調達計画を達成し、東京都帰宅困難者対策条例に基づく食料品等の備蓄も両校舎9,000食を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:技術系教員の採用
事業概要:映像制作現場の最新技術に精通した教員を複数採用し、映像技術教育の充実を図ることで、制作現場に強い学生の育成を目指す。
進捗状況:放送学科に技術系教員を採用しており、今後も技術革新の動向を見据え、適正な人材を確保する。(達成度:A)
- 事業計画:学部主催による合同企業説明会の充実
事業概要:多くの学生が就職を希望する業種・職種の企業を招いた合同企業説明会の参加企業数を24社から32社に増やし、より一層の学生の就職活動支援の強化を図る。
進捗状況:平成27年3月10日～13日に江古田校舎東棟において開催し、多数の来場者を得た。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:所沢校舎教室棟・食堂棟トイレ器改良工事
事業概要:和式便器に慣れていない学生に対応するため、洋式便器に交換する。
進捗状況:衛生面の向上を目的に教室棟5か所、食堂3か所、写真・映画・演劇・放送棟3か所の計11か所の便器を洋式便器に交換した。(達成度:A)
- 事業計画:江古田キャンパス整備事業(第2期)
事業概要:経費の削減はもとより、教育の総合性・一貫性を図る目的で、江古田校地に2棟の建物を新築、既存西棟4階を改修し、1キャンパスによる学修環境をつくり江古田通年化を実現する。
進捗状況:平成26年10月に本整備事業の承認を受け、平成27年2月に設計実施についての承認を受けた。現在、設計着手に向けての準備中である。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:文化庁の補助金等への申請
事業概要:「大学を活用した文化芸術推進事業」、「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」補助金等の獲得を図る。
進捗状況:両事業とも文化庁の採択を受け、計画どおり進捗しており、年度末に書類を提出する。(達成度:A)
- 事業計画:第3号基本金引当資産(奨学基金)への組入
事業概要:学生が安心して学業に専念出来る様に、奨学金の充実を図る。
進捗状況:計画どおり2千万円を組入れて、有高は目標

額10億円の内、8億5千万円となった。(達成度:A)

○芸術学研究科

【教育研究】

- 事業計画:教員情報を掲載した芸術学研究科案内冊子GSAの継続作成
事業概要:大学院広報誌として情報を公開するとともに、FD活動においても重要な役割を果たす。
進捗状況:教員の研究内容を公表することによるFD活動を推進中。また、受験希望者への送付により受験生のより深い研究科への理解が得られている。(達成度:A)
- 事業計画:芸術学研究科博士課程研究誌「芸術・メディア・コミュニケーション」の継続発行
事業概要:芸術学研究科博士課程在籍者の研究発表の場として重要な役割を果たす。
進捗状況:後期課程在学者の研究発表の場が欲しいとの声に応じて進められた計画で、図書館でも閲覧できるようになっている。(達成度:A)
- 事業計画:博士論文審査創作成果発表会の開催
事業概要:博士論文(創作系)の審査に加味するため、作品の展示・上映などの発表の場を設ける。
進捗状況:創作系の対象が無かったため、開催せず。(達成度:B)
- 事業計画:新カリキュラムの実施推進
事業概要:各専攻に連携研究部門を新設し、単独の芸術の深化をはかるだけでなく、専攻の垣根を越えた教育効果を図る。
進捗状況:2専攻にて複数講座が開講され、受講生への教育効果を高める指導が実施された。(達成度:A)

○芸術研究所

【教育研究】

- 事業計画:学部研究費(個人・共同)の確保と研究・創作成果の発信の支援
事業概要:学部における研究および創作活動の成果を公表することで社会貢献する。これにより、本学部の社会的な評価を高めるとともに、研究・創作意欲の更なる向上を図る。
進捗状況:学部研究活動は、個人研究92件を採択し、従来レベルを維持。また、本学部における創作研究成果を社会に向けて積極的に発信するため、5件の創作研究活動に対して支援した。(達成度:A)
- 事業計画:学科単位の研究活動支援(学部長指定研究)
事業概要:各学科の特徴を活かした高度な研究拠点を形成し、研究活動の活性化と他大学との一層の差別化を図る。
進捗状況:学部長指定研究として、「N+N展2014 油絵の魅力-うつくしいいろ・かたち-メディアール世代を超えて伝わるもの」等5件の研究を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:補助金獲得を視野に入れた研究活動支援
事業概要:学外研究資金(特に芸術分野の外部資金)の獲得を視野に入れ、本学部の研究活動の一層の活性化を目指した支援を行うとともに、若手研究者の育成を図る。
進捗状況:科学研究費補助金の説明会を開催し、申請を促した結果、新規2件を含む8件が採択された。また、前年度に引き続き文化庁の補助・委託事業に2件が採択された。(達成度:A)
- 事業計画:学科横断的かつ情報発信型の研究活動支援(日藝アートプロジェクト)

事業概要:芸術総合学部の特徴を活かした日芸らしい研究を実施し、その研究内容を学外に対し積極的に情報発信するとともに、若手研究者の育成を図る。
進捗状況:今年度は日藝アトププロジェクトの採択はなかったが、文化庁の補助事業・委託事業の実施により「音楽の展覧会」等の事業を実施し広く成果を発表した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

国際関係学部・国際関係研究科・短期大学部(ビジネス教養学科,食物栄養学科,専攻科食物栄養専攻)

○国際関係学部,国際関係研究科,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:学部指定学生寮の確保
事業概要:土地・建物は業務委託先の学生寮運営業者からの提供によるもので学部指定学生寮として紹介する。
進捗状況:三島市内に学生寮 5 棟(143 室)を確保し満室である。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学三島後援会特別奨学金
事業概要:三島後援会から支援を受け、自宅通学不能な者に対しては「下宿補助」、また、新幹線通学者に対しては「新幹線通学補助」奨学金として春期、秋期の年 2 回、選考の上奨学金給付する。
進捗状況:平成 26 年度日本大学三島後援会特別奨学金給付者述べ人数 202 名「下宿補助」162 名(国際関係研究科 2 名, 国際関係学部生 151 名, 短期大学部生 9 名)「新幹線通学補助」40 名(学部生 40 名)(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:エコキャップ運動の推進
事業概要:ペットボトルのキャップ収集を行い、再資源化を促進し、その売却益でポリオクチンを寄贈する。
進捗状況:平成 27 年 2 月現在キャップ収集総数 49,390 個,ポリオクチン 57.4 人分(平成 26 年度分 23,805 個,ポリオクチン 27.6 人分)(達成度:A)
- 事業計画:図書館内の国際関係資料室の市民への開放、国連デーや EU フロントシップウィーク企画展示、上田彦次郎がラス乾板写真展「昭和 30 年頃の伊豆箱根」の開催
事業概要:市民を対象とした国連・EU を理解するための展示会や所蔵資料の公開展示を開催することにより、市民の国際理解や地域の歴史理解を図るものである。
進捗状況:EU フロントシップウィーク:パネル展示「コアチアの魅力を知る」/国連デー:「平和への願い」スケッチ大会 in サラゴサ入賞作品展/上田彦次郎がラス乾板写真展「昭和 30 年頃の伊豆と富士山」/写真集『上田彦次郎がラス乾板 昭和 30 年ごろの伊豆と富士山』出版(達成度:A)

○国際関係学部,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:退学者防止策の実施
事業概要:退学者防止の一環として、入学時にウォーキングラリー、秋季にクラス対抗球技大会を実施。学園祭時にはクラス企画(模擬店等)の参加者を募集している。

- 事業計画:研究成果の活用による産学官連携活動の実施
事業概要:研究成果の公開による外部研究資金の獲得や、学長特別研究の実施による他学部の研究者と協働で産学官連携活動を実施し、研究・創作活動の更なる活性化を図る。
進捗状況:今年度は、企業等からの 3 件の委託研究のほか、最終年度となる学長特別研究を他学部(理工・生産・歯・生物等)との協働により実施するなど、学内外へ広く成果を発表した。(達成度:A)

進捗状況:クラス対抗球技大会の参加者数は約 8 割の学生が参加し、ウォーキングラリーの参加者数は約 9 割の学生が参加した。学園祭参加クラスは 6 クラスであった。(達成度:B)

- 事業計画:N 方式入試の導入
事業概要:日本大学統一入試(N 方式第 1 期)の導入。併願者数の増加、A 方式の地方会場を廃止することができ経費削減につながる。
進捗状況:国際関係学部では 176 名、短期大学部(三島校舎)では 21 名の出願があった。統一入試により問題作成費の軽減、地方会場試験分の負担を軽減できた。(達成度:A)
- 事業計画:シラバス管理の学務情報システム実施化
事業概要:シラバスシステムを教務事務システム内に取り込み一元管理する。
進捗状況:既存の教務事務システムと一体化したため、学生のシラバス検索や閲覧が簡便になり、履修登録をしながら、シラバスを参照することが可能となった。また、教員のシラバス入力作業が簡素化され、予算としてもシラバスの印刷費が削減された。(達成度:A)
- 事業計画:キャリアアップのための「英会話講座」の開設
事業概要:就職支援プログラムの一環として、ネイティブ講師が常時英会話のレッスンを行う機会を設け、グローバル人材に求められる英語力のスキルアップを図る。
進捗状況:180 名の学生が受講し、日常英会話・ビジネス英会話能力の向上を図った。(達成度:A)
- 事業計画:就職率向上を図るための事業計画
事業概要:(1)筆記試験対策講座及び模試の実施(2)書類選考・面接試験対策講座の実施(3)公務員試験対策講座の実施(4)合同業界企業説明会の実施
進捗状況:(1)SPI 試験対策講座は言語講座、非言語講座に合計 257 名が受講し、学生自身の弱点を確認し、就職活動に備えた。模擬試験は 274 名が受験し全国レベルでの実力を確認した。(達成度:A)(2)各種講座に延べ 2,477 名が受講し、自己 PR、志望動機の作成を学んだ。また、内定者報告会では先輩から就職活動の実体験を聞くことにより、就職活動の対策や不安解消に繋がった。(達成度:A)(3)本部主催の 3 年生向け教養講座を中心に、低学年向けの入門講座(教養科目、専門科目)は 115 名が受講し、国家公務員一般職を目指す試験対策講座(教養科目、専門科目、集中特訓)は 94 名が受講した。(達成度:A)(4)3 月 19 日から 3 月 22 日の 4 日間にわたり開催し、参加企業は 151 社、参加学生数は延べ 466 名であった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:市民公開講座・エクステンション講座の実施
事業概要:市民公開講座は、近隣自治体の後援を得て年2期・全10講座を開講する。エクステンション講座は、春・秋の2回外国語講座を開講する。
進捗状況:上期市民公開講座(平成26年5月28日より5回、統一テーマ「富士山 世界遺産登録とその魅力」)、下期市民公開講座(平成26年10月1日より5回、統一テーマ「食から考える健康ライフ」)を開催した。エクステンション講座は、春期7講座・秋期6講座を実施した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:Blackboard システム更新
事業概要:eラーニングシステムのサーバー等のハードウェアやソフトウェアのバージョンアップを行う。
進捗状況:従前から、eラーニングシステムを利用した授業を行ってきたが、バージョンアップを行う。なお、平成27年4月からの稼働予定である。授業中にネット上で小テスト等を行うなど、より学生の授業参加を促進させることが期待できる。(達成度:C)
- 事業計画:1133・1328 情報処理教室設備更新
事業概要:11号館及び13号館の情報処理教室をパソコン等機器の更新により情報教育環境の整備を行う。
進捗状況:本校舎11号館及び13号館の情報処理教室のパソコン等機器を更新し、情報教育環境の整備を行った。情報処理教室の教育機器を最新の機種に更新したため、学生の情報処理教育の授業環境が向上し、授業もスムーズに進行した。(達成度:A)
- 事業計画:陸上競技場内人工芝改修工事
事業概要:グラウンドインフィールド部分(10,444㎡)を人工芝化することにより強風時の土の舞上がりや雨天時の水はけを良くする。劣化の進んだグラウンドの整備を行い、安心・安全な教育環境を確保する。
進捗状況:平成26年11月に改修工事完了(達成度:A)
- 事業計画:学内排水環境整備工事
事業概要:9号館横通路側、野球場、グラウンド、図書館北側の側溝の入れ替え工事を行い、キャンパス内の排水環境を良くする。学内の排水環境整備を行い、安心・安全な教育環境の整備を行う。
進捗状況:平成26年12月に整備工事完了(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:寄付金募集
事業概要:「日本大学国際関係学部教育振興募金」の募集
進捗状況:平成27年3月16日現在、校友、在校生の父母から4件109万円の寄付金を受けた。(達成度:B)

○国際関係学部

【教育研究】

- 事業計画:高大連携の強化
事業概要:付属高校との高大連携教育の更なる強化を図る。
進捗状況:平成26年度は、従前より協定を結んでいる付属高校の長崎日大の生徒に対して、定期的(年4回)に模擬授業を実施した。しかしながら、土浦日大及び佐野日大と協定を結ぶ予定で進めていたが、まだ協定締結には至っていない。(達成度:B)
- 事業計画:英語特進クラス(仮称)の新規設置

事業概要:平成26年度から英語特別クラスを設置した。英語力の強化のみならず、英語で行う専門科目の授業を履修することにより、留学者の増加及び英語のスキルアップを目指す。

進捗状況:平成26年度は1年次46名が在籍した。学期末実施のTOEFL-ITPを1年次英語4科目の成績評価の一部とした。平成27年度学部派遣交換留学生(英語圏)として1名が留学予定である。(達成度:B)

- 事業計画:入学前学習支援プログラム実施

事業概要:A0 入試や推薦入試等、入試選抜の早期化に対応し、入学者に対する事前学習支援プログラム(国語及び英語)を課す。

進捗状況:年内の推薦入試等合格者517名に対する入学前教育を実施し443名が受講した。内容として、国語及び英語(A0 入学試験合格者には日本語読解力の課題を追加)の課題を課した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:教授2名、准教授1名、助教3名を採用予定
事業概要:教授は「国際政治・政治学」、「日本語」、准教授は「英語コミュニケーション」、助教は「地域研究」、「日本語」、「英語」で採用し、それぞれの分野を強化する。
進捗状況:教授2名、准教授1名、助教2名を採用した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:御園グラウンド整備 (1)御園グラウンド照明工事 (2)御園グラウンド変電設備改修工事
事業概要:(1)大学女子野球部施設に照明設備を新設する。(2)照明施設を必要とする野球場近くに変電施設を新設する。
進捗状況:(1)平成26年7月工事完了(達成度:A) (2)平成26年7月工事完了(達成度:A)

○短期大学部

【経営・人事】

- 事業計画:助教1名を採用予定
事業概要:助教を採用し「英語」分野を強化する。
進捗状況:助教1名を採用した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:9号館各教室空調機入替工事
事業概要:9号館の教室の空調設備の改修を行い、授業等の環境整備を行う。
進捗状況:平成26年8月に改修工事完了(達成度:A)

○生活科学研究所

【教育研究】

- 事業計画:学術講演会開催及び『生活科学研究所報告』の発行
事業概要:有識者を招へいし、学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表として『生活科学研究所報告』を発行する。
進捗状況:平成26年12月17日に学術講演会(講演者:三浦篤氏、演題:印象派とジェンダー—女性モデル、女性画家をめぐる—)を開催した。平成26年12月8日~20日に研究発表会(ポスター発表による)を開催した。平成27年3月に『生活科学研究所報告』第36号を発行した。(達成度:A)

○国際関係研究所

【教育研究】

- 事業計画：(1) 国際シンポジウムの開催 (2) 学術講演会開催及び『国際関係研究』の発行(国際関係研究所)
事業概要：(1) 国内外から研究者を招き、国際諸問題に沿ったテーマで、国際シンポジウムを開催する。(2) 有識者を招へいし、学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表として『国際関係研究』を発行する。

理工学部・理工学研究科・短期大学部(建築・生活デザイン学科,ものづくり・サイエンス総合学科,生命・物質化学科)

○理工学部,理工学研究科,短期大学部,理工学研究所共通

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画：産官学連携
事業概要：委託研究・共同研究推進による産官学連携研究, 東葛テクノプラザへの参加等。
進捗状況：委託研究・共同研究を積極的に推進し, 研究活動の促進を図っている。平成 23 年度から地域産官共同研究拠点「千葉大学サイエンスパークセンター」へ参加し, 船橋校舎が所在する千葉県域の産官学連携研究・交流を図っている。(達成度:A)

○理工学部,理工学研究科,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画：理工学部学術講演会の開催
事業概要：第 58 回理工学部学術講演会。
進捗状況：6 年前から導入したポスター発表も定着し, 理工学部及び理工学研究科学生を主として多数の発表が行われた。また, 優秀発表者に対する表彰を後日実施した。(達成度:A)
- 事業計画：理工学部学術賞等表彰式の開催
事業概要：第 37 回理工学部学術賞等表彰式。
進捗状況：学術の発展に顕著な功績があり, 本学部における学術の振興と学術水準の向上に資する者として, 理工学部学術賞受賞者を表彰した他, 優れた研究業績を挙げて国内外の学会・協会等の学術団体からの表彰者等を表彰した。(達成度:A)
- 事業計画：教育支援体制の充実
事業概要：パワーアップセンター及びキャリア支援センターの充実。
進捗状況：キャリア支援センターを設置し, キャリアカウンセラーを常駐させる施策が定着した。(達成度:B)
- 事業計画：就職指導対策の充実
事業概要：キャリア教育の充実, 公務員試験対策の充実。
進捗状況：3 年生に対する就職対策講座を充実でき, 4 年生へのフォロー体制も構築できた。また, 公務員試験対策講座でも一定の環境整備ができた。(達成度:A)
- 事業計画：低学年からのキャリア支援の充実
事業概要：低学年向け対策講座の充実, コンピテンシー診断の実施等。
進捗状況：低年次に対するキャリア講座のほか, コンピテンシー診断を 1~3 年生, 短大 1, 2 年生に実施した。「キャリアサポートカ

進捗状況：(1) 平成 26 年 9 月 30 日・10 月 1 日に海外提携校であるインドネシア教育大学(インドネシア共和国・西ジャワ州バンドン市)において開催された国際シンポジウムに本学部から教員 4 名を派遣し, 発表・討論を行った。(達成度:A) (2) 平成 26 年 10 月に『国際関係研究』第 35 巻第 1 号, 平成 27 年 2 月に『国際関係研究』第 35 巻第 2 号を発行した。(達成度:A)

「く」や保護者向けの冊子による啓発を実施した。(達成度:A)

- 事業計画：教員対策講座の充実
事業概要：従来の教員 DVD 講座に, 新たに実力錬成・教職教養, 応用演習・教職教育, 一般教養理数系計 54 コマを導入。
進捗状況：DVD 講座だけでなく, カダグンスや模擬試験を実施した。(達成度:A)
- 事業計画：公務員講座の充実
事業概要：公務員用 DVD の貸出し。
進捗状況：1 次試験対策に続き, 2 次試験対策を充実させた。また, 講座の DVD を貸し出す制度を構築した。(達成度:A)
- 事業計画：リクジョ応援プロジェクト
事業概要：理系女子向け講座・各種イベント・企業とのコラボレーション等の企画。
進捗状況：企業に勤務する理系出身の女性社員に協力いただき, 女子学生の就職の特徴やイベントとキャリア形成等意識付を行った。(達成度:A)
- 事業計画：上位層向け就活プログラム
事業概要：自己分析及びマインドを鍛える発想力を磨く業界・分析講座。
進捗状況：少人数, 申込制で集中的に企業分析を行う講座とプレゼンテーションを行う講座を設置した。(達成度:B)
- 事業計画：国家公務員総合職合格者を増加させるプログラムの開催
事業概要：公務員試験対策講座(駿河台・船橋)開催等。
進捗状況：筆記, 論作文対策だけでなく, 模擬面接を含む面接対策も充実させた。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画：日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展の開催(年 1 回)
事業概要：日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展の開催。
進捗状況：(1) 第 10 回特別展「日大理工のちから VI「精密機械工学科 未来へ向けて」」を平成 25 年 7 月 22 日から平成 26 年 6 月 30 日まで開催。(2) 第 11 回特別展「日大理工のちから VII「海から繋げていく未来 都市空間と海洋環境の融合を目指して」」を平成 26 年 7 月 31 日から平成 27 年 6 月 30 日まで開催。(達成度:A)
- 事業計画：日本大学理工学部図書館(駿河台・船橋)の千代田区民及び船橋市民への開放(館内閲覧及びセルフサービス)
事業概要：大学図書館の地域住民への利用開放。

進捗状況:館内閲覧及びセルフコピーサービスの実施。(達成度:B)

○事業計画:地球温暖化防止への取組

事業概要:キャンパス毎の電力使用抑制計画に基づき実行することにより、地球温暖化対策(二酸化炭素削減)に寄与する。

進捗状況:キャンパス毎設置した電力使用量(テームト)計での監視や空調運転方法の見直しをするなど、省エネルギー化を図った。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:新教員人事制度の施行

事業概要:定年後の教授は、限定的に特任教授(月手当)を委嘱するのみとし、教員組織若返り、年齢構成改善により効率的な人件費支出を図る。

進捗状況:関係内規の制定・改正により、教員人事計画の組織的検討体制を整え、また、平成32年度までの人事計画を定め、当該計画に基づく採用等を行っている。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:駿河台校舎キャンパス整備事業

事業概要:老朽化した建物及び実験施設等の建替えにより、学生・教職員への安全・安心なキャンパスを形成すると共に、周辺住民の災害時の一時避難場所など地域貢献という大学の社会的使命を果たす。

進捗状況:駿河台校舎5・6・9号館の建替えによる南棟(仮称)新築工事施工業者の一部が決定した。さらに都市型機能を生かした教育・研究キャンパスを目指し、北棟(仮称)の重要整備計画が承認された。(達成度:B)

○事業計画:駿河台校舎及び船橋校舎各建物耐震補強工事関係

事業概要:駿河台校舎及び船橋校舎の既存建物の耐震診断を実施し、校舎の耐震化を推進する。

進捗状況:平成23年度に策定した耐震補強工事実施順位計画に従い、駿河台校舎においては、7・8号館の耐震補強工事を実施、船橋校舎においては、9号館の耐震補強工事中である。(達成度:B)

○事業計画:駿河台校舎及び船橋校舎キャンパス内改修・補修工事

事業概要:両校舎共に、築年数が多い建物を中心に改修・補修を実施し、より良い教育環境を提供する。

進捗状況:駿河台校舎に於いては、約200件、船橋校舎に於いては約400件の修繕工事等を実施した。(達成度:A)

○理工学部,理工学研究科,理工学研究科共通

【教育研究】

○事業計画:学術研究戦略事業の推進

事業概要:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の遂行。

進捗状況:文部科学省の採択により平成25年度から5年計画で、理工学部研究施設を利活用し、本学部の特色を活かした研究を推進。「超短時間光・物質相互作用の理解・制御が切り開く新材料・物性・デバイス探索と創生」を研究テーマに2年度目を実施し、研究計画に掲げた目標を概ね遂行した。(達成度:A)

○理工学部,短期大学部,理工学研究科共通

【教育研究】

○事業計画:研究推進戦略の確立

事業概要:理工学部各種研究費の充実。

進捗状況:理工学部シボリック・プロジェクト形成支援事業を実施して本学部の学術の核となる研究推進を図った。プロジェクト研究助成金,基礎科学研究助成金,応用科学研究助成金等を実施し,新研究助成金を設定して各種研究費の充実を図った。外部資金の獲得に繋がる研究を支援し,本学部の研究に対する総合力の向上を図った。(達成度:A)

○事業計画:理工学研究所施設の充実

事業概要:理工学部研究施設でのリサーチ&開発メント体制の強化,研究部門の利活用。

進捗状況:理工学研究所は,研究開発領域,研究支援領域,実験領域での8研究施設を有し,研究開発,研究支援体制の強化を図っている。また,共同利用などの有効な活用によって,本学部のもつ研究資源の利活用に努めた。(達成度:A)

○理工学部,理工学研究科共通

【教育研究】

○事業計画:FDの取組の推進

事業概要:ファカルティ・開発メント(FD)委員会をFDの取組の推進における主たる委員会として,FD研修会及び授業改善のためのアンケートなどを実施している。

進捗状況:授業改善のためのアンケートは,平成26年度から科目区分及び学科によるアンケートの各設問平均値による集計結果並びに学科ごとの改善に向けた取組みを公表している。また,アンケートの実施方法に関して,教員及び学生の利便性並びにアンケート結果の学生へのフィードバックによる教育効果をスムーズにできるようシステムの改善を進めている。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:日本大学理工学部図書館(駿河台)公開講座の開催(年2回の予定)

事業概要:図書館蔵書資料に基づく学部教員による公開講座の実施。

進捗状況:(1)伊豆原月絵教授による「洋服を着て150年西洋服装史から学ぶドレスコード〜すぐに実践おしゃべりな人〜」6月に開催。(2)山崎誠子准教授による「植物や環境をテーマにした都市づくり〜駿河台・淡路町界隈の緑のデザイン〜」12月に開催。(達成度:A)

○事業計画:八海山セミナーハウスの有効活用(外部貸出)

事業概要:地元小中高生及び本学部と関連の深い学校の生徒が利用することにより,収支改善が図れると共に「日大理工」をアピールできる。

進捗状況:中高大連携教育活動の一環で,天文台を用いたサイエンスキャンプを実施。(10校43名の生徒が参加)。(達成度:B)

○理工学部,短期大学部共通

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:理工学部及び短期大学部(船橋校舎)共催による,公開市民大学講座の開催

事業概要:日本大学理工学部,短期大学部(船橋校舎)が有する人的・知的財産等を地域社会の市民に提供し,大学の自己実現及び社会貢献のために,10月11日(土),18日(土),25日(土)に合計6講座を開催した。

進捗状況:平成26年度第53回のテーマは、「理工学部ものづくり技術～自然との融合～」とし、「海洋環境技術」、「自然エネルギーの利用技術」、「鳥になりたい男たち」の分野で講演を行った。今年度は、講師の都合によりパソコン教室をExcel 初級編のみとしたが、全講座とも好評のうちに終了した。受講人数合計287名。(達成度:A)

- 事業計画:オープンポ(公開イベント)の充実
事業概要:年20回程度の公開イベントを実施。
進捗状況:地域の子供達をキャンパスに招いてのハウジングイベントを初めて開催する等、子供の理科教育や地域に貢献等、COC事業を積極的に行った。(達成度:A)
- 事業計画:防災機能の強化【理工学部,短期大学部】
事業概要:災害発生時に備えて近隣地域と連携の強化を図る。
進捗状況:定期的に近隣地域と防災に関わる交流を行っている。3月に災害時に避難所となるスポーツホール等の見学会を近隣住民向けに開催する予定であったが、先方の都合で来年度に延期となった。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:広報活動の転換・充実
事業概要:高校生とその保護者対象の広報手段の見直し。社会人及び卒業生対象に様々な広報媒体との連携。
進捗状況:理工公式Facebookを開始。1日5000人ものアクセスがある人気サイトへ成長。動画サイトオープンやAR広告の実施等、高校生・在学生・校友も含めた広報を行った。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:船橋校舎校地の建築基準法に基づく敷地分割
事業概要:資産の適正な管理と建築基準法に基づく確認申請が必要な新規事業計画における阻害要因の排除を推進する。
進捗状況:平成23年9月から測量を実施し、平成25年3月末に分割案作成が完了。確認申請物件の完了検査後に建物調査を行なった上で精査し、建築基準法第12条第5項に基づく報告書を届出する。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:第3号基本金引当資産への組入れ
事業概要:学生へ奨学金の給付を行うため、500万円を第3号基本金(日本大学理工学部校友会奨学基金)に組み入れる。
進捗状況:学生へ奨学金の給付を行うため、500万円を第3号基本金(日本大学理工学部校友会奨学基金)に組入れた。(達成度:A)

○理工学部

【教育研究】

- 事業計画:教育方法の改善
事業概要:インセンティブ科目及びステイ・スキル科目の授業内容の見直し、卒業達成度評価科目の授業内容の見直し。
進捗状況:平成20年度入学生より開設している初年時教育であるインセンティブ科目及びステイ・スキル科目については、全学で導入予定である全学共通初年時教育科目を見据えた検討を次期カリキュラム改定に向けた作業とともに学務委員会にて検討する予定である。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:資源ごみの有効利用
事業概要:資源の有効な利用の確保を図るとともに廃棄物の発生の抑制及び環境保全に寄与できる。
進捗状況:駿河台校舎及び船橋校舎の資源ごみの回収を行っている。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:防災体制の充実
事業概要:学生及び教職員の防災意識の向上を図る。非常時に効果的な災害援助ができる体制づくりの構築。
進捗状況:消防計画に則り、12月に防火・防災訓練を実施(駿河台・船橋両校舎)。(達成度:A)

○短期大学部

【教育研究】

- 事業計画:学生支援(経済的)
事業概要:経済的な事由により退学する学生に対し、主な奨学金情報をHP等に掲載し、保護者を含め周知することにより学業の継続が可能となる。
進捗状況:学生課掲示板、ポータルサイト、HP等こまめの情報を開示している。(達成度:B)
- 事業計画:学生生活満足度調査
事業概要:キャンパスアンケートを実施し、学生生活の現状把握及び施設改善等の検討資料に活用している。
進捗状況:本年度は、設問等見直しを行い学生と教職員を分けて集計を行った。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:オープンカレッジ「ものづくり&サイエンス・スクール」の開催
事業概要:11月3日(月)に船橋校舎において建築系、機械系、電気電子系、サイエンス系の6プログラムによるものづくり体験が実施した。
進捗状況:いずれのプログラムも子供から大人まで大勢の地域住民(合計214名)の参加があり計画通り遂行した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:高等学校訪問
事業概要:第1回(6月中旬～7月中旬)、第2回(12月中旬～2月上旬)と年2回高等学校を訪問し、進路指導教員を通じて受験生に短大の情報を伝える。
進捗状況:第1回87校、第2回62校を訪問した。(達成度:A)
- 事業計画:学校説明会
事業概要:5月18日(土)船橋校舎で入試個別相談・学科別相談会を開催し、大学施設・設備等の環境面を実際に見てもらい機会を設け本学の理解の場を提供する。
進捗状況:13校が参加した。(達成度:B)

○理工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:理工学部理工学研究所講演会の開催
事業概要:第10回・第11回理工学部理工学研究所講演会。
進捗状況:東日本大震災復興支援研究プロジェクトをテーマとした最終研究成果を報告。また、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業をテーマとした2年度目の研究成果の一端を報告。(達成度:A)

生産工学部・生産工学研究科

○生産工学部,生産工学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施する。
進捗状況:次のとおり,特別措置を実施した。(1)住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 11名。(2)住居半壊:授業料等半額免除 19名。(3)原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期3名・後期3名。※住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除に大学院生2名を含む(達成度:A)

○生産工学部

【教育研究】

- 事業計画:JABEE(日本技術者教育認定機構)への対応
事業概要:電気電子工学科,土木工学科,応用分子化学科,数理情報工学科にJABEE認定コースを設置し,プログラム修了者は「修習技術者」となり,申請により「技術士補」の資格を取得することができる。この認定を受けることにより,本学部の技術者教育の質の高さと卒業生の質の保証を学外に広め,国際的に通用する技術者に必要な基礎教育の要求水準を満たしていることとなる。
進捗状況:新カリキュラムにおいてもJABEE認定コースを設置し,さらに新設科目も含め認定を受けている。(達成度:A)
- 事業計画:出席管理システム,学生カテの構築及びポータルサイトの再構築
事業概要:出席状況の把握に留まらず個々の学生の出席状況を把握することにより,不登校など退学予備群を早期に発見し,その要因を含め学生への指導を行うことが可能となり,退学者及び卒業延期者の減少に関する効果が期待される。また,学生カテの構築により,個々の学生の指導履歴や情報の共有が可能となり,学生指導の負担軽減が図られる。
進捗状況:学生カテの構築及びポータルサイトの再構築・開発等を進めており,平成27年4月稼働予定である。(達成度:A)
- 事業計画:情報処理系の講義の効率化を意識した情報処理演習室Cのリブレース
事業概要:情報処理系の講義の効率化を図り,より充実した講義を開講するために,経年老朽化した情報処理演習室Cの機器の更新及び30号館2階から24号館3階へ移転を行う。
進捗状況:平成26年度夏季休暇期間中に移転・更新を行った。(達成度:A)
- 事業計画:FD取組の推進
事業概要:教育貢献賞の推薦基準の改正及び受賞講演会の実施し,教員の意識改革,継続的な教育改善努力並びに教育能力の向上を図る。本学部では優れた教育活動の実施が認められる教員(若しくはグループ)を表彰し,受賞講演会を実施することにより,継続的な教育改善努力への取り組みの促進や優れた教育活動の共有化を図っている。
進捗状況:教育開発センター運営委員会で教育貢献賞の推薦基準を十分かつ慎重に検討した結果,学科持ち回りでの推薦を止め,学部全体の中から5名及び1グループまでを

当該委員会で推薦し,担当会議で決定すると改めた。(達成度:A)

- 事業計画:入学者,在学生の学業及び学生生活面等,支援の取組
事業概要:入学時から卒業までの学業及び学生生活面等の支援を行い,入学時のつまずきの低減や在学中の学修意欲の向上及び学生生活の充実を図る。また,現在実施している入学前教育の効果・検証を行い,より効果的な入学前教育を構築する。この実施により,更なる入学時のつまずきの低減を図ることができる。
進捗状況:現在実施している入学前教育の効果・検証を行い,より効果的な入学前教育を構築するため,新たな支援内容を教育支援専門委員会で十分かつ慎重に検討した結果,平成28年度入学生より,新たな支援体制を取るため,複数業者によるプレベンションを実施した。その結果を教育開発センター運営委員会で承認を得た。(達成度:A)
- 事業計画:学修到達度確認試験の実施
事業概要:学生の学修到達度の確認及び教育効果の検証・把握を行うために実施する。この試験結果の検証により学生の理解度が低いと思われる科目について,より効果的な授業の開講が行えるよう,改善を図り,教育の質の保証を高める。
進捗状況:平成27年2月3日~5日にかけて実施した結果,詳細な報告書が各学科から提出された。これを受けて学務委員会で今後検証を行い,効果的な授業が行えるように改善を図り,教育の質の保証をさらに高めていく。(達成度:B)
- 事業計画:退学者・卒業延期者削減を意識した父母懇談会(津田沼校舎[9月実施予定]及び地方都市[10月実施予定])の開催
事業概要:平成26年度より稼働した出席管理システムを活用して得られたデータ等を基に,日頃の学生指導・就学状況を,従来から実施している父母懇談会において,退学及び卒業延期の可能性が高い学生の父母に対して深度を増した対応を行うことにより,退学者・卒業延期者削減に関する高効率化を図る。
進捗状況:平成27年度より,従来の9月及び10月に実施していた父母懇談会を,年度始めにも開催して,退学者・卒業延期者削減をより意識した指導体制,支援体制を確立する。(達成度:A)
- 事業計画:中国科技大学管理學院(台湾)との覚書に基づく交流の推進
事業概要:文部科学省の大学改革実行プランのグローバル化に対応した教育環境づくりに基づき,中国科技大学管理學院との交換留学又は学生の受入れに関する検討を行う。
進捗状況:中国科技大学管理學院と平成25年度末に特別聴講学生の合意書の締結を行い,平成26年度に特別聴講学生の受入れ体制を整えた。平成27年度より,3名の特別聴講学生を受け入れる予定である。(達成度:A)
- 事業計画:全学共通初年次教育(自主創造の基礎1及び自主創造の基礎2)に準じた初年次ゼミ及び2年次ゼミの実施
事業概要:本学の全学共通初年次教育(自主創造の基礎1及び自主創造の基礎2)の内容で実施可能なものについて,設置科目のうちの初年次ゼミ及び2年次ゼミの内容

の見直し及び精査を行い、開講する。このことにより、自主創造型パーツの育成を推進することができる。
進捗状況:平成 26 年度は、全学共通初年次教育科目として扱った。しかし、「自主創造の基礎 1」のガイドラインが策定されたことから、平成 27 年度以降は、このガイドラインをもとに同科目を実施していく必要があるが、本学部では、平成 27 年度は前年度どおりとし、今後学務委員会でガイドラインに準じて実施可能か検討する。(達成度:A)

- 事業計画:大学改革実行プランに則した対応の検討
事業概要:文部科学省の大学改革実行プランを軸に学部教育改革のロードマップが示される可能性が高まっているため、早期に対応が求められる可能性が高い次の事項に関して、対応を検討する組織作りの確立と検討を進める。(1)建学の精神を生かした大学教育の質向上のためのシステムづくり(2)達成すべき学習成果に整合した教育活動の実施(3)入学前の学修履歴の把握。これらの対応を図ることにより、社会のニーズに応えた学部運営を推進することができるとともに、補助金等の削減への是正や新たな補助金獲得が期待される。
進捗状況:検討・実施に至る組織作りが行われなかった。(達成度:C)
- 事業計画:新入生に対する学外リエンションの実施
事業概要:新入生がスムーズに大学生活をスタートできるように、入学直後に一泊二日の学外リエンションを学科単位で実施。更に、フォローアップとして 9 月の後期がイダグン時にクラス担任による個人面談を実施している。
進捗状況:平成 26 年度は 4 月に 8 学科、5 月に 1 学科が実施した。全学科平均の参加率は 95%を超え、学生生活を送るうえでのきっかけとして機能している。(達成度:B)
- 事業計画:課外活動への経済支援
事業概要:課外活動が人格形成、ならびに社会経験への効果を期待できることから、課外活動の重要性を認め積極的な支援を行う。
進捗状況:サークル活動助成として、基本助成金(一律 3 万円)を 56 団体、総額 168 万円。27 万円を上限とした特別助成金を 341 団体、総額 498 万円を支給した。また、特定行事助成金として 1 団体に 30 万円を支給した。(達成度:A)
- 事業計画:内規・要項で定めている独自の奨学制度による積極的な奨学援助
事業概要:学業成績・人物ともに優秀な者、あるいは優良な資質を持ちながら経済的事情により学費等の支弁が困難な学生・大学院生ならびに私費外国人留学生に対し、独自の奨学助成制度により就学援助を行う。
進捗状況:学部生・大学院生あわせて 38 名に 1,500 万円(生産工学部第 1 種奨学生 9 名、生産工学部第 2 種奨学生 9 名、生産工学部第 3 種奨学生 2 名、生産工学部校友会奨学生 16 名、大学院前期課程から後期課程進学者奨学生 2 名)を給付した。(達成度:B)
- 事業計画:学生相談支援体制の強化
事業概要:学生相談の対応として、相談室(サポートセンター)へのカウンセラーの派遣、更に日本大学学生相談研修会へ教職員の参加を促しインターカ認定者の増員を行い、学生相談に対する体制強化を図る。
進捗状況:カウンセラーの派遣は、津田沼校舎に週 3 回、実籾校舎に週 1 回である。更にインターカ認定者増員のため日本大学学生相談研修会への教職員の積極的な参加を促し、潜在的クライアントの早期発見・対応への体制強化を図っている。(達成度:B)

- 事業計画:WINCOM(風力発電コンペ)の実施
事業概要:自然環境エネルギーを効率よく利用するための風力発電装置を作製し、発電量やデザインを競う風力発電コンペ WINCOM を実施する。
進捗状況:発電量部門・オープン参加の部に本学部・専攻の学生による 4 チームが参加した。なお、高校生を対象とした発電量部門・高校の部に 25 チームの参加があった。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:地球温暖化防止への取組
事業概要:地球温暖化対策を推進し、CO₂などの温室効果ガスの排出量の削減を図る。
進捗状況:カービズ・ウォームビズ対策を積極的に実施し、節電対策を強化したことにより、熱・電気等のエネルギー使用量を削減した。(達成度:A)
- 事業計画:近隣住民への図書館開放
事業概要:近隣住民(習志野市、船橋市、八千代市)へ図書館サービスを提供する。
進捗状況:平成 5 年度から実施しており、市内在住・在勤で 18 歳以上の方へ資料の閲覧・複写サービスを提供している。(達成度:A)
- 事業計画:公開講座・公開セミナーの開催
事業概要:土曜日を中心に公開講座・公開セミナーを開講し、生涯学習支援として、近隣住民等への学習の機会を随時提供する。
進捗状況:公開講座では①『防災講座 2014』、②『ボランティアをはじめよう』、③『日本国憲法入門講座-憲法第 9 条を読む-』の 3 講座を、公開セミナーでは①『パソコン入門講座』、②『生涯スポーツ(ゴルフ)』、③『ホットで遊ぼう』、④『生涯スポーツ(水泳)』、⑤『少年野球教室』の 5 セミナーを開催した。参加者総数は 918 名であった。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:適正な教職員採用及び人員配置等の人事計画の検討
事業概要:多数の教職員が定年退職を迎える中で、後任の補充を必要最小限に抑えることにより、人件費を抑制する。また、特色ある科目に重点を置いて教員を配置することにより、学部の特色をアピールする。
進捗状況:各学科の教員数・年齢構成の適正化を図った人事計画に基づき、教員の採用を行った。また、教員の採用にあたり、特色ある科目を担当する教員を最大限採用した。(達成度:A)
- 事業計画:キャリアデザイン講座の構築
事業概要:就職指導課で実施しているキャリアデザイン講座と正課授業としての講義、さらには生産実習(インターシップ)との連携を図る。
進捗状況:正課授業としての講義と生産実習(インターシップ)との連携により、キャリアデザインに対する学生の自覚を促し、人材育成が図られた。(達成度:A)
- 事業計画:生産実習(インターシップ:必修科目)の実施
事業概要:本学部の特徴である生産工学系科目の必修科目として、生産実習(インターシップ)を継続して実施する。
進捗状況:仕事を体験的に理解することで理論と実践の相乗的な教育効果が得られ、社会人基礎力の向上が図られた。(達成度:A)
- 事業計画:就職対策講座の実施
事業概要:採用試験の多様化に対応した就職講座を実施する。

進捗状況:企業の採用スケジュールに対応した講座を具体的かつ効果的に実施することにより、学生の就職活動の支援ができた。(達成度:A)

○事業計画:SPI 実践講座の実施

事業概要:全国で多数の企業が導入している SPI 適性検査について、模擬試験及び実践講座の他、教育効果検証作業を実施する。

進捗状況:実践講座の受講料を軽減した結果、受講者が大幅に増加し、言語・非言語系問題の解法スキルを多くの学生が修得した。(達成度:A)

○事業計画:生産工学部就職セミナーの実施

事業概要:本学部学生の採用実績がある優良企業を、4日間で約 400 社(1 日約 100 社)招き、学生と直接面談する機会を設ける。

進捗状況:4日間で 399 社が参加し、具体的できめ細かい面談が行われた。また、就職活動を総括する講座をセミナー直前及び当日に開催した結果、セミナー参加者が大幅に増加した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:津田沼校舎新 14 号館(仮称)新築工事

事業概要:耐震性を満たしていない 14 号館を建て替え、より良い教育研究環境の提供を行う。

進捗状況:教学及び管理運営の将来計画との整合性を図る中で、よりよい教育研究環境の提供を行うべく検討を重ねている。(達成度:C)

○事業計画:キャンパス整備計画の策定

事業概要:キャンパス整備計画を策定し、教育・研究・施設のより良い教育研究環境の提供を行う。

進捗状況:キャンパス整備計画並びに修繕計画の策定を行い、教学及び管理運営の将来計画との整合性を図り、教育研究環境のよりよい提供を行う基礎作りができた。(達成度:A)

○事業計画:津田沼校舎 15 号館耐震補強壁設置工事

事業概要:15 号館(部室棟)の耐震性能向上を図るため、耐震補強壁の設置工事を行う。

進捗状況:15 号館(部室棟)の耐震補強壁の設置工事を実施し、耐震性能の向上が図れた。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:寄付金の募集

事業概要:新校舎建設及び教育研究に要する経常的資金を確保するため、日本大学生産工学部創設 60 周年記念事業募金を募集する。

進捗状況:平成 22 年度から寄付金の募集を継続して行っている。(達成度:A)

○生産工学研究科

【教育研究】

○事業計画:広報活動による入学志願者増と大学院定員充足率の向上

事業概要:ポスターフレット及び、動画サイトの充実を図ることで、入学者の増加を図る。

進捗状況:平成 25 年度は実施できなかったポスター作成を行い、入試時期に併せて学外の大学、研究機関等へ送付した。さらに、12 月に初めての大学院進学説明会を開催し、学部生や社会人への新たな広報活動を実施した。(達成度:A)

○事業計画:シラバスの充実による国際化

事業概要:ホームページ上でシラバスに英語表記をすることに

より、留学生の増加を図る。

進捗状況:全ての授業科目に英語科目名を併記し、可能な限り授業のねらいや講義内容にも併記することでシラバスを充実させた。(達成度:B)

○事業計画:大学院担当教員の増員による教育・研究の多様化及び経常費補助金の増額獲得

事業概要:横断的分野の演習科目を設けることで大学院担当教員を増員し、教育の充実を図るとともに補助金の増額を図る。

進捗状況:生産工学系科目を中心に各学科の若手教員や、教養・基礎科学系の教員が加わったことで、専任教員に占める大学院教員の割合が増加した。その結果、補助金額が増額されただけでなく、教員間の連携が生まれやすい環境となり、教育・研究のこれまで以上の多様化が進むことになった。(達成度:A)

○事業計画:学位取得見込者を対象とした助手(特別枠)の採用による後期課程定員の充足

事業概要:博士後期課程においては指導教員に対して指導研究費を支給し、学位を取得見込みの者を助手(特別枠)として採用する制度を設けることで、一貫したサポート体制を整える。

進捗状況:平成 26 年度は、数理情報工学専攻 1 名が博士後期課程を修了し学位を修得した後、助手(特別枠)に採用され、新たに研究者として歩むことになり、本学大学院出身者の進路選択の 1 つになっていることで、継続した研究活動を続けることができた。(達成度:A)

○事業計画:課題解決型の特別実習による高度な実践的教育・研究の推進

事業概要:博士前期課程においては研究・開発に重きを置く課題解決型の特別実習を国内・海外で実施することにより、学生の研究テーマに沿った研究の推進と高度な職業人の育成を目指す。

進捗状況:修士論文研究は、1 名が企業の研究機関で実施し、国内インターシップは 9 名が 6 社の企業・研究機関でそれぞれ実施した。また海外インターシップは、台湾中国科技大学規畫與設計學院にて 8 名(平成 26 年 8 月及び平成 27 年 3 月)が実施した。これらは大学院生の交流に向けた取り組みを推進させることとなり、大学院生の社会人教育のための基盤の構築に一定の成果を得た。(達成度:A)

○事業計画:海外インターシップの実施

事業概要:学部提携校である中国科技大学(台湾)や慶尚大学校(韓国)へ大学院生を派遣し、交流をはかるとともに、国際感覚を養うことを目指す

進捗状況:台湾中国科技大学規畫與設計學院に 8 名(平成 26 年 8 月及び平成 27 年 3 月)が海外インターシップを実施した。慶尚大学校では海外インターシップの受け入れを行った。これらは交流だけではなく、国際人としての資質形成に大いに貢献した。(達成度:A)

○事業計画:生産工学特別演習の実施

事業概要:専攻を跨いだ大学院生で構成されたチームで設定された課題を解決する過程を通し、役割と責任を持って業務を遂行する自立性を養うことを目指す。

進捗状況:2 年目となる平成 26 年度は 1 年目を踏まえて、テーマによってはさらに踏み込んで継続した研究を行うことができた。(達成度:A)

○生産工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:研究基盤の強化-研究プロジェクト形成プログラム(研究装置購入費・研究費補助)及び若手研究者を交付対象とする研究費補助プログラムの推進
事業概要:研究基盤の強化を図るため、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業研究費獲得のシーズ育成、及び若手研究者の研究のステップアップを目的とした研究費を生産工学研究所で交付する。
進捗状況:研究プロジェクト形成プログラムは、導入機器の稼働を高め多くの成果を上げた。また、若手研究者支援研究費では、10名に研究費(上限50万円)を交付した。(達成度:A)
- 事業計画:科学研究費補助金受領者に対する特別研究費交付
事業概要:科学研究費補助金受領者へ、当該年度補助金額(直接経費)の30%の額を研究費として交付する。研究者にインセンティブを与え、外部資金獲得へのモチベーション向上を図る。
進捗状況:平成26年度科学研究費補助金受領に対して「文部科学省科学研究費補助金受領者に対する研究費」をのべ41名に交付した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学研究所の研究成果に関する報告書刊行
事業概要:研究所員の研究成果を掲載した「所報」の刊行、及び研究所員を含む生産工学部教職員の成果を「研究報告A(理系)」、「研究報告B(文系)」を刊行することにより、研究活動を広く社会にアピールする。
進捗状況:研究報告Aを6月・12月、同別冊を6月、研究報告Bを6月に刊行し、国内外の研究機関に送付した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学部学術講演会の開催
事業概要:専任教員の日頃の研究成果を公表する場を設け、教育の向上と研究の発展を図り、また、企業や学外研究機関等共同研究者との交流の場とすることにより、新たな外部資金導入を図る。
進捗状況:12月に津田沼校舎で学術講演会を開催し、生産工学部専任教員・大学院学生、学外研究機関所属者等により、分野別で380余件の研究発表が行われた。(達成度:A)
- 事業計画:学協会賞等受賞研究者への生産工学部学術賞及び学術賞(奨励賞)の授与

事業概要:生産工学部の専任教員が学術的業績等によって学協会賞等を受賞し、生産工学部の研究部門における社会的名誉を著しく高めた場合に、選考により生産工学部学術賞を授与する。

進捗状況:学会賞等を受賞した専任教員6名に、生産工学部学術賞を授与した。(達成度:A)

- 事業計画:情報関係施設(研究センター入出力室)を利用した研究の実施
事業概要:研究センター入出力室設置の研究機器等を利用した研究を行う。既存の研究機器の更なる活用により、生産工学部の研究活動の一層の活性化を図る。
進捗状況:生産工学研究所研究センター入出力室に設置の画像処理関係機器を、研究者の研究等の活動に供した。(達成度:A)
- 事業計画:自動車工学リサーチセンターによる自動車工学研究の推進
事業概要:生産工学研究所に自動車工学リサーチセンターを設置し、本学部の特徴ある研究を推進することにより、研究活動の一層の活性化を図る。
進捗状況:各学科の教員・学生・学外の研究者が参集し共同で各施設を利用に供しており、委託・共同研究の受け入れと共に、産学連携フォーラム、研究成果報告会等を開催した。(達成度:A)
- 事業計画:委託・共同研究の受入れ
事業概要:企業や官公庁からの委託・共同研究を受け入れ、研究基盤の維持強化を図り、また、産官学連携により人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を図る。
進捗状況:平成26年度の委託・共同研究の受入れ状況は、受入件数約50件(契約額約9千万円)であった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:研究・技術交流センターによる産官との研究・技術交流
事業概要:産官との連携により研究・技術交流を推進し、生産工学部の人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を行うと共に、地域社会へ貢献する。
進捗状況:県等主催の企業交流会での講演・技術相談の実施、広報誌「CERT REPORT」の刊行(8月)及び外部関連フォーラムへの出展・参加等を通じ、地元企業等との連携を図った。(達成度:A)

工学部・工学研究科

○工学部

【教育研究】

- 事業計画:学習・学生生活の支援
事業概要:学費等の特別減免措置を実施し、学生が経済的に安心して学べる環境を確保する。
進捗状況:「東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置に関する規程」に基づき、平成26年度においても住居被害及び原発事故の対応として、学費減免特別措置を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:学生生活環境の安全・安心の確保
事業概要:工学部キャンパス内の放射線量をより一層低減化させるシステムを構築する。また、内部被曝を防止するために、学内上水道及び学生食堂で提供する食品・食材の放射性物質濃度を測定し公表する。大学-学生間の連絡・通

信網を整備する。これらにより、学生及び学費支弁者が安心できる環境を保証する。

進捗状況:防災マニュアルの整備及び防災備品の計画的配置を行った。防災マニュアルを全学生へ配布し、Eメール及び書面による安否報告の仕方を周知した。ふるさと創生支援センター設置の放射能測定器により学生食堂の食材等の定期検査及び学内の飲用水の検査を行った。また、研究プロジェクトによる放射能分析を実施している。(達成度:A)

- 事業計画:21世紀の社会が必要とする分野を担う学科設立の検討
事業概要:工学の発展を支え、社会の要請に応えられる、新学科を含む学科の再編及び学科定員の見直しを行う。
進捗状況:学部長からの諮問に基づき、VISION2020検討委員会において郡山キャンパスの将来像について検討を重

ね、平成24年6月30日付けで学部長に答申を行った。(達成度:A)

○事業計画:人材の養成(A)-設置科目等の検討

事業概要:人材の養成に関する目的,その他の教育研究上の目的及びDPを達成するために必要な設置科目の種類・科目数及び科目配置を検討する。(1)平成25年度カリキュラムの検証の実施(学務委員会)(2)プレテストの実施(3)日本大学共通初年次教育の実施検討

進捗状況:(1)平成25年度カリキュラムの検証を行い,平成29年度カリキュラムに反映する。また,教職課程及び臨床工学技士課程も併せて改正する。(2)平成26年4月3日に学部新入生全員を対象として4教科5科目を実施した。(3)平成27年度においてプレ実施するための検討を学務委員会で行った。(達成度:B)

○事業計画:人材の養成(B)-資格取得科目の強化

事業概要:資格取得のための科目群について,資格の検討,科目数及び科目配置を検討する。(1)臨床工学技士課程の実施及び運営(2)FE試験対策講座の実施

進捗状況:(1)平成25年度に学則を設置し,平成26年度から授業を開始。(2)試験対策のための課外講座を開講。(達成度:B)

○事業計画:人材の養成(C)-教育システムの構築

事業概要:多様な学生に対して,基礎学力の充実,モチベーションの向上,専門分野の学力の充実を図る教育システムを構築する。(1)リテラシー教育の充実により学力の底上げを図る。(2)入学準備学習の内容を再検討し,入学後の大学教育との接続を図る。(3)学生懇談会の実施(4)海外語学研修における単位認定の検討(5)英単語コンテストの実施(6)JABEEの継続(土木工学科)

進捗状況:(1)前・後学期において,リテラシー教育及び学習指導を行った。(2)各学科において入学準備学習内容の検討を行った。(3)平成26年度は不実施であったが,学生懇談会のあり方を検討する。(4)現在のところ未着手。(5)平成26年9月17日に1年次生を対象に実施し,219名が参加。(6)継続審査を受審し,認定継続の予定。(達成度:B)

○事業計画:高大連携の推進

事業概要:付属高校及び連携高校等との連携を深め,高校と大学とが良好に接続された教育システムを構築する。(1)オープン講座の実施(2)連携講座の実施(3)県内連携高校以外の高校からの進学説明会及び見学等の要請に対して可能な限り対応する。

進捗状況:(1)日本大学東北高校生徒を対象として,7講座を実施。(2)県内の連携高校を対象として,8講座を実施。(3)高校から直接依頼のあった進学説明会すべてに対応。(達成度:B)

○事業計画:工学部独自の奨学金制度の整備・拡充

事業概要:工学部独自の奨学金(工学部奨学金,工学部父母会・校友会奨学金)の見直し・整備・拡充を図り,学生が安心して学べる環境を確保する。

進捗状況:各種会議での意見集約,奨学金を必要とする学費支弁者の経済状況の把握を行い,改善に向けた取組をしている。今後,基金の増額等を行い,更に奨学制度の充実を図りたい。(達成度:B)

○事業計画:学生支援の推進

事業概要:多様な学生に対して,社会人として必要な能力を備えさせるために,学生と教員の接点が多くなるような学生支援システムを構築する。

進捗状況:体育祭,留学生との交流会,サークル代表者等によるリーグズ研修会を実施し,学生間の親睦を深めることができ,学生と教職員が接する時間が多く持った。(達成度:A)

○事業計画:グローバルなエンジニアの育成

事業概要:グローバルな視野に立つエンジニアを育成するために,海外研修を充実する。

進捗状況:海外語学研修(英語)プログラムを平成26年8月23日~9月7日の16日間にて実施した。第44回ヨーロッパ研修旅行を平成27年2月21日~3月6日の14日間にて実施した。(達成度:A)

○事業計画:学生生活に係る諸施設・キャンパスの充実

事業概要:学生生活に係る諸施設(厚生施設や学生寮など)の活用・運用やキャンパス内のあり方を検討し,学生が有意義に活動ができる環境を提供する。

進捗状況:学生食堂のメニューをリニューアルし,価格や内容について選択の幅を広げ,ヘルシーなメニューも用意した。学内分煙に関しては,周知や指導を行っている。新学生寮建設にも着手し,平成28年度からの入寮を予定している。(達成度:A)

○事業計画:課外講座の充実

事業概要:就職がイグンス,キャリア研究講座,資格取得・公務員試験対策のための課外講座の充実及び受験者数の増加を図る。

進捗状況:就職がイグンスは3年生を対象に5月から翌年2月まで年10回,体系的内容で実施し,延べ3,347名が受講した。キャリア研究講座は全4回開講のうち前2回を1年生のフレッシュマンセミナーの中で開講し,延べ695名が受講した。資格取得講座についてはSPI試験,自己分析テストなど全9種を13回開講し,延べ1,698名が受講した。公務員試験対策としては全8種の対策講座を開講し,延べ530名が受講した。(達成度:A)

○事業計画:職業適性の把握

事業概要:インターシップの利用などによる自己の職業適性の把握の推進を図る。

進捗状況:インターシップとは何か,仕事とは何か,実際の体験を通じた企業理解と社会人基礎力の実現,学生のインターシップ参加業界と実際に入社した業界についての動向等,インターシップがイグンスを通してその有用性を周知した結果,学生自らが積極的にインターシップ受入企業を探してくる傾向にある。(達成度:A)

○事業計画:多分野への就職を可能にする教育

事業概要:多様な分野への就職を可能にする教育を実施する。

進捗状況:専門分野の試験対策及び各種資格取得を目的として学科独自の課外講座を設置しており,当該講座への受講を推奨した。また,教員志望学生のために教職講座を開講し,4教科で延べ23名が受講した。さらに現職高校教員による講義の実施により,より実践的な教職への理解が得られた。(達成度:A)

○事業計画:FDの活用

事業概要:FD(教育改善)の活性化を図る組織の検討と授業評価の活用を図る。(1)FD関係研修会への積極的派遣(2)教員の評価項目の策定(FD委員会)

進捗状況:(1)本学実施のすべてのFD関係研修会に学生及び教職員を派遣。(2)FD委員会において,検討及び策定を継続。(達成度:B)

- 事業計画:図書館業務の効率化
事業概要:適正な執務遂行のため、図書館業務の効率化を図る。
進捗状況:平成26年4月にOPAC専用端末を入替え、同年10月より次期全学共通図書館システムの稼働を開始した。(達成度:A)
- 事業計画:図書館設備の充実
事業概要:図書館設備を充実させ、利用環境の更なる改善を図る。
進捗状況:資料配架の明確化を図るため、OPACの配架表示及び書架・館内案内の改善を図った。(達成度:A)
- 事業計画:資料の充実
事業概要:利用者のニーズに適した資料の充実を図る。
進捗状況:電子資料導入に関する打合せ等において、費用対効果を考慮しつつ、利用者ニーズに適した資料の見直しを図った。(達成度:A)
- 事業計画:校史資料室活動の充実
事業概要:関係部署並びに学部校友会・父母会とも連携し、校史資料室活動の充実を図る。
進捗状況:通年での見学対応のほか、平成26年10月26日に開催した「母校を訪ねる会」に合わせて一般開放し、延べ139名が来場した。(達成度:A)
- 事業計画:研究成果の結実
事業概要:文部科学省選定の大型プロジェクトによる2つの研究センターを中心とした研究活動、イノベーションセンター等による地方公共団体・地域産業界、さらには産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所との幅広い産学官連携によって、応用研究・実用化研究において実積をあげるとともに研究成果の社会への還元を図る。
進捗状況:地域連携の一環として、学部構内のイノベーションセンターに対する運用協力及び地域機関との共催での技術者養成講座開講など、ものづくり系新事業創出を支援した。(達成度:A)
- 事業計画:外部研究資金の積極的獲得
事業概要:大学評価につながる経常費補助金、科学研究費補助金、企業等との共同研究、受託研究等の外部研究資金を積極的に獲得する。また、文部科学省等の大型研究プロジェクトの獲得を目指す。
進捗状況:科学研究費助成事業は工学部過去最高となる新規26件の採択を得た。継続採択とあわせると50件の研究代表プロジェクトが進められている。また私立大学戦略的研究基盤支援事業の新規採択、JST大型プロジェクトの新規採択等外部研究費の獲得がなされている。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:復旧・復興活動支援
事業概要:ふるさと創生支援センタープロジェクトを実施し、かつ同プロジェクトの成果を外部に発信することで、福島県の復旧・復興に寄与する。
進捗状況:平成26年度は17件のプロジェクトを採用し研究が進められた。研究成果は企業との共同研究や各種学会、学術研究報告会等で公表され福島県の復旧・復興の一助となっている。(達成度:A)
- 事業計画:地域貢献
事業概要:地域社会の活性化と地域文化の向上に資するため、各種教育・文化行事を開催する。
進捗状況:(1) 桜の一般開放:桜の開花時期に合わせてキャンパスの一般開放を行い、期間中の日曜日には、花見団子の無料配布を行った。来場者は延べ4,762名であった。(2)

教養講座の実施:「造」を総合テーマとして、4名の講師を招き、全4回の日程で開催した。聴講者は延べ3,356名であり、そのうち市民の聴講者は延べ186名であった。(3) 中学生徒の学校訪問受入れ:生徒が体験や見学を通して、工学に対する理解や関心が深まることを目的として実施し、計7校132名の生徒を受入れた。(達成度:A)

- 事業計画:省エネルギー化の促進
事業概要:各研究・教育施設の運用における省エネルギー化を促進する。
進捗状況:事務各課におけるノ残業の実施、夏季軽装励行、照明の間引き、長期休業中の70号館の利用制限やエレベータ運転停止等の節電対策に取り組んだ。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:広報活動の充実・拡大
事業概要:原発事故の風評被害を払拭するとともに、18歳人口及び工学部入学者の減少に備え、本学部の特色や取り組みをアピールし、本学部の認知度を高めるため、積極的な広報活動を展開する。
進捗状況:多くの人が視聴する情報番組内でCMを放映するとともに、県外者が多く利用する場所へ広告を掲出し、全国的な本学部の認知度向上を図った。(達成度:A)
- 事業計画:入試広報の充実
事業概要:オープンキャンパス等の入試広報活動を充実させるとともに、大学広報活動と連動させ、本学部のイメージアップと志願者数・入学者数の確保に努める。(1) オープンキャンパスの実施(2) 企画・広報の充実(3) Web学生募集広告の展開(4) 雑誌広告の展開(5) テレビCMの展開(6) 工学部案内パンフレット及び入試ガイドの作成(就職状況Able作成210万円含む)(7) 高校訪問の積極的展開
進捗状況:(1) 8月2日(土)、3日(日)及び9月7日(日)の3日間開催し、参加者数は3日間合計2,443名となり、震災前の平成21年度を超え、過去最多となった。(2) 女子学生向けプログラムの設置や体験型プログラムを充実させ、各種プログラム参加者の増加を図った。(3) リクルートのWeb媒体を用い、学生募集広告を展開。(4) 「高校生新聞」等、合計5誌に学生募集広告を展開。(5) オープンキャンパスの開催に合わせ、情報番組内での告知とともに実際の模様を放送し、オープンキャンパスの認知度とイメージアップを図った。(6) 「工学部ガイドブック2015」を60,000部、「入学試験ガイド2015」を45,000部作成。(7) 5月～12月に合計834校の高校訪問を実施。(1)(2)(5)…(達成度:A)、(3)(4)(6)(7)…(達成度:B)
- 事業計画:中長期入試戦略の構築
事業概要:社会情勢を勘案した上で、入学者数確保のための充実した中長期入試戦略を構築する。
進捗状況:安定した入学定員確保の観点から、現状の入試制度を維持しているが、中長期入試戦略の検討及び構築を図る。(達成度:D)
- 事業計画:教員組織の適正化
事業概要:新教員制度検証結果、改正労働契約法に係る問題、大学設置基準の充足状況、郡山キャンパスの新展開案を踏まえた教員組織を構築する。
進捗状況:工学部人事委員会において、「再雇用教員に関する規程」の制度概要と運用取扱いに基づき、工学部としての具体的な運用方法等について検討を行っている。(達成度:C)

【施設設備】

- 事業計画:施設の安全性確保
事業概要:原発事故による施設等の除染対策を徹底する。工学部発展期に建設された施設群の老朽化、耐震性等に対する安全性確保を早急に行うとともに、老朽化した構内設備の更新を進める。
進捗状況:学部内の除染対策は完了した。建物の耐震補強工事は、耐震診断結果を基に順次実施している。老朽化対策として、今年度は中講堂(54号館)外壁落下防止工事を実施した。(達成度:B)
- 事業計画:未利用地の検討
事業概要:未利用地・遊休地の有効活用を処分等を含めて検討する。
進捗状況:研修会館の有効活用については関係する部署とも協議し、検討を行っている。用地買収代替地の飛び地については売却処分するべく、売却先探しを継続している。(達成度:C)

【財政・各種基金】

- 事業計画:東京電力(株)に対する賠償の請求
事業概要:除染費用及び風評により受けた損害等について東京電力(株)に賠償請求を申請する。
進捗状況:ADRへ申し立てしていた工学部の賠償請求については和解が成立し、平成27年1月23日に大学本部へ賠償金が支払われ、本事業は終了した。(達成度:A)
- 事業計画:本部の総合運用制度の積極的活用

- 事業概要:早期に財政基盤の再構築を図るべく、本部の総合運用制度(0.5%)を積極的に活用する。
進捗状況:財政基盤再構築を目標に掲げ、特定目的引当資産3億円を9月末に総合運用資金として本部に預入することができた。(達成度:A)
- 事業計画:財政基盤の強化
事業概要:財政基盤の強化を図る。
進捗状況:特定目的引当資産3億円を9月末に総合運用資金として預入し、資金収支上の黒字化達成を見込む。また、消費支出比率は予算ベースで100.39%(前年比-2.46%)と改善が進んでいる。(達成度:A)

○工学研究科

【教育研究】

- 事業計画:博士前期・後期課程における収容定員の充足
事業概要:大学院工学研究科博士前・後期課程が恒常的な定員割れをしている現状から、収容定員に対する充足率の向上のための入学試験制度、教授方法の改善を図る。(1) 学生及び父母に対する大学院進学のリット等の積極的PR(2) 博士後期課程の大学院生に対する研究費(年額60万円)の助成[研究科特別経費(学生分)]
進捗状況:(1) 専攻ごとに、学部学生に対して大学院進学に関するガイダンスを実施した。(2) 6名に交付し、研究経費として有効に活用した。(達成度:B)

医学部・医学研究科・医学部附属看護専門学校

○医学部

【教育研究】

- 事業計画:臨床研究中核病院整備事業の申請-国際水準の質の高い臨床研究及び難病等の医師主導型治験研究を推進し、医療の質の向上を図る。
事業概要:採択・実施により、財政面では厚生労働省からの3億3,808万円を限度とする補助金及び企業からの受託研究の増加が期待でき、増収が見込める。
進捗状況:厚生労働省の助成事業であるが、募集自体が行われなかったため、応募ができなかった。(達成度:D)
- 事業計画:東日本大震災に伴う特別措置
事業概要:被災し、経済的に学業の継続が困難になった学生に対し、学費の減免を行う。
進捗状況:被災した学生2名に対し、被災状況に応じて、学費全額または半額の減免を行った。(達成度:A)
- 事業計画:医学部特定医療奨学金など奨学金等制度の整備
事業概要:有為な人材の育成、確保を通して、医療の質の向上を図り、また付属病院の医師不足解消を図る。
進捗状況:大学院医学研究科(外科系産婦人科学)に今年度初期臨床研修を修了した1名が入学し、2名が継続履修している。また、1名が小児科医師として付属病院にて勤務をしている。(達成度:A)
- 事業計画:医学教育の国際標準化に向けた取組み
事業概要:世界医学教育連盟の提唱する国際基準に準拠するため教育カリキュラム改編を実施し、平成27年度入学者から適用する。また、2023年までに国際認証評価を受審する。

- 進捗状況:平成27年度入学者適用の学則変更手続きを完了し、学務委員会カリキュラム全体調整委員会内で国際認証評価受審に向けて準備・検討を重ねた。(達成度:A)
- 事業計画:選択臨床実習の充実
事業概要:臨床実習(BSL)の充実を図るため、平成23年度より6年次において選択臨床実習を開始した。学内外ともに多数のコースを設置しているが、更なる充実を図る。
進捗状況:平成26年度は、学内:59コース、学外:48コースを開設し、実施した。実習終了後の学生アンケート等を踏まえ、平成27年度に向けてコースの編成を行った結果、新たに学外施設(国立病院機構埼玉病院)が加わり、さらなるコースの充実を図る。(達成度:A)
- 事業計画:医学英語教育の充実
事業概要:本学部では、医学英語教育を重視し、実践的な英語を使える医師の養成を行っており、1年次から6年次までの一貫した医学英語教育の充実を図る。
進捗状況:新たな取り組みとして平成26年度は、外国人の模擬患者に協力してもらい、医療面接を実施し、診療作法や語句の使い方等実際の臨床現場で使用するための英語に重点を置いた授業を展開した。(達成度:A)
- 事業計画:横断型医学専門教育プログラムの充実
事業概要:平成20年度に開設した大学院教育と並行して専門医資格取得に必要な指導を行う横断型医学専門教育プログラムの推奨及びコース内容の充実を図る。
進捗状況:平成25年度から履修要項に日本専門医制評価・認定機構が認定する専門医資格以外に指導可能な資格リストを明記し、内容の充実を図った結果、平成26年度も本プログラムを選択した入学者が前年度より増加した。(達成度:A)

- 事業計画:大学院指導教員の充実
事業概要:大学院担当教員の増員を図り,大学院教育の充実を図る。
進捗状況:研究補助指導員を増員したことにより,より専門的な研究指導を行うことが可能となった一方で,豊富な人材を有効に活用するため,学系分野横断的な指導体制を構築している。(達成度:A)
- 事業計画:外部資金・公的研究資金の獲得を意識した研究活動
事業概要:新たな研究資金の獲得につなげるため,外部資金・公的資金の獲得を目指した研究プロジェクトを遂行する。
進捗状況:公的資金の規模が増大したことで,新たな外部資金や継続的な公的資金の獲得につながる研究プロジェクトを遂行した結果を得ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:戦略的研究基盤形成支援事業の遂行による先端的医学研究の実践
事業概要:最先端の研究のための基盤的整備とその実施により,新たな研究拠点を形成する。
進捗状況:戦略的研究基盤形成支援事業として継続の3課題に加え,1課題の新規プロジェクトから選定されことにより,新たな研究拠点の基盤が整備された。(達成度:A)
- 事業計画:医学部高度化推進事業による大型プロジェクト研究への支援
事業概要:医学部の研究高度化を図るため,大型プロジェクト研究を支援することで,大型公的資金の獲得を目指す。
進捗状況:戦略的研究基盤形成支援事業をターゲットとした大型プロジェクト研究の支援により,当該研究プロジェクトが新規で選定された。(達成度:A)
- 事業計画:大学の総合性を活かした研究プロジェクトへの参画
事業概要:研究テーマの設定によっては,学際的研究の導出及び研究活動の新たな創成が期待されるため,そのスケールメリットを活かす。
進捗状況:学長特別研究の継続により,学部間連携に基づく学際的研究を遂行した。また,学部連携研究推進シンポジウムの実施により,新たな学部間連携を検討する機会を得た。(達成度:A)
- 事業計画:外国人研究員の受入れによる国際的研究交流の推進
事業概要:人的な交流に基づき,国内外の知識・技術を互いに供与し合うことで,インタラクティブな国際的研究の推進につなげる。
進捗状況:本学研究員制度等の活用による外国人研究者の受入れに加え,昨年に引き続いて JSPS 外国人特別研究員の新規採択があり,安定した国際的研究交流を継続できた。(達成度:A)
- 事業計画:研究活動の更なる活性化に向けた医学研究支援部門における利用環境の充実
事業概要:研究ニーズを考慮した共用機器及び利用案内等を検討することにより,利用環境の充実と学内共同利用への対応を目指す。
進捗状況:共同利用研究施設及び機器の共同利用に供するため,機器等を効果的に配置換えして整理したことで,利用者に対する利用環境を向上させることができた。(達成度:A)
- 事業計画:研究所紀要を通じた研究成果の持続的公開に関する検討

事業概要:研究紀要の内容を継続的に検討し,研究所での研究成果を広く社会に公開することで,大学の社会的説明に寄与する。
進捗状況:ホームページへの研究紀要の掲載に加え,研究所で実施している研究プロジェクトの紹介を掲載したことにより,研究所での研究活動内容を改めて学外に情報発信することとした。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:学生サークル活動の一環として保育園・幼稚園での保健教育活動を実施
事業概要:保育園や幼稚園で保健教育の普及を図る。
進捗状況:近隣の保育園,幼稚園並びに学園祭企画(ぬいぐるみ病院)において,子供達に医療への親しみと健康への意識を育み,また保護者に対し,食育や小児保健教育の普及にも努めた。(達成度:A)
- 事業計画:徳沢診療所における奉仕活動
事業概要:診療所において登山者の傷病対応の補助をボランティアとして参加する。
進捗状況:7月18日から8月17日にかけて,長野県にある徳沢診療所を開設し,登山者の傷病対応の補助を行った。(達成度:A)
- 事業計画:学園祭企画で,来場者への健康チェック及び救命処置の体験
事業概要:近隣住民等の来場者に対し,血圧,骨密度,肺機能等の検査を実施し,健康に対する意識の向上を図る。また,心臓マッサージやAEDの操作体験を通して救命処置の普及を図った。
進捗状況:翠心祭企画の1日総合病院において,近隣住民等の来場者391名に対して健康チェックを実施し,一次救命措置やAED操作体験ブースを設け,救命処置の普及に努めた。(達成度:A)
- 事業計画:NUBICとの更なる連携による技術移転の促進
事業概要:技術移転等における研究シーズと社会ニーズとのマッチングの促進により,その応用・実用化を通じて社会貢献を目指す。
進捗状況:公的資金によるプロジェクトの遂行に基づき,NUBICとの継続的な連携により,今後の応用・実用化に向けたインタラクティブに検討している。(達成度:B)
- 事業計画:寄附講座及び共同研究・受託研究の推進による産官学連携の活性化
事業概要:産官学連携の活性化は,すなわち,大学としての社会貢献の増大をもたらすことから,寄附講座による研究及び共同研究・受託研究を推進する。
進捗状況:多様化する産官学連携の形態を見据えて,共同研究・受託研究を積極的に受け入れながら,既存の寄附講座を軸として研究の進展を図ることができた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:志願者増を図るための事業計画
事業概要:医学部主催のオープンキャンパスの更なる充実及び大学主催の進学相談会や日本私立医科大学協会主催の進学相談会への積極的な参加を行う。
進捗状況:オープンキャンパスの実施,各種進学相談会への参加を通じ,受験生への直接的なアピールが奏功し,前年度に引き続き平成27年度入学試験志願者数も4,000名を超える結果となった。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:板橋キャンパス整備計画の策定準備-老朽化が進んでいる学部・付属病院の施設・設備等の整備充実に向けての施策を検討する。

事業概要:再整備の具体化に向けて、費用対効果の観点も含めて十分に検討を行い、速やかに実施し得る計画を策定する。

進捗状況:医学部板橋キャンパス整備計画検討委員会において、教育、研究、診療の3部門にそれぞれ専門部会を設け、基本構想の具体化に向け検討を進めている。(達成度:B)

○事業計画:総合健診センターの耐震診断実施

事業概要:総合健診センターは昭和54年度の建築であり、新耐震基準の施行(昭和56年)以前の建物であるため、耐震診断を実施する。

進捗状況:年度内に同センターの法人本部移管が決定したことにより、それに伴う移設作業等との錯綜を避けるため、実施を当面見合わせた。(達成度:C)

【財政・各種基金】

○事業計画:臨床研究中核病院整備事業-日本発の革新的な医薬品・医療機器の創出等を目的に、国際水準の臨床研究、難病等の医師主導治験及び市販後臨床研究等の中心的役割を担う「臨床研究中核病院」を整備する事業。

事業概要:採択・実施により、財政面では厚生労働省からの3億3,808万円を限度とする補助金及び企業からの受託研究の増加が期待でき、増収が見込める。

進捗状況:厚生労働省の助成事業であるが、募集自体が行われなかったため、応募ができなかった。(達成度:D)

○医学部附属看護専門学校

【教育研究】

○事業計画:新カリキュラム(平成21年度実施)の教育体制、教育内容が6年目になる。カリキュラムの評価結果に基づいた改善・充実を図る。また、看護の実践者を育成する教育環境の整備強化を行う。(1)1年次より学習計画を取り入れ、

学年目標・学習目標を設定し、補修講義を随時導入し、基礎学力の向上を図る。(2)校内実習時のモデル人形等実習機材を充実させ、臨床実践能力の向上を図る。また東京都補助金の獲得を計画する。(3)専門分野科目の演習時間を増やし、必要な機材を設置すると共に東京都補助金の獲得を計画する。(4)統合実習・看護技術項目の卒業時の到達度を導入し、実技経験録結果から教育内容・方法の改善を更に図る。(5)授業評価を実施する。

事業概要:学習進度に応じた能動的学習方法の修得、臨地実習準備教育の充実を図る。

進捗状況:各学年の目標を示し、到達度等の検証を進めた。引続き知識と技術が有機的に充実した教育課程を検討する。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:付属病院臨床指導者勉強会、東京都看護教員養成研修生の演習講義、教育実習生への指導、日本大学通信教育部生への介護体験指導等の実施。

事業概要:本学関係者への指導、看護教育に携わる者への支援を通して社会貢献活動を伸展する。

進捗状況:本学職員・学生及び看護教員志望者への指導を通じて、看護とその教育の意義を強く発信した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:(1)入学試験日程を3期に分け実施することで、入学志願者の増加を図る。(2)付属高校のみならず日本大学短期大学部及び文系学部へ広報活動の拡大を図る。

事業概要:付属高校への出前学校説明会等を通じて、本校進学への動機付け促進する。

進捗状況:付属・一般高校への出前説明会や個別の学校見学者への対応も積極的に行い、入学者確保に努めた。(達成度:A)

歯学部・歯学研究科・歯学部附属歯科技工専門学校・歯学部附属歯科衛生専門学校

○歯学部

【教育研究】

○事業計画:カリキュラムの改定

事業概要:近年の歯科を取り巻く社会情勢に鑑み、卒業時に歯科医師として十分な知識及び技術を有する学生を育成するためにカリキュラムを改定し各学年に歯科学統合演習を配置する。

進捗状況:平成27年度新入生を対象とした新カリキュラムに向けた準備を進めるとともに、上級生についても知識及び技術の向上を図る見直しを行い、新カリキュラム進行に向けた準備を本年度から進めている。(達成度:A)

○事業計画:海外学術交流協定校山東大学との学術交流の推進

事業概要:学生及び研究者の学術交流の推進

進捗状況:平成26年6月14日、15日、山東大学歯学部で行われた共同開催のシンポジウムに、4名(内1名は国際関係学部教授)の教員を派遣した。また、その際次年度の覚書締結について協議した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:公開講座の充実

事業概要:歯科医療等歯科分野で生活に密着した関心の高いテーマを選定し、地域住民により求められる内容を実施する。

進捗状況:講演テーマ及び参加者数は、「ストップザ化けその化け歯科でなおるかもしれません」(平成26年6月実施、参加人数96名)、「原因不明の舌の痛み〜舌がヒリヒリ痛んだことはありませんか」(平成26年11月実施、参加人数88名)で、聴講した参加者から好評であった。(達成度:A)

○事業計画:生涯学習講演会の充実(歯学部)

事業概要:医療従事者を対象とした卒業後における継続的な学習機会を提供する。

進捗状況:講演テーマは「がん患者の口腔ケアと医療連携 その2 がん患者における手術前後の口腔ケア-医科歯科医療連携の実際-」(平成26年9月実施、参加人数46名)、「がん患者の口腔ケアと医療連携 その3 よく分かる口腔

がん発生・進展の機序」平成 27 年 3 月実施, 参加人数 50 名) (達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:ホームページの改善

事業概要:より効果的な情報の発信ができるよう,ホームページの掲載内容,デザインを見直す。

進捗状況:平成 26 年 4 月にホームページのリニューアルを行い,掲載内容,デザインの見直しを行った。従前は,学部,大学院,専門学校及び病院で構成が異なっていたが,リニューアルにより,受験生,在学生,卒業生及び患者が閲覧,検索等利用しやすいホームページを構築することができた。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:歯学部新校舎建設工事

事業概要:老朽化した歯科病院(昭和 39 年取得)及び 1 号館(昭和 31 年取得)を,歯学部創設 100 周年事業として建替える。延建物面積は約 26,000 m²。建替場所は駿河台日本大学病院跡地と現歯学部 2 号館跡地。

進捗状況:平成 27 年 4 月より工事中予定である。(達成度 B)

○事業計画:2 号館冷暖機用冷温水ポンプ更新工事

事業概要:冷温水ポンプの経年劣化により,不具合等が発生しているため更新工事を行い,運転効率の向上と省エネ化を図る。

進捗状況:平成 26 年 5 月に工事が完了した。(達成度 A)

○事業計画:3 号館受変電設備モールドトランス交換工事

事業概要:経年劣化に伴う機能不良箇所の交換工事を行うことにより,耐用年数が延びるとともに安定性の向上を図る。(達成度 A)

進捗状況:平成 26 年 11 月に工事が完了した。(達成度 A)

○歯学研究科

【教育研究】

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(口腔感染を誘因とする難治性全身疾患発症機序の解明と疫学調査拠点形成)

事業概要:歯周病を誘因とする難治性全身疾患の発症機序の解明とその治療法の開発,東南アジアにおける免疫学調査を実施する。

進捗状況:最終年度の本年,ラオスとカンボジア王国での疫学調査研究に多少遅れは生じたが,各研究課題に沿って,研究者が連携をし,当初の目的は達成した。更に全身の健康維持の推進のため,関連分野にも取り組む。(達成度:A)

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(細胞移植による口腔感覚機能回復を目指した基礎研究の拠点形成)

事業概要:口腔顔面領域の外傷,外科的な侵襲,腫瘍あるいは慢性炎症等に伴う神経の退行性変化によって引き起こされる様々な神経性口腔感覚機能障害に対して多分化機能を有する移植細胞を樹立し,この細胞を移植することによって口腔感覚障害の再生治療を目指す。

進捗状況:研究体制として 3 グループに分かれて,それぞれが綿密に連携しながら研究を進めた。第 1 グループは移植可能な細胞の樹立,第 2 グループは神経成長因子の中から,損傷神経再生に必要な分子を同定,第 3 グループは神経損傷によって引き起こされる中枢神経回路変化について解析を行った。(達成度:B)

○歯科技工専門学校,歯科衛生専門学校

【教育研究】

○事業計画:学則改正(歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校)

事業概要:大学の学則が,休学期間中の学費は徴収せず,休学在籍料を設けた趣旨に則り,本専門学校においても実情に合わせ新たに休学期間中の在籍料を設ける。

進捗状況:平成 27 年 4 月 1 日施行で手続きが完了した。(達成度:A)

○事業計画:奨学金給付制度の充実(歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校)

事業概要:歯科技工専門学校-平成 27 年度新入生から,奨学金として 5 万円を給付し,学習活動を支援することを目的とした学習支援金制度が導入する。歯科衛生専門学校-同窓会奨学金制度が導入されたことに伴い,第 3 学年学生 2 名に 5 万円ずつ給付する。

進捗状況:歯科技工専門学校は平成 27 年度新入生から実施,歯科衛生専門学校は平成 26 年度実施済み。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:小学校,幼稚園での歯の健康教育の充実(歯科衛生専門学校)

事業概要:千代田区及び練馬区の小学校や幼稚園において児童及び園児の保護者への指導を含めた健康教育を実施する。

進捗状況:練馬区の小学校 2 校の 4,6 年生と,千代田区の小学校 4 校の 4 年生を対象に,咀嚼学習指導を実施した。千代田区の幼稚園 4 園の年長組,年中組を対象に,赤染め及びブラッシング指導を実施し,また保護者に対する歯科保健指導を実施。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:A0 入試,指定校推薦入試の導入(歯科技工専門学校)

事業概要:歯科技工専門学校の定員を確保するため,平成 27 年度入学試験から,「A0 入試」及び「指定校推薦入試」を導入する。

進捗状況:平成 27 年度入学試験結果として,A0 入試は受験生 4 名に対して合格者 4 名,指定校推薦入試は志願者 0 名であった。(達成度:B)

○事業計画:志願者増加対策として高等学校訪問の拡大(歯科技工専門学校)

事業概要:関東近県の定時制高等学校を中心に訪問を行い,受験生確保に努める。

進捗状況:6 月から 7 月にかけて 37 件,11 月に 29 件訪問を行った。(達成度:A)

○総合歯学研究所

【教育研究】

○事業計画:総合歯学研究所研究費における研究費(A),研究費(B)の交付による研究の推進

事業概要:研究費(A)は競争的資金としての性格を持たせることにより,研究者の研究レベル向上に寄与する。研究費(B)は各講座における研究活動の推進を支援する。

進捗状況:研究費(A)は3件に総額480万円を給付。研究費(B)は各講座1件を採択し、24件に総額1,200万円を給付。なお、受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められる。(達成度:A)

○事業計画:委託研究費の積極的受入れと特許権の取得の推進

事業概要:本部研究推進部知財課と連携し、企業との委託研究による製品開発、特許申請等研究成果の社会への還元を図る。

進捗状況:本部知財課経由の本学部のロイヤリティ実績は5,500万円超となっている。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

松戸歯学部・松戸歯学研究科・松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

○松戸歯学部,松戸歯学研究科,松戸歯学部附属歯科衛生専門学校共通

【教育研究】

○事業計画:東日本大震災被災学生への特別措置

事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施。

進捗状況:(1)学部-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除3名,住居半壊:授業料等半額免除6名,原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期0名・後期0名,(2)大学院-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名,住居半壊:授業料等半額免除0名,原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期0名・後期0名,(3)衛生専門学校住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名(達成度:A)

者は在籍者の半数以上であり、松戸歯学部の既卒者合格率のアップに貢献していた。しかし、平成26年度は、在籍生は0名であった。残念ながら、歯科医師国家試験が不合格になってしまった既卒者にも歯科医師国家試験合格まで親身に指導する姿勢は、不変なものである。今後も予備校より安価で内容の良い講義を提供したい。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:生涯研修

事業概要:生涯研修コース・セミナーの定期的開催。

進捗状況:平成26年度は9回開催。(達成度:A)

○事業計画:公開講座

事業概要:年2回開催

進捗状況:6月「子や孫に伝えたい、正しい食べ方の発達一よく噛んで食べていますか、お箸は正しく持っていますかー」講師 野本たかと(障害者歯科学講座准教授)88名受講。10月「お口の機能の加齢変化ーおいしく食べるための予防と対応ー」講師 川良 美佐雄(顎口腔機能治療学講座教授)63名受講(達成度:A)

○事業計画:市民まつりへの参加

事業概要:毎年1回10月に開催される「松戸まつり」へ本学部のブースを出展。

進捗状況:「お口の悩み よろず相談コーナー」と題し、歯科医師による「よろず相談コーナー」及び歯科衛生士、附属歯科衛生専門学校生による「歯磨き相談コーナー」を実施し、10月4日・5日の2日間で362名来場。(達成度:A)

○事業計画:松戸市こども発達センターの摂食指導

事業概要:同センターの摂食指導事業に対する歯科医師の派遣。

進捗状況:月2回定期的に歯科医師を派遣。(達成度:A)

○事業計画:教職員・学生等への節電・節水の啓蒙

事業概要:空調の設定温度に対する基準の設定(夏季28℃,冬季23℃),夏季期間軽装(ノーネクタイ)の義務付けなど

進捗状況:教職員,学生全員で取り組んだ。(達成度:A)

○事業計画:茨城県歯科医師会 災害時身元確認活動

事業概要:災害時,茨城県歯科医師会からの要請により身元確認作業に協力する。

進捗状況:災害発生時,瞬時に協力できるよう,常時万全な体制をとっている。(達成度:A)

○松戸歯学部

【教育研究】

○事業計画:教育・学習総合センター

事業概要:学生教育の質を高めるため,学生個々の理解を促進することを目的に教育支援システムを構築し,教育上必要かつ有効な情報及び教材を作成する。また,教育・学修の基礎データを分析し,結果を教員並びに学生に還元する。

進捗状況:各学年の歯科医学総合講義の総合試験,再試験の問題作成,印刷,採点システム及び集計システムの稼働,併せてシラバス入稿システムの稼働により教員の負担減を図った。歯科医学総合講義の定期試験問題等を解析するシステムを稼働させ,出題内容の改善に努め歯科医師国家試験合格率上昇に繋げる。授業出席状況調査の集計を厳密に行い,欠席をなくす取組みに反映させ,欠席率の減少に努める。学生カテシステム構築のための調査,事例研究を行っている。(達成度:A)

○事業計画:学修支援システムの構築

事業概要:教育・学修総合センターの業務の一環として,学生個人のさまざまな情報をデータ化し,それを解析し,教員に学生への学修支援の資料として提供すると共に,学生にもフィードバックし,自らの不得意分野を把握させ,勉学意欲を向上させるためのシステムを構築する。

進捗状況:学生個々のデータは,徐々に整理されてきている。学生カテシステム,学生個々の成績分布作成システム及び学生連絡用メールアドレスの管理システム等を開発し,実用している。(達成度:A)

○事業計画:特別研究生制度

事業概要:既卒者で歯科医師国家試験不合格者の学修をサポートする制度。

進捗状況:既卒者への手厚いサポートは,松戸歯学部の特徴の一つとして,受験生の確保にも繋がっていた。ここ数年,特別研究生制度の在籍者の歯科医師国家試験の合格

【経営・人事】

○事業計画:教員定員数の削減

事業概要:5か年計画(平成23年度から)に基づき,平成27年度末までに教員定員数を現在の156名から149名にする。

進捗状況:新規採用専任教員の抑制に努めた。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:第3号基金組入れ
事業概要:教育研究基金等の組入れ
進捗状況:すべて目標額に達している。(達成度:A)

○松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

【教育研究】

- 事業計画:実習用エットの整備
事業概要:基礎実習室の実習用エットを整備する。
進捗状況:予算の関係からエットの増設は出来なかったが、故障中のエットの修理を実施し、稼働台数を増やした。(達成度:B)
- 事業計画:高等学校訪問
事業概要:各高等学校への積極的な啓蒙活動の実施。
進捗状況:松戸市近郊の高等学校を訪問し、進学説明会・進路ガイダンス(模擬授業)を行ったが平成27年度の受験生の増加には残念ながら繋がらなかった。しかし、訪問先からの評判は非常に良いので、継続していきたい。(達成度:A)
- 事業計画:臨地実習現場の開拓
事業概要:幼稚園・小学校・中学校・保健センター等での実習実施。
進捗状況:実際の現場で保健指導を幅広く経験することで、医療従事者としての自覚を身に付け、歯科衛生士として必要な知識と技術を修得させることを目的として実施している。実習先からの評判は非常に良いので、継続していきたい。また、新カリキュラムに基づき実習時間が増加するので、新たな臨地実習現場の拡充のための足固めとしている。(達成度:B)
- 事業計画:平成26年度～平成29年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
事業概要:基礎と臨床系研究者との協働を基に研究拠点を創り、生活習慣病である歯周病と全身疾患の関係の解明、新規治療薬の開発を目指すことで若手研究者を支援し研究力を向上させる。
進捗状況:文部科学省の平成26年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択結果が不採択となり、事業計画は実行できなかった。(達成度:D)

生物資源科学部・生物資源科学研究科・獣医学研究科・短期大学部 (生物資源学科)

○生物資源科学部

【教育研究】

- 事業計画:入試制度の改善と大学偏差値の向上
事業概要:入学者選抜方法の点検と改善,入学定員の見直しと適切な学生数確保
進捗状況:入学センターで積極的に個人見学をも受け入れ、きめ細かい対応を行い、受験生確保も順調に進んでいる。(達成度:A)
- 事業計画:特色ある教育—フィールドサイエンス教育の充実
事業概要:生物資源科学フィールドサイエンス実習の充実によるモチベーション維持向上教育
進捗状況:本学部の付属施設である農場,下田臨海実験所,演習林及び富士自然教育センターを活用し,学科と分野を超える実体験型教育を実施している。参加者も年々増加し,今後一層の充実を図る。(達成度:A)
- 事業計画:学術協定校との単位互換や海外学術交流の促進
事業概要:藤沢市内4大学との協定締結と単位互換制度の拡大,海外学術交流協定の促進
進捗状況:単位認定制度の拡大まで行えなかったが,交流は活性している。(達成度:B)
- 事業計画:教育内容の再検討と改善
事業概要:各学科のカリキュラムの見直しと学科名称・研究室名称の変更
進捗状況:植物資源科学科及び食品生命学科のカリキュラム見直しを進め,平成27年度より植物資源科学が生命農学

科に学科名称変更・カリキュラムの変更作業を進めた。(達成度:A)

- 事業計画:新学科の設置
事業概要:平成27年4月「くらしの生物学科」の設置
進捗状況:文部科学省の設置認可の手続きを進め,平成27年4月より「くらしの生物学科」の設置が認可された(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:教育環境の整備
事業概要:60周年記念棟(仮称)の新築及び1～3号館の改築,農場研修センターの新築
進捗状況:60周年記念棟が竣工し,1～3号館の改築工事の着手,さらに農場研修センターの竣工し,予定どおり教育環境の整備が進んでいる(達成度:A)

○生物資源科学研究科,獣医学研究科

【教育研究】

- 事業計画:大学院の改善
事業概要:TAシステムの改善と経済的支援の強化,PD制度の充実,大学院組織の改組を目的とした検討
進捗状況:(達成度:B)
- 事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への計画的申請
事業概要:学部大型研究プロジェクトによる研究の高度化,若手研究者の養成による後継者育成
進捗状況:研究拠点を形成する研究に1件新規申請,継続分も1件申請し,それぞれ採択された。(達成度:A)

薬学部・薬学研究科

○薬学部

【教育研究】

- 事業計画:学籍システム更新
事業概要:シラス・履修登録・掲示板等をネットワーク利用して,学生向けに情報提供する新学籍システムを構築する。
進捗状況:学生への情報伝達向上をめざし,webによるシラス参照・履修登録・掲示板等情報提供のシステム運用を平

成 27 年度から開始するための準備を行った。(達成度:A)

- 事業計画:実務実習管理・連絡システム運用
事業概要:薬学実務実習に係るデータの修正,変更,過去のデータなどを一元管理するためのシステムを構築する。
進捗状況:web による一元管理が可能なシステムの運用を開始した。薬学実務実習における実習施設及び学生の情報を教員間で共有でき,実習生への指導効果が向上した。(達成度:A)
- 事業計画:共用試験(CBT)対策講座・模擬試験
事業概要:共用試験(CBT)の合格に向けた学力向上のための対策講座・模擬試験を実施する。
進捗状況:4年生を対象に CBT 対策講座を集中講義の形式で土曜日を中心に 59 コ実施した。また,模擬試験を 2 回実施した。(達成度:A)
- 事業計画:薬剤師国家試験対策講座・模擬試験
事業概要:外部講師を招へいし,薬剤師国家試験に向けた対策講座・模擬試験を実施する。
進捗状況:6年生対象の国家試験対策講座を 4 月から 2 月まで実施し,模擬試験を 6 回実施した。また,5 年生対象の国家試験対策講座を 7 月に実施し,模擬試験を 12 月に実施した。(達成度:A)
- 事業計画:教育支援システム運用
事業概要:共用試験(CBT)及び薬剤師国家試験合格率向上のため,教育支援システムを導入する。
進捗状況:パソコン上で共用試験(CBT)及び国家試験対策の演習問題を解きながら学習できる ASP 演習システムを開設した。これにより学生は自分のパソコンを使用して学内・外から学習することができた。(達成度:A)
- 事業計画:薬学教育研究センターの設置・運営
事業概要:本学部の教育の在り方についての企画・提言及び6年間の学びに対する総合的支援などを実施する。
進捗状況:専任教員を配置し,授業内での疑問点等について質問を共有できるシステムを構築した。また,ノートブックにより板書内容等の情報を集め,講義内容の分析を行った。(達成度:B)
- 事業計画:出席管理システムの運用
事業概要:IC カードを利用した出席管理を実施する。
進捗状況:IC カードリーダーを購入し,学生証が IC(Felica)化した学年(1~2 年)から暫時実施した。これにより直近の学生の出席動向を把握でき,退学防止策の一助となる。(達成度:B)
- 事業計画:海外研修
事業概要:ヨーロッパでの研修を学生の春季休暇期間に合わせて実施する。
進捗状況:平成 27 年 2 月 25 日(水)から平成 27 年 3 月 10 日(火)の 14 日間を計画したが,ヨーロッパでのテロ活動等による治安の悪化から,学生の安全を最優先し中止とした。(達成度:D)
- 事業計画:ランチョンセミナーの実施
事業概要:4 年生を対象に前期(4 月~6 月),後期(9 月~12 月),に昼休みを利用して企業を大学に招き情報収集,業界研究のためのセミナーを実施する。
進捗状況:参加申込企業等 64 社に対し,延べ 2,003 名の学生が参加し,就職活動に向けての情報収集,業界研究の機会を得た(達成度:A)

○事業計画:文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への申請-プロジェクト名「時間生物学を基盤とした生体防御機構の解明およびその時間薬物治療への応用」

事業概要:学術フロンティア推進事業等で構築・解明された成果を発展させて種々疾患の発症メカニズムに迫り,がん化学療法における時間薬物治療の研究を実施する。
進捗状況:文部科学省へ申請し学部が研究補助を行う予定であったが,不採択となり実施に着手できていない。(達成度:D)

○事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置

事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:(1)学部-住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 7 名,住居半壊:授業料等半額免除 9 名,原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期 0 名・後期 0 名,(2)大学院 住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 0 名,住居半壊:授業料等半額免除 0 名,原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期 0 名・後期 0 名(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:薬学生涯教育講座
事業概要:薬剤師としてのスキルアップの向上や専門的知識の体系的習得などを目指した各種講座を実施する。
進捗状況:日本大学薬学生涯教育講座(最近のトピック等 29 講座)を実施した。(公社)薬剤師認定制度認証機構より生涯研修認定制度の認証を受け,3 名の認定薬剤師を輩出した。(達成度:A)
- 事業計画:薬草教室の開催,薬用植物園の公開
事業概要:地域貢献及び開かれた大学を目指し,地域住民に対して薬草教室と薬用植物園の公開を行う。
進捗状況:春と秋に薬草教室を開催し,春は 68 名,秋は 64 名の参加者があった。また,オープンキャンパス等でも薬用植物園を公開した。(達成度:A)
- 事業計画:エコキャップの回収
事業概要:学生,教職員のリサイクル意識を高めるとともに,地球環境保護への関心を醸成する。
進捗状況:エコキャップの回収を継続している(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:防災食料,備品等の購入
事業概要:消防計画に基づく非常用物品等を購入し,有事に備えた準備を行う。
進捗状況:災害時の生活用品として緊急用トイレ等を購入し,非常用物品を充実させた。(達成度:A)
- 事業計画:体験入学の実施
事業概要:高校生に対してより詳細に本学部や薬学の学問分野について紹介する。
進捗状況:オープンキャンパスの一環として 8 月 20 日(水)に事前登録制の体験入学を行った。実験コース定員 20 名を 6 コースと見学コース定員 40 名で実施し,少人数でよりきめ細かな学部等の紹介を行うことができた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:4 号館空調設備改修工事

事業概要:経年劣化した4号館(動物センター)の空調機器(PAC-2)の更新

進捗状況:平成26年11月～平成27年2月に実施,完了した。(達成度:A)

- 事業計画:1・3～5号館屋上防水改修工事

事業概要:創設時以来の建物の屋上防水を改修し,建物の耐性,性能の維持を図る。

進捗状況:平成26年12月～平成27年2月に実施,完了した。(達成度:A)

- 事業計画:排水処理施設整備工事

事業概要:法令の規制に適合した排水処理施設の維持を図る。

進捗状況:平成26年7月～平成25年9月に実施,完了した。(達成度:A)

通信教育部

○通信教育部

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置

事業概要:被災した学生に対し,授業料を減免する。

進捗状況:被災した学生が学業を継続した。(達成度:A)

- 事業計画:スクーリング開講形態等の改善

事業概要:各種スクーリングにおける,開講形態や開講時期等を見直す。

進捗状況:社会人学生や地方在住学生の受講機会を増やすため,①昼間スクーリングを土曜日も開講②東京スクーリング(春期)を1期増設③7月,9月の3連休に地方スクーリングを開講した。(達成度:A)

- 事業計画:メディア授業の改善と充実

事業概要:メディア授業の修得機会を充実させる。

進捗状況:卒業に必要なスクーリング単位についてメディア授業の単位数制限を撤廃した。また,英語科教員免許取得の必修科目「英語学概説」を新規に2講座(MA・MB)開講した。(達成度:B)

- 事業計画:総合学修支援(カ・イクス)

事業概要:新入生対象に円滑な学修生活ができるようカ・イクスを実施する。

進捗状況:新入生及び在学生在で単位未修得者に対して,レポート指導,単位修得方法等の説明及び個別学修相談を5月と11月に実施した。(達成度:A)

- 事業計画:教職課程科目「教育実践指導(事前指導・事後指導)の充実及び「教職実践演習」の開講

事業概要:教員としての最小限必要な資質能力の全体を明示的に確認させる。

進捗状況:より学修効果が上がるよう授業時間を見直し,8月に「教職実践演習①」,12月に「教職実践演習②」を,それぞれ2日間実施した。(達成度:A)

- 事業計画:『研究紀要』投稿原稿に関する査読審査等の導入

事業概要:『研究紀要』に査読制度を設けて質的向上を図り,学術研究の発展に寄与する。

進捗状況:査読制度を用いた投稿原稿の募集を実施したが,査読論文の投稿はなかった。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:基幹システムの新規開発

事業概要:基幹システムを新規開発し,現システムの不具合解消,業務上の問題点抽出,業務効率の向上を図る。

進捗状況:現システムと同等の機能に加え,学生サポート機能を有するシステムを構築できた。(達成度:B)

- 事業計画:ホームページの内容充実

事業概要:ホームページの内容を入学希望者向けに重点を置くことで,入学者の増加を図る。

進捗状況:ホームページの更新が完了し,本学キャンパスで開催する入学説明会の来場者が増加した。(達成度:A)

- 事業計画:入学説明会及び学校訪問

事業概要:入学説明会と学校訪問を充実させ,入学者の増加を図る。

進捗状況:本学キャンパスでの説明会,単独の主要都市説明会及び高校訪問等の実施により,後期の入学人数が増加した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:コンピュータ実習室機器の入替え

事業概要:コンピュータ実習室のコンピュータ及びプリンタを全面的に更新し,学生の学習環境の向上を図る。

進捗状況:計画どおり更新が完了し,学生の学習環境が向上した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:第3号基本金への組入れ

事業概要:通信教育部研究基金4億円を目標に,平成24年度3千万円,平成25～28年度(毎年度)2千万円を組入れする。

進捗状況:組入計画どおり今年度2千万円を組入れし,基金残高が3億6千万円となった。(達成度:A)

付属高等学校・付属中学校・幼稚園

○日本大学高等学校,日本大学中学校 共通

【教育研究】

- 事業計画:日本大学各学部による進学相談会

事業概要:中学から高校まで全学年を対象に実施し,本学への理解を深めさせ,帰属意識を醸成する。

進捗状況:保護者の方への案内を徹底できた。早期の進路意識を喚起させ,本学への本意進学に向けたサポートとして機能した。(達成度:A)

- 事業計画:卒業生による進路説明会

事業概要:40名を超える卒業生に受験体験・大学生活について,説明させることで,在校生の学習意欲,進路意識を高めさせる。

進捗状況:既に本説明会を経験した卒業生が説明に当たっているため、説明内容のより一層の充実が図れた。(達成度:A)

○事業計画:ポット講習会

事業概要:理工学部精密機械工学科と連携したポット製作やコンテスト参加を通して、チーム力醸成、理科力増強、本学理系学部への進学意欲を高める。

進捗状況:一致協力して作成したポットでコンテストに準優勝して当初の目的を達成した。(達成度:A)

○事業計画:芸術鑑賞教室

事業概要:中学、高校のそれぞれ学年別にテーマを設定して、生徒に多彩な芸術に接する機会を与える。

進捗状況:生徒が普段に経験することの少ない無声映画鑑賞やパレ観劇等で知見を拡大できた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:施設の貸出し

事業概要:近隣幼稚園の運動会、英語検定試験、国及び地方選挙投票の会場として施設を貸出し地域社会との融和を図る。

進捗状況:運動会、英語検定試験、選挙投票の会場貸出しを行った。(達成度:A)

○事業計画:社会奉仕活動

事業概要:赤い羽根共同募金、緑の募金、盲導犬育成支援などの各種募金活動への参加、集団献血の実施などを通じて、生徒の社会貢献に対する意識を高める。

進捗状況:文化祭等で協力を呼びかけることにより十分な結果を得た。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:人件費削減

事業概要:定年退職教員に係る教員の新規採用にあたっては、生徒数及びクラス数を十分勘案したうえで計画的に実施し、人件費削減を図る。

進捗状況:平成27年度に向け入学者数及びクラス等を勘案したうえで教員人件費を計上したが結果的に入学者が増えたため、人件費の増額が見込まれる結果となった。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:収入改善策の実行

事業概要:(1)平成26年度新入学生からの授業料改定、(2)入学分納金の改定

進捗状況:平成26年度の新入学生から授業料を39,000円(年間)増額した。また、入学分納金I期分を従前の5万円から8万円に改定した。このような施策により、平成26年度は前年度の生徒総数を大幅に下回ったものの、収入の減少は軽微に留まった。(達成度:A)

○事業計画:国庫補助金の積極的な確保

事業概要:私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費の申請

進捗状況:平成26年6月に事業申請を行い、交付決定通知を受領した。これにより、補助対象経費の1/2が補助金交付額として獲得できた。(達成度:A)

○事業計画:冗費の削減

事業概要:平成26年度予算編成基本方針において教科系予算を中心に、マックス3%のシリングを実施することにより、経費全体の見直しを図る。

進捗状況:各々の分掌及び教科等において、平成26年度予算に沿った運営が実施されていることから、予算通り冗費の削減が達成できている。(達成度:A)

○櫻丘高等学校

【教育研究】

○事業計画:国際化に対応した語学教育研修制度

事業概要:ネイティブスピーカーによる週22コマの授業を実施する。夏期休暇期間中にイギリスへの語学研修を実施する。

進捗状況:ネイティブスピーカーによる週22コマの授業を1学年に対して実施した。希望者に対して、夏期休暇期間中にイギリスへの語学研修(7/20～8/4)を実施した。(達成度:A)

○事業計画:教員研修制度

事業概要:外部機関の実施する研修会に本校教諭を派遣する。今年度より、英語教諭対象に教育能力の向上を目指し海外への研修派遣(英語教授法スキルアップ研修会)を実施する。

進捗状況:外部機関の実施する研修会へは、夏期などの休暇期間を中心に各教科により個別に実施した。本部主催の英語教授法スキルアップ研修会(7/20～8/7)に今年度、英語科教員1名が参加した。(達成度:A)

○事業計画:高大連携教育の推進

事業概要:文理学部併設校の利点を生かし、1年生全員に体験授業(年一回)を実施する。2年生から大学の講義の一部を科目等履修生として受講する。

進捗状況:体験授業は、1年生全員及び2・3年生の希望者を対象に9月21日(日)文理学部で実施した。高大連携教育に関する協定を結んでいる文理学部、法学部及び経済学部へ2・3年生の希望者が登録・受講した。(達成度:A)

○事業計画:本校教諭及び外部講師による講習

事業概要:本校教諭による夏期講習(夏期休暇期間中の前半(7月下旬))を実施する。外部講師による特別講習(夏期休暇期間中の後半(8月下旬))を実施する。

進捗状況:全学年の希望者を対象に7月20日(日)～7月30日(水)に実施した。3年生の希望者を対象に8月20日(水)～8月30日(土)に実施した。(達成度:A)

○事業計画:習熟度別授業の実施

事業概要:英語と理系コースの数学で、生徒の習熟度に合わせた少人数クラスを編成し授業を行う。

進捗状況:理系コースの2・3年生を対象に数学及び英語で実施した。(達成度:A)

○事業計画:基礎学力養成講習の実施

事業概要:本校教諭による基礎学力養成講習を夏期休暇期間中の前半(7月下旬)に3日間、冬期休暇直前の2日間に実施する。

進捗状況:1・2学年の希望者を対象に7月20日(日)～7月22日(火)及び12月19日(金)・20日(土)に実施した。(達成度:A)

○事業計画:大学本部交換留学生徒の交流プログラムの実施

事業概要:留学生を本校生徒の家庭にホームステイさせる。また交流イベントを開催する。

進捗状況:今回は開催に至っていない。(達成度:C)

○事業計画:長期海外留学プログラムの策定

事業概要:3 か月以上 1 年間の協定校による海外留学プログラムの実施
進捗状況:実施内容等検討中のため、実施に至っていない。(達成度:C)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:文化祭模擬店収益金の寄付
事業概要:文化祭模擬店の収益金及び募金活動によるユニセフ協会・東日本大震災復興支援・児童養護施設等複数の団体への協力を行う。
進捗状況:文化祭2日分の収益金を毎年実施している複数の団体へ協力を行った。(達成度:A)
- 事業計画:第2回烏山地域蘆花まつりの生徒参加
事業概要:第2回となる烏山地域の行事に吹奏楽部・バンド部が参加した。
進捗状況:地域との親交を深めることを目標とする。また、当行事のパンフレットに広告を掲載し、より一層、本校を近隣にアピールしていく。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:キャンパスマスタープランの構築
事業概要:重要整備計画に沿って新館・新体育館建設に係る具体的な策定を行う。
進捗状況:どのような機能を盛り込んだ教育環境の構築をするかを慎重に検討し、平成26年度設計を行った。(達成度:A)
- 事業計画:新館・新体育館(仮称)建設工事
事業概要:生徒会館・体育館の建替え
進捗状況:基本設計説明会・実施設計説明会・現場説明会を経て、平成27年3月31日に入札を行う。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学基金への組入れ
事業概要:生徒へ奨学金の給付を行うため、毎年度100万円を櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学基金(第3号基本金)に組入れる。
進捗状況:組入計画に基づき、100万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○鶴ヶ丘高等学校

【教育研究】

- 事業計画:普通コース併願優遇者への学習計画
事業概要:第一希望他大学の生徒には、進路講話・平成28年度から3年生からのコース替えを予定
進捗状況:学習指導委員会でのコース替えの内容検討中(達成度:B)
- 事業計画:海外留学制度作成
事業概要:約1年の留学については単位認定・オーストラリア交換留学・3年生ギャップタームの内容作成中
進捗状況:具体的に完成しつつある(達成度:A)
- 事業計画:キャリア教育の充実
事業概要:シラバスに反映し、双方向授業、プレゼン形式などを一部取り入れて実施
進捗状況:昨年度よりは、実施教科も増えた。今後高大連携学部を増やしていく予定(達成度:A)
- 事業計画:自己点検・自己評価・学校評価結果の振り返り

事業概要:教頭の授業参観及び面談、学習指導委員会での問題共有
進捗状況:他の研修を含めて、研鑽を深められた(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:地域との連携と貢献
事業概要:小中一貫教育杉並学園開校に伴い、運動場建設継続から引き続き施設の貸し出し
進捗状況:地域防災連絡会なども含めてさらに貢献出来た(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:入試改革の推進
事業概要:推薦基準等見直しと、併願優遇入学者の他大受験希望者へのコース新設
進捗状況:来年度新3年生からコース2(仮称)を導入する。生徒・保護者へ周知(達成度:A)
- 事業計画:入試制度の変更
事業概要:特進第2回目廃止
進捗状況:推薦入試緩和措置拡大とともに、実施。(達成度:A)
- 事業計画:教員組織の構成的確化
事業概要:中、長期的な計画採用と、専任・非常勤講師のバランスの適正化
進捗状況:学校経営を見ながら、計画し採用(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:6号館地下教室改修工事
事業概要:6号館地下教室の改修工事。
進捗状況:平成26年4月にて6号館地下教室改修工事完了。(達成度:A)
- 事業計画:給排水改修工事(1号館系統)
事業概要:1号館系統の給排水改修工事。
進捗状況:平成26年9月にて給排水改修工事(1号館系統)完了。(達成度:A)
- 事業計画:防火扉ほか改修工事
事業概要:防火扉ほか改修工事。
進捗状況:平成26年8月にて防火扉ほか改修工事完了。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:財政基盤の確立
事業概要:各種引当資産の繰入。
進捗状況:年次計画による、特定目的引当資産への繰入を行った。(達成度:A)
- 事業計画:事業資金の確保
事業概要:80周年記念事業資金の確保。
進捗状況:27年度新入生から学費の値上げを行うなどにより、事業資金の確保を図った。(達成度:B)

○藤沢高等学校,藤沢中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:基本的生活習慣の実施
事業概要:基本的生活習慣の実践、挨拶指導、躰教育の実践
進捗状況:「躰教育の徹底」を教育方針の1つに掲げ、生活指導部を中心に全教職員が熱心に指導を実施している。(達成度:A)
- 事業計画:国際感覚の育成

事業概要:少人数教育,海外語学研修,学術交流の充実及び英語検定受験の奨励

進捗状況:1 クラスを2 つに分けて英会話の授業をネイティブ講師により実施。語学研修は中高両方に実施。自主的に熱心に活動していた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:課外活動・社会貢献の推進

事業概要:部活動奨励による心身の育成

進捗状況:部活への参加を奨励し,活性化を図り,全国大会等で活躍した。地域のイベントに参加したり,養老施設慰問などで社会貢献を果たした。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:小学校校舎新築その他の工事

事業概要:日本大学創立130周年記念事業の1つとして小学校の開設第2グラウンドを小学校建設用地としたため,生物資源科学部の農地に新グラウンドを建設

進捗状況:平成25年12月新グラウンド竣工。平成26年7月小学校竣工。(達成度:A)

○藤沢高等学校

【教育研究】

○事業計画:基礎学力の養成と大学進学率の向上

事業概要:授業等におけるきめ細かな個人指導の充実。
進捗状況:夏季・冬季休暇中の希望者対象講習,成績不振者への補習,3年生対象の夏季勉強合宿等を実施した。(達成度:A)

○事業計画:併設中学校の設立・募集・教育

事業概要:中高大一貫教育の実現

進捗状況:設立6年目で,第一期生が高校卒業の年となった。内進生の大学進学も,日大・他大学とも素晴らしい実績を残した。平成27年度に至る3年間の募集状況は120名で安定している。(達成度:A)

○藤沢中学校

【教育研究】

○事業計画:農業体験の実施

事業概要:農場でのフィールドワークの実施

進捗状況:隣接する生物資源科学部の農場や食肉加工施設を利用し,体験学習を通じて食の教育が実践できた。(達成度:A)

○豊山高等学校,豊山中学校共通

【教育研究】

○事業計画:中高6か年一貫システムの推進

事業概要:個々の適性にあったカリキュラムの構築

進捗状況:発展期(中3)に特進クラスの設置。向上期(高1)に特進クラスの他に体育クラスを設置。また応用完成期(高2・3)では文系・理系のクラス編成を実施し,学力向上を図る。(達成度:B)

○事業計画:教育・研究活動の推進

事業概要:自己点検・自己評価を踏まえた各教科の研究授業の充実と教授法等指導体制の確立

進捗状況:指導目標に従いシラバスを作成して年度当初に生徒・保護者へ明示。教員の研修意欲高揚と授業教授法

のスキルアップを図るため各種研修を強化。3名に海外研修の機会を与える。(達成度:B)

○事業計画:学力向上推進プロジェクト

事業概要:各教科,学力向上対策としてインターネットや電子黒板内蔵プロジェクターを活用

進捗状況:英語はHP,DVDを中高生とも利用。各教科とも電子黒板内蔵プロジェクターを活用し,授業の活性化を図る。高3文系数学では少人数の学習到達度別授業を実践。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:近隣小学校との交流

事業概要:学校行事における近隣との交流

進捗状況:例年,本校吹奏楽部が近隣小学校へ出向き,児童へ音楽指導を行う。今年度は近隣小学校の周年行事にも参加し,ドリルを行い好評を得た。(達成度:B)

○事業計画:ボランティア活動の推進

事業概要:通学路の交通整理及び学祖墓所の清掃等

進捗状況:護国寺駅階段付近の交通整理等の功績に対し,警察庁大塚警察署長より交通安全委員生徒が表彰された。美化委員会の活動として護国寺境内の学祖墓所等の清掃は,年間を通し定期的実施。(達成度:A)

○事業計画:体育館・温水プール等の貸出

事業概要:地元住民との融和

進捗状況:部活動で使わない時にプールを貸し出し,コミュニケーションや融和に努めた。また,(財)日本英語検定協会本会場及び有名私塾の試験会場として施設の貸し出しを行った。(達成度:B)

○事業計画:同窓会との連携強化

事業概要:同窓会奨学金制度の充実

進捗状況:同窓会会長・理事長の学校行事への招待などの相互関係により,学校支援に協力をいただいている。経済困窮生徒へのための同窓会奨学金を設置していただいている。(達成度:B)

○事業計画:地域社会との連携強化

事業概要:交通安全キャンペーン活動,文京福祉センター祭への参加

進捗状況:大塚警察署との連携により生徒会役員等の生徒が交通安全キャンペーン活動を実施。近隣施設との連携で祭の準備を手伝い地域住民との融和交流を図る。(達成度:A)

○事業計画:防災対策

事業概要:大規模災害等不測の事態に備えた積極的な活動

進捗状況:護国寺との連携による生徒避難訓練並びに自衛消防隊による放水訓練等の活動を充実させ,生徒のみならず,教職員の防災意識を高めた。(達成度:A)

○事業計画:環境教育における他校との連携

事業概要:生徒及び教員が環境体験学習の活動に参加

進捗状況:東京環境教育実践研究会に所属し,環境体験学習として北海道道東地区での自然環境調査へ4校29名参加。本校は9名参加。教員2名が福島南相馬被災地を視察。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:志願者増対策及び広報活動の拡充

事業概要:学校説明会及び募集広告等の見直し,近県都下をターゲットとした広報活動

進捗状況:中学の募集定員を200名から240名に拡大し,中高一貫体制を整える。インターネット出願の導入を実施。高校一般受験者は昨年度の1.26倍と増加。高校新入生473名,中学新入生236名を確保した。(達成度:A)

○事業計画:適正な教員採用

事業概要:教員の定年退職に対する後任補充の適切な人員配置

進捗状況:教員の年齢構成バランスや教科の構成人数を考慮し,4名の退職者に対し,3名の補充に留め,計画的な採用計画を推進し,人件費の抑制に努めた。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画:キャンパス整備事業

事業概要:新校舎の建設及び既存校舎の解体

進捗状況:平成27年3月に新校舎の竣工に至る。なお,引き続き既存校舎を解体し校庭等の整備に着手する。(達成度:A)

○豊山高等学校

【教育研究】

○事業計画:高大連携教育の推進

事業概要:法学部・経済学部・生産工学部の単位を入学後に取得認定。

進捗状況:法学部は高3が1名,高2が1名の計2名が受講,経済学部では高3が1名,高2が4名の計5名が受講し,前年度より向上。生産工学部においては28名が履修した。(達成度:A)

○豊山中学校

【教育研究】

○事業計画:第3学年に特進クラスを2クラス設置

事業内容:発展的な学習内容に取り組み,高いレベルの知識を身につけさせる。

進捗状況:平成26年度も特進クラスを2クラス設置し,学力の向上を図っている。今年度は英検2級3名,準2級28名が合格(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:学校説明会の実施方法等の見直し

事業概要:保護者対象の説明会と小学生対象の参加体験型の説明会を実施した。

進捗状況:保護者にはデータ等による本校の魅力の説明,小学生には部活動体験,授業体験,問題解決講座等で受験意欲を高める工夫をした。(達成度:A)

○豊山女子高等学校,豊山女子中学校
共通

【教育研究】

○事業計画:スキー教室

事業概要:志賀高原でのスキー教室

進捗状況:12月21日～23日(3日間)中1～高2までの希望者(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:秋桜祭

事業概要:募金・バザー 9月

進捗状況:9月20日～21日 入場者数4,773名,募金・バザー収益金・食堂部門利益寄付,板橋区福祉協議会他(達成度:A)

○事業計画:リサイクル運動

事業概要:エコキャップ運動

進捗状況:ペットボトルキャップを日常的に回収し,リサイクルしている。(達成度:A)

○豊山女子高等学校

【教育研究】

○事業計画:校外学習

事業概要:校外学習(全学年)

進捗状況:5月1日(1年 八景島シーパラダイス 2年 横浜 3年 東京デイズニースー) (達成度:A)

○事業計画:芸術鑑賞

事業概要:ミュージカル鑑賞

進捗状況:6月3日 ミュージカル「シスター・アクト～天使にラブソングを～」(帝国劇場) (達成度:A)

○事業計画:講演会・講習会

事業概要:防犯講演会,制服着用セミナー,STI講習会,テーブルマナー講習会,租税教室,普通救命講習会

進捗状況:4月8日 防犯講演会(高校1年生対象),4月8日 制服着用セミナー(高校1年生対象),7月14日 STI(性感染症)予防講習会(高校2年生対象),7月14日 テーブルマナー講習会(高校1年生対象),7月17日 租税教室(高校1年生希望者対象),12月12日 普通救命講習会(高校1年生対象) (達成度:A)

○事業計画:全学年進路説明会

事業概要:全学年進路説明会

進捗状況:5月24日 高校全学年希望者対象 各学部より講師招聘,卒業生による講演(達成度:A)

○事業計画:理数科特別授業

事業概要:理数科対象

進捗状況:4月19日高1理科-理化学研究所訪問(達成度:A),7月17日高1数学-実践女子大学より講師招聘(達成度:A),12月9日高2理科-生物資源科学部訪問(達成度:A),12月11日高2数学-理工学部より講師招聘(達成度:A),12月18日高1理科-筑波宇宙センター(JAXA)訪問(達成度:A),2月14日高2理科-薬学部訪問(達成度:A)

○事業計画:理数科課題研究発表会

事業概要:高校2年生理数科対象

進捗状況:7月16日 物理班,化学班,生物班,数学班に分かれて研究テーマに沿って発表高校1年生理数科は発表会を見学(達成度:A)

○事業計画:海外英語研修

事業概要:カナダでの語学研修

進捗状況:7月21日～8月7日(18日間) (達成度:A)

○事業計画:修学旅行(高2)

事業概要:修学旅行 沖縄平和学習 4泊5日

進捗状況:11月10日～14日 沖縄(達成度:A)

○事業計画:スキー教室

事業概要:志賀高原でのスキー教室

進捗状況:12月21日～23日(3日間)中1～高2までの希望者(達成度:A)

○事業計画:特別講座

事業概要:1月中4回 高3対象

進捗状況:平成27年1月14日薬学部より講師招聘,1月16日法学部より講師招聘,1月23日 大原学園より講師招聘,1月26日 SMBCより講師招聘(達成度:A)

- 事業計画:研究授業
事業概要:新採用教員研修研究授業
進捗状況:数学教員1名-平成27年1月19日5時限目。
国語教員1名-平成27年1月29日3時限目(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:授業参観
事業概要:1学期
進捗状況:5月14日実施(達成度:A)
- 事業計画:近隣交流
事業概要:英会話レッスン,学習ボランティア
進捗状況:7月28日~29日英会話レッスン(小学生対象),7月22日~28日,8月25日~29日学習ボランティア(小学校訪問)(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:教員採用
事業概要:新規で3名の専任教員採用を実施した。平成26~29年度に8名の定年退職者があるので,順次対応する。
進捗状況:新規採用教員3名(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:校内ネットワーク機器更新
事業概要:WindowsXPサポート終了に伴い,Windows7への機器更新を行った。
進捗状況:4月に更新完了した。(達成度:A)
- 事業計画:8号館ヒートポンプ交換
事業概要:ヒートポンプ交換
進捗状況:最新の高効率の機種に交換し消費電力が低減している。(達成度:A)

○豊山女子中学校

【教育研究】

- 事業計画:習熟度別学習の充実
事業概要:習熟度別学習の充実
進捗状況:数学-中1(週5時限のうち5時限),中3(週5時限のうち5時限),英語-中1・2(週5時限のうち1時限),中3(週5時限のうち5時限)1クラスを2つに分割して習熟度別授業の実施(達成度:A)
- 事業計画:講習等の実施
事業概要:ハイベル講習,放課後学習
進捗状況:ハイベル講習 数学,英語 中3希望者対象放課後学習 教科担当者より指名された者対象(達成度:A)
- 事業計画:校外学習
事業概要:校外学習年間5回
進捗状況:5月2日(1年 上野動物園 2年 国立博物館 3年 国立西洋美術館),5月23日(全学年 映画鑑賞 練馬文化センター),6月26日(1年 科学技術館 2年 生物資源科学部 3年 鎌倉),9月26日(1年 葛西臨海水族園 2年 江戸東京博物館 3年生産工学部),11月13日(1年 東京都美術館 2年 東京スカイツリー・浅草)(達成度:A)
- 事業計画:芸術鑑賞
事業概要:ミュージカル鑑賞
進捗状況:10月17日ミュージカル「リトルマーメイド」(四季劇場[夏])(達成度:A)
- 事業計画:講習会・講話
事業概要:防犯講演会,保健講話,進学ガイダンス,租税教室
進捗状況:4月8日防犯講演会(中学1年生対象),5月14日進学ガイダンス(中学3年生対象),5月31日保健講話(中

学1年生対象),保健講話(中学2年生対象),保健講話(中学3年生対象),7月17日租税教室(中学3年生希望者対象)(達成度:A)

- 事業計画:林間学校
事業概要:7月下旬2泊3日 中学1年生対象
進捗状況:7月25日~27日 志賀高原(達成度:A)
- 事業計画:修学旅行(中3)
事業概要:修学旅行 歴史・文化学習 3泊4日
進捗状況:11月11日~14日 京都・奈良(達成度:A)
- 事業計画:英語スピーチコンテスト
事業概要:英語スピーチコンテスト 1月下旬
進捗状況:1月27日(全学年参加)(達成度:A)
- 事業計画:書初め展
事業概要:書初め展 1月下旬~3月
進捗状況:1月24日~(達成度:A)
- 事業計画:かるた大会
事業概要:かるた大会 1月下旬
進捗状況:1月24日(全学年参加)(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:環境美化
事業概要:清掃活動及び情操教育
進捗状況:週1回の全員清掃,毎日の当番清掃,学期ごとの全校一斉の大掃除の実施。週1回の教室での花活け(達成度:A)
- 事業計画:授業参観
事業概要:1学期・2学期
進捗状況:5月14日実施,11月1日実施(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:校内ネットワーク機器更新
事業概要:WindowsXPサポート終了に伴い,Windows7への機器更新を行った。
進捗状況:4月に更新完了した。(達成度:A)

○三島高等学校,三島中学校共通

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:ボランティア活動
事業概要:(1)日本赤十字献血への協力(2)银杏並木清掃
進捗状況:(1)高校3年生の希望者を対象に,平成27年2月に学内にて献血を実施し,82名が行った。(達成度:A)
(2)11~12月にかけて定期的に学校前の通りの落ち葉拾いや清掃作業を行った。(達成度:A)
- 事業計画:地域社会との連携
事業概要:三島夏祭り参加
進捗状況:地域貢献の一環として,生徒会が中心となり三島の夏祭りに協力し,応援部・女子ソフトボール部・男子サッカー部が三島サンプアに参加。(達成度:A)
- 事業計画:環境問題への取組
事業概要:(1)省エネ・節電(2)ゴミの分別及び古紙等資源再利用・エコキャップ運動への参加
進捗状況:(1)校舎内における昼間の共有スペース・廊下等をこまめに消灯し,19時に空調・換気を一斉OFF。(達成度:A)
(2)日常の清掃時からの分別回収の徹底。生徒会が中心となりペットボトルのフタを分別回収し,ポリオのワケチンとして提供した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:生徒募集の強化

事業概要:多様な学校説明会及び学校訪問

進捗状況:4月~12月の期間にわたり,教員による小学校・中学校進学塾訪問を実施。8月の学校説明会は3日間で3,496名の来場があり,地区別説明会(伊豆・小田原・御殿場・静岡・富士)は,207名の来場があった。(達成度:A)

○事業計画:教員の計画的採用

事業概要:定年退職者及び生徒数等を中長期的に勘案し専任及び兼任教員を採用

進捗状況:専任教員は,教科間の年齢構成,生徒数の推移・クラス数を考慮し,5名を採用した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:総合体育館新築工事

事業概要:体育館3棟と食堂・講堂棟に替わり,これら機能を集約した総合体育館の新築

進捗状況:平成26年9月に新築工事が開始され,新築工事定例打合せ会議を8回開催している。(達成度:B)

○事業計画:御園グラウンド整備

事業概要:御園グラウンドに移設する高校陸上部投擲施設及び照明設備を新設する。

進捗状況:平成26年7月に設備工事を完了した。(達成度:A)

○三島高等学校

【教育研究】

○事業計画:国際化教育の推進

事業概要:(1)国際クラス海外留学及び豪州留学生の受入れ(2)海外語学研修の実施(3)国際関係学部との高大連携教育の推進

進捗状況:(1)国際クラス2年生10名が約1年間のオーストラリアでの留学を終え,平成26年12月に帰国。平成27年1月には国際クラス1年生15名が留学のため出発。また,平成26年4月に,約3週間の日程でオーストラリアから5名の留学生を受入れ国際交流を図った。(達成度:A)(2)国際クラスの海外留学の事前研修として,夏季休暇中に約1ヶ月のオーストラリア語学研修を実施,15名が参加した。また別プログラムとして,夏季休暇中に3週間のオーストラリア語学研修を実施し,48名が参加した。(達成度:A)(3)締結した覚書に基づき,国際関係学部への進学を希望する生徒15名が大学の授業を受講し,国際関係学部入学後に単位認定を行う。(達成度:A)

○事業計画:進路指導の充実

事業概要:日本大学各学部・国立大・他大学進路ガイダンスの実施

進捗状況:2年生を対象とした日本大学各学部の模擬授業を3月に行い,3年生を対象とした学部説明会を6~7月にかけて行った。(達成度:A)

○事業計画:奨学金制度の充実

事業概要:現行の後援会奨学金制度を生徒募集PRに活用し優秀な生徒を確保する。

進捗状況:学力優秀者及びスポーツ能力の高い者や生活困窮者に対して後援会が支援し,121名に奨学金を給付した。(達成度:A)

○事業計画:卒業前教育の実施

事業概要:進路決定者に対して12月~2月にかけて卒業前教育を実施する。

進捗状況:国語・数学・英語3教科の講義形式による授業及び試験の実施。課題研究として,企業見学やフィールドワーク,高大接続に向けた大学教員による授業の実施。最終的にはプレゼンテーションによる報告やレポート作成を実施し評価した。(達成度:A)

○三島中学校

【教育研究】

○事業計画:外国語教育の充実

事業概要:(1)英検取得推進・ネイティブスピーカーの職員室配置・英語教育国内合宿(2)欧州修学旅行

進捗状況:(1)英検の取得を奨励した結果,2級2名,準2級34名,3級33名となった。中学2・3年生の希望者を対象者に,2泊3日で福島県の語学研修施設,ブリティッシュビルズで語学研修を実施。2年生30名が参加。ネイティブスピーカーは職員室に3名配置。(達成度:A)(2)ロンドンでは現地の語学学校のカイトとともに班別行動で研修をしながら英語で交流を図り,パリでは事前学習を入念に行い,文化の違いを体験できた。(達成度:A)

○事業計画:きめ細かな学習指導の実践

事業概要:(1)学習到達度別補習・補講の実施(2)少人数クラスによる英語・数学の授業

進捗状況:(1)英会話クラスを2つに分け,ネイティブと日本人教員の2名が週3~4コマの授業を担当した。数学は習熟度別に2クラスに分け同時展開で授業を実施。(達成度:A)(2)英語は英検の受験クラスに分けて補習を実施。また,大半の教科においては成績下位者を対象に追試・特別補習を実施。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:14号館防犯カメラ設置

事業概要:旧高校門入口に立地する中学棟である14号館に防犯カメラを設置し,防犯管理を強化する。

進捗状況:平成26年11月に設置完了(達成度:A)

○明誠高等学校

【教育研究】

○事業計画:英会話授業における実践指導

事業概要:ネイティブスピーカーによる英会話授業を実践する。
進捗状況:平成25年度入学生からの,新教育課程導入に伴い学年進行で実施。平成27年度は全学年において実施する。(達成度:A)

○事業計画:教員の資質向上・教科指導の充実化学習支援体制の確立

事業概要:学校自己点検・評価,生徒の授業評価の実施による教員の自己努力,授業改善を図る。

進捗状況:生徒による授業評価は年度を追うごとに向上しており,平成25年度は「学習事項の定着努力」,「校則・マナー遵守」に一層の伸長が見られた。また,シラスの活用,補習授業等を実施し,学習支援体制の確立に努めた。(達成度:B)

○事業計画:漢字検定及びTOEIC Bridgeの実施

事業概要:国語力・英語力向上のため,1年生全員に漢字検定,1・2年生全員にTOEIC Bridgeを受検させる。
進捗状況:英語は将来を考慮してTOEIC Bridgeを採用しているが,実用英語技能検定の受検も奨励している。

全員受検体制は定着しているため、結果の活用が課題である。TOEIC Bridgeについては、平成27年度以降全学年で実施する。(達成度:B)

- 事業計画:魅力ある学校づくりと社会的評価の向上
事業概要:特進コースの土曜日授業の実施。特進コースの授業の充実と国公立をはじめ有名私立大学への進学率の向上。
進捗状況:特進コースは、特進コース主任の下で指導体制も徐々に整いつつある。また、特進・普通コース1・2年生に対して、2・3年次を見据えた補習を行った。平成26年度は、日本大学157名(58.8%)、他大学77名(28.8%)の進学実績を達成した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:地元主催音楽祭等への吹奏楽部の参加
事業概要:社会に貢献するための発表会を実施する。
進捗状況:例年、吹奏楽部は地元主催音楽祭「上野原吹奏楽祭」「北都留支部音楽祭」に参加し高い評価を得ている。なお、ダンス部においては、バソフォル甲府の応援行事に市を代表して参加している。(達成度:A)
- 事業計画:学校施設の開放
事業概要:学校施設の地域住民への開放
進捗状況:グラウンドは地域の少年野球やサッカーチーム、ラグビーチーム、体育館は空手道大会などに貸し出している。(達成度:A)
- 事業計画:生徒会募金活動による天災被災地への支援
事業概要:社会に貢献するための義援活動
進捗状況:N.募金、日本ユニセフ募金、赤い羽根募金を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:クールビズの実施や冷暖房の温度抑制など、CO2排出削減に努める。
事業概要:地球温暖化防止対策活動
進捗状況:夏期における軽装の実施、エアコン温度の控えめな設定、照明設備・電気機器の節電などを実施し、合わせて、教職員・生徒へ省エネに関する周知活動から省エネ意識の定着化を図った。(達成度:A)
- 事業計画:「クリーンキャンペーン(校内外美化活動)」の実施と環境保護の指導徹底
事業概要:生徒のモラルや環境に対する意識向上に繋げる。
進捗状況:学校内はもとより、最寄り駅までの通学路を中心に、年間を通して美化運動を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:生徒会によるペットボトルキャップ回収活動の実施
事業概要:資源の大切さやリサイクル意識向上になるとともに、回収キャップをNPO法人を通じてリサイクル活動に役立てる。
進捗状況:生徒会を中心に、年間を通じてペットボトルキャップ回収を実施、発展途国のワクチン接種の一環として寄与した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:生徒募集対策サーチ委託
事業概要:学校運営の専門家に調査を依頼する。
進捗状況:調査会社と業務委託契約を締結し、教員へのヒアリング、中学校・進学塾へのアンケート調査を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:健全な経営基盤確立のため、募集定員以上の確保
事業概要:学校の財政基盤安定と施設設備充実を図る。

進捗状況:募集定員以上の確保を目指し、年間を通じ全教職員が努力した結果、募集人員以上の入学確定を得た。(達成度:A)

- 事業計画:広報活動の充実-学校案内及び学校紹介DVDの制作、学校ホームページの充実
事業概要:本校の知名度アップや学習環境の良さなどをアピールする。
進捗状況:毎年度、学校案内や学校紹介DVDを充実しており、的確な学校情報の伝達を図っている。学校の出来事を毎日ホームページ内で更新することで、保護者及び中学生等へのアピールができています。(達成度:A)
- 事業計画:教育内容に影響を及ぼさない範囲でコスト管理を徹底する
事業概要:徹底した経費節減を図る。
進捗状況:収支改善を目指し、教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度:A)
- 事業計画:教員採用長期計画
事業概要:若手教員の採用を行い、将来の年齢構成並びに財政負担の適正化を図る。
進捗状況:計画の見直しにより、国語科1名の採用予定を平成27年度へ延期した。(達成度:C)

【施設設備】

- 事業計画:校舎等建替え基本計画コンサルタント委託
事業概要:校舎等建替え並びに講堂兼体育館耐震補強の基本計画を立案する。
進捗状況:コンサルタント業者と契約を行い、新校舎建設等に向け、マスタープランを策定した。(達成度:A)
- 事業計画:食堂ホール(1号校舎1階)バイクカーテン設置工事
事業概要:食堂にバイクカーテンを設置し、厨房施設とそれ以外に区切ることで、昼食時以外の時間帯を生徒ホールとして自習等の利用を可能とする。
進捗状況:平成26年4月計画どおり設置工事が完了した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:予算計上の案件についても、執行時に再検討を行い、優先順位に基づく執行を図る
事業概要:収支改善のため予算執行時の経費節約意識を定着させる。
進捗状況:全教職員の努力により、募集定員確保を達成し、収入の安定に寄与できた。さらに教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度:A)
- 事業計画:入学者確保による財政基盤の安定を図る
事業概要:志願者増加を図るため、ホームページの効果的な活用や学校案内・学校紹介DVDの充実、中学校訪問・入試説明会・進学塾説明会を一層充実させ、受験生が入学したくなる高校になるよう工夫する。
進捗状況:ホームページをほぼ毎日更新しており、アクセスは増加の一途である。(達成度:A)
- 事業計画:新校舎及び多目的使用宿泊施設建設資金の積み立て
事業概要:学校の財政基盤安定並びに施設設備充実を図る。
進捗状況:収入増及び経費節減に努めた結果、当初の予算どおり蓄財できることになった。(達成度:A)

○山形高等学校

【教育研究】

- 事業計画:収容定員の変更

事業概要:平成 25 年度から収容定員を 1,550 名から平成 26 年度 1,450 名,平成 27 年度に 1,350 名に変更する。
進捗状況:平成 27 年度に完成年度となる。(達成度:B)

○事業計画:クラブ活動の充実

事業概要:平成 25 年度に、野球部が甲子園大会でベスト 4 入りしたことにより、他のクラブ活動にも競争心が芽生え、実力の向上と共に活気あふれる学校を目指すことができる。

進捗状況:今年度は 14 のクラブが全国大会に出場することができた。(達成度:A)

○事業計画:教員の資質向上の推進

事業概要:各種セミナー・研究・国内外研修会への参加、校内研修会の実施。

進捗状況:各機関の研修・セミナーに参加し、生涯教育・国際化への対応、情報化社会等の問題について自己を再点検すると共に、これからの学校運営や教育活動に役立てることができた。(達成度:A)

○事業計画:新付属推薦入試制度の一部変更に伴う対応

事業概要:平成 28 年度付属推薦入試から導入される新付属推薦入試制度に対して、学校行事との調整や、生徒への不利益が生じないよう検討していく。

進捗状況:対策プロジェクトチームを発足し、十分に検討を重ねている。(達成度:B)

○事業計画:きめ細やかな学習指導の推進

事業概要:1 クラス 35 名を目安としながら少人数授業を実施する。

進捗状況:基礎学力を向上させるため、「学習方法習得体験」を 1・2 年生対象に 5 教科で行うことができた。また長期休暇時に、原則全員参加の講習を実施した。(達成度:B)

○事業計画:高大連携教育の推進

事業概要:学部との遠隔授業を通じて、大学の高度な学びに触れさせ、進学への意欲を高める。

進捗状況:生産工学部との遠隔授業による高大連携教育を実施し、理解を深めるとともに進学意識を高揚できた。(達成度:A)

○事業計画:生徒支援の推進

事業概要:本校独自の山形高等学校奨学金、コラボ育英奨学金をはじめ、山形県高等学校奨学金など公的奨学金の存在を保護者に積極的に告知する。

進捗状況:学業成績優良で運動能力及び人物が優れ健康な生徒で、他の奨学金の支給、学費の免除を受けていない生徒を対象に奨学金を支給した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:地域社会・同窓会・校友会との連携

事業概要:町内会や同窓会及び校友会との情報交換を密にし、校友会各支部総会への参加を通じて情報収集や意見交換を図る。

進捗状況:多くの情報発信に努め、本校の社会貢献を PR することによって、地域社会からの理解が得られた。また保護者の質問に対応することによって協力体制を築くことができた。(達成度:A)

○事業計画:ボランティア活動の推進

事業概要:生徒を中心に、献血の協力、あしなが学生街頭募金、赤い羽根募金などの募金活動を実施する

ほか、ペットボトルのキャップ、書き損じはがきの回収などを実施する。

進捗状況:ボランティア活動に対する生徒の理解と関心が高く、善意を寄せ合う心の大切さを学ぶとともに社会へ奉仕することや、他人を思いやる心を養うことができた。(達成度:A)

○事業計画:環境への取組等

事業概要:環境美化のため、生徒会と連携し、校舎内の清掃及び花壇づくりを実施する。

進捗状況:生徒会と環境整備委員及び本校職員(管財係)の協力により事業を推進することができた。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:新教務システムの構築

事業概要:新教務システムを構築することにより、担当教員の業務負担を軽減、さらに、生徒の成績・健康面のデータを一元化することにより、一貫した指導の適正化を望むことができる。

進捗状況:業者のプレインストールを実施し、比較・検討を重ねている。(達成度:C)

○事業計画:ホームページのリニューアル

事業概要:中学校閉校に伴い、ホームページのリニューアルを行う。

進捗状況:法人全体のホームページの本校掲載ページも含め、リニューアル作業を行った。(達成度:A)

○事業計画:危機管理への対応・対策

事業概要:生徒・教職員用として、防災用品を備蓄する。また、保護者向け緊急連絡メール連絡網を整備し、情報伝達の迅速性・確実性を得る。

進捗状況:防災用品は年次計画で整備することができた。また緊急連絡メールについては、保護者の登録を進めている。(達成度:B)

○事業計画:障害者雇用の推進

事業概要:障害者の雇用の促進等に関する法律により、図書事務補助の臨時職員として採用する。

進捗状況:平成 25 年 12 月 1 日付けにて採用することができた。(達成度:A)

○事業計画:大学志願者数増

事業概要:本校の進学状況における特色面をアウンスし、日本大学をはじめ難関大学への進路実績や恒常的な進学者数の多さをアピールし、生徒募集活動につなげていく。

進捗状況:大学への進路決定者は、例年 60%から 70%であり、今年度は国立大学や歯学部、獣医系の学部への進学者が多く見られた。(達成度:A)

○事業計画:少子化傾向への対応・対策

事業概要:平成 23 年度から実施している校長直轄の諮問委員会により現状打開策を策定し、将来の生徒募集につなげる。

進捗状況:特色ある教育の施策として、不登校・軽度発達障害を疑われる生徒への特別支援体制を策定し、平成 27 年度は生徒生活支援委員会を設置する。(達成度:B)

○事業計画:学校説明会及び入試相談会の推進

事業概要:学校説明会を年5回開催,県内中学校への訪問,各中学校主催学校説明会へ参加。

進捗状況:学校説明会を実施することにより,本校を希望する生徒や保護者との距離が縮まる。本校の教育内容及び入試情報等をPRし志願者増を図る。(達成度:A)

○事業計画:生徒の希望進路実現の推進

事業概要:各学年に応じた適切な進路指導計画を立案し実行する。

進捗状況:生徒や卒業生への各種教育情報セミナーなども利用し,進路,進学説明会,職業講話,就職指導(企業訪問・模擬面接・公務員受験講座等)を実施した。(達成度:A)

○事業計画:新規教員の採用等

事業概要:定年退職による教員の減に伴い,適正な採用計画を立てる。

進捗状況:将来の各教科の教員構成,校務分掌等も考慮し収入とのバランスを図り,平成27年度は3名を採用予定である。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:総合運動場管理棟・部室耐震診断業務

事業概要:耐震改修促進法に基づき,既存の総合運動場管理棟及び部室の耐震診断を行う。

進捗状況:第三者機関による補強の要・不要の算定依頼により実施し,安心・安全なキャンパスづくりの将来計画策定につなげることができた。(達成度:A)

○事業計画:中学校校舎の再利用

事業概要:中学校閉校に伴い,高校用として有効に活用する。

進捗状況:築年数の浅い元中学校校舎に3学年を配置して,生徒の就学環境の改善を行った。また,専門の資格者を必要としない冷暖房設備が整備されているため,使い勝手が良く,高い学習効果が得ることができた。(達成度:A)

○事業計画:創設60周年事業新校舎建設計画

事業概要:現在の1・2号館を解体し,鉄筋コンクリート造3階建の新校舎を建設する。完成後は3・4・5号館の解体を行い,校地を整備して土地の有効活用を行う。

進捗状況:財政状況を鑑み中止した。(達成度:D)

【財政・各種基金】

○事業計画:授業担当時間の調整

事業概要:非常勤講師の授業担当数を週15時間以上とすることにより,山形県私立学校一般補助金の要件を満たし,補助金収入の確保につながる。

進捗状況:平成26年度は,47名のうち6名の非常勤講師が15時間未満であった。今後も継続して取り組むこととする。(達成度:B)

○事業計画:財政基盤の確立

事業概要:教職員の学校経営に対する意識改革の徹底。

進捗状況:ゼロベース予算の徹底,冗費の節減により,経費節約等支出削減につなげる。(達成度:B)

○事業計画:収入増加の推進

事業概要:補助金の獲得を積極的に推進する。

進捗状況:平成26年度山形県私立学校一般補助金において,前年度と比較すると減額であった。特色加算も減

額であったが,一昨年の甲子園出場を鑑みるとその額は微減であった。(達成度:B)

○習志野高等学校

【教育研究】

○事業計画:CST,GA,NP各コースの設置

事業概要:平成18年度入学生から従来の文系・理系に加えて,CST(日本大学理工学部進学)コース,GA(総合進学)コース,NP(国公立進学)コースを設置した。更にコースの特色を生かした授業への取組み。

進捗状況:CSTコースでは理工学部進学者増加及び高大連携教育の推進,GA・NPコースでは従来より更に各コースの特色を生かした授業の展開を図る。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:地球温暖化防止への取組

事業概要:クールビズ,ウォームビズの導入,冷房温度28℃以上,暖房温度20℃以下の温度設定管理の励行。

進捗状況:熱・電気等のエネルギー使用量の削減を図る。(達成度:A)

○事業計画:ゴミの減量対策啓蒙運動

事業概要:学校行事及び生徒会活動の中で生徒にゴミの減量・資源の再利用について啓蒙活動を行っており平成26年度についても同様に啓蒙活動を行う。

進捗状況:生徒会によるペットボトルキャップの回収活動の実施。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:広報活動ほかの活発化

事業概要:予算編成基本方針及び予算編成留意事項に基づきコストバランスのとれた財政の実現を目指し予算編成を行う。志願者を増やすため更に積極的に広報活動を行う。

進捗状況:千葉県内で実施される進学相談会への参加だけではなく,学習塾や中学校にも積極的に接触し併せて,理工学部と同時開催の本校オープンキャンパスを充実させ志願者の確保を図る。(達成度:A)

○事業計画:教員の新規採用

事業概要:若手教員の採用を促進し,教員の年齢構成をバランスよくすることによって効率的な人件費の支出を図る。

進捗状況:若手教員の採用を促進し,教員の年齢構成のバランスをとり効率的な人件費の抑制及び学校運営の円滑化を図る。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:習志野高等学校校舎新築工事及びその他工事

事業概要:新校舎に隣接する体育館等(飛び地)へ専用陸橋を設置することにより利便性の向上と移動時の安全性を確保する。

進捗状況:体育館改修及び専用陸橋工事を完了。(達成度:A)

○事業計画:船橋校地の建築基準法に基づく敷地分割

事業概要:敷地境界確定及び建築基準法に基づく敷地分割の確定。

進捗状況:検証作業中。(達成度:B)

【財政・各種基金】

○事業計画:予算の効率的執行・運用

事業概要:限られた財源を考慮して高校運営に当たするため、従来にも増して予算制度の基本に立ち経費全体の徹底した見直しを図ったうえで、コストバランスを重視し、効果的かつ実行確実性のある予算編成に努める。

進捗状況:無駄のない予算の執行による教育環境の効果的充実及び各種教育サービスの充実を図る。(達成度:A)

○東北高等学校

【教育研究】

○事業計画:学習・学生生活の支援

事業概要:学費等の特別減免措置を実施し、生徒が経済的に安心して学べる環境を確保する。

進捗状況:生徒もしくは保護者から提出された日本大学特別措置の申請書に基づき、平成26年度については166名に対して学費の減免措置を行った。(達成度:A)

○事業計画:学生生活環境の安全・安心の確保

事業概要:震災対応のための防災用備品の整備

進捗状況:平成26年度については、東北高校の体育館入口及び第2体育館入口に、災害時に使用するレスキューキット等の救助用品並びにそれらを保管する保管庫を整備した。また、500名分の非常食としてロングライフカコーメイトを購入し、震災に備えた。(達成度:A)

○事業計画:グローバル化社会に対応する人材の育成

事業概要:海外語学研修を実施し、国際社会での活躍を志す者への教育を図る。

進捗状況:東北高校独自の初めてとなる海外語学研修を、オーストラリア連邦のブリスベンにおける公立高校において実施し、14日間に及ぶホームステイ形式の語学研修は生徒及び保護者からも好評であり、成功したといえる。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:入試広報の充実

事業概要:広報活動の充実により、本高校のイメージアップと入学者数の確保に努める。

進捗状況:中学校での広報活動及びCMによる広報活動により、オープンスクールでは生徒及び保護者合わせて2,053名の参加者(前年度比349名の増加)を迎えたことにより、本校のイメージアップは達成されたと考える。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:新校舎建設の早期実現

事業概要:授業校舎の老朽化に伴い早期の新校舎建設を実現する。

進捗状況:平成26年10月30日に重要整備計画(新規)の申請書を提出、平成26年11月25日の本部承認に基づき平成27年度の予算に計上したことで、新校舎の建設に向けた動きが進み始めた。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:本部の総合運用制度の積極的活用

事業概要:早期に財政基盤の再構築を図るべく、1年以上の使用しない凍結資金については、本部の総合運用制度(0.5%)を積極的に活用する。

進捗状況:新校舎建設に向けた積極的な予算の作成対応により、平成26年度は本部の総合運用制度へ1億円の組み入れを行うことができた。(達成度:A)

○事業計画:財政基盤の強化

事業概要:財政基盤の強化を図る。

進捗状況:平成26年度入学生は535名となったことで、今年度は募集定員を上回る生徒を確保し、財政基盤の安定化を図ることが出来た。(達成度:B)

○日本大学幼稚園

【教育研究】

○事業計画:幼児の発達上の困難と課題への対応の重要性から専門家を交えた「幼児教育と発達」に関する研修実施とその実践の充実を図る。

事業概要:幼児教育と発達に関する知識と関心を深め実践力を維持向上できるよう専門家を迎え研修会を実施。

進捗状況:発達上の困難さや課題について全教員の共通認識や連携を保ち、実践向上に向け取り組むことができ、保育のあり方を考える貴重な場となった。(達成度:A)

○事業計画:運動・音楽療法(ヘルリズム)及び操作的造形的活動を感覚統合教育の視点から深める。

事業概要:運動・音楽療法(ヘルリズム)及び操作的造形的活動を通じて、幼児の心身のバランスがとれた発育を促し、自己コントロールする力を育む。

進捗状況:幼児の全身の感覚と機能の統合力の育ちが興奮機能と抑制機能に程よいバランスを生む上で有効となることが実践を通じて確かなものとなってきた。(達成度:A)

○事業計画:幼児が保育者と共に畑づくりを手掛け、季節毎の野菜等を栽培し育てることで、収穫の楽しみや喜びを友達や周囲の大人と分かち合う。

事業概要:野菜等栽培は幼児の自然への興味や関心を引き出す。探究心を沸き立たせ豊かな感性と人間関係を育み、ひいては表現活動にもつなげていく。

進捗状況:友達や異年齢間で交流しながら畑づくりを手掛けることで、野菜等栽培への興味や関心が深まり、育てる・収穫する楽しさや喜びを友だちや周囲の大人と味わうことができた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:地域防災計画への参画

事業概要:災害時の近隣地域における本園の役割の明確化と地域貢献並びに災害ボランティア活動参加による社会貢献。

進捗状況:震災救護所運営連絡会(年6回)に積極的に参加し、近隣地域との密着した関係が継続できた。(達成度:B)

○事業計画:各種子育て支援(日常における各種相談・アドバイスの実施、専門家による定期講演の開催、通常保育後の預かり保育の実施)

事業概要:子育てにかかわる多様で難しい課題への一助と社会貢献。

進捗状況:教職員の連携を活かし、日常の各種相談を積極的に行ったことで、保護者からの信頼を得ることができた。(達成度:A)

○事業計画:発達の専門家を招いて在園児や地域の未就園児をもつ父母を対象に子育てに関する講演会を実施。

事業概要:地域貢献の観点から近隣児童館に周知の協力を求め、在園児以外の子育て中の保護者の講演会参加を受け付けた。

進捗状況:在園児以外の参加者は各回 3~7 名に留まったが、概ね好評を得ることができた。(達成度:B)

【経営・人事】

○事業計画:志願者増加を図り保育後3時間の預かり保育を実施。

事業概要:長時間保育を望む保護者の傾向への対応により志願者増加を図る。

進捗状況:保護者の要望にでき得る限り応えることができた。(達成度:A)

○事業計画:春期・夏期・冬期休暇期間中の預かり保育の実施。

事業概要:長期休暇中の在園者の父母からの要望に対応することにより志願者増加と子育て支援の一環としての貢献を図る。

進捗状況:保護者からの要望を受け、子育て支援の場を広げたことで信頼を得ることができ、志願者の関心は高まった。(達成度:A)

○事業計画:人件費削減を目指した教職員採用計画の見直し。

事業概要:教員採用計画の見直し、給食室調理要員の減員、事務職員の定期的な異動。

進捗状況:教員採用計画は専任教諭の採用を見送った。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画:園内施設設備等の老朽化に伴う修繕。

事業概要:園内施設設備等の経年的老朽化に伴う修繕。

進捗状況:園児が安全に過ごせることを念頭に置き、補修工事は優先順位をつけることで費用を抑えることができた。(達成度:A)

○事業計画:園舎の建替え。

事業概要:園舎の経年的老朽化に伴う園舎の建替え。

進捗状況:基本設計及び仮設園舎改修の設計業者が決定した。(達成度:B)

【財政・各種基金】

○事業計画:預かり保育実施に伴う収入源の確保と補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:預かり保育を春期(5日間)、夏期(19日間)、冬期(4日間)実施し、補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:3才児クラスのチーム保育実施に伴う補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:3才児クラスのチーム保育実施により補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:園内の安全対応能力向上の取り組み実施による補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:学校安全マニュアル・防犯マニュアルの策定と防犯訓練、日常の園全体での避難訓練等安全対応能力向上への取り組みにより補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:園内の事故対応能力向上の取り組み実施による補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:近隣の消防署に依頼して教職員に対する AED 並びに心肺蘇生法実技講習会の実施により補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:近隣地域中学生の保育職場体験受け入れに伴う補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:天沼中学校5名の保育職場体験受け入れにより補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:私立幼稚園特別支援教育事業補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:今年度は該当する園児がいなかったため補助金を獲得することができなかった。(達成度:B)

病院等

○日本大学病院

【経営・人事】

○事業計画:医療収入の増加

事業概要:(1)医療連携を強化し、紹介患者増を図る。(2)看護師の大幅な増員なしに7対1看護体制の維持。(3)後発医療品を積極的に採用し、経費に削減を図る。(4)包括医療制度導入にかかり、投薬、検査の更なる見直しを図る。

進捗状況:(1)~(4)においては概ね達成している。(達成度:A)

○医学部付属板橋病院

【教育研究】

○事業計画:専修医・研修医制度の充実。(専修医・専修指導医の増員)

事業概要:専修医・専修指導医の増員

進捗状況:専修医・専修指導医の随時採用を行うよう医学部とともに対応をとっている。(達成度:A)

○事業計画:充実した初期臨床研修プログラムの提供。

事業概要:臨床研修医の能力向上と人材確保を図る

進捗状況:魅力のあるプログラムを提供するために、本学部学生との意見交換の場を設け、要望を取り入れ、研修医の選択自由枠の大きいプログラムを作成している。(達成度:A)

○事業計画:看護に求められる臨床研修の推進。

事業概要:看護部門の体制を充実させるとともに看護部職員の能力の向上を図る。

進捗状況:勉強会の開催や、様々な研修会および認定看護師の資格認定への参加を行っている。さらに、海外短期研修制度を設けている。(達成度:A)

- 事業計画:臨床検査技師の研修の充実-東京都臨床検査技師会研修会, 国公立大学検査技師研修会, 私立大学病院検査技師長会教育セミナー, 日本臨床検査技師会医学検査学会, 日本細胞診学会, 日本超音波学会の研修・学会への参加
事業概要:臨床検査部門の体制を充実させるとともに, 臨床検査部技師の能力の向上を図る
進捗状況:様々な研修会, 学会への積極的参加および発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得できるよう支援を行っている。(達成度:A)
 - 事業計画:薬剤師の研修の充実並びにがん専門薬剤師, 救急認定薬剤師等の育成。
事業概要:薬剤師部門の体制を充実させるとともに, 薬剤師の能力の向上を図る。
進捗状況:様々な研修会, 学会への積極的参加および発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得できるよう支援を行っている。(達成度:A)
 - 事業計画:がん診療拠点病院の充実
事業概要:がん診療連携拠点病院の充実。
進捗状況:地域の医療機関との医療連携の促進。「痛みセンター」を新設し, 緩和ケアの充実を図った。(達成度:A)
 - 事業計画:二次救急医療の充実-救急室のERセンター化
事業概要:二次救急医療のさらなる充実による外来入院患者数の増加
進捗状況:ER 化のための看護師配置数を得ることができず, ER 化による 2 次救急医療の充実計画は中止となった。(達成度:D)
 - 事業計画:医療安全管理の充実
事業概要:医療安全管理の充実
進捗状況:医療安全管理は年々充実してきており, 関東信越厚生局の立入検査でも欠点部分を指摘されることはほとんどなくなっている。平成 26 年 1 月から稼働した電子カルテにより, インシデント・アクシデントレポートの管理が容易なり良好な管理が行えている。また, 患者急変時対応システム(RRS)の設立, CVC 挿入ガイドラインの策定制定等, 安全管理の充実を図った。(達成度:A)
- 【社会貢献・環境活動】**
- 事業計画:大学病院の地域貢献-救命救急センターの取り扱い患者数は毎年都内トップクラス。こども救命センターとスーパー周産期センターの両方の指定を受けている医療機関は当病院のみ。高度救急医療の最後の砦としての機能を果たしている。
事業概要:特定機能病院, 地域がん診療連携拠点病院, 救命救急センター, こども救命センター(都内4施設の一つ), スーパー周産期センター(都内4施設の一つ), 緊急大動脈重点病院(都内11施設の一つ), 脳卒中急性期指定病院の特性を活かした地域社会への貢献を図る。
進捗状況:これら全ての認定を得ている病院は東京都内で当病院のみであり, 大きな社会貢献をしている。また, 平成 26 年度も継続して指定を受けており, 積極的な患者の受け入れを行っている。(達成度:A)
 - 事業計画:医療安全の充実, 院内感染対策の体制強化-「一般社団法人日本臨床医学リスクマネジメント学会」の事務局を当病院に置く。
事業概要:特定機能病院の役割, 社会的責務の履行を図る。医療安全管理の学術的貢献も行う。
進捗状況:学術的にも医療安全管理について社会貢献を行っている。年 1 回の学術総会を初め, 各種の医療安全セミナーを開催し医療安全管理向上に寄与し, 事務局として任期満了した。(達成度:A)
 - 事業計画:各拠点病院認定に伴う公開講座の開設。
事業概要:紹介患者等の増加を目指し, 医療収入の増加を図る。
進捗状況:公開講座に対する区民の関心も高く, 医師会や他大学病院と共に一般市民に分かりやすく脳卒中やがん診療, 予防等について毎年定期的に開催している。(達成度:A)
 - 事業計画:医師による国際学会における発表の推進とその支援。
事業概要:医療の最新化, 教育・研究の促進とともに医学・医療情報の地域還元を図る。
進捗状況:当病院医療の充実, 教育・研究の促進のため学会出張について, 部長会での承認のもと参加。(達成度:B)
 - 事業計画:JICA などを介して海外医療従事者の研修の受け入れ。
事業概要:地域医療の充実と貢献を図る
進捗状況:国外の医学研修生や留学生を対象に, 最先端医療やチーム医療の見学・研修を積極的に受け入れている。(達成度:A)
 - 事業計画:国内における講習会, 治験説明, 啓発事業などでの招聘要請に対する職員の派遣。
事業概要:国内における講習会, 治験説明, 啓発事業などでの招聘要請に対する職員の派遣を行う。
進捗状況:治験講習会, 臨床研究説明会等を開催し教職員の意識向上を図っている。また, 多くの招聘を受け, 職員を派遣している。(達成度:A)
 - 事業計画:国際競争力のある治験および臨床研究環境の整備・充実を図り, 厚生労働省が新たに策定した「臨床研究中核病院」への参入を目指す。
事業概要:国際水準の臨床研究, 医師主導治験の中心的な役割を担うことのできる病院を目指し, 将来的にわが国における臨床研究の中核を成す医療機関への参入を図る。
進捗状況:厚生労働省の評価及び私的に基づき臨床研究, 治験の充実のための臨床研修推進センターを設置。また, 院内COI委員会を設置し, 利益相反を審査し, 適当な管理措置について検討している。(達成度:B)
 - 事業計画:地域医療機関, 医師会と当病院において外来化学療法の実施と地域連携パス(各種がん, 脳卒中, 糖尿病等)への取り組みの連携を図る。臍帯血バンクの継続運用。
事業概要:地域医療連携の推進。紹介患者の増加。
進捗状況:都内医療機関が共通に使用できる地域連携パスを作成し, 専門病院の医師, かかりつけの医師, その他の医療機関等が患者情報の共有化により適切な治療を行える。また, 緩和ケアについての地域連携パスについても作成している。臍帯血バンクは行政の方針により中止することとなった。(達成度:B)
 - 事業計画:省エネ対策の強化。
事業概要:節水, 節電等による照明器具等の高効率化を図る
進捗状況:エレベーターの数台の夜間, 休日の一部停止や空調機器の高効率化を図る。(達成度:A)
 - 事業計画:廃棄物分別の徹底。
事業概要:再利用化の促進を図る。
進捗状況:分別処理, シュレッダーの活用で廃棄物処理経費の削減が行っている。毎年新入職員を対象として廃棄物の分別, 減量化について啓蒙する講義を行っている。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:電子カルテシステムの導入
事業概要:診療情報を一元管理することにより医療の質の向上が図れ、安定した病院機能を維持することができる。
進捗状況:平成26年1月から電子カルテが稼働し薬剤・医療材料、物流管理の効率化、医療安全管理の充実、患者サービスの向上を図った。(達成度:A)
- 事業計画:二次救急医療の強化-救急車で搬送される二次救急患者の受入を強化する。
事業概要:救急医療の受入体制を構築し、二次救急患者を積極的に受け入れ入院及び外来患者数の増加を図る。
進捗状況:医療連携医制度を立ち上げ、二次救急患者の受入態勢が大幅に向上した。また、医療連携センターを設立し、紹介を受けるだけでなく、退院及び転院への支援を強化した。(達成度:B)
- 事業計画:経費の削減-消耗品、医療材料費等の削減を図る。
事業概要:薬事委員会による継続的な後発医薬品(ジェネリック)への切り替え。
進捗状況:従来ジェネリック採用率は低かったが、現在59.4%と60%超を目指し、切り替えを行っている。(達成度:A)
- 事業計画:7対1看護体制の維持-看護師の安定的採用により、7対1看護体制を維持する。
事業概要:看護師の安定的採用により、7対1看護体制を維持する。
進捗状況:7対1看護体制は現在も継続中である。(達成度:A)
- 事業計画:患者未収入金回収事業
事業概要:弁護士事務所による患者未収入金回収事業
進捗状況:従来に比べ未収入金は減少傾向にある。(達成度:B)
- 事業計画:患者用電動ベッドの購入
事業概要:老朽化したベッドを毎年度更新。
進捗状況:平成26年度は73台購。(達成度:A)
- 事業計画:特定機能病院の特徴を生かした高度先進医療への取り組み。
事業概要:効率化、高質化のなご一層の推進を図る。
進捗状況:現在2つの先進医療の承認を受けており、今後更なる充実を図るべく、複数申請を予定している。(達成度:B)
- 事業計画:専門診療体制への取り組み。
事業概要:新たな特化した専門診療科を設置して付加価値を高める。
進捗状況:従来の緩和ケア機能とペインクリニックを統合し、更に高度な患者の痛み全般に対応する「痛みセンター」の設置を行い、がん診療連携拠点病院としての充実を図った。(達成度:A)
- 事業計画:サトウゼン制度への対応
事業概要:患者の権利と安全確保を目指す。
進捗状況:サトウゼン依頼に対し迅速に対応している。(達成度:A)
- 事業計画:診療環境の改善。
事業概要:適正病床数と療養環境改善の検討。ボランティア活動の受け入れ推進を図る。
進捗状況:患者病室の設備充実を図る。学習ボランティアの受け入れを行っている。(達成度:B)
- 事業計画:地域医療機関との連携の充実・強化。
事業概要:特定機能病院の役割を果たすと共に地域医療機関との連携の充実と強化を図る。

進捗状況:従来の医療連携室の機能に加え専任の医師、看護師を配置し、退院及び転院支援を行い、地域医療機関との連携を強化。(達成度:A)

- 事業計画:ホームページの充実。
事業概要:外部に対する情報提供可能な施設を目指す。
進捗状況:ホームページによる当病院の機能や役割等、高度な医療の情報発信を行っている。(達成度:B)
- 事業計画:地域への情報発信。
事業概要:地域医療の充実を図る。
進捗状況:ホームページによる情報発信以外に「日大板橋病院だより」も発行し、近隣医療機関等に情報提供を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:国の医療政策としてあげられている5疾病(がん、脳卒中、急性心臓疾患、糖尿病、精神疾患)及び5事業(小児医療、救急医療、災害医療、周産期医療等)の各基幹あるいは中核病院認定に向けての院内整備。
事業概要:5疾病5事業のうち「へき地医療」を除くすべての項目について高度の医療を可能とする院内整備を行い、行政の求める医療体制を実現する。
進捗状況:上記5疾病4事業について高度の医療体制を達成している。地域がん診療連携拠点病院、3次救急医療、こども救命センター、スーパー総合周産期センター、地域災害拠点病院、脳卒中急性期病院の認定を継続し、医療機能の充実を図っている。(達成度:A)
- 事業計画:変革する医療制度への対応
事業概要:地域の拠点病院としての機能充実。(1)患者治療後の退院時調整のための二次医療圏内の医療機関との更なる連携を図るべく、医療連携室、地域移行支援センターおよび医療福祉相談室の機能の一つにまとめた医療連携センターを新設。(2)医療機関としての機能・役割に関する情報管理。(3)地域がん診療連携拠点病院、東京都小児がん診療病院として「医療機関に対する研修制度」、「がん等の治療成績情報の管理」、「緩和ケアの充実」、「患者相談の対応」等の更なる充実を図る。(4)災害拠点病院としての機器の整備を図る。(5)院内通信設備(PHSの充実)による7対1看護体制のもと情報伝達の向上と医療安全の向上を図る。
進捗状況:地域の拠点病院としての機能充実、医療情報発信を図り、地域医療機関との連携強化に取り組んでいる。(達成度:B)
- 事業計画:休眠病棟の再開
事業概要:休眠している病棟を再稼働し、入院収入の増加を図る。
進捗状況:平成26年12月に全床稼働した。(達成度:A)

○医学部付属駿河台病院

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:公開講座の開設
事業概要:時期に適合した病状を専門医が講師として市民に解説する。
進捗状況:平成26年4月、5月、6月に開催。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:医療収入の増加
事業概要:(1)医療連携を強化し、紹介患者増を図る(2)看護師の大幅な増員なしに7対1看護体制の維持(3)後発医薬品を積極的に採用し、経費の削減を図る(4)包括医療制度導入にかかり、投薬、検査の更なる見直しを図る
進捗状況:(1)～(4)においては概ね達成している。(達成度:A)

○歯学部附属歯科病院

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:医療連携部を中心に地域医療機関や同窓会との更なる連携を図る(歯科病院)

事業概要:(1)地域医療連携の推進を図るため医療機関経由の初診予約を設定し紹介患者の増加を図る(2)医療連携認定書を貢献度の高い地域医療機関に発行する(3)地域医療連携の充実を図るため診療委託契約の見直しを図る。

進捗状況:(1)紹介患者は歯学部同窓会によるものが主であったが、地域医療機関からの紹介患者が98名増加した(2)871通の医療連携認定書の発行が情報発信となり認定医療機関以外からも問合せ等が増加し連携を推進できた(3)診療委託契約の見直しにより連携や派遣を図れる事項がより具体的になった。(達成度:B)

【経営・人事】

○事業計画:医療収入の増収(歯科病院)

事業概要:入院・外来患者数の増加を図ると共に、診療行為の算定漏れを減らし適正なレプト作成に努める。

進捗状況:消費税の増税に伴い、上半期の患者数・医療収入共に伸び悩んだが、保険・カルテ指導の実施や入院計画の見直しにより、保険収入の増加、医療連携の推進による手術件数の増加等の効果が現れてきている。(達成度:B)

○事業計画:病院経費の削減と業務の効率化(歯科病院)

事業概要:中央材料室で医療材料を一元管理することで、価格交渉や相見積を行い、購入価格を下げ、在庫を適正化し、診療部門が診療に専念できるようにする。
進捗状況:中央材料室で医療材料を一元管理するための「医療材料発注システム」を構築したことで、医療材料価格や在庫品名・在庫量を適正に管理できるようになり、診療の効率化の一因となった。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:マウスガード[®]作製装置の購入(歯科技工専門学校)
事業概要:優れた技工物を作製する最先端教育を実施する。

進捗状況:第3学年の臨床模型実習において約70ケース製作し、製作方法と技術を身に付けた。(達成度:A)

○事業計画:セックシステムを活用した教育(歯科技工専門学校)

事業概要:優れた技工物を作製する最先端教育を実施する。

進捗状況:臨床模型実習準備教育においてセックシステムを活用し、CAD/CAMについての知識を得た。(達成度:A)

○松戸歯科附属病院

【施設設備】

○事業計画:廃水処理施設改修工事

事業概要:竣工後30年近くが経過し、老朽化が著しいため改修工事を実施する。

進捗状況:本事業は平成25年度から27年度までの中期計画であり、初年度は設計、工事は2か年に亘って行い、26年度はその1年目である。(達成度:A)

本部

【教育研究】

○事業計画:全学共通教育を核とする「日本大学版教育マシナード」の段階的实施

事業概要:(1)全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎」の導入に向けた具体的な検討及び学内外への浸透策の展開(2)全学共通教育プログラム(仮称)の構築に向けた検討

進捗状況:(1)全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎」の導入に向け、学務委員会全学共通初年次教育検討ワーキンググループ(以下、WG)において具体的な検討を進め、平成26年4月18日には、初年次教育を既に全学的に導入している明星大学をWGメンバーで訪問してヒアリング及び授業見学を行い状況を把握するとともに、WG内における認識や方針を再確認した。その上で、5月から6月にかけて各学部へのヒアリングを行い、学内の状況等を改めて確認し、意見を聴取した。その後、「自主創造の基礎1」に係るガイドラインの作成に取り掛かり、約9か月をかけ、初版の完成に至った。また、並行して反転授業を実践するための予習動画を制作し、平成27年4月から導入する学部に対して体制を整えた。さらに、全学的導入に向けた説明や意見交換を行い、共通理解を深めるため、全学共通初年次教育セミナーを2回(12月、3月)開催した。(達成度:A)(2)全学共通教育プログラム(仮称)の構築に向けた検討を重ね、教学戦略委員会答申書(第3次中間答申)で示した「全学共通教育プログラム(仮称)」をより具体化

した内容にまとめ、12月1日に教学戦略委員会答申書(第5次中間答申)として学長に提言することが承認された。また、部科校との対話の必要性に鑑み、平成26年11月29日に「総合教育に関する意見交換会」を開催して、「第5次中間答申」のまとめに際し、ここでの意見交換も踏まえ、答申内容の理解・浸透を図った。(達成度:B)

○事業計画:FD活動の全学的・組織的推進

事業概要:(1)日本大学におけるファカルティ・ディベロップター(以下、FDer)の在り方の検討(FD推進センター基本計画〔中期計画〕:平成25年度～平成27年度)(2)学生参画型FD活動の整備・強化(FD推進センター基本計画〔中期計画〕:平成25年度～平成27年度)(3)FDを広義に捉えた「高等教育開発センター」(仮称)としての活動に向けた諸事業の持続的な展開(FD推進センター基本計画〔長期計画〕:平成23年度～平成27年度)(4)FD等教育開発・改善活動に関する調査の実施(5)FD等教育開発推進関連組織に関する調査研究の実施(6)日本大学におけるFDerの在り方に関する調査研究の実施(7)日本大学における学生参画型FD活動に係る調査研究の実施(8)『日本大学FDガイドブック』(2015年度版:学生編・教職員編)の発行に向けた企画・編集(9)「日本大学FD NEWSLETTER」(第6号・第7号)の企画・編集(10)『日本大学FD研究』(第3号)の編集(11)全学FDワークショップ等の企画・開催、(12)「日本大学学生FD CHAmmit 2014」の企画・開催ほか

進捗状況：(1)「(6)(11)」の取組を中心に、3年間に及ぶ中期計画の2年目として活動を行い、最終年度に向けて検討を進めた。(達成度：B)(2)「(7)(12)」の取組を中心に、3年間に及ぶ中期計画の2年目として活動を行い、最終年度に向けて検討を進めた。(達成度：B)(3)平成24年度に実施した「FD等教育開発推進関連組織に関する調査」の結果を踏まえ、FDを広義に捉えた「高等教育開発センター」(仮称)の展開について検討していたが、これについては、教学戦略委員会教育支援プログラム検討WGにおいても検討を進めていることから、同WGと連携し、検討内容を棲み分けしながら進めた。(達成度：C)(4)毎年、全学部・研究科を対象に実施している「FD等教育開発・改善活動に関する調査」を平成26年度も実施した。平成26年度は、例年の質問項目の一部見直しを図るとともに、FD活動の全学的な進展や今後の方向性を考慮した質問項目を新設した。同調査結果については、「平成26年度FD等教育開発・改善活動に関する調査報告書」としてまとめ、公表した。(達成度：A)(5)(3)と関連させながら調査・研究を進めたが、教学戦略委員会教育支援プログラム検討WGにおける検討状況を踏まえ、検討中である。(達成度：C)(6)(1)と関連させながら、本学におけるFDerの在り方を検討するため、全国私立大学FD連携フォーラム(JPPF)に加盟する全国31大学を対象にアンケート調査を実施し、調査研究を行い、調査結果の概要を『日本大学FD研究(第3号)』に資料紹介として掲載した。(達成度：B)(7)「平成26年度FD等教育開発・改善活動に関する調査」に、学生参画型FD活動の必要性、役割、組織の在り方に対する意見聴取項目を追加し、調査を行った。また、本活動の効果、実施に向けた課題を抽出するために、「学生FDサミット2014夏」「第10回教育改善学生交流i*See2014」「日本大学学生FD CHAmiT 2014」などに全学FD委員会調査・分析WGメンバー・アシスタントが参加し、学生参画型FD活動事例の調査並びに情報収集を行った。(達成度：B)(8)『日本大学FDガイドブック2015』の発行に向け、前年度版に対する部科校からのアンケート結果を踏まえ、一部改訂した。『Teaching Guide』『Learning Guide』とともにFD推進センター基本計画(中期計画)を意識しながら見直しを図った。(達成度：A)(9)「日本大学FD NEWSLETTER」(第6号)では、平成26年2月26日に開催した「日本大学学生FD CHAmiT 2013」を中心とした「学生参画型FD」特集号として発行した。また、「第7号」発行に向けた、企画・編集を行った。「第7号」は通常号とし、「全学共通初年次教育科目『自主創造の基礎1』開講にあたり」を特集として展開した。(達成度：A)(10)『日本大学FD研究』(第3号)の刊行を行った。「第3号」は、研究ノート1本、活動報告4本、資料紹介1本の構成となった。また、今号から投稿要項の改正に伴い学生からの投稿が可能となり、中期計画に掲げている学生参画型FDに関する投稿に4名の学生が関わった。(達成度：A)(11)「大学教育における課題の解決に向けて-教育能力の開発を企画・運営できる人材の育成-」をメインテーマとして、前年度に引き続き2回目となる「全学FDワークショップ2014」を平成27年3月9日・10日に開催した。医歯薬系学部の教員によるタスクフォースに加え、昨年度参加者(経済、生産工、工、歯)から4名が新たにタスクフォースとして参画し、全学的なFDerの養成に向けた一つのモデルを確立するための一

歩を踏み出した。(達成度：A)(12)今年度で第2回目となる「日本大学学生FD CHAmiT 2014」を開催した。今回から、リポーターの参加も見込み、公募による参加も受け付けた。前年度は、スタッフを合わせて167名の参加であったが、本年度は210名の参加となり、43名増加した。「学生FD CHAmiT」の開催を通じて、一部の学部においては、学生FDをテーマとした講演会を開催するなど、学生を含めたFDの取り組みが動き始めているという報告も受けている。(達成度：A)

- 事業計画：グローバル化対応方針の策定
事業概要：教学戦略委員会グローバル戦略ワーキンググループにおいて、本学の国際交流方針を議論し、外国人留学生の受入れと学生の海外派遣の促進、外国語能力の向上、グローバル意識を高める教育の実践などを決定した。
進捗状況：(1)同ワーキンググループにおいて、目標としていた平成26年度私立大学等改革総合支援事業タイプ4に採択された。(達成度：A)(2)学生の海外派遣を促進するため、認定留学制度を設けた。(達成度：B)
- 事業計画：日本大学全学文化行事(NU祭)
事業概要：学生・付属高校生との間に文化的事業による交流の場を設けることによって、学部間、学部・付属高校間で各々の部科校の独自性を再認識し、日本大学学生としての帰属意識を育む。
進捗状況：統一テーマの基、全部科校の学生・生徒が人的・知的財産を結集し、総合閉会式において全学的文化行事としての成果を結実させた。全学による募金活動では、国連難民高等弁務官事務所から感謝状を授与された。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学体育大会
事業概要：大学(短期大学部を含む)、附属専門学校、付属高等学校及び付属中学校の参加による体育大会。高校、大学、教職員の部において団体優勝を競う。
進捗状況：生徒、学生及び教職員の健康管理、体力向上へ意識を高めるとともに、普段は交流の少ない部科校間の交流を行うことができ、帰属意識を高めることができた。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学本部所属学生団体活動
事業概要：本部学生支援部に所属する文化団体連合会13団体、体育団体連合会6団体の活動。正課教育以外の学術・文化、体育活動の充実を図ることを目的とする。
進捗状況：学生の充実した課外活動の場であり、行事等の円滑な運営が図られている。本部の団体のため、各学部から学生が集まることにより、学部の枠を越えた交流ができています。(達成度：A)
- 事業計画：障がい学生・生徒支援充実のための教職員への啓発及び調査研究
事業概要：(1)学内教職員研修用の発達障がい学生支援DVDの続編作成及び前編を活用した教職員研修を実施し、発達障がいのある学生・生徒への理解と支援の充実を図る(2)障がい学生全般への支援に関する調査研究を行い、支援環境の充実に向けた対策へと繋げる。
進捗状況：(1)学内教職員研修用のDVD続編「発達障害のある学生の視点から～学生の思いと理解～」を作成した。また、前編を活用した教職員への研修をカクセーが中心となり部科校で行った。(達成度：A)(2)障がい学生の支援に関する情報収集を行い、学生課職員夏期研修会で調査結果及び本学の今後の対応について講演を行った。(達成度：A)

- 事業計画:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置(授業料等減免)
事業概要:東日本大震災(東京電力福島第一原子力発電所事故による災害を含む)により被災し、経済的に修学困難になった学生に入学金免除及び授業料等の減免を行った。
進捗状況:本学に在学する被災学生に経済的支援をすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学ハート・F・ケネディ奨学金
事業概要:大学院に在学中の学生で、学業成績が優秀で、人物が優れている者に20万円を給付する。
進捗状況:大学院に在学する学生の中から、学業成績・人物が優れている者を選考し(各研究科1名,計21名)、給付することにより、当該学生の学術・研究を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学古田奨学金
事業概要:大学院に在学中の学生で、学業成績が優秀で、人物が優れている者に20万円を給付する。
進捗状況:大学院に在学する学生の中から、学業成績・人物が優れている者を選考し(各研究科1名,計21名)、給付することにより、当該学生の学術・研究を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学創立100周年記念外国人留学生奨学金
事業概要:所属する学部・大学院の私費外国人留学生に授業料相当額を支給
進捗状況:部科校長からの推薦に基づき、学業成績・人物が優れている者(29名)に給付することにより、当該学生の修学を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学小澤奨学金
事業概要:法学部、経済学部又は商学部に在学中の学生で、学業成績が優秀で、人物が優れ、国家試験の受験を志す者に12万円を給付する。
進捗状況:国家試験(司法試験、公認会計士試験、税理士試験等)の受験を志す学生に対し、対象学部から計9名を選考の上給付し、当該学生が国家試験対策を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学オゾナル設計奨学金
事業概要:理工学部、生産工学部又は工学部に在学中の学生で、学業成績が優秀で、人物が優れ、国家公務員採用総合職試験の受験を志す者に20万円を給付する。
進捗状況:国家公務員採用総合職試験の受験を志す学生に対し、対象学部から計3名を選考し、給付することにより、当該学生の国家公務員採用総合職試験対策を支援することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学付属高等学校奨学金
事業概要:付属高校生徒のうち、本学進学志望者で家計困窮者に24万円を給付する。
進捗状況:本学に進学を志す本学付属高等学校の生徒で家庭困窮など学業の継続が困難である生徒に対して経済的支援をすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学エリート奨学金
事業概要:入学時の成績が優秀で人物が優れている学部1年次生(外国人留学生を除く)に36万円を給付する。
進捗状況:部科校長からの推薦に基づき、各入学試験成績優秀者で、人物が優れている新入生(100名)に対し奨学金を給付することができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学桜樹奨学金

- 事業概要:東京都(島しょ部を除く)、神奈川、埼玉、千葉県以外の出身、国際関係学部は静岡県以外、工学部は福島県以外の出身で、入学時の成績が優秀でかつ経済的支援が必要と認められる学部1年次生に36万円を給付する。
進捗状況:部科校長からの推薦に基づき、地方出身者で自宅外通学をしなければならない新入生(50名)に対し奨学金を給付する事ができた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学アスリート奨学金
事業概要:保健体育審議会に入会予定の者又は所属している学生で、第一種は入学前の競技成績が特に優れた学部1年次生、第二種は同等の競技成績を残した2年次生以上を対象とした奨学金。
進捗状況:第一種奨学生5名、第二種奨学生15名にそれぞれ入学金・授業料・施設設備資金相当額及び図書費を給付(達成度:A)
- 事業計画:日本大学学生の傷害及び死亡事故等に関する給付金
事業概要:本大学大学院、学部、通信教育部、短期大学部、専攻科及び専門学校に在籍する学生の正課・課外教育中又は課外活動中等に発生した事故等に対して給付を行う。
進捗状況:大学院、学部、短期大学部及び専門学校に在籍する学生が治療費、諸費用及び見舞金を受給できた。(達成度:A)
- 事業計画:自校史の調査・研究・公開
事業概要:(1)創立関係者の調査を再度綿密に実施し、創立時の本学や建学の精神への理解を深める。(2)終戦70周年に向けて、出征した学生・生徒について検証する。(3)学祖と放送中のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の登場人物との関係を調査する。
進捗状況:(1)創立者の内、添田寿一と野田藤吉郎の調査を実施した。(達成度:B)(2)戦前設置された学部で、学生・生徒の出征数調査を実施中。(達成度:B)(3)主人公「文」の夫「揖取素彦」と学祖を結ぶ資料を確認した。(達成度:A)
- 事業計画:理事長特別研究に係る作業協力
事業概要:(1)「日本大学におけるeラーニングの戦略的活用の研究」では、本学の歴史を学生・生徒に分かりやすく伝えることにより、本学に対する帰属意識を高める。(2)「日本大学の自校史教育における教育担当者養成の実践的研究」では、本学の歴史に詳しい教職員を養成し、学生・生徒への自校史教育の機会を増やす。
進捗状況:(1)当課が原稿作成を担った、本学HP「日本大学の紹介」の中の「日本大学を学ぶ」が公開された。(達成度:A)(2)月例研修会で、報告や受講者へのアドバイスをを行った。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学学術助成金の実施
事業概要:外部研究資金獲得のため、学内の競争的研究資金である当該研究助成を行うことで、研究者に対し研究する意識付けを行い、その成果により共同研究の実現を目指す機会を供する。
進捗状況:当該研究課題に対し外部研究資金への申請・獲得状況の調査を実施し、多くの研究課題が、外部研究資金への申請を行ない、獲得している。更なる外部研究資金獲得に向け、施策を引き続き検討して行く。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学学術研究戦略プロジェクト成果による研究基盤の構築
事業概要:本学の総合性を活かし、叡智を結集した平成21年度から5年間実施したプロジェクトによる研究、開発する最先端の科学技術によって、健やか未来の創造に貢献、その成果により外部研究資金の獲得へつなげるとともに、国際的な産学官連携の拠点を目指す
進捗状況:本事業の目的を達成するためには、N. 研究プロジェクト等による研究成果をはじめ、各研究の段階(研究フェーズ)に応じて、研究支援を行うことが必要である。研究推進支援機構において基礎的な研究成果の社会還元に至る仕組みを構築し、本学の研究が常に発展し続けるための「研究成果社会還元サイクル」を生み出すことを目的とし、平成27年度より本事業を展開していく。(達成度:B)
- 事業計画:理事長特別研究・学長特別研究の実施
事業概要:理事長特別研究においては、本学の研究成果を広く社会に還元すると共に、本学の教育研究及び運営にも積極的に利用できる研究を推進する。学長特別研究においては、学術研究戦略の基本方針、理念、目標をもとに継続して学術研究を推進しているが、学長が社会や本学の状況を鑑み、本学が、特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進する。
進捗状況:各プロジェクトにおいては研究成果を発表するシンポジウムが行われる等、順調に研究が進み外部研究助成等への申請も積極的に行われている。(達成度:A)
- 事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実施
事業概要:国の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」の助成を受け、研究基盤の整備及び研究機能の高度化を図る。
進捗状況:平成26年度の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実績として、5件申請のうち、3件が選定された。上記の新規選定事業を併せて11事業が国からの助成を受け、総合大学としての特性を活かした様々な最先端の研究を推進した。(達成度:A)
- 事業計画:研究力の広報活動推進の実施
事業概要:本学の研究成果を広く社会に公開し、強力な研究力を効果的かつ積極的にアピールする。
進捗状況:大学で行われている研究内容の発信を行うため、ホームページの随時更新を行った。また、今年度は、本学独自の助成制度である学長特別研究の活動内容等を学外へアピールするため書籍を発行した。今後は広報部と連携のうえ、社会へ対しさらなる研究成果のPRに努めたい。(達成度:B)
- 事業計画:研究費適正使用の徹底を図る取組の実施
事業概要:研究費の適正な使用を確保するため、主に①内部監査の充実②研究費不正使用防止ハンドブックの作成・配布③文部科学省がガイドラインに示された体制の整備に取り組む。
進捗状況:①過去の内部監査指摘事項の対応状況を確認し、その徹底を依頼した。②教職員及び大学院生に配布し、これに基づきコンプライアンス教育を実施した。③関連内規等を制定・一部改正・廃止し、運営・管理体制を整備した。(達成度:A)
- 事業計画:研究推進支援機構の設置

- 事業概要:部科校連携に基づく異分野協働型の融合・統合研究拠点を形成、先駆的・独創的な研究成果を創出し、国内外へ発信する体制を構築する。
進捗状況:平成26年4月1日に日本大学における研究活動を総合的に支援し、研究の戦略的な推進と学術的な研究の促進を図るとともに、研究成果を広く社会に還元することを目的に設置された。(達成度:B)
- 事業計画:産官学連携による競争的研究資金の獲得と受託・共同研究の推進による研究活動の促進
事業概要:産業界等との受託・共同研究の実施や外部研究支援機関からの競争的資金の獲得など、産官学連携と研究推進を一体的に行うことにより研究活動を促進する。
進捗状況:NUBICにおいて受け入れた受託・共同研究及び競争的研究資金は、件数・金額ともに前年度実績を下回った。しかし、「NUBIC相談窓口」による成果として、企業との共同研究に進展する案件も出てきており、成果が得られるべく継続して、積極的な資金獲得に向けた活動を行う。(達成度:B)
- 事業計画:日大WAN(広域ネットワーク)機器の移設・更改
事業概要:部科校内の情報基盤(ネットワーク)の強化・拡充を図り、教育研究及び事務業務等に必要の電子情報を迅速に提供する。また、安全で安定したネットワークを維持管理する。
進捗状況:機器の更改をしたことによりセキュリティ対策を強化できた。また日大病院に移設したため安定した電力供給でき安定したネットワーク運用することができた。(達成度:A)
- 事業計画:統一認証システムの再開発
事業概要:認証システムをクラウド環境にすることにより、自然災害等を含む障害に強いシステムの構築をし、利便性の向上と経費削減を図る。
進捗状況:従来のシステムと比較し、より障害に強く、汎用性の高いシステムの構築が出来た。また、経費の削減にも繋がった。(達成度:A)
- 事業計画:遠隔授業の実施
事業概要:日大WANとテレビ会議システムを利用した同時双方向通信システムにより遠隔地を結び、学生がキャンパス間を移動せずに受講可能な授業を配信する。
進捗状況:平成26年度は、9学部12キャンパスが参加し、前期は芸術学部、後期は商学部の授業を配信した。(達成度:A)
- 事業計画:次期全学共通図書館システムの開発
事業概要:全学共通図書館システムへの新サービス導入及び利用者サービス向上を目指し、図書館システムの機能強化並びに教育研究環境整備を実現する。
進捗状況:平成26年度に次期システム導入を目途に、全学部において現行システムから次期システムへのデータ移行を完了し、安定稼働している。(達成度:A)
- 事業計画:電子ジャーナル・データベース及び電子ブックの導入・有効活用
事業概要:全学図書館での利用講習会の実施、学部学生へのリテラシー教育等を通じて利用促進を図り、スクールリットを生かした大学一括契約と競争入札等で経費削減を実現する。
進捗状況:国公立大学から成るコンソーシアムに参加し、有利な条件による契約締結、積極的な見積合わせを実施し、かつ利用実績を考慮した契約による経費削減を図った。(達成度:A)

- 事業計画:教育研究成果オープンアクセス化のための機関リポジトリの開発
事業概要:文部科学省より平成 25 年度から博士論文等のインターネット公表が義務化され, 本学の機関リポジトリを立ち上げ博士論文等掲載に続き, 研究紀要の掲載についても検討する。
進捗状況:総合学術情報センターで「教育研究成果オープンアクセス化のための機関リポジトリ開発プロジェクト」を設置・検討を重ね, 平成 25 年 10 月 1 日付で機関リポジトリを立ち上げ, 博士論文等を掲載公表した。研究紀要については, 掲載に向けて検討中である。(達成度:B)
- 事業計画:日本大学におけるラーニング・コモンズ導入推進に係る報告書作成
事業概要:アクティブ・ラーニング推進上欠かせないラーニング・コモンズ導入の必要性について検討し, 教学戦略委員会に答申する。
進捗状況:総合学術情報センターで「日本大学におけるラーニング・コモンズ導入推進プロジェクト」を設置・検討し, 報告書を作成し, 教学戦略委員会他諸会議で報告した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:日本大学軽井沢テニススクール
事業概要:大学と地域社会の交流として, 保健体育審議会テニス部の協力のもと, 近隣の高校生, 研修所周辺住民を対象にテニスを通じて交流を図る。
進捗状況:研修所周辺の住民や高校生が参加し, 地域に貢献している。初心者, 中級者, 上級者とレベルに合った指導をしており, 好評を得ている。(達成度:A)
- 事業計画:萩博物館での山田顕義展の開催
事業概要:学祖山田顕義生誕地で, 明治維新の功労者を多く輩出している萩市と連携した企画展示を実施することにより, 学内外に学祖や本学を広く周知できる。
進捗状況:開催し, 学内外の好評を得た。(達成度:A)
- 事業計画:神田地域の大学との連携
事業概要:平成 25 年度に実施した「明治期の法律学校展」の成果を踏まえて, 神田で創立した大学間での連携を密にし, 情報の共有化や地域との連携を図る。
進捗状況:「明治期の法律学校展」を実施した大学間での, 歴史資料情報の共有化をより図った。(達成度:A)
- 事業計画:学内における研究・産官学連携に関する啓発活動の実施
事業概要:学部の研究者を対象に研究費獲得に向けたサポート及び産官学連携・知的財産活動の啓発活動を実施することにより, 研究を推進し, その成果の社会還元を推進する。
進捗状況:研究・産官学連携を進める上で, 課題となる安全保障貿易管理に関する学内セミナーの開催や, 学部間の連携による研究の推進を目的とした研究者照会を行った。また, 小規模な発明説明会として, 学科単位での発明説明会を試みで行う等, 従来とは異なるアプローチで, 啓発活動に努めた。(達成度:A)
- 事業計画:学内における産学連携活動に係る利益相反マネジメントの適正な運用
事業概要:学内における適切な利益相反マネジメントにより, 安心・安全に研究活動に注力できる環境を整備し, 産官学連携研究による研究成果の社会還元の促進及び社会

への説明責任を果たすことを通じて本学の社会貢献を促進する。
進捗状況:利益相反マネジメントについて, 公的研究費による要請もあり, 学部研究事務課等と連携を図り, 適正な運用を行った。今後は臨床研究における利益相反マネジメントの検討にも着手し, 体制の充実を図る。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:危機管理体制の強化
事業概要:危機の未然防止, 緊急事態発生時の迅速対応等を目的とした危機管理ガイドライン・マニュアルの作成により危機管理体制を強化する。
進捗状況:危機管理ガイドライン, マニュアル作成に向けた危機事象の抽出, 整備を行った。(達成度:C)
- 事業計画:会計業務の効率化
事業概要:学校法人会計基準の改正を見据えた新しい会計システムの導入及び積極的な情報提供による, 会計業務の効率化と全学的統一
進捗状況:学校法人会計基準の改正に対応する新しい全学統一会計システムを導入するとともに, 担当者勉強会を随時開催するなど積極的な情報提供を行った。(達成度:A)
- 事業計画:ホームページでの理解しやすい財務情報の公開
事業概要:グラフ・図表及び財務分析結果の活用などによる, 社会への説明責任を果たす「開かれた大学」としての認知の浸透
進捗状況:収支計算書, 貸借対照表の理解を得るため, 企業会計との相違点及び記載科目・収支内容の説明を行った。また, グラフ及び図表のカラー化など資料の見易さに努めた。(達成度:A)
- 事業計画:全学部学生対象の各種就職支援講座開催
事業概要:全学部の学生を対象に企業人事担当者と合同で実施する就職支援講座を開催
進捗状況:新規の就職関係行事として, 日本大学校友会桜門社長会の協力により本学出身の企業の社長と学生が交流する企画である「社長と語ろう」を実施。また, 全学部学生を対象とした「模擬グループディスカッション」を行い, 学生の就職活動を支援した。(達成度:A)
- 事業計画:創立 130 周年に向けての大学ブランドのイメージアップ
事業概要:新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・看板広告等の媒体を通じて広報展開し, 本学の教育理念と教育・研究活動を広く社会にPRすることにより本学のブランド価値を高める。
進捗状況:費用対効果を鑑み, 幅広い媒体を使った合理的な広告戦略を展開。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学公式ホームページコンテンツ最適化かつ充実化
事業概要:ホームページのユーザビリティ(使いやすさ, 利用者の都合)の向上や改善, コンテンツの充実などに取り組む。
進捗状況:大学史に関するサイト, 入試及びスポーツ関連のサイトをリニューアルし, 併せてスマートフォンでも利用できる環境を整え, 利便性の向上をはかった。(達成度:A)
- 事業計画:「日大テレビ」の番組制作・配信及び学内視聴環境整備
事業概要:学生, 校友, 教職員向けに各部科校のイベントや校友紹介等の番組を制作・ネット配信し, 大学の広報活動を推進する。また, 学内の視聴環境向上を目指す。

進捗状況:4月の入学式ライブに始まり,計14回の番組配信を行った。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:日本大学病院の建設

事業概要:新病院の建設

進捗状況:新病院完成(達成度:A)

○事業計画:大学院法務研究科校舎移転事業

事業概要:「司法の日大」の復活に向けた法学部との連携強化を目指し,法学部隣接地の通信教育部校舎に移転する。なお,通信教育部は,千代田(九段南)校地の新校舎等に移転する。

進捗状況:移転完了(新校舎完成及び旧通信教育部校舎等の改修完了)(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:消費収支均衡の実現

事業概要:次の目標値達成を目指し,幅広い収支改善策を継続的に実行することによる,法人の総合的施策などを実現するための盤石な財政基盤の確立。(1)長期的な目標値:学校法人の永続的な維持を鑑み,消費収支比率が100%を超えないこと(2)短期的な目標値:消費支出比率が継続的に95%以内となること

進捗状況:学生生徒等納付金・医療収入減少,法人の総合的施策及び学部・高等学校での校舎建設などの教育環境整備により,平成26年度の消費収支比率は106.90%,消費支出比率は101.48%となった。(達成度:B)

○事業計画:過去の決算の検証に基づく効率的な予算配分の徹底

事業概要:経営資源の有効活用による教育研究活動の充実

進捗状況:財務関係諸会議などにおいて,ゼロベース予算方式及び予算差異の解消を徹底するなど,効率的な予算配分に向けての指導・助言を随時行い,経営資源の有効活用に努めた。(達成度:A)

○事業計画:受配者指定寄付金制度や税制控除制度の周知による募金活動の積極的な推進

事業概要:寄付者が法人税,所得税について税法上の優遇措置を受けることができる同制度を全学的に周知することで,更なる募金活動の積極的な推進を図る。

進捗状況:特別寄付金収入は,19億3,955万円となり,そのうち受配者指定寄付金収入は,4億6,024万円であった。(達成度:A)

○事業計画:補助金等競争的資金の積極的獲得に向けた情報発信

事業概要:教育研究基盤の充実に欠かすことのできない国庫補助金及び地方公共団体補助金の積極的な申請を行うために,有用な情報を全学的に発信し,更なる補助金獲得を図る。

進捗状況:補助金交付額は総額170億4,057万円,大学の経常費補助金においては,前年度同様に改革総合支援事業の支援対象校に選定され,交付額全国第1位を堅持することができた。(達成度:A)

○事業計画:資金の効率的運用に資する総合運用資金制度の積極的活用

事業概要:本学のスケールメリットを活用した資金の効率的運用により,受取利息・配当金収入の増収を図る。

進捗状況:部科校保有の諸引当資産のうち,78%を総合運用資金制度にて運用することができた。(達成度:A)

○事業計画:本部の収支改善へ向けた効率的な予算配分の徹底

事業概要:収支安定の指標である消費支出比率は,法人が示す95%を実現するため,部局単位で,教育研究及び管理経費支出の消費税率改定による増加見込額と平成24年度決算額の合計を目標とする。

進捗状況:各部局との予算折衝で,過去2年間の実績有無検証による予算適正化を図り,更なる冗費の節減とゼロベース予算方式を徹底し,また,全学的事業に係る費用は,適正な按分により部科校へ負担協力を依頼し,消費収支の均衡に努めた。(達成度:A)

Ⅲ 事業の概要 (データ編)

1 一般入学試験志願者数

学部第一部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	720	8,568	9,679	88.5
文理学部	961	14,629	15,945	91.7
経済学部	665	9,699	10,130	95.7
商学部	615	9,797	9,499	103.1
芸術学部	431	2,114	2,129	99.3
国際関係学部	375	1,354	1,527	88.7
理工学部	840	17,148	19,225	89.2
生産工学部	667	8,631	7,917	109.0
工学部	615	3,393	2,964	114.5
医学部	102	4,353	4,071	106.9
歯学部	80	584	476	122.7
松戸歯学部	65	533	442	120.6
生物資源科学部	725	10,970	10,254	107.0
薬学部	115	2,354	2,301	102.3
合 計	6,976	94,127	96,559	97.5

学部第二部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	170	246	280	87.9
合 計	170	246	280	87.9

短期大学部

学科名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
ビジネス教養学科	25	42	48	87.5
食物栄養学科	25	67	60	111.7
建築・生活デザイン学科	44	180	206	87.4
ものづくり・サイエンス総合学科	33	140	174	80.5
生命・物質化学科	22	87	139	62.6
合 計	149	516	627	82.3

合 計

学部・短期大学部 合計	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
	7,295	94,889	97,466	97.4

2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数

※（ ）内は9月修了者数。グローバル・ビジネス研究科は8月，2月修了含む

修了者数

大学院研究科

研究科	博士前期・ 修士課程	博士後期・ 博士課程	専門職学位課程	合計
総合科学	—		—	0 (0)
法学	25	1	—	26 (0)
新聞学	6	—	—	6 (0)
文学	68 (1)	7	—	75 (1)
総合基礎科学	44	1	—	45 (0)
経済学	30	1	—	31 (0)
商学	32		—	32 (0)
芸術学	37	2	—	39 (0)
国際関係	11		—	11 (0)
理工学	424 (2)	17 (2)	—	441 (4)
生産工学	152	5	—	157 (0)
工学	79	3 (1)	—	82 (1)
医学	—	28	—	28 (0)
歯学	—	33	—	33 (0)
松戸歯学	—	14 (1)	—	14 (1)
生物資源科学	70	7	—	77 (0)
獣医学	—	3	—	3 (0)
薬学	—	1	—	1 (0)
グローバル・ビジネス	0 (2)	—	—	0 (2)
総合社会情報	61 (2)	3	—	64 (2)
法務	—	—	34 (4)	34 (4)
知的財産	—	—	11	11 (0)
計	1,039 (7)	126 (4)	45 (4)	1,210 (15)

卒業者数

学部

学部	卒業者数
法	1,564 (25)
文理	1,905 (43)
経済	1,402 (34)
商	1,146 (75)
芸術	877 (10)
国際関係	722 (25)
理工	1,925 (71)
生産工	1,464 (9)
工	977 (20)
医	119
歯	90
松戸歯	89
生物資源科	1,580 (20)
薬	165 (56)
(小計)	14,025 (388)
法(第二部)	196 (5)
経済(第二部)	6
(小計)	202 (5)
合計	14,227 (393)

通信教育部

学部	卒業者数
法	71 (31)
文理	142 (50)
経済	43 (11)
商	84 (27)
計	340 (119)

短期大学部

学科	卒業者数
ビジネス教養	66 (4)
食物栄養	93 (1)
建築・生活デザイン	74 (2)
ものづくり・サイエンス総合	56 (1)
生命・物質化	39
生物資源	144
計	472 (8)

短期大学部専攻科

専攻	修了者数
食物栄養	22

幼稚園

学校	卒園者数
日本大学	48

高等学校

学校	卒業生数
日本大学	461
櫻丘	443
鶴ヶ丘	463
藤沢	487
豊山	485
豊山女子	264
三島	629
明誠	267
山形	444
習志野	501
東北	430
計	4,874

専修学校

学校	卒業生数
医学部附属看護専門学校	78
歯学部附属歯科技工専門学校	14
歯学部附属歯科衛生専門学校	31
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	42
計	165

中学校

学校	卒業生数
日本大学	266
藤沢	93
豊山	207
豊山女子	135
三島	56
計	757

博士学位授与者数

専攻分野の名称	論文博士		課程博士		合計
	26年度授与者数	累計(A)	26年度授与者数	累計(B)	(A) + (B)
環境科学	0	0	0	1	1
生命科学	0	0	0	6	6
法学	1	17	0	5	22
政治学	0	2	1	4	6
文学	1	104	5	35	139
社会学	0	1	0	9	10
教育学	0	12	1	14	26
心理学	0	11	1	47	58
経済学	1	38	1	14	52
商学	0	21	0	26	47
芸術学	0	12	2	86	98
国際関係	3	38	0	33	71
工学	7	945	24	669	1,614
理学	0	117	5	212	329
医学	8	2,953	28	1,522	4,475
歯学	18	2,413	48	1,886	4,299
生物資源科学	4	63	7	103	166
農学	0	162	0	91	253
獣医学	1	150	3	110	260
薬学	3	51	1	52	103
総合社会文化学	0	6	3	55	61
学術	1	12	0	5	17
計	48	7,128	130	4,985	12,113

3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数

海外学術交流提携校

※平成27年3月31日現在

学 部 等	提 携 校	国・地域名	提携の形
大 学	マッコーリ大学	オーストラリア	協定
	クィーンズランド大学	オーストラリア	協定
	クレムス応用科学大学	オーストリア	協定
	サンパウロ大学	ブラジル	協定
	トロント大学	カナダ	協定
	成都大熊猫繁育研究基地	中国	協定
	中国管理科学学会	中国	協定
	中国伝媒大学	中国	協定
	福建師範大学	中国	協定
	福建富閩基金会及び福建省対外友好協会	中国	協定
	遼寧大学	中国	協定
	遼寧省人民政府	中国	協定
	北京大学	中国	協定
	山東大学	中国	協定
	香港教育学院	中国	協定
	新疆医科大学	中国	協定
	鄭州大学	中国	協定
	オーフス大学	デンマーク	協定
	ラッペンランタ大学	フィンランド	協定
	アヴィニョン大学	フランス	協定
	ガーナ大学	ガーナ	協定
	ベルリン自由大学	ドイツ	協定
	ヨハネス・グーテンベルク大学	ドイツ	協定
	メイヌース大学	アイルランド	協定
	高麗大学校	韓国	協定
	慶熙大学校	韓国	協定
	延世大学校	韓国	協定
	モスクワ国立国際関係大学	ロシア	協定
	ロシア科学アカデミー	ロシア	協定
	マドリード・コンプルテンセ大学	スペイン	協定
	バリアドリード大学	スペイン	協定
	ストックホルム大学	スウェーデン	協定
	北西スイス応用科学・芸術大学	スイス	協定
	国立中興大学	台湾	協定
	国立台湾大学	台湾	協定
	ケンブリッジ大学	イギリス	協定
	エリザベスタウン・カレッジ	アメリカ合衆国	協定
	ジョージ・メイソン大学	アメリカ合衆国	協定
	ケント州立大学	アメリカ合衆国	協定
	アラバマ大学バーミングハム	アメリカ合衆国	協定
	カリフォルニア大学サンタバーバラ校	アメリカ合衆国	協定
	ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	協定
	オレゴン大学	アメリカ合衆国	協定
ワシントン州立大学	アメリカ合衆国	協定	
ウェスタンミシガン大学	アメリカ合衆国	協定	
法	北京大学国際関係学院	中国	覚書
	アヴィニョン大学	フランス	覚書
	ヨハネス・グーテンベルク大学	ドイツ	覚書
	新羅大学校	韓国	覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
法	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校 カリフォルニア大学ヘイスティングス校 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国及びカナダ	覚書 覚書 覚書
文 理	華東師範大学 北京大学 高麗大学校文科大学 新羅大学校 モンゴル国立大学 国立台湾師範大学 トラキア大学 ケント大学 カンザス大学 ワシントン大学文理学部	中国 中国 韓国 韓国 モンゴル 台湾 トルコ イギリス アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
経 済	マウントロイヤル大学 復旦大学日本研究センター 対外経済貿易大学 フランス経済商科大学 スケマビジネススクール ボーフム大学経済学部及び東アジア研究学部 ブダペスト・コルビヌス大学 高麗大学校政治経済学部 西江大学校経済学部 マッセイ大学 フィリピン大学ディリマン校経済学部 コルドバ大学法経営経済学部 マドリード・コンプルテンセ大学経済・経営学部 タマサト大学経済学部 ケンブリッジ大学 ノッティンガム大学経済学部 オーバン大学経営学部	カナダ 中国 中国 フランス フランス ドイツ ハンガリー 韓国 韓国 ニュージーランド フィリピン スペイン スペイン タイ イギリス イギリス アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
商	オデンシアグループ フロリダ州立大学	フランス アメリカ合衆国	覚書 覚書
芸 術	グリフィス大学 中国伝媒大学	オーストラリア 中国	覚書 覚書
国 際 関 係	マッコーリ大学 北京大学国際関係学院 ノルテ大学 フランス経済商科大学 西カトリック大学 ヨハネス・グーテンベルク大学 ゴア大学 インドネシア教育大学 慶熙大学校国際・経営学部 デ・ラ・サール大学(マニラ校)教養学部 サラマンカ大学 バリアドリード大学 アサンプシオン大学 フェリシアン大学 モンタナ州立大学 ペンシルヴェニア州立大学 セント・ノーバート・カレッジ ニューヨーク州立ストーニーブルック大学 カリフォルニア大学サンタバーバラ校	オーストラリア 中国 コロンビア フランス フランス ドイツ インド インドネシア 韓国 フィリピン スペイン スペイン タイ アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
国際関係 短期大学部 (三島)	ウェスタン・インスティテュート・オブ・テクノロジー・アット・タラナキ	ニュージーランド	覚書
理 工	西安建築科技大学	中国	覚書
	西安理工大学	中国	覚書
	ダルムシュタット工科大学	ドイツ	覚書
	全北大学校工科大学	韓国	覚書
	韓国海洋大学校海洋科学技術大学・工科大学	韓国	覚書
	フィリピン工科大学	フィリピン	覚書
	ミネソタ大学理工学部	アメリカ合衆国	覚書
生 産 工	全南大学校工科大学	韓国	覚書
	慶尚大学校工科大学	韓国	覚書
	中国科技大学規劃與設計學院・管理學院・資訊學院	台湾	覚書
	ケント州立大学	アメリカ合衆国	覚書
工	ウメフ大学理工学部	スウェーデン	覚書
	テキサス大学オースチン校工学部	アメリカ合衆国	覚書
医	中国医科大学	中国	覚書
	中国医学科学院心血管病研究所・阜外医院	中国	覚書
	華中科技大学同済医学院	中国	覚書
	清華大学医学院	中国	覚書
	ボーフム大学附属ノルトラインウェストファーレン州立バート ューンハウゼン心臓病センター	ドイツ	覚書
	ヨルダン大学医学部	ヨルダン	覚書
	嘉泉医科大学	韓国	覚書
ハワイ大学医学部	アメリカ合衆国	覚書	
歯	山東大学歯学部	中国	覚書
	慶北大学校歯学部	韓国	覚書
	ヘルスサイエンス大学	ラオス	覚書
松 戸 歯	マギル大学歯学部	カナダ	覚書
	天津医科大学口腔医学院	中国	覚書
	武漢大学口腔医学院	中国	覚書
	台北医学大学口腔医学院	台湾	覚書
	タマサト大学歯学部	タイ	覚書
生 物 資 源 科	海南大学海洋学院・生命科学農学院	中国	覚書
	大韓民国農村振興庁普及支援研究部	韓国	覚書
	ビコール大学農林学部	フィリピン	覚書
	メチヨー大学農学部	タイ	覚書
	ワシントン大学森林資源学部	アメリカ合衆国	覚書
カントー大学農学部	ベトナム	覚書	
大 学 院 総 合 基 礎 科 学 研 究 科	国立ストラスブール高等物理学院(ルイ・パスツール大学)	フランス	覚書
	マーストリヒト大学大学院統治管理研究科及び経済・経営 管理学部	オランダ	覚書
大 学 院 法 務 研 究 科	全北大学校法学部	韓国	覚書
計	117大学等	31か国1地域	

*協定：大学（全体）単位での提携

覚書：学部等単位での提携

*太字は平成26年度新規提携校

*大学等の合計は、重複する提携先機関を1校として数えた。

外国人留学生数

※平成26年5月1日現在

大学院研究科

研 究 科	博士前期・修士・専門職学位課程				博士後期・博士課程						合 計
	1年次	2年次	3年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計	
総 合 科 学	—	—	—	—							
法 学	3	4	—	7	1	1	1	—	—	3	10
新 聞 学	6	6	—	12	1			—	—	1	13
文 学	3	3	—	6				—	—		6
総合基礎科学		1	—	1				—	—		1
経 済 学	1	2	—	3				—	—		3
商 学	30	32	—	62		3		—	—	3	65
芸 術 学	14	8	—	22		2	1	—	—	3	25
国 際 関 係	7	3	—	10			3	—	—	3	13
理 工 学	17	13	—	30	3	3	9	—	—	15	45
生 産 工 学	5	1	—	6	1			—	—	1	7
工 学		1	—	1	1			—	—	1	2
医 学	—	—	—	—					—		
歯 学	—	—	—	—					—		
松 戸 歯 学	—	—	—	—					—		
生 物 資 源 科 学	2	2	—	4			1		—	1	5
獣 医 学	—	—	—	—			1		—	1	1
薬 学			—			1			—	1	1
グローバル・ビジネス			—		—	—	—	—	—	—	
法 務		1		1	—	—	—	—	—	—	1
知 的 財 産	3		—	3	—	—	—	—	—	—	3
計	88	76		168	7	10	16			33	201

学部

学部	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	7	15	21	13	—	—	56
文 理	36	34	38	35	—	—	143
経 済	45	46	41	54	—	—	186
商	11	30	32	31	—	—	104
芸 術	22	27	27	31	—	—	107
国 際 関 係	10	6	14	24	—	—	54
理 工	40	62	68	66	—	—	236
生 産 工	9	8	12	8	—	—	37
工	5	1		7	—	—	13
医 学							
歯 学							
松 戸 歯 学			1	1			2
生 物 資 源 科	10	3	5	5	—	—	23
薬							
計	195	232	259	275			961

短期大学部

学科	1年次	2年次	計
ビジネス教養	2	1	3
食物栄養			
建築・生活デザイン			
ものづくり・サイエンス総合			
生命・物質化			
生 物 資 源			
計	2	1	3

地域別外国人留学生数

大学院研究科（博士前期・修士課程）

地域	アジア
人数	164

大学院研究科（博士後期・博士課程）

地域	アジア	北米	計
人数	32	1	33

大学院研究科（専門職学位課程）

地域	アジア
人数	4

学部

地域	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	南米	ヨーロッパ
人数	937	2	2	8	6	1	5

短期大学部

地域	アジア
人数	3

（参考）

アジア	タイ, マレーシア, シンガポール, インドネシア, 香港, 韓国, モンゴル, ベトナム, 中国, カンボジア, ラオス, 台湾, ネパール, スリランカ, ミャンマー
中近東	トルコ, アラブ首長国連邦
アフリカ	ケニア
オセアニア	オーストラリア, ニュージーランド, トンガ
北米	アメリカ
南米	コロンビア
ヨーロッパ	イギリス, フランス, スイス, ロシア, ウズベキスタン, モルドバ

4 学内奨学金制度

大学院研究科・学部

種 別	年 額		人数	給付総額(円)		
古 田 奨 学 金		20万円	21	4,200,000		
ロバート・F・ケネディ奨学金		20万円	21	4,200,000		
エヌドット奨学金		36万円	99	35,640,000		
桜 樹 奨 学 金		36万円	50	18,000,000		
アスリート奨学金	入学金, 授業料及び施設設備資金		20	42,390,000		
大 学 院 法 務 研 究 科 奨 学 金	第1種	既修	98万円	12	11,760,000	
		未修	98万円	2	1,960,000	
	第2種	既修(第3種支給額適用)		98万円	3	2,940,000
				98万円	9	4,500,000
		未修(第3種支給額適用)		98万円	0	0
			50万円	5	2,500,000	
	第3種	既修	98万円	1	980,000	
		未修	98万円	3	2,940,000	
	第4種	既修	50万円	3	1,500,000	
		未修	50万円	0	0	
大学院法務研究科特別奨学金		50万円	3	1,500,000		
小 澤 奨 学 金		12万円	9	1,080,000		
オリジナル設計奨学金		20万円	3	600,000		
創立100周年記念外国人留学生奨学金	授業料相当額		28	20,070,000		
法 学 部 奨 学 金	第1種	30万円	22	6,600,000		
	第2種	授業料1年分相当額を上限とする	1	400,000		
	第3種	往復航空運賃+留学先授業料 1年分相当額を上限とする	1	158,900		
法学部永田奨学金		12万円	15	1,800,000		
法学部山岡奨学金		12万円	12	1,440,000		
法 学 部 校 友 会 奨 学 金	第1種	授業料半期分相当額を上限とする	0	0		
	第2種	24万円	1	240,000		
	第3種	12万円	8	960,000		
文 理 学 部 奨 学 金	第1種	学 部	24万円	38	9,120,000	
		大学院	40万円	4	1,600,000	
	第2種	学 部	24万円	2	480,000	
		大学院	40万円	1	400,000	
第3種	学費相当額を限度とする		0	0		
文理学部後援会奨学金	学費支弁の困難な者		24万円	50	12,000,000	
文理学部大学院特別奨学金	授業料相当額		4	2,600,000		
経 済 学 部 奨 学 金	第1種	36万円	6	2,160,000		
	第2種	24万円	4	960,000		
	第3種		24万円	2	480,000	
		(後期採用者)	12万円	1	120,000	
経 済 学 部 後 援 会 奨 学 金 (東日本大震災被災者に対する特別対応を含む)	第1種		24万円	39	9,360,000	
		(後期採用者)	12万円	4	480,000	
	第2種	36万円	1	360,000		
経済学部校友会奨学金	12万円		9	1,080,000		
経済学部特別研究生奨学金	授業料相当額+図書費+施設設備資金相当額(大学院)		1	1,220,000		
商 学 部 後 援 会 奨 学 金	授業料相当額の半額		25	8,125,000		
商 学 部 校 友 会 奨 学 金	授業料相当額の半額		5	1,625,000		
校友会準会員商学部奨学金	授業料相当額の半額		30	9,750,000		
商 学 部 菅 奨 励 金	30万円		0	0		
商 学 部 奨 学 金	第1種	授業料相当額	15	9,425,000		
	第2種	授業料相当額	13	8,450,000		
	第3種	授業料相当額の半額	30	9,552,500		
商 学 部 絆 奨 学 金	授業料相当額の半額		20	6,500,000		

種 別	年 額		人数	給付総額(円)
芸 術 学 部 奨 学 金	第1種	学部 授業料1年分相当額	8	8,160,000
	第2種	学部 50万円	0	0
		学部 30万円	3	900,000
		大学院 50万円	0	0
	第3種	大学院 30万円	0	0
		学部 授業料1年分相当額	0	0
	(被災学生)	大学院 授業料1年分相当額	0	0
第4種	東アジア地域 10万円	0	0	
	東アジア以外の地域 20万円	9	1,800,000	
芸術学部ジェームス&道子・ダン奨学金	10万円		2	200,000
国 際 関 係 学 部 奨 学 金	第1種	学部 授業料1年分相当額の半額	3	1,140,000
		大学院 授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大 授業料1年分相当額の半額	0	0
	第2種	学部 授業料1年分相当額の半額	2	760,000
		大学院 授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大 授業料1年分相当額の半額	0	0
	第3種	学部 授業料1年分相当額の半額	1	380,000
		大学院 授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大 授業料1年分相当額の半額	0	0
国際関係学部柳川海外交流奨学金	第1種	50万円	1	500,000
	第2種	大学院 50万円	0	0
三 島 後 援 会 特 別 奨 学 金	下宿補助	学部 12万円	151	18,120,000
		大学院 12万円	2	240,000
		短大 12万円	9	1,080,000
	新幹線通学補助	学部 12万円	34	4,080,000
		大学院 12万円	0	0
		短大 12万円	0	0
	静岡駅利用者	学部 8万円	6	480,000
		大学院 8万円	0	0
		短大 8万円	0	0
国 際 関 係 学 部 校 友 会 奨 学 金	第1種	学部 25万円	12	3,000,000
		短大 25万円	2	500,000
	第2種	学部 25万円	4	1,000,000
		短大 25万円	2	500,000
日 本 大 学 三 島 同 窓 会 奨 学 金	国家試験	学部 5万円	1	50,000
		短大 5万円	0	0
理 工 学 部 奨 学 金	第1種	学部 40万円	30	12,000,000
		大学院 50万円	90	45,000,000
		短大 40万円	2	800,000
	第2種 (留学生)	学部 40万円	3	1,200,000
		大学院 50万円	4	2,000,000
短大 40万円	0	0		
理工学部後援会奨学金	50万円		40	20,000,000
理工学部校友会奨学金	12万円		10	1,200,000
生 産 工 学 部 奨 学 金	第1種	60万円	9	5,400,000
	第2種	前期 30万円	6	1,800,000
		後期 30万円	3	900,000
	第3種	60万円	2	1,200,000
生産工学部校友会奨学金	30万円,20万円,10万円から経済的困窮度に応じ		16	4,500,000
工 学 部 奨 学 金	第1種	60万円	6	3,600,000
	第2種	授業料相当額	3	2,700,000
	第3種	授業料の20%相当額	2	360,000
	第4種	36万円	18	6,480,000
工学部父母会奨学金	半期25万円		8	2,000,000
工学部五十嵐奨学金	10万円		12	1,200,000
医学部土岐奨学金	20万円		3	600,000

種 別	年 額	人数	給付総額(円)	
医学部 永澤奨学金	20万円	2	400,000	
医学部同窓会60周年記念医学奨励金	40万円	3	1,200,000	
医学部 特定医療奨学金	60万円	0	0	
歯学部 佐藤奨学金	第1種	20万円	5	1,000,000
		10万円	28	2,800,000
	第2種	10万円	5	500,000
	第3種	海外50万円以内	12	2,213,000
歯学部 同窓会奨学金	学部	10万円	3	300,000
	大学院	5万円	5	250,000
松戸歯学部 鈴木奨学金	第1種	10万円	39	3,900,000
	海外研修	20万円	1	200,000
	第2種	海外 50万円以内	22	2,974,020
	国内 5万円以内	38	1,152,190	
生物資源科学部 奨学金	授業料・施設設備資金相当額	8	10,740,000	
生物資源科学部 大森奨学金	20万円	11	2,200,000	
生物資源科学部 特別研究生奨学金	大学院 授業料相当額	12	7,750,000	
生物資源科学部 後援会奨学金	25万円以上55万円以内	43	18,050,000	
生物資源科学部 校友会奨学金	25万円	28	7,000,000	
薬学部 奨学金	第1種	50万円	1	500,000
	第2種	30万円	6	1,800,000
	第3種	30万円	0	0
薬学部 校友会奨学金	20万円	2	400,000	
薬学部 校友会 準会員奨学金	30万円	7	2,100,000	
薬学部 校友会 (桜薬会) 奨学金	20万円	2	400,000	
薬学部 マツモトキヨシ奨学金	第1種 30万円	6	1,800,000	
通信教育部 奨学金	授業料相当額	5	450,000	
通信教育部 坂東奨学金	授業料相当額	1	90,000	
大学院総合社会情報研究科坂東奨学金	20万円	3	600,000	
計		1,473	490,805,610	

本学独自の奨学金（貸与）大学院研究科・学部

種 別	年 額	人 数	貸与総額(円)
歯学部 佐藤奨学金	授業料相当額を限度	1	3,000,000
松戸歯学部 鈴木奨学金	授業料相当額を限度	0	0
計		1	3,000,000

高等学校

学 校	名 称	年 額 (円)	人数	給付総額 (円)		
付 属 1 1 校	日本大学付属高等学校奨学金	240,000	55	13,200,000		
日 本 大 学	日本大学高等学校奨学金	第1種	8	1,600,000		
		第2種	2	400,000		
		第3種	4	400,000		
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000	5	250,000		
	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	12	1,200,000		
		第2種	3	300,000		
日本大学高等学校・中学校同窓会奨学金	第1種	3	300,000			
	第2種	2	200,000			
櫻 丘	櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学金	100,000	3	300,000		
	櫻丘高等学校後援会奨学金	100,000	5	500,000		
鶴 ケ 丘	鶴ヶ丘高等学校奨学金	第1種	8	3,360,000		
		第2種	6	2,520,000		
鶴ヶ丘高等学校英明奨学金	第1種	150,000	12	1,800,000		
	藤沢高等学校奨学金	100,000	18	1,800,000		
藤 沢	藤沢高等学校奨学金	第2種	4	400,000		
		第3種	1	100,000		
		第1種1号	4	3,452,000		
	藤沢高等学校スポーツ奨学生	第1種2号	2	863,000		
		第2種1号	5	3,015,000		
	藤沢高等学校特待生	第2種2号	2	603,000		
		学力A特待生	6	2,628,000		
	藤沢高等学校特待生	学力B特待生	4	876,000		
		技能B特待生	5	1,095,000		
		学力B特待生	2	468,000		
		技能B特待生	3	702,000		
	豊 山	豊山高等学校育友奨学金	第1種	150,000	5	750,000
			120,000	5	600,000	
			90,000	1	90,000	
			70,000	1	70,000	
第3種		564,000	10	5,640,000		
豊山女子	豊山女子高等学校・中学校奨学金	100,000	8	800,000		
三 島	三島高等学校・中学校奨学金	100,000	6	600,000		
	三島後援会奨学金	第1種	480,000	11	5,280,000	
			340,000	7	2,380,000	
		第2種	240,000	10	2,400,000	
			170,000	7	1,190,000	
		第3種	160,000	14	2,240,000	
			120,000	28	3,360,000	
	第4種	120,000	41	4,920,000		
明 誠	明誠高等学校奨学金	120,000	10	1,200,000		
	明誠高等学校永田奨学金	100,000	14	1,400,000		
山 形	山形高等学校スポーツ奨学金	第1種	360,000	31	11,160,000	
		第3種	180,000	51	9,180,000	
		第4種	90,000	12	1,080,000	
	山形高等学校・中学校奨学金	120,000	12	1,440,000		
習 志 野	石川奨学金	348,000	6	2,088,000		
	習志野高等学校後援会奨学金	第1種	15	1,500,000		
		第3種	5	500,000		
東 北	東北高等学校奨学金	第1種	10	3,240,000		
		第2種	3	972,000		
	東北高等学校桜蕾会奨学金	324,000	10	3,240,000		
計				200,000	13	2,600,000
計					544	114,152,000

中学校

学 校	名 称	年 額 (円)	人数	給付総額 (円)		
日 本 大 学	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	100,000	2	200,000		
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000	3	300,000		
藤 沢	藤沢高等学校奨学金	100,000	1	50,000		
	藤沢高等学校特待生	第1種	3	300,000		
		第3種	1	100,000		
		学力A特待生	2	876,000		
藤沢高等学校特待生	学力B特待生	2	438,000			
	豊 山	豊山高等学校育友奨学金	150,000	2	300,000	
第1種		120,000	2	240,000		
		90,000	1	90,000		
		70,000	1	70,000		
豊山女子	豊山女子高等学校・中学校奨学金	100,000	4	400,000		
三 島	三島高等学校・中学校奨学金	120,000	1	120,000		
	三島後援会奨学金	第1種	1	120,000		
		第3種	1	120,000		
		第4種	2	240,000		
計					28	3,844,000

5 就職状況

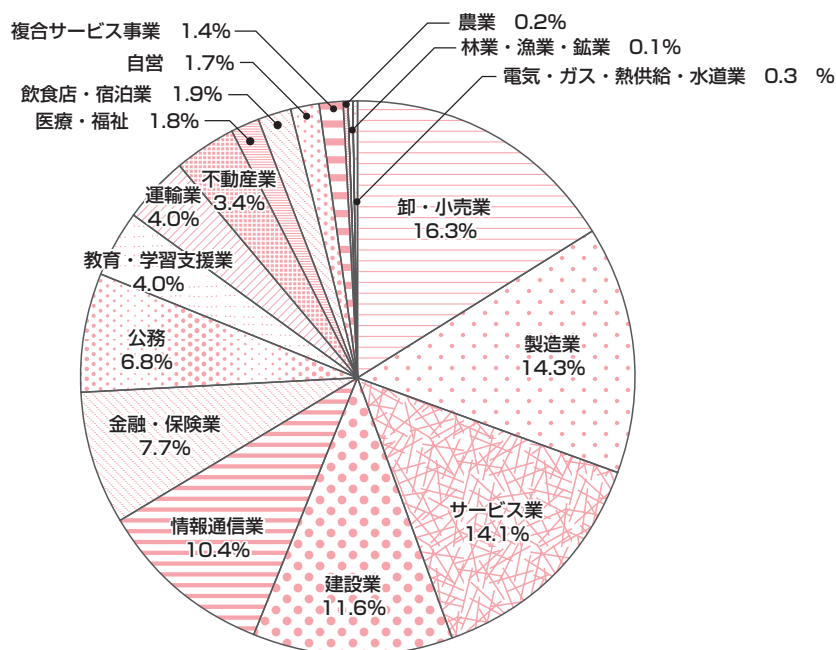
※平成27年4月10日現在

就職率

学部名	卒業生数	就職者数 ①	就職活動中 ②	就職希望者 (①+②=③)	就職率 ①/③
法学部	1,564	1,183	64	1,247	94.87%
文理学部	1,905	1,429	99	1,528	93.52%
経済学部	1,402	1,153	79	1,232	93.59%
商学部	1,146	958	46	1,004	95.42%
芸術学部	877	589	127	716	82.26%
国際関係学部	722	558	51	609	91.63%
理工学部	1,925	1,391	29	1,420	97.96%
生産工学部	1,464	1,226	26	1,252	97.92%
工学部	977	823	23	846	97.28%
生物資源科学部	1,580	1,248	86	1,334	93.55%
薬学部	165	160	0	160	100.00%
合計	13,727	10,718	630	11,348	94.45%

※ 法学部と経済学部は第一部のみ ※ 9月卒業生は含まない

業種別就職状況



主な就職先

大成建設(株), 清水建設(株), (株)鹿島建設, (株)大林組, 積水ハウス(株), 大和ハウス工業(株), 東京セキスイハイム(株), 大東建託(株), (株)伊藤園, 山崎製パン(株), 日本食研ホールディングス(株), 三菱電機(株), (株)日立製作所, トヨタ自動車(株), 富士重工業(株), 東京電力(株), (株)関電工, 日本放送協会, (株)マイナビ, ソフトバンクグループ, 凸版印刷(株), 全日本空輸(株), 東日本旅客鉄道(株), 東海旅客鉄道(株), 東京地下鉄(株), 日本通運(株), (株)JTB首都圏, (株)エイチ・アイ・エス, (株)大塚商会, (株)セブン-イレブン・ジャパン, (株)ファミリーマート, (株)ヨドバシカメラ, (株)クリエイトエス・ディー, (株)アインファーマシーズ, (株)三菱東京UFJ銀行, (株)みずほフィナンシャルグループ, (株)三井住友銀行, (株)千葉銀行, (株)千葉興業銀行, (株)京葉銀行, (株)武蔵野銀行, (株)ゆうちょ銀行, 城北信用金庫, 城南信用金庫, 野村證券(株), SMBC日興証券(株), 大和証券(株), 岡三証券(株), 日本生命保険(相), 第一生命保険(株), 明治安田生命保険(相), 東京会場日動火災保険(株), 三井不動産リアルティ(株), 住友不動産販売(株), 東急リパブル(株), 日本郵便(株), 総合警備保障(株), (株)資生堂, 国土交通省, 防衛省, 国税庁, さいたま市役所, 千葉県庁, 東京都庁, 東京都特別区, 埼玉県庁, 横浜市役所, 川崎市役所, 静岡県庁, 千葉県警察本部, 警視庁, 東京消防庁, 神奈川県警察本部, 各都県教育委員会

6 保健体育審議会所属競技部の主な成績

団体優勝部

競技部名	大会
陸上競技部	日本学生対校選手権大会(男子総合団体・フィールド) 関東学生対校選手権大会(男子総合団体・多種目)
ボート部	全日本大学選手権大会(総合団体・エイト・舵手付ペア・舵手付フォア) 全日本選手権大会(舵手付ペア・舵手なしペア・舵手なしクォドルプル)
相撲部	全日本大学選抜宇和島大会 全国大学選抜宇佐大会 全日本大学選抜金沢大会 全国選抜・実業団刈谷大会 東日本学生リーグ戦 国際女子選抜堺大会 全国学生女子選手権大会 全日本女子郡上大会
馬術部	全日本学生三大大会(総合団体・賞典総合馬術) 関東学生三大大会(総合団体・賞典飛越競技・賞典馬場競技・賞典総合競技) 東都学生大会(総合団体・障害飛越競技・賞典馬場競技) 関東学生女子自馬大会(総合団体・障害飛越競技)
空手部	和道全国大会(男子団体・女子団体)
射撃部	日本学生選抜選手権大会(男子総合団体・50mP60M・10mS60) 東日本学生選手権大会(50m3×20MW・50mP60M・10mS60) 春季関東学生選手権大会(女子総合団体) 秋季関東学生選手権大会(男子総合団体・50mP60M)
重量挙げ部	全日本大学対抗選手権大会 東日本大学対抗選手権大会
ボクシング部	全日本大学王座決定戦 関東大学リーグ戦
スケート部	東日本学生選手権大会(男子フィギュア) 関東学生選手権大会(男子フィギュア)
レスリング部	全日本大学選手権大会
ヨット部	全日本女子選手権大会(スナイプ級) 全日本学生女子選手大会(スナイプ級) 関東学生選手権大会(スナイプ級) 関東学生春季選手権大会(470級) 関東学生女子春季選手権大会(スナイプ級) 関東学生女子秋季選手権大会(総合団体・スナイプ級)
アメリカンフットボール部	東日本代表決定戦 関東大学リーグ戦
フェンシング部	全日本選手権大会(女子エペ) 全日本学生王座決定戦(男子フルーレ・男子エペ・女子サーブル) 全日本学生選手権(男子エペ・女子エペ) 関東学生選手権大会(男子エペ) 関東学生リーグ戦(男子総合団体・男子エペ・女子総合団体・女子サーブル)
ゴルフ部	関東大学春季Aブロックリーグ戦

※優勝部14部(全日本11部・関東3部)

個人優勝者

競技部名	氏名	大会	種目
陸上競技部	宮内育大	日本学生対校選手権大会	男子砲丸投
	川元奨	日本選手権大会	800m
	橋本孝興	日本学生対校選手権大会	400mH
	大森郁香	日本選手権大会	800m
	ダニエル・ムイバ・キトニー	日本学生対校選手権大会	10000m
水泳部	鷺見建亮	日本学生個人選手権大会	800m
	小堀勇氣	日本選手権大会(25m)	400m自由形
	山根優衣	国民体育大会	100m自由形
	池田匠見	日本選手権大会	1m飛板飛越
ボート部	大塚千誠	日本学生選手権大会	高飛込
	志賀巧	全日本大学選手権大会	シングルスカル
柔道部	原沢久喜	ヨーロッパオープン・ローマ	100kg超級
	制野孝二郎	全日本学生体重別選手権大会	100kg級
	佐藤和哉	アジアジュニア選手権大会	100kg超級
相撲部	須藤火山	全国学生個人体重別選手権大会	100kg未満級
	片村敬也	全国学生個人体重別選手権大会	135kg未満級
	上田幸佳	アジア女子選手権大会	無差別級
	谷内明日実	アジア女子選手権大会	重量級
	兼平志織	全日本女子選手権大会	中量級
馬術部	沖廣諒一	全日本学生三大大会	学生賞典馬場馬術
	渡邊瑞生	全日本総合大会	総合馬術
自転車部	近谷涼	全日本学生選手権大会	4kmインディヴィデュアル・パーシュート
体操部	長野託也	全日本選手権大会	つり輪
射撃部	湯浅菜月	全日本女子学生選手権大会	50m3×20
	塩入龍哉	日本学生選抜選手権大会	10mS60
重量挙げ部	持田龍之輔	全日本選手権大会	105kg級(ジャーク・トータル)
	多田佳弘	全日本学生個人選手権大会	105kg級(スナッチ・ジャーク・トータル)
	押田真	国民体育大会	56kg級 スナッチ
	村上英士朗	全日本大学対抗選手権大会	105kg超級(スナッチ・ジャーク・トータル)
ボクシング部	木本盛宝	国民体育大会	ライト級
	坪井智也	全日本選手権大会	ライトフライ級
スキー部	小林洋介	全日本学生選手権大会	男子30kmフリー
	藤ノ木光	全日本学生チャンピオン大会	クロスカントリー種目・ノルディック種目
	渡邊歩実	全日本学生チャンピオン大会	女子回転
スケート部	渡部陸太	国民体育大会	男子ジャンプ
	長谷川翼	日本学生選手権大会	500m
レスリング部	青野ひかる	全日本社会人選手権大会	48kg級
	池田智	全日本学生選手権大会	65kg級
	村田夏南子	ヤリギン国際大会	55kg級
	山縣良嗣	国民体育大会	65kg級
	橋本翔太	国民体育大会	97kg級
	山本康稀	国民体育大会	97kg級
	阿部梨乃	全日本学生選手権大会	75kg級
	坂野結衣	アジアジュニア選手権大会	59kg級
	紺野孝太	国民体育大会	65kg級
	前田頼夢	国民体育大会	57kg級
	白井勝太	全日本大学選手権大会	86kg級
ヨット部	持田由美子	全日本女子選手権大会	スナイプ級
	伊村仁志	全日本学生個人選手権大会	スナイプ級
	大野雅貴	全日本学生選手権大会	スナイプ級
	上田育美	全日本学生選手権大会	スナイプ級
フェンシング部	相澤さつき	全日本選手権大会	フルーレ
	山田優	世界ジュニア選手権大会	エペ

※個人優勝者87名(全日本59名, 東日本関東28名)

7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業

校友数

校友数 1,113,842名(正会員8,946名)

※ 平成27年3月現在

校友会組織

日本大学校友会（校友会本部事務局）

都道府県支部（65支部）

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・十勝・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一:千代田・中央・港・新宿・文京・台東), (東京都第二:品川・大田)
(東京都第三:目黒・世田谷), (東京都第四:渋谷・中野・杉並)
(東京都第五:豊島・北・板橋・練馬), (東京都第六:墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川)
(東京都第七:23区以外全域)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会（16部会）

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信教育部

職域別部会（4部会）

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会（79団体）

鴻池組桜門会桜鴻会, 八丁堀警備桜門会, ライフ桜門会, 町田桜門会, フジバスク(株)世田谷桜門会, 土浦桜門会, 日本大学桜門三崎倶楽部, 日本大学相撲桜門会, 日本大学全国相撲桜門会, 柔道桜門会, フェニックス桜門会, 関電工桜門会, 桜門六会会, 日大テニス桜門会, 日本大学応援団本部(桜応会), 日本大学剣道部桜門会, 日本大学弓道桜門会, 日本大学準硬式野球部桜門会, 体操桜門会, 重量挙げ桜門会, 山岳部桜門会, スキー部桜門会, 日本大学スケート部桜門会, 日本大学バスケットボール桜門会, レスリング桜門会, 八幡山サッカー桜門会, ヨットクラブ桜門会, 日本大学フェンシング部桜門会, ハンドボール桜門会, 飛鳥桜門会, 射撃部桜門会, 桜門・報道クラブ, 六興電気(株)桜門会, 日本大学湘南桜門会, ホクシング部桜門会, 日本大学自動車部桜門会, 不動産・建設桜門会, 成田桜門会, TSUCHIYA桜門会, 日本大学合唱団桜門会, 全国社会保険労務士桜門会, 新生テクノス桜門会, NBS桜門会, ㈱ライクス桜門会, ニッタン桜門会, レディース桜門会, 沼津桜門会, 日本大学櫻下桜門会, 日本大学拳法部桜門会, 桜門建築連合会, 日本大学空手部桜門会, 佐藤工業桜門会, 行政書士桜門会, ラグビー桜門会, 日本大学税理士桜門会, 日本大学ハレーボール部桜門会, 村本建設桜門会, ㈱加賀田組桜門会桜友会, 日本大学自転車部桜門会, ゴルフ部桜門会, 大林組桜門会, 東京美装興業桜門会, ポート部桜門会, 池田建設桜門会, 桜門ニューリーダーズ倶楽部, 宮崎日本大学学園桜門会, 桜門社長会, アインク桜門会, 国際ラフト桜門会, 日本電設工業桜門会, 坂田桂三ゼミ桜門会, しんきん桜門会, 桜門工業クラブ桜友会, 長谷川体育施設(株)桜門会, 桜門水泳会, 桜門卓球会, 弁理士桜門会, 駅伝桜門会, ハドミントン桜門会

海外特別支部（8支部）

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク・インドネシア

校友会関係行事

地区	行事	実施日(場所)
校友会本部	全国校友大会	11/10(東京ドームホテル)
	校友会役員総会	7/11(東京ドームホテル)
	校友会常任委員会(2回)	6/20, 12/12(日本大学桜門会館)
	校友会会長・副会長会(3回)	6/20, 12/12, 27/3/13(日本大学桜門会館他)
	校友会常任会(8回)	4/4,5/9,6/6,10/3,11/7,12/12,27/2/6,27/3/6(日本大学桜門会館)
	総務委員会(8回)	4/16,5/7,5/28,10/30,11/19,12/17,27/2/18,27/3/18(日本大学桜門会館)
	財務委員会(5回)	5/8, 5/29, 27/1/29, 27/2/25, 27/3/18(日本大学桜門会館)
	企画委員会(2回)	10/23, 27/3/9(日本大学桜門会館)
	広報委員会(2回)	6/24, 27/2/18(日本大学桜門会館)
	組織委員会(4回)	4/24, 11/18, 27/1/22, 27/3/12(日本大学桜門会館)
	桜門会館運営委員会(2回)	11/28, 27/2/17(日本大学桜門会館)
	スポーツ振興特別委員会(2回)	5/16, 11/14(日本大学会館)
北海道	札幌支部総会	7/2(札幌パークホテル)
	旭川支部総会	7/25(ホテルクレッセント旭川)
	小樽支部総会	10/18(ホテルノルド小樽)
	十勝支部総会	5/24(十勝ガーデンズホテル)
	苫小牧支部総会	27/2/28(グランドホテルニュー王子)
	釧路支部総会	10/23(ANAクラウンプラザ釧路)
東北	青森県支部総会	6/1(ラ・プラス青い森)
	岩手県支部総会	10/24(ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング)
	宮城県支部総会	7/30(ホテルメトロポリタン仙台)
	秋田県支部総会	11/8(秋田キャッスルホテル)
	山形県支部総会	7/18(ホテルメトロポリタン山形)
	福島県支部総会	9/5(郡山ビューホテルアネックス)
関東	茨城県支部総会	5/16(ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸)
	栃木県支部総会	7/25(二荒山会館)
	群馬県支部総会	7/19(前橋テルサ)
	埼玉県支部総会	27/3/21(ラフォーレ清水園)
	千葉県支部総会	10/25(京成ホテルミラマーレ)
	神奈川県支部総会	8/2(ローズホテル横浜)
	川崎支部総会	7/14(川崎日航ホテル)
	山梨県支部総会	27/1/29(ベルクラシック甲府)
東京	東京都第一支部総会	9/16(アルカディア市ヶ谷)
	東京都第二支部総会	10/15(銀座アスター蒲田賓館)
	東京都第三支部役員総会	27/3/31(天喜代下高井戸店)
	東京都第四支部総会	6/18(日本大学桜門会館)
	東京都第五支部総会	9/26(池袋東武百貨店バンケットホール)
	東京都第六支部総会	6/17(アンフェリシオン)
	東京都第七支部総会	6/14(八王子エルシイ)
東海	岐阜県支部総会	9/21(ロワジールホテル大垣)
	静岡県支部総会	27/2/21(ホテルアソシア静岡)
	愛知県支部総会	11/17(名鉄ニューグランドホテル)
	三重県支部総会	27/2/8(四日市都ホテル)
北信越	新潟県支部総会	7/12(新潟日報メディアシップ・日報ホール)
	富山県支部役員総会	8/3(ホテルニューオータニ高岡)
	石川県支部役員会	27/3/28(ホテル金沢)
	福井県支部総会	10/25(ユアーズホテルフクイ)
	長野県支部総会	—
	長野県北信支部総会	—
近畿	滋賀県支部総会	6/7(琵琶湖ホテル)
	京都支部総会	10/25(東華菜館)
	大阪支部総会	11/3(ウェスティンホテル大阪)
	兵庫県支部総会	6/14(櫻宴)
	奈良県支部総会	6/29(春日大社)
	和歌山県支部総会	7/5(華月殿)
中国	鳥取県支部総会	7/22(ホテルセントパレス倉吉)
	島根県支部総会	6/29(ジョイプラザ)
	岡山県支部総会	5/31(岡山ロイヤルホテル)
	広島県支部総会	8/30(ホテルグランヴィア広島)

地 区	行 事	実 施 日(場 所)
四 国	山口県支部総会	11/1(松月)
	徳島県支部総会	7/27(阿波観光ホテル)
	香川県支部総会	—
	愛媛県支部総会	11/15(松山全日空ホテル)
	高知県支部総会	27/3/15(ホテル日航高知旭ロイヤル)
九 州	福岡県支部総会	10/18(電気ビル共創館)
	北九州支部総会	11/7(ステーションホテル小倉)
	佐賀県支部総会	11/15(佐嘉神社記念館)
	長崎支部総会	7/26(京華園)
	佐世保支部総会	7/25(JAさせぼホール)
	熊本県支部総会	8/23(熊本ホテルキャッスル)
	大分県支部総会	7/19(トキハ会館)
	宮崎県支部総会	27/1/24(宮崎観光ホテル)
	鹿児島県支部総会	9/19(山形屋)
	沖縄県支部総会	8/22(ホテルロイヤルオリオン)
学部別部会	本部・大学院校友会役員会	27/3/30(日本大学桜門会館)
	法学部校友会総会	5/17(日本大学会館)
	文理学部校友会総会	6/7(日本大学会館)
	経済学部校友会役員総会	5/27(日本大学桜門会館)
	商学部校友会総会	5/29(ハイアットリージェンシー東京)
	芸術学部校友会総会	6/28(芸術学部)
	国際関係学部校友会総会	7/19(みしまプラザホテル)
	理工学部校友会総会	6/20(東京ガーデンパレス)
	生産工学部校友会総会	6/21(市川グランドホテル)
	工学部校友会総会	4/26(工学部50周年記念館)
	医学部同窓会総会	4/13(駿河台日本大学病院)
	歯学部同窓会総会	5/25(歯学部)
	松戸歯学部同窓会総会	6/15(日本大学桜門会館)
	生物資源科学部校友会総会	7/12(生物資源科学部)
	薬学部校友会総会	6/28(薬学部)
通信教育部校友会総会	5/24(日本大学桜門会館)	
職域別部会	全国桜師会総会・研修会	7/25(日本大学桜門会館)
	日本大学法曹会総会	5/23(日本大学桜門会館)
	桜門会計人会総会	7/2(日本大学桜門会館)
	全国桜門スポーツ部会総会	6/4(日本大学会館)
桜 門 会	町田桜門会総会	4/13(ホテルラポール千寿閣)
	成田桜門会総会	5/17(成田ビューホテル)
	TSUCHIYA桜門会総会	7/5(日本大学桜門会館)
	湘南桜門会総会	27/3/28(湘南クリスタルホテル)
	全国社会保険労務士桜門会総会	6/27(日本大学桜門会館)
	沼津桜門会総会	10/10(ホテル沼津キャッスル)
	税理士桜門会総会	7/19(日本大学桜門会館)

校友会事業

会報

会報誌名	配布対象	発行回数	発行部数
kizuna	校友	年1回	55万部
桜 縁	正会員・準会員	年2回	各15万部

校友会正会員事業

- 1 校友子女入試の推進
- 2 全国校友大会の開催
- 3 箱根駅伝を含む日大スポーツの振興と推進

校友会準会員事業

- 1 スポーツ優勝者表彰
- 2 スポーツに対する奨励金交付
- 3 全学文化事業(NU祭)支援
- 4 校友会(準会員)の診療費助成
- 5 校友会独自の奨学制度
- 6 校友子女入試における特別優待生制度の拡大
- 7 就職活動への支援

8 公開講座

名 称	テ ー マ
第37回日本大学軽井沢公開講座 後援：軽井沢町 軽井沢町教育委員会	「果物の不思議と魅力」 「ナショナル・ミニマムとは何かー社会保障から社会保護へー」
文理学部公開講座 統一テーマ： 前期：日本の至宝富士山を読み解く 後期：現代における「希望」とは	富士山と日本人：日本人の自然観と富士山信仰 富士山の自然：富士山の形成と火山活動 富士山の水環境：富士五湖と富士山麓湧水地帯 《富士山》の誕生 『万葉集』の「不尽山」 富士信仰と武家：平清盛の幻の富士遊覧，足利義満の富士遊覧 富士山は世界文化遺産：観光登山と地域振興 震災短歌が結ぶ日本と世界 「方言コスプレ」ドラマのできるまで 凹んだ心も活かし様（1），凹んだ心も活かし様（2） 東京オリンピック・パラリンピックの希望 トップアスリートの光と影 96歳の思想家ー武田清子という生き方 庶民が語る自分史ー未来世代に何を手渡すか
寺西重郎客員教授日本学士院賞受賞 記念 商学部公開講演会 後援：世田谷区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	日本の経済発展における商業の役割
商学部公開講演会 「“知識”と“暮らし”の融合10」 後援：世田谷区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	自治体からはじめるエネルギー革命
芸術学部江古田校舎公開講座 「映像で探る舞踊の魅力ー和と洋との邂逅」主催：芸術学部・練馬区共催	日本・日本語・日本舞踊 日本音楽とダンスの出会い ～クリエイションの現場から 日本舞踊とバレエ音楽の融合
芸術学部所沢校舎公開講座 「魅せる舞台，動く美術館ー伝統芸能の魅力ー」	笑いと言語ー落語種の新作から 幽玄の美ー能楽のコーディネート 歌舞伎舞踊・衣裳の四季ー日藝コレクションの粋(すい)
国際関係学部 平成26年度上期市民公開講座 統一テーマ 富士山 世界遺産登録とその魅力 後援：三島市・三島市教育委員会 裾野市教育委員会 清水町教育委員会 長泉町教育委員会 函南町教育委員会 協賛：日本大学総合生涯学習センター (しずおか県民カレッジ連携講座)	世界遺産 富士山と庶民信仰 世界文化遺産を守る富士山の自然 富士山と観光振興 途絶と復興を繰り返した登山道ー「富士に学ぶ」須山村の歴史ー 絵画にあらわれる富士山
国際関係学部 平成26年度下期市民公開講座 統一テーマ 食から考える健康ライフ 後援：三島市・三島市教育委員会 裾野市教育委員会 清水町教育委員会 長泉町教育委員会 函南町教育委員会 (しずおか県民カレッジ連携講座)	おいしさと栄養について 食情報に惑わされないための栄養の基本 食中毒予防の基礎知識 糖尿病と食事について 消化器疾患と食事との関係
理工学部 第53回公開市民大学講座 「理工学部ものづくり技術～自然との融合～」 後援：千葉県・船橋市・習志野市・鎌ヶ谷市・八千代市教育委員会 東葉高速鉄道株式会社	海洋環境技術～アサリの子供たちは泳いで海を渡る！～ パソコン教室（Excel初級編） 自然エネルギーの利用技術～太陽光発電の実力と課題～ テニス教室 鳥になりたい男たち～周回記録にかける青春～ 初心者向けゴルフ教室
生産工学部 公開講座(前期) 協力：習志野市 生産工学部 公開セミナー	公開講座Ⅰ 防災講座2014 公開セミナーⅠ 暮らしに活用！パソコン入門講座 ～調べて、まとめる～ 公開セミナーⅡ 生涯スポーツ（ゴルフ） 公開セミナーⅢ ロボットで遊ぼう

名 称	テ ー マ
	公開セミナーⅣ 生涯スポーツ（水泳）～泳げるようになるう・楽に泳ごう～
生産工学部 公開講座(後期)	公開講座Ⅰ ボランティアをはじめよう 公開講座Ⅱ 日本国憲法入門講座－憲法第9条を読む－
工学部 教養講座 総合テーマ「造」	宇宙：その95%の未知－ビッグバン宇宙論からダークエネルギーまで－ 頑張り的人生 「人生成功20年論」～小が大になるには～ 私のシンクロ人生～見らに残したい大切なもの～
医学部 公開講座 主催 板橋区教育委員会／日本大学 医学部	気になる病気を知っておこう！ ・家庭における救急医学～重篤な症状とその対応～ ・川崎病の心臓合併症について～小児から成人まで～ ・高齢者に見られる皮膚病 ・腸の疾患に対する腸内環境改善の有用性とプロバイオティクスの役割 ・麻酔を知られば怖くない！ ・ドライアイ、ドライマウスに隠された難病～シェーグレン症候群～ ・脳梗塞について ・虚血性心疾患の画像診断
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	ストップ ザ イビキ ～そのイビキ歯科で治るかもしれません～
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	原因不明の舌の痛み ～舌がヒリヒリ痛んだことはありませんか～
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(14)」	要介護高齢者に対する食事支援～かかりつけ歯科医院でおこなうケアとリハビリテーション～
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(15)」	がん患者の口腔ケアと医療連携 その1 口腔がんの早期診断－予防と治療－
松戸歯学部 公開講座 後援：松戸市教育委員会、 千葉県歯科医師会 松戸歯科医師会	子や孫に伝えたい、但しい食べ方の発達 ーよく噛んで食べていますか、お箸は正しく持っていますかー お口の機能の加齢変化 ーおいしく食べるための予防と対応ー
生物資源科学部 科学技術公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	「くらしを支える微生物 ーミクロの世界の驚くべきパワーー」
生物資源科学部 市民講座 統一テーマ：「健康とスポーツの科学」 共催：藤沢市	「体力を知る～実年齢の体力を測る～」 「体力を知る～貯筋運動を試みる～」 「スポーツ医学の進歩と一般患者さん・高齢者へのフィードバック～健康寿命をゲットせよ 「体づくりとミルク」
生物資源科学部 秋季特別公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	「アフリカの稲作と人工的に人生を賭ける！ー「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれた男（Newsweek誌）ー」
生物資源科学部 日本大学短期大学部(湘南)・藤沢市 六会公民館共催講座 テーマ：「親子で学ぶ「食べ物の科学」」	「豆腐」 「アイスクリーム」 「ゆで卵と温泉卵」 「ブルーベリージャム」
生物資源科学部 全国農村サミット2014 全体テーマ： 「域学連携と人材育成ー地域で活躍する卒業生と受入体制」 後援：藤沢市	「Wood Jobへの招待」 「新規就農への途」 「私の地域活性化の関わり」 「十日町市の農業と地域活性化の取り組み」 「真のフィールドは「地域」にあり」 「日本大学と十津川村との域学連携」 「人口社会増へ～過疎の町の取り組み 定住対策と起業支援」
生物資源科学部 全国農村サミット2014 i n 静岡県下 田市 全体テーマ： 「伊豆における地域資源の活用と農林水産業の振興」 後援：下田市	「伊豆地域の漁業の特徴と今後」 「賀茂地域における農業振興の現状と課題」 「鳥獣害対策とその利活用の方向性」 「伊豆における定置網漁業とその将来展望」 「キンメダイ資源の現状と流通」 「地域資源の活性に向けた取り組みと展望ー新たなネットワーク構築にむけてー」 「伊豆における農林水産業の展望を考える」
薬学部 公開講座 協賛：(公社)日本薬学会 後援：(一社)千葉県薬剤師会	講演会 「身近な感染症とその予防」 施設公開 薬用植物園
第18回薬学部薬草教室	講演会 「江戸時代の薬園を訪ねる」

名 称	テ ー マ
第19回薬学部薬草教室	薬用植物園ガイド 講演会 「薬草を使った草木染」 薬用植物園ガイド
大学院総合社会情報研究科 公開講座	日米経済の行方ードル・円相場を占うー 言語学習ストラテジーー熟達者はどのように学んだかー 心理学からリーダーシップを考える 海外で活躍する再生自転車とランドセル
日本大学大学院知的財産研究科 公開講座 (知的財産研究科・国際知的財産研 究所 共同開催)	「求められる中小・ベンチャー企業への知財支援について」 「日本の不正競争防止法における営業秘密の保護の強化と日米欧中の比較について」
日本大学総合生涯学習センター 春期公開講座	江戸時代史ー文化・文政の時代 ・「水野忠ただあきら成の幕政支配」 ・「変貌する村と取り締まり」 ・「大原幽学と二宮尊徳の農村指導」 ・「江戸っ児「通」から「いき」へー美意識の変質」 ・「大御所の生活ー将軍の1日」 三十六歌仙を読む～公任撰の三十六首の名歌を鑑賞する～ ・斎宮女御, 大中臣頼基, 藤原敏行, 源 重之 ・源 宗子, 源 信明, 藤原清正, 源 順 ・藤原興風, 清原元輔, 坂上是則, 藤原元真 ・女蔵人左近, 藤原伸文, 大中臣能宣 ・壬生忠見, 平 兼盛, 中 務, 日本政治の課題と展望 ・「日本の政治的課題」 ・「国会運営における日本の課題」 ・「選挙における日本の課題」 ・「マスコミと政治の関係に見る日本の課題」 ・「日本政治の課題と展望」
	ものの見方と考え方(4)～東洋と西洋の比較～ ・「万物の究極原理」 ・「プラトンとアリストテレス」 ・「スピノザの実体論」 ・「西田哲学と絶対無の自覚」 ・「久松真一の東洋的無」
	落語で識る江戸・江戸っ子の暮らし～落語を聞けば、江戸っ子がわかる～ ・「江戸っ子は何を食べていたか？」 ・「江戸時代の一両はいまのお金でいくら？」 ・「江戸の男女の恋愛事情」 ・「江戸の悪人たち～犯罪と治安」 ・「江戸っ子は病気になったらどうするか？」

9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産

学外研究費採択状況

文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業一科研費一

学 部	採択(新規)		採択(新規・継続)				
	件数	交付額 (千円)	件数	直接経費	間接経費	交付額 (千円)	
大学	法	5	7,670	13	14,800	4,440	19,240
	文理	27	52,410	65	111,700	32,490	144,190
	経済	10	18,820	29	53,900	15,750	69,650
	商	7	8,540	20	18,100	5,130	23,230
	芸術	2	1,950	8	6,200	1,860	8,060
	国際関係	3	2,860	7	10,000	3,000	13,000
	理工	26	58,785	83	101,950	30,285	132,235
	生産工	17	35,230	41	55,000	16,500	71,500
	工	25	69,710	49	77,200	22,800	100,000
	医	23	43,220	82	104,200	30,930	135,130
	歯	27	49,530	71	95,350	28,605	123,955
	松戸歯	13	22,100	47	54,100	16,230	70,330
	生物資源	26	53,260	77	110,650	32,325	142,975
	薬	6	13,260	15	19,800	5,940	25,740
	通信教育	0	0	1	600	180	780
	本部	6	15,340	11	23,900	7,170	31,070
	小 計	223	452,685	619	857,450	253,635	1,111,085
短期 大学部	三島	0	0	1	1,800	540	2,340
	船橋	0	0	2	6,400	1,920	8,320
	湘南	0	0	1	1,100	330	1,430
	小 計	0	0	4	9,300	2,790	12,090
合 計	223	452,685	623	866,750	256,425	1,123,175	

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況

採択年度	学部	研究組織	事業の別	研究課題	事業費 (千円)
26年度	工学部	大学院工学研究科	研究拠点を形成する研究	Active agingを支援するバイオメディカル工学の研究拠点 - 福島県の震災復興に貢献する医工連携研究 -	275,149
26年度	医学部	医学部総合医学研究所(細胞治療研究グループ)	研究拠点を形成する研究	脱分化脂肪細胞を用いた細胞治療の臨床応用に向けた橋渡し研究	284,060
26年度	生物資源科学部	動物医科学研究センター	研究拠点を形成する研究	グローバル化社会における動物由来感染症制御のための国際共同研究と若手研究者育成	250,000

大学教育・学生支援関係プログラム等の取組状況

プログラム等名称	申請学部等	取組名称等	期間
大学間連携共同教育推進事業	工学部 ※1	ふくしまの未来を拓く「強い人材」づくり共同教育プログラム	平成24年度～平成28年度
	生物資源科学部 ※2	グローバル社会を担う次世代型獣医学系大学教育機構の構築	平成24年度～平成28年度

※1 福島大学ほか14の大学・短大・高等専門学校と共同

※2 東京大学, 日本獣医生命科学大学, 麻布大学と共同

日本大学理事長特別研究・学長特別研究

日本大学理事長特別研究は、本学の研究成果を広く社会に還元すると共に、本学の教育研究及び運営にも積極的に活用できる研究を推進するため、組織運営、危機管理、人事管理、広報管理、教育方法、教育支援、研究支援等の本学の教育研究活動及び運営に対して、直接的または間接的に活かすことができるプロジェクトとして、教員・職員が共同してプロジェクトを組織する新たな研究プロジェクト組織を構築して実施された。併せて学長特別研究は、日本大学学術研究戦略の基本方針、理念、目標をもとに継続して学術研究を推進している中、学長が社会や本学の状況を鑑み、特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進するため、研究テーマを『日本大学のもつ学問領域の幅広さを活かし、未来の地球環境、ヒトの生命、生活のために求められる、あるいは新たに提案する総合的・統合的な研究課題を求める。』とし、①アジアを中心とした国際社会における日本のあり方及び、「安心・安全」な国際システムを構築する視点からの研究、②第一次産業再生のための先端的・国際的研究、③グリーン・イノベーションに立脚する環境・エネルギー・資源確保等の次世代ライフの質向上に資する総合的研究、④ライフイノベーションに立脚する高度医療、介護、高齢者対策等、法的・経済的支援を含む総合的視点から、『人を守る』ことを基軸とした研究、⑤21世紀における強靱な政治・経済両面にわたる社会的基盤形成の複合的研究に関する研究プロジェクトを学内で募集し、ネットワークを用いて教職員の投票を行い審査の基礎とする等、本学が一体となって推進するプロジェクトとして、平成24年度より実施され、平成25年度からは新たに1課題が追加された。

理事長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
電力削減と教育環境整備の両立を目指した省エネルギー型キャンパスの創成に関する総合研究	教授 鈴木 正彦	教員：文理学部, 理工学部, 工学部 職員：文理学部, 理工学部, 工学部, 本部管財部	63,830
日本大学の自校史教育における教育担当者養成の実践的研究 -建学の精神の実現をめざして-	教授 加藤 直人	教員：文理学部, 医学部, 生物資源科学部 職員：医学部	7,075
キャリアウェイ～理系女子学生のキャリア教育と活躍促進のための環境整備に関する研究	教授 落合 豊子	教員：医学部, 文理学部, 理工学部, 工学部, 生産工学部, 歯学部, 松戸歯学部, 薬学部, 生物資源科学部, 短期大学部, 豊山女子高校 職員：生産工学部, 校友会本部事務局	40,000
日本大学におけるeラーニングの戦略的活用の研究 -高大連携, 入学前教育, 学部教育そして大学院教育等におけるeラーニング導入の必要性とパイロットプログラムによる実証的研究-	教授 福田 弥夫	教員：通信教育部, 法学部, 文理学部, 商学部, 理工学部, 松戸歯学部, 大学院総合社会情報研究科, 日大高校, 櫻丘高校, 山形高校, 豊山女子高校, 明誠高校 職員：商学部, 通信教育部, 本部学務部, 本部管財部, 総合学術情報センター情報事務局	42,600

学長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
高齢化社会におけるインフルエンザ感染および重症化対策の総合的研究	教授 橋本 修	医学部, 理工学部, 歯学部, 松戸歯学部	75,000
遠隔医療システムを活用したアジア基盤型EBM研究の構築	教授 中島 一郎	歯学部, 医学部, 生物資源科学部	29,523
【平成25年度採択】 N. (エヌドット)国際救助隊による災害復興、教育支援のための学生「絆」プロジェクト	教授 木村 政司	芸術学部, 理工学部, 工学部, 生産工学部, 医学部, 歯学部, 生物資源科学部, 短期大学部, 習志野高校	40,000

※平成27年3月31日現在

発明関係

発明届出件数	特許出願件数		計	(単年度)
	国内	国外		
95	57	26	83	

情報開示件数

981

保有特許件数

国内	外国	〔 情報開示件数及び保有特許 件数は、いずれも累計数 〕
352	96	

技術移転関係

技術移転件数	ロイヤルティー		(単年度)
	延べ件数	入金額 (円)	
25	94	86,188,955	

10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数

主な工事

部 科 校 名	工 事 内 容
本 部	新病院（仮称）新築工事 RC造 地下2階地上11階建 延床面積29,817.49㎡ 日本大学会館8・9階改修工事 大学院法務研究科移転事業に伴う通信教育部既存校舎改修工事 保健体育審議会レスリング部学生寮新築工事 鉄骨造 2階建 延床面積680.74㎡
法 学 部	本館外壁及び内部（講堂・便所）改修工事
商 学 部	砧キャンパス新本館（管理・研究棟）（仮称）新築工事 鉄筋コンクリート造 地下1階地上6階建 延床面積10,105.26㎡
国 際 関 係 学 部	グラウンド改修工事
生 物 資 源 科 学 部	60周年記念棟（仮称）新築工事 【一部完成】 高層棟：鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階建 延床面積15,128.57㎡ ガレリア・大庇：鉄骨造 建築面積946.29㎡ ※低層棟：平成28年3月完成予定 【完成】
通 信 教 育 部	新校舎新築工事 1号館：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上8階建 延床面積4,297.60㎡ 2号館：鉄骨造 4階建 延床面積364.31㎡
習 志 野 高 等 学 校	専用陸橋新築及び体育館兼講堂改修工事 専用陸橋：鉄骨造 2階建 延床面積289.17㎡
藤 沢 小 学 校	校舎新築工事 校舎：鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積6,021.25㎡ 体育館：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平家建 延床面積1,198.13㎡
豊山高等学校・中学校	キャンパス整備事業に伴う新校舎建設の設計及び工事（工事：新築） 【一部完成】 校舎棟：鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上11階建 延床面積24,900.88㎡ ゲート棟：鉄筋コンクリート造・鉄骨造 2階建 延床面積278.18㎡ ※部室棟，グラウンド：平成28年2月完成予定 【完成】

土地・建物延面積

部 科 校 名	土地(実測面積) (㎡)	建物(公簿延面積) (㎡)
本部	907,363.98	126,756.39
日本大学病院	0.00	29,868.63
法学部	183,175.97	71,056.14
文理学部	137,378.68	112,645.50
経済学部	125,824.85	41,899.18
商学部	124,034.81	52,558.51
芸術学部	147,547.75	93,241.53
国際関係学部	215,108.17	79,068.01
理工学部	638,705.30	185,255.89
生産工学部	224,674.07	135,983.14
工学部	402,364.47	128,195.79
医学部	56,058.58	43,881.57
総合健診センター	0.00	0.00
板橋病院	0.00	55,767.82
駿河台病院	0.00	0.00
歯学部	29,647.38	20,716.75
歯科病院	0.00	6,222.48
松戸歯学部	47,964.37	41,263.78
松戸歯科病院	2,830.71	9,638.17
生物資源科学部	27,696,997.88	204,441.74
薬学部	52,053.19	31,844.43
通信教育部	912.95	4,596.22
横浜学園	37,984.93	29,242.87
豊山学園	50,883.34	26,675.37
豊山女子学園	36,497.96	17,338.03
明誠高等学校	103,800.91	13,383.53
山形学園	75,035.99	23,383.51
幼稚園	1,902.57	1,650.33
計	31,298,748.81	1,586,575.31

土地購入

千代田（三崎町）校地隣接地（法学部）

東京都千代田区三崎町二丁目40番19 1筆 112.72㎡

北海道（八雲）校地近接地（生物資源科学部）

北海道二海郡八雲町上八雲296番1 1筆 11,866.86㎡

蔵書数

※平成27年3月31日現在

部科校名	種類	一般教育図書（冊）	専門図書（冊）	学術雑誌・その他（冊）	合計（冊）
本	部	1	200,735	78,851	279,587
日本大学病院		0	0	0	0
法学部		97,070	224,767	166,312	488,149
文理学部		349,579	364,036	247,414	961,029
経済学部		62,476	212,398	158,306	433,180
商学部		94,476	266,308	112,507	473,291
芸術学部		108,878	270,109	63,037	442,024
国際関係学部		180,686	231,150	58,388	470,224
（国際関係学部）		（ 30,899 ）	（ 163,710 ）	（ 27,684 ）	（ 222,293 ）
（短期大学部（三島））		（ 109,960 ）	（ 67,440 ）	（ 26,859 ）	（ 204,259 ）
（三島高等学校）		（ 38,764 ）	（ 0 ）	（ 3,766 ）	（ 42,530 ）
（三島中学校）		（ 1,063 ）	（ 0 ）	（ 79 ）	（ 1,142 ）
理工学部		107,906	270,567	189,708	568,181
（理工学部）		（ 59,522 ）	（ 237,699 ）	（ 169,236 ）	（ 466,457 ）
（短期大学部（船橋））		（ 17,088 ）	（ 32,868 ）	（ 18,677 ）	（ 68,633 ）
（習志野高等学校）		（ 31,296 ）	（ 0 ）	（ 1,795 ）	（ 33,091 ）
生産工学部		46,930	85,096	105,780	237,806
工学部		162,465	95,893	111,651	370,009
（工学部）		（ 133,236 ）	（ 95,893 ）	（ 109,722 ）	（ 338,851 ）
（東北高等学校）		（ 29,229 ）	（ 0 ）	（ 1,929 ）	（ 31,158 ）
医学部		11,477	39,368	154,038	204,883
総合健診センター		0	0	0	0
板橋病院		0	0	0	0
駿河台病院		0	0	0	0
歯学部		45,954	29,318	80,427	155,699
歯科病院		0	0	0	0
松戸歯学部		29,296	36,925	63,850	130,071
松戸歯科病院		0	0	0	0
生物資源科学部		114,346	120,911	112,982	348,239
（生物資源科学部）		（ 58,743 ）	（ 107,242 ）	（ 109,800 ）	（ 275,785 ）
（短期大学部（湘南））		（ 9,156 ）	（ 13,669 ）	（ 3,132 ）	（ 25,957 ）
（鶴ヶ丘高等学校）		（ 25,587 ）	（ 0 ）	（ 50 ）	（ 25,637 ）
（藤沢高等学校）		（ 20,860 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 20,860 ）
薬学部		12,638	25,868	30,987	69,493
通信教育部		0	6,403	177	6,580
横浜学園 （日本大学高等学校・中学校）		18,342	0	938	19,280
豊山学園 （豊山高等学校・中学校）		12,850	0	0	12,850
豊山女子学園 （豊山女子高等学校・中学校）		36,681	0	0	36,681
明誠高等学校		4,900	0	0	4,900
山形学園 （山形高等学校・中学校）		17,051	0	0	17,051
日本大学幼稚園		719	0	0	719
計		1,514,721	2,479,852	1,735,353	5,729,926

IV 財務の概要

(注)

備考：「IV財務の概要」を構成する次の計算書類は、東陽監査法人の監査を受けて承認された計算書類を基に作成したものである。

- 1 平成26年度資金収支計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）
- 2 平成26年度消費収支計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）
- 3 貸借対照表（平成27年3月31日現在）
- 4 財産目録（平成27年3月31日現在）

1 平成26年度資金収支計算書

〔平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで〕

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	104,270,450,000	102,332,826,145	1,937,623,855
手数料収入	3,731,550,000	3,773,398,643	△ 41,848,643
寄付金収入	3,973,950,000	4,009,145,868	△ 35,195,868
補助金収入	18,340,390,000	17,040,568,627	1,299,821,373
資産運用収入	2,559,680,000	2,418,824,998	140,855,002
資産売却収入	10,000	8,064,375	△ 8,054,375
事業収入	2,914,960,000	3,038,940,654	△ 123,980,654
医療収入	48,467,700,000	44,895,186,022	3,572,513,978
雑収入	5,041,950,000	7,008,447,414	△ 1,966,497,414
借入金等収入	9,000,000,000	8,000,000,000	1,000,000,000
前受金収入	18,750,810,000	18,900,859,826	△ 150,049,826
その他の収入	42,244,310,000	56,791,460,910	△ 14,547,150,910
資金収入調整勘定	△ 29,376,400,000	△ 31,198,209,833	1,821,809,833
当年度収入合計	229,919,360,000	237,019,513,649	△ 7,100,153,649
前年度繰越支払資金	41,680,640,000	38,308,032,885	3,372,607,115
収入の部合計	271,600,000,000	275,327,546,534	△ 3,727,546,534

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
人件費支出	102,001,350,000	101,116,842,422	884,507,578
教育研究経費支出	62,281,170,000	60,562,626,209	1,718,543,791
(教育研究経費支出)	(48,220,640,000)	(46,790,142,106)	(1,430,497,894)
(医療経費支出)	(14,060,530,000)	(13,772,484,103)	(288,045,897)
管理経費支出	936,090,000 6,473,650,000	7,409,732,190	7,810
借入金等利息支出	94,620,000	89,885,272	△ 4,734,728
借入金等返済支出	1,340,000,000	1,340,000,000	0
施設関係支出	29,006,910,000	26,485,956,319	2,520,953,681
設備関係支出	13,924,470,000	11,642,533,568	2,281,936,432
資産運用支出	20,353,510,000	29,084,356,961	△ 8,730,846,961
その他の支出	11,140,660,000	9,016,972,602	2,123,687,398
予備費	(936,090,000) 63,910,000		63,910,000
資金支出調整勘定	△ 11,987,370,000	△ 8,755,806,457	△ 3,231,563,543
当年度支出合計	235,628,970,000	237,993,099,086	△ 2,364,129,086
次年度繰越支払資金	35,971,030,000	37,334,447,448	△ 1,363,417,448
支出の部合計	271,600,000,000	275,327,546,534	△ 3,727,546,534

(注) 予算額の上段数字は予備費の使用額を示す。

2 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他諸活動に対応するすべての収支内容並びに支払資金の収支のてん末を明らかにするものである。

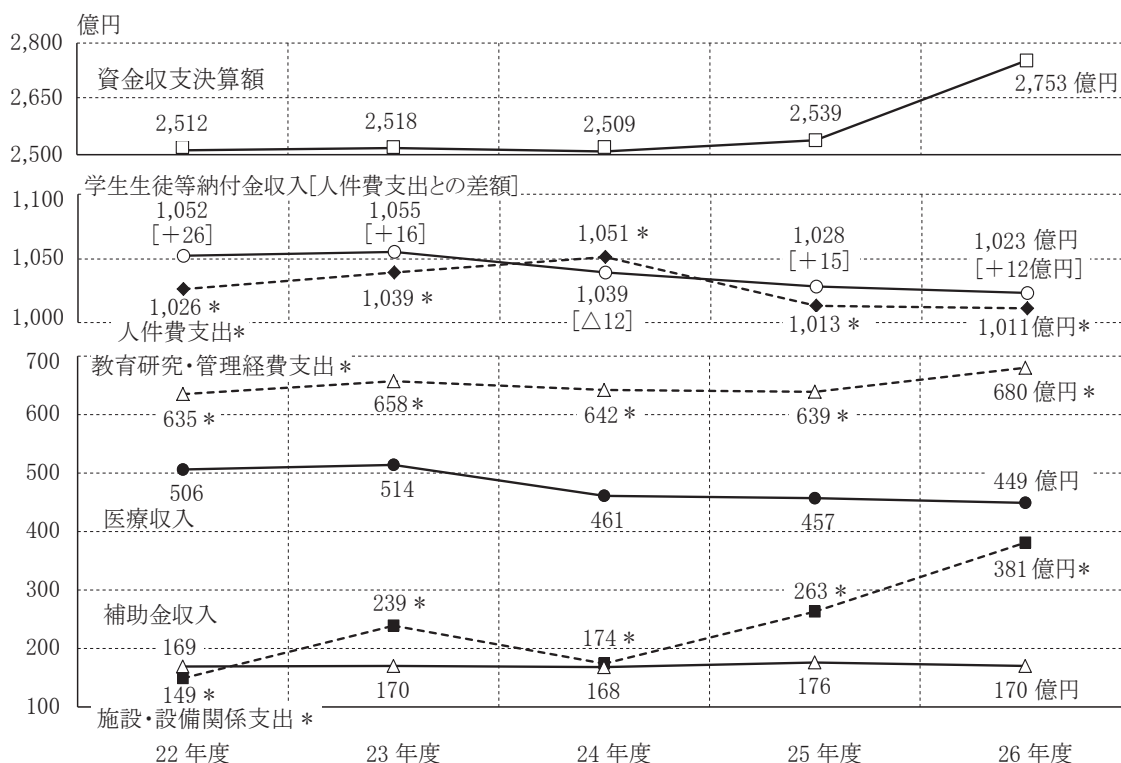
平成26年度の資金収支決算総額は、2,753億2,754万6,534円になり、予算対比で37億円の増加になった。

予算対比での主な差異額・差異事由を見ると、収入の部では、学校法人の収入の根幹を成すべき学生生徒等納付金収入が19億円の減収、補助金収入が13億円の減収、医

療収入が36億円の減収になった。

支出の部では、教育研究経費支出が校舎改修工事の減少により17億円の支出減、施設関係支出が校舎建設での工事計画変更により25億円の支出減、設備関係支出が校舎建設での購入機器見直しにより23億円の支出減になったが、管理経費支出が新学部校舎建設に係る土壌汚染対策工事により9億円の支出増になった。

平成22年度～平成26年度 資金収支決算の推移



— 活動区分資金収支計算書について —

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の改正により、平成27年度決算より作成が義務付けられる計算書であり、資金収支を「教育活動」・「施設整備等活動」・「その他の活動」に区分し、活動区分ごとの資金の流れを明らかにするものである。

平成26年度決算では、教育活動収支差額は116億円の収入超過、施設整備等活動収支差額は412億円の支出超過になり、合計は296億円の支出超過になった。また、その他の活動資金収支差額は286億円の収入超過、当年度の支払資金の減少額は10億円になった。

平成26年度 活動区分資金収支計算書

1 教育活動による資金収支

(単位:円)

科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
人 件 費 支 出	101,116,842,422	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	102,332,826,145
教 育 研 究 経 費 支 出	60,562,626,209	手 数 料 収 入	3,773,398,643
(教 育 研 究 経 費 支 出)	46,790,142,106	寄 付 金 収 入	3,982,118,963
(医 療 経 費 支 出)	13,772,484,103	補 助 金 収 入	15,701,949,127
管 理 経 費 支 出	7,409,732,190	施 設 設 備 利 用 料 収 入	614,723,638
		事 業 収 入	3,038,940,654
		医 療 収 入	44,895,186,022
		雑 収 入	7,008,447,414
教育活動資金支出計(イ)	169,089,200,821	教育活動資金収入計(ア)	181,347,590,606
差引(ア)-(イ)=(ウ)	12,258,389,785		
調 整 勘 定 等 (エ)	△ 640,858,338		
教育活動資金収支差額(ウ)+(エ)=①	11,617,531,447		

2 施設整備等活動による資金収支

科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
施 設 関 係 支 出	26,485,956,319	施 設 設 備 寄 付 金 収 入	27,026,905
設 備 関 係 支 出	11,642,533,568	施 設 設 備 補 助 金 収 入	1,338,619,500
施設整備等活動引当資産繰入支出	5,500,000,000	資 産 売 却 収 入	8,064,375
		施設整備等活動引当資産繰入収入	632,000,000
施設整備等活動資金支出計(B)	43,628,489,887	施設整備等活動資金収入計(A)	2,005,710,780
差引(A)-(B)=(C)	△ 41,622,779,107		
調 整 勘 定 等 (D)	455,328,953		
施設整備等活動資金収支差額(C)+(D)=②	△ 41,167,450,154		

教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額①+②=③	△ 29,549,918,707
-------------------------------	------------------

3 その他の活動による資金収支

科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
借 入 金 等 返 済 支 出	1,340,000,000	借 入 金 等 収 入	8,000,000,000
その他の引当資産繰入支出	23,584,356,961	その他の引当資産繰入収入	36,559,346,079
借 入 金 等 利 息 支 出	89,885,272	資 産 運 用 収 入	1,804,101,360
そ の 他 支 出	171,485,760	そ の 他 収 入	7,463,542,235
その他の活動資金支出計(b)	25,185,727,993	その他の活動資金収入計(a)	53,826,989,674
差引(a)-(b)=(c)	28,641,261,681		
調 整 勘 定 等 (d)	△ 64,928,411		
その他の活動資金収支差額(c)+(d)=④	28,576,333,270		

支払資金の増減額③+④	△ 973,585,437
前年度繰越支払資金	38,308,032,885
次年度繰越支払資金	37,334,447,448

3 平成26年度消費収支計算書

〔平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで〕

消費収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金	104,270,450,000	102,332,826,145	1,937,623,855
手 数 料	3,731,550,000	3,773,398,643	△ 41,848,643
寄 付 金	4,173,310,000	4,251,163,704	△ 77,853,704
補 助 金	18,340,390,000	17,040,568,627	1,299,821,373
資 産 運 用 収 入	2,559,680,000	2,418,824,998	140,855,002
資 産 売 却 差 額	10,000	7,862,158	△ 7,852,158
事 業 収 入	2,914,960,000	3,038,940,654	△ 123,980,654
医 療 収 入	48,467,700,000	44,895,186,022	3,572,513,978
雑 収 入	5,041,950,000	7,034,166,901	△ 1,992,216,901
帰 属 収 入 合 計	189,500,000,000	184,792,937,852	4,707,062,148
基本金組入額合計	△ 16,100,000,000	△ 9,380,064,808	△ 6,719,935,192
消費収入の部合計	173,400,000,000	175,412,873,044	△ 2,012,873,044

消費支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人 件 費	98,963,140,000	98,155,123,014	808,016,986
教育研究経費	80,671,290,000	78,250,409,598	2,420,880,402
(教育研究経費)	(66,610,760,000)	(64,476,955,495)	(2,133,804,505)
(医療経費)	(14,060,530,000)	(13,773,454,103)	(287,075,897)
管 理 経 費	1,000,000,000 7,292,150,000	8,309,868,086	△ 17,718,086
借入金等利息	94,620,000	89,885,272	4,734,728
資産処分差額	1,834,300,000	2,689,616,052	△ 855,316,052
徴収不能引当金繰入額	44,500,000	22,016,439	22,483,561
徴 収 不 能 額	0	1,984,604	△ 1,984,604
予 備 費	(1,000,000,000) 0		0
消費支出の部合計	189,900,000,000	187,518,903,065	2,381,096,935
当年度消費収入 (△支出)超過額	△ 16,500,000,000	△ 12,106,030,021	
前年度繰越消費収入 (△支出)超過額	△ 281,141,370,000	△ 281,141,380,250	
翌年度繰越消費収入 (△支出)超過額	△ 297,641,370,000	△ 293,247,410,271	

(注) 予算額の上段数字は予備費の使用額を示す。

4 消費収支計算書の概要

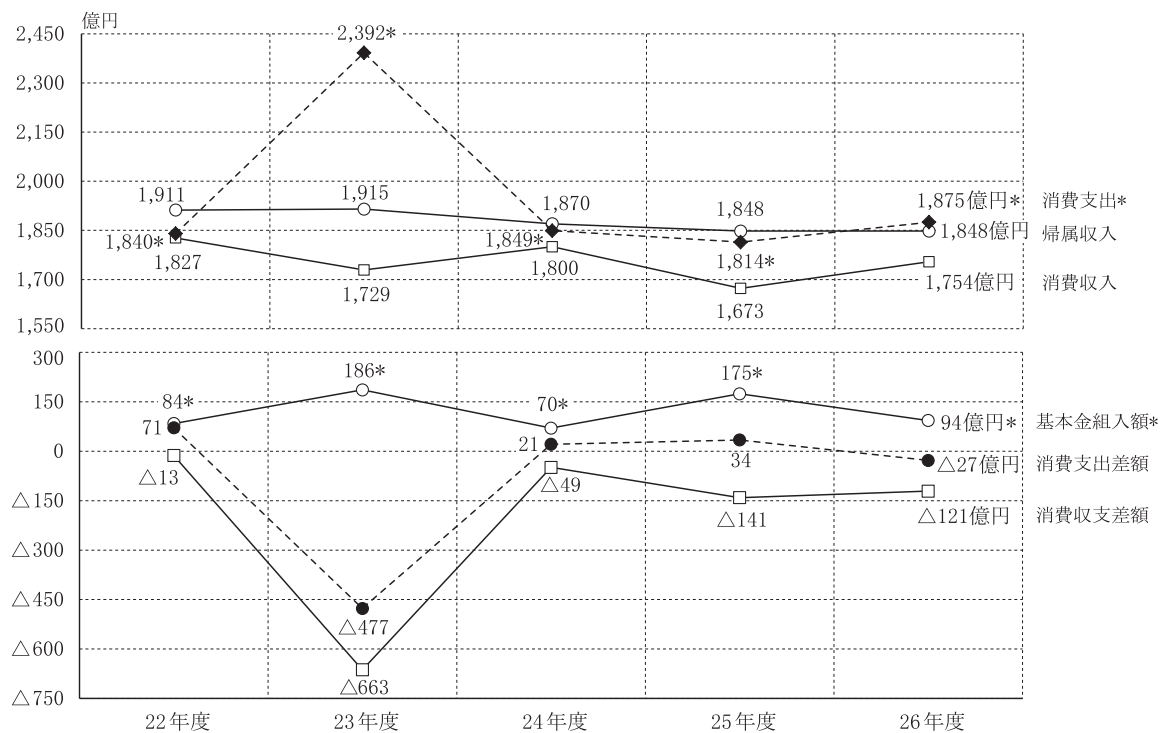
消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を示すものである。

平成26年度の消費収支決算額は、帰属収入が1,848億円になり、帰属収入から基本金組入額94億円を控除して算出した消費収入は1,754億円に

なった。また、消費支出は、1,875億円になった。

この結果、当該会計年度の経営状況を表す、帰属収入と消費支出を対照した消費支出差額は、27億円の支出超過になった。

平成22年度～平成26年度 消費収支決算の推移



(注) 平成23年度の消費支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれており、消費支出差額及び消費収支差額についても、特別繰入額を含み計算されている。

5 貸借対照表（平成27年3月31日現在）

資 産 の 部

（単位：円）

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
固 定 資 産	675,259,100,159	671,383,469,650	3,875,630,509
有 形 固 定 資 産	439,545,105,074	422,356,076,993	17,189,028,081
土 地	128,581,433,363	128,175,593,084	405,840,279
建 物	214,795,414,689	194,931,340,715	19,864,073,974
構 築 物	12,714,403,772	12,636,377,288	78,026,484
教育研究用機器備品	25,093,546,890	20,470,587,755	4,622,959,135
その他の機器備品	705,510,759	711,271,219	△ 5,760,460
図 書	50,439,130,740	50,547,008,069	△ 107,877,329
建設仮勘定	7,103,645,416	14,748,018,081	△ 7,644,372,665
そ の 他	112,019,445	135,880,782	△ 23,861,337
その他の固定資産	235,713,995,085	249,027,392,657	△ 13,313,397,572
借 地 権	2,381,672,678	2,381,672,678	0
施設利用権	448,194,845	458,045,076	△ 9,850,231
教育研究用ソフトウェア	1,096,723,695	683,614,212	413,109,483
その他のソフトウェア	210,390,658	163,597,074	46,793,584
敷 金 ・ 保 証 金	280,065,051	5,290,985,771	△ 5,010,920,720
長 期 貸 付 金	529,923,500	632,537,850	△ 102,614,350
退職給与引当資産	42,211,488,714	43,544,262,446	△ 1,332,773,732
施設設備拡充引当資産	6,800,000,000	6,410,000,000	390,000,000
第3号基本金引当資産	94,483,720,000	93,860,720,000	623,000,000
その他の引当資産	86,940,137,144	95,267,744,189	△ 8,327,607,045
そ の 他	331,678,800	334,213,361	△ 2,534,561
流 動 資 産	51,168,097,333	52,066,311,770	△ 898,214,437
現 金 預 金	37,334,447,448	38,308,032,885	△ 973,585,437
未 収 入 金	12,451,946,210	12,217,083,688	234,862,522
短 期 貸 付 金	284,431,000	335,453,000	△ 51,022,000
棚 卸 資 産	466,638,312	505,870,045	△ 39,231,733
前 払 金	560,301,541	638,620,781	△ 78,319,240
仮 払 金	70,332,822	61,251,371	9,081,451
資 産 の 部 合 計	726,427,197,492	723,449,781,420	2,977,416,072

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
固定負債	121,523,055,458	117,539,235,946	3,983,819,512
長期借入金	13,340,000,000	6,680,000,000	6,660,000,000
退職給与引当金	93,803,308,252	96,765,027,660	△ 2,961,719,408
その他	14,379,747,206	14,094,208,286	285,538,920
流動負債	35,379,250,566	33,659,688,793	1,719,561,773
短期借入金	1,340,000,000	1,340,000,000	0
未払金	7,496,109,923	7,859,591,978	△ 363,482,055
前受金	18,919,530,719	18,820,351,493	99,179,226
その他	7,623,609,924	5,639,745,322	1,983,864,602
負債の部合計	156,902,306,024	151,198,924,739	5,703,381,285

基本金の部

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
第1号基本金	749,744,581,739	741,377,516,931	8,367,064,808
第2号基本金	6,800,000,000	6,410,000,000	390,000,000
第3号基本金	94,483,720,000	93,860,720,000	623,000,000
第4号基本金	11,744,000,000	11,744,000,000	0
基本金の部合計	862,772,301,739	853,392,236,931	9,380,064,808

消費収支差額の部

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
翌年度繰越消費支出超過額	293,247,410,271	281,141,380,250	12,106,030,021
消費収支差額の部合計	△ 293,247,410,271	△ 281,141,380,250	△ 12,106,030,021

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	726,427,197,492	723,449,781,420	2,977,416,072

6 貸借対照表の概要

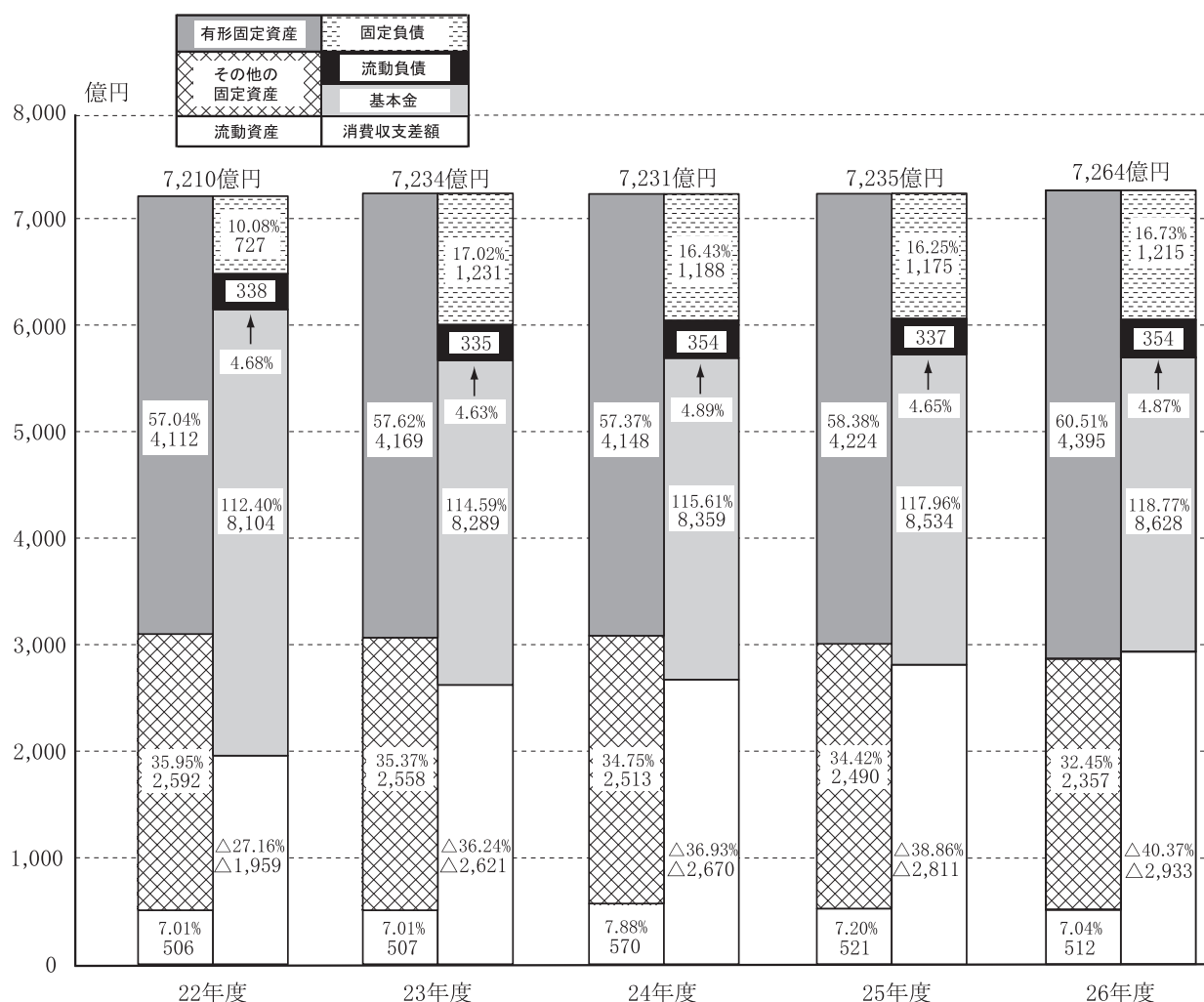
貸借対照表は、平成27年3月31日現在の財政状態を示している。

本年度末の資産総額は7,264億円で、前年度末に比較して30億円増加した。負債総額は1,569億円で、前年度末に比較して57億円増加した。この結果、資産総額から負債総額を差し引いた純

資産額は5,695億円で、前年度末に比較して27億円減少した。

また、基本金は8,628億円で、前年度末に比較して94億円の増加、翌年度へ繰り越す消費収支差額は、消費支出超過額が前年度末より121億円増加し2,933億円になった。

平成22年度～平成26年度 貸借対照表構成比率の推移



7 財産目録（平成27年3月31日現在）

財産目録は、平成27年3月31日現在の基本財産、運用財産、負債額を示している。

I 資産総額	726,427,197,492 円
内 基本財産	450,859,256,711 円
運用財産	275,567,940,781 円
II 負債総額	156,902,306,024 円
III 純資産	569,524,891,468 円

科目	数量	年度末
(一) 基本財産	—	450,859,256,711 円
1 土地	31,298,748.81 m ²	128,581,433,363 円
2 建物	1,586,575.31 m ²	214,795,414,689 円
(1) 校舎	1,161,831.00 m ²	142,754,149,463 円
(2) 図書館	73,358.33 m ²	9,489,371,628 円
(3) 講堂・体育館	113,048.43 m ²	11,082,339,720 円
(4) その他	238,337.55 m ²	51,469,553,878 円
3 図書	5,729,926 冊	50,439,130,740 円
4 教具・校具・備品	307,878 点	25,799,057,649 円
5 構築物	6,262 件	12,714,403,772 円
6 その他	—	18,529,816,498 円

科目	年度末
(二) 運用財産	275,567,940,781 円
1 現金預金	37,334,447,448 円
2 積立金	129,151,625,858 円
3 第3号基本金引当資産	94,483,720,000 円
4 有価証券	234,574,090 円
5 貸付金	814,354,500 円
6 未収入金	12,451,946,210 円
7 その他	1,097,272,675 円

科目	年度末
(三) 負債額	156,902,306,024 円
1 固定負債	121,523,055,458 円
(1) 長期借入金	13,340,000,000 円
(2) 退職給与引当金	93,803,308,252 円
(3) 預り金	12,390,689,339 円
(4) その他	1,989,057,867 円
2 流動負債	35,379,250,566 円
(1) 短期借入金	1,340,000,000 円
(2) 未払金	7,496,109,923 円
(3) 前受金	18,919,530,719 円
(4) 預り金	7,594,095,424 円
(5) その他	29,514,500 円

科目	年度末
(四) 基本財産 + 運用財産	726,427,197,492 円
(五) 純資産 (四 - 三)	569,524,891,468 円

8 参考資料

① 平成22年度～平成26年度 財務比率の推移

消費収支計算書財務比率の推移						
名称	算式	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
(1) 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	53.2%	80.9%	54.0%	53.1%	53.1%
(2) 人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}} \times 100$	96.6	146.8	97.2	95.5	95.9
(3) 借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}} \times 100$	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
(4) 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	38.7	39.5	39.6	39.9	42.3
(5) 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	3.6	3.8	4.0	4.2	4.5
(6) 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}} \times 100$	8.8	8.9	9.0	9.5	9.2
(7) 消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}} \times 100$	100.7	138.4	102.7	108.4	106.9
(8) 消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}} \times 100$	96.3	124.9	98.9	98.2	101.5
貸借対照表財務比率の推移						
(9) 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}} \times 100$	109.1	118.7	117.1	117.3	118.6
(10) 固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}} \times 100$	97.6	97.5	96.9	97.3	97.7
(11) 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	149.7	151.2	161.1	154.7	144.6
(12) 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}} \times 100$	14.8	21.6	21.3	20.9	21.6
(13) 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}} \times 100$	17.3	27.6	27.1	26.4	27.5
(14) 消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}} \times 100$	△ 27.2	△ 36.2	△ 36.9	△ 38.9	△ 40.4

(注) 平成23年度の人件費及び消費支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

② 平成22年度～平成26年度 資金収支決算の推移

(単位:千円)

区分	科目	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
		決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)
入	1 学生生徒等納付金収入	105,218,167	41.89	105,489,768	41.90	103,858,846	41.40	102,847,268	40.50	102,332,826	37.17
	2 手数料収入	3,822,208	1.52	3,507,907	1.39	3,752,262	1.50	3,836,221	1.51	3,773,399	1.37
	3 寄付金収入	3,692,089	1.47	3,774,770	1.50	4,109,183	1.64	4,329,824	1.71	4,009,146	1.46
	4 補助金収入	16,851,047	6.71	17,000,172	6.75	16,818,013	6.70	17,631,661	6.94	17,040,569	6.19
	5 資産運用収入	3,143,387	1.25	2,732,190	1.09	2,516,451	1.00	2,518,304	0.99	2,418,825	0.88
	6 資産売却収入	3,638	0.00	1,597	0.00	416,878	0.17	6,247	0.00	8,064	0.00
	7 事業収入	2,882,670	1.15	2,915,756	1.16	3,041,831	1.21	3,018,923	1.19	3,038,941	1.10
	8 医療収入	50,625,251	20.16	51,350,933	20.40	46,095,619	18.37	45,729,863	18.01	44,895,186	16.31
	9 雑収入	4,462,512	1.79	4,355,556	1.72	6,332,633	2.53	4,580,215	1.82	7,008,447	2.54
	10 借入金等収入	3,200,000	1.27	0	0.00	1,500,000	0.60	2,000,000	0.79	8,000,000	2.91
	11 前受金収入	18,529,965	7.38	17,940,973	7.13	18,196,220	7.25	18,797,080	7.40	18,900,860	6.86
12 その他収入	31,480,053	12.53	37,134,471	14.75	39,984,356	15.94	36,879,741	14.52	56,791,461	20.63	
13 資金収入調整勘定	31,357,163	12.49	31,431,057	12.48	31,956,164	12.74	29,822,760	11.75	31,198,210	11.33	
当年度収入合計	212,553,824	84.63	214,773,036	85.31	214,666,128	85.57	212,352,587	83.63	237,019,514	86.09	
14 前年度繰越支払資金	38,603,173	15.37	36,983,227	14.69	36,198,849	14.43	41,565,952	16.37	38,308,033	13.91	
収入の部合計	251,156,997	100.00	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	275,327,547	100.00	
出	1 人件費支出	102,644,359	40.87	103,911,760	41.27	105,052,045	41.88	101,318,498	39.90	101,116,842	36.73
	2 教育研究経費支出	57,302,174	22.82	59,064,087	23.47	57,378,477	22.88	57,010,472	22.45	60,562,626	22.00
	(1) (教育研究経費支出)	42,712,812	17.01	44,433,617	17.66	43,702,244	17.43	43,194,981	17.01	46,790,142	17.00
	(2) (医療経費支出)	14,589,362	5.81	14,630,470	5.81	13,676,233	5.45	13,815,491	5.44	13,772,484	5.00
	3 管理経費支出	6,179,374	2.46	6,669,238	2.65	6,831,164	2.72	6,936,971	2.73	7,409,732	2.69
	4 借入金等利息支出	74,695	0.03	98,974	0.04	84,482	0.03	77,891	0.03	89,885	0.03
	5 借入金等返済支出	783,810	0.31	1,101,400	0.44	1,040,800	0.41	1,040,000	0.41	1,340,000	0.49
	6 施設関係支出	10,080,890	4.01	18,411,994	7.31	13,087,660	5.22	19,595,711	7.72	26,485,956	9.62
	7 設備関係支出	4,777,938	1.90	5,450,206	2.16	4,297,719	1.71	6,727,097	2.65	11,642,534	4.23
	8 資産運用支出	29,447,535	11.72	20,929,763	8.31	22,152,489	8.83	20,403,090	8.04	29,084,357	10.56
	9 その他の支出	11,750,177	4.68	10,925,748	4.34	11,246,041	4.48	12,327,464	4.85	9,016,973	3.27
10 資金支出調整勘定	8,867,182	3.53	11,005,756	4.37	11,871,852	4.73	9,826,688	3.87	8,755,806	3.18	
当年度支出合計	214,173,770	85.27	215,557,414	85.62	209,299,025	83.43	215,610,506	84.91	237,993,099	86.44	
11 次年度繰越支払資金	36,983,227	14.73	36,198,849	14.38	41,565,952	16.57	38,308,033	15.09	37,334,448	13.56	
支出の部合計	251,156,997	100.00	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	275,327,547	100.00	

③ 平成22年度～平成26年度 消費収支決算の推移

(単位:千円)

区分	科 目	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度			
		決算額	婦属収入 比(%)	消費支出 比(%)	決算額	婦属収入 比(%)	消費支出 比(%)	決算額	婦属収入 比(%)	消費支出 比(%)	決算額	婦属収入 比(%)	消費支出 比(%)
消費収入の部	1 学生生徒等納付金	105,218,167	55.04	105,489,768	55.09	103,858,846	55.54	102,847,268	55.67	102,332,826	55.38		
	2 手数料	3,822,208	2.00	3,507,907	1.83	3,752,262	2.01	3,836,221	2.08	3,773,399	2.04		
	3 寄付金	3,948,405	2.07	4,058,591	2.12	4,370,419	2.34	4,574,745	2.48	4,251,164	2.30		
	4 補助金	16,851,047	8.81	17,000,172	8.88	16,818,013	8.99	17,631,661	9.54	17,040,569	9.22		
	5 資産運用収入	3,143,387	1.64	2,732,190	1.43	2,516,451	1.35	2,518,304	1.36	2,418,825	1.31		
	6 資産売却差額	2,379	0.00	30	0.00	195,872	0.10	2,745	0.00	7,862	0.00		
	7 事業収入	2,882,670	1.51	2,915,756	1.52	3,041,831	1.63	3,018,924	1.63	3,038,941	1.64		
	8 医療収入	50,625,251	26.48	51,350,933	26.82	46,095,619	24.65	45,729,863	24.75	44,895,186	24.29		
	9 雑収入	4,672,340	2.45	4,422,142	2.31	6,349,727	3.39	4,591,505	2.49	7,034,166	3.82		
	婦属収入合計	191,165,854	100.00	191,477,489	100.00	186,999,040	100.00	184,751,236	100.00	184,792,938	100.00		
10 基本金組入額合計	△ 8,433,243	△4.41	△ 18,599,877	△9.71	△ 6,950,004	△3.72	△ 17,472,240	△9.46	△ 9,380,065	△5.08			
消費収入の部合計	182,732,611	95.59	172,877,612	90.29	180,049,036	96.28	167,278,996	90.54	175,412,873	94.92			
消費支出の部	1 人件費	101,655,879	53.18	154,842,718	80.87	100,970,983	54.00	98,190,740	53.15	98,155,123	53.12		52.34
	2 教育研究経費	74,069,161	38.74	75,567,957	39.47	74,078,975	39.60	73,631,655	39.85	78,250,410	42.34		41.74
	(1) (教育研究経費)	59,479,799	31.11	60,937,272	31.83	60,402,697	32.29	59,815,664	32.37	64,476,956	34.89		34.39
	(2) (医療経費)	14,589,362	7.63	14,630,685	7.64	13,676,278	7.31	13,815,991	7.48	13,773,454	7.45		7.35
	3 管理経費	6,877,502	3.60	7,358,600	3.84	7,492,709	4.01	7,689,555	4.16	8,309,868	4.50		4.43
	4 借入金等利息	74,695	0.04	98,974	0.05	84,482	0.05	77,891	0.04	89,885	0.05		0.05
	5 資産処分差額	1,281,813	0.67	1,243,894	0.65	2,301,712	1.23	1,714,676	0.93	2,689,616	1.46		1.43
	6 徴収不能引当金繰入額	79,190	0.04	70,236	0.04	10,727	0.01	46,339	0.03	22,016	0.01		0.01
	7 徴収不能額	2,443	0.00	22,018	0.01	4,168	0.00	22,066	0.01	1,985	0.00		0.00
	消費支出の部合計	184,040,683	96.27	239,204,397	124.93	184,943,756	98.90	181,372,922	98.17	187,518,903	101.48		100.00
当年度消費収入 (△支出)超過額	△ 1,308,072		△ 66,326,785		△ 4,894,720		△ 14,093,926		△ 12,106,030				
前年度繰越消費収入 (△支出)超過額	△ 194,517,877		△ 195,825,949		△ 262,152,734		△ 267,047,454		△ 281,141,380				
翌年度繰越消費収入 (△支出)超過額	△ 195,825,949		△ 262,152,734		△ 267,047,454		△ 281,141,380		△ 293,247,410				

(注)平成23年度の人件費には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

④ 平成22年度～平成26年度 貸借対照表の推移

(単位:千円)

科目	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)
固定資産	670,440,922	92.99	672,748,608	92.99	666,086,713	92.12	671,383,469	92.80	675,259,100	92.96
有形固定資産	411,225,763	57.04	416,874,631	57.62	414,804,600	57.37	422,356,077	58.38	439,545,105	60.51
その他の固定資産	259,215,159	35.95	255,873,977	35.37	251,282,113	34.75	249,027,392	34.42	235,713,995	32.45
退職給付引当資産	47,738,602	6.62	46,788,231	6.47	44,951,754	6.22	43,544,262	6.02	42,211,489	5.81
その他の引当資産	200,907,822	27.87	198,557,477	27.45	196,270,137	27.14	195,538,464	27.03	188,223,857	25.91
その他の固定資産	10,568,735	1.46	10,528,269	1.45	10,060,222	1.39	9,944,666	1.37	5,278,649	0.73
流動資産	50,551,418	7.01	50,686,871	7.01	56,967,517	7.88	52,066,312	7.20	51,168,097	7.04
現金預金	36,983,227	5.13	36,198,849	5.00	41,565,952	5.75	38,308,033	5.30	37,334,447	5.14
その他の流動資産	13,568,191	1.88	14,488,022	2.01	15,401,565	2.13	13,758,279	1.90	13,833,650	1.90
資産の部合計	720,992,340	100.00	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00	726,427,197	100.00

固定負債	72,683,262	10.08	123,096,477	17.02	118,822,087	16.43	117,539,236	16.25	121,523,055	16.73
長期借入金	6,600,800	0.92	5,560,000	0.77	6,020,000	0.83	6,680,000	0.92	13,340,000	1.84
退職給付引当金	53,042,891	7.36	103,973,848	14.37	99,892,786	13.82	96,765,028	13.38	93,803,308	12.91
その他の固定負債	13,039,571	1.80	13,562,629	1.88	12,909,301	1.78	14,094,208	1.95	14,379,747	1.98
流動負債	33,764,911	4.68	33,521,743	4.63	35,359,600	4.89	33,659,688	4.65	35,379,251	4.87
短期借入金	1,101,400	0.15	1,040,800	0.14	1,040,000	0.14	1,340,000	0.19	1,340,000	0.18
前受金	18,564,729	2.57	17,960,647	2.48	18,226,441	2.52	18,820,351	2.60	18,919,531	2.60
その他の流動負債	14,098,782	1.96	14,520,296	2.01	16,093,159	2.23	13,499,337	1.86	15,119,720	2.09
負債の部合計	106,448,173	14.76	156,618,220	21.65	154,181,687	21.32	151,198,924	20.90	156,902,306	21.60
第1号基本金	700,140,446	97.11	717,836,823	99.23	724,834,477	100.25	741,377,517	102.48	749,744,581	103.21
第2号基本金	6,010,000	0.83	6,410,000	0.89	5,910,000	0.82	6,410,000	0.89	6,800,000	0.93
第3号基本金	92,475,670	12.83	92,979,170	12.85	93,431,520	12.92	93,860,720	12.97	94,483,720	13.01
第4号基本金	11,744,000	1.63	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62
基本金の部合計	810,370,116	112.40	828,969,993	114.59	835,919,997	115.61	853,392,237	117.96	862,772,301	118.77
消費収支差額の部	△ 195,825,949	27.16	△ 262,152,734	36.24	△ 267,047,454	36.93	△ 281,141,380	38.86	△ 293,247,410	40.37
負債・基本金・消費収支差額の部合計	720,992,340	100.00	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00	726,427,197	100.00

大学施設等所在地一覧(平成 27 年 3 月 31 日現在)

<学部 (含本部) >

- 本部 (日本大学会館)
〒102-8275 千代田区九段南 4-8-24
- 同 (日本大学会館第二別館)
〒102-8251 千代田区五番町 12-5
- 法学部
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 文理学部
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 経済学部
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 商学部
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 芸術学部
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 同 所沢校舎
〒359-8525 所沢市中富南 4-21
- 国際関係学部, 短期大学部
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 理工学部
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 同 船橋校舎, 短期大学部
〒274-8501 船橋市習志野台 7-24-1
- 生産工学部
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 同 実籾校舎
〒275-8576 習志野市新栄 2-11-1
- 工学部
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 医学部
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 歯学部
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部, 短期大学部
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 薬学部
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1
- 通信教育部
〒102-8005 千代田区九段南 4-8-28

<大学院>

- 大学院グローバル・ビジネス研究科
〒102-8275 千代田区九段南 4-8-24
- 大学院総合科学研究科
〒102-8251 千代田区五番町 12-5
- 大学院法務研究科
〒110-0061 千代田区三崎町 2-2-3
- 大学院総合社会情報研究科
〒359-0003 所沢市中富南 4-25
- 大学院法学研究科
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 大学院文学研究科
●大学院総合基礎科学研究科
●大学院理工学研究科 (地理学)
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 大学院経済学研究科
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 大学院商学研究科
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 大学院芸術学研究科
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 大学院国際関係研究科
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 大学院理工学研究科
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 大学院生産工学研究科
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 大学院工学研究科
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 大学院医学研究科
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 大学院歯学研究科
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 大学院松戸歯学研究科
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 大学院生物資源科学研究科
●大学院獣医学研究科
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 大学院薬学研究科
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1

< 付属高等学校・中学校・幼稚園 >

- 日本大学高等学校・中学校
〒223-8566 横浜市港北区箕輪町 2-9-1
- 櫻丘高等学校
〒156-0045 世田谷区桜上水 3-24-22
- 鶴ヶ丘高等学校
〒168-0063 杉並区和泉 2-26-12
- 藤沢高等学校・中学校
〒252-8505 藤沢市亀井野 1866
- 豊山高等学校・中学校
〒112-0012 文京区大塚 5-40-10
- 豊山女子高等学校・中学校
〒174-0064 板橋区中台 3-15-1
- 三島高等学校・中学校
〒411-0033 三島市文教町 2-31-145
- 明誠高等学校
〒409-0195 上野原市上野原 3200
- 山形高等学校
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘 4-55
- 習志野高等学校
〒274-8504 船橋市習志野台 8-35-1
- 東北高等学校
〒963-1165 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 幼稚園
〒167-0032 杉並区天沼 1-31-14

< 専修学校 >

- 医学部附属看護専門学校
〒173-0032 板橋区大谷口上町 71-12
- 歯学部附属歯科技工専門学校, 歯科衛生専門学校
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1

< 付属病院 >

- 日本大学病院
〒101-8309 千代田区神田駿河台 1-6
- 医学部付属板橋病院
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 歯学部付属歯科病院
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部付属病院
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部付属家畜病院
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866

< 関連施設 >

- 日本大学総合学術情報センター
〒359-0003 所沢市中富南 4-25

< 関連組織 >

- 株式会社日本大学事業部
〒156-0044 世田谷区赤堤 5-36-20

< 学生寮・セミナーハウス・厚生施設等 >

- 武蔵俊英学寮
〒180-0014 武蔵野市関前 3-1-18
- バンデリアン町田
〒194-0031 町田市南大谷 916-2
- バンデリアン松戸
〒271-0092 松戸市松戸 2221-1
- レガメリアン赤堤
〒156-0044 世田谷区赤堤 5-23-1
- レガメリアン宮坂
〒156-0051 世田谷区宮坂 1-30-20
- 軽井沢研修所(本部)
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1052-1
- 塩原研修所(本部)
〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原 198
- 山中湖セミナーハウス (文理学部)
〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村
平野字向切詰 506-296
- 菅平研修所 (経済学部)
〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-467
- 館山セミナーハウス (芸術学部)
〒294-0306 千葉県館山市加賀名 97
- 八海山セミナーハウス (理工学部)
〒949-7121 新潟県南魚沼市山口 1666
- 演習林水上実習所 (生物資源科学部)
〒379-1727 群馬県利根郡みなかみ町大穴 171-1
- 下田臨海実験所 (生物資源科学部)
〒415-0014 静岡県下田市須崎池ノ段 1237-1
- 富士自然教育センター (生物資源科学部)
〒418-0107 静岡県富士宮市佐折字狂入 632-3

